

2024年度 学部シラバス

日本赤十字九州国際看護大学

生命倫理

更新日：2024/02/26 11:39:23

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	510200	授業コード	5102A
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：必修 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

生死にまつわる医療・看護の問題の中でも、看護における倫理的な問題を見極め、人間の尊厳と患者の権利の尊重を基盤とした判断能力を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	1. 生命倫理誕生の背景および歴史的な発展過程を認識し、生命倫理の学習する意味を説明できる。
2	2. 生命倫理として取り上げられる事例についてなにが問題であるかを説明できる。
3	3. 生命倫理の諸問題に対する議論状況を知り、自身の倫理的価値から導き出される判断・決定について述べることができる。
4	4. ニュース等報道に目を向け、新たな生命倫理問題を課題として検討することができる。

授業計画

1	生命倫理について 生命倫理を理解するための概要 【予習】40分 テキスト第1章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
2	医療資源の配分 限りある医療資源と公平な配分について 【予習】40分 テキスト第11章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
3	医学研究の倫理 研究における倫理について（歴史的背景を踏まえて） 【予習】40分 テキスト第5章・第14章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
4	生命の始期と生命倫理（1） 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【予習】40分 テキスト第2章・第3章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
5	生命の始期と生命倫理（2） いのちの選択について 【予習】40分 課題について 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
6	生命の終期と生命倫理（1） 人生の最終段階の迎え方について 【予習】40分 テキスト第8章・第9章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
7	生命の終期と生命倫理（2） 患者の権利について 【予習】40分 テキスト第10章・第13章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井
8	フィードバック：生命倫理の新たな課題 最先端の技術と人改造について 【予習】40分 テキスト第12章・最終章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】グループ討議 柳井

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

玉井真理子・大谷いづみ：はじめて出会う生命倫理.有斐閣，2011.

参考文献

黒崎剛・野村敏明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014.

小林亜津子：看護が直面する11のモラル・ジレンマ．ナカニシヤ出版，2010．

他、適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度・提出物（50％）、評価試験：課題レポート（50％）を合計して算出する。

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

日本生命倫理学会、日本医学哲学倫理学会、九州医学哲学倫理学会、日本看護倫理学会 会員

A医療施設内倫理審査委員会委員

メッセージ

授業は、予習によって倫理問題をあらかじめわかったとして参加ください。講義では、テキストの重要箇所の確認とテキストにはない事例や事件などを紹介しながら進めます。これを理解し、自身の考えを深めるためグループ討議を行います。

看護の対象では「人」です。しかし科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮とはどのようなものでなぜ大切なのでしょうか。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い人権意識を育てよう積極的に参加してください。

教育学

更新日：2024/02/26 18:12:18

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	510500	授業コード	51050
担当教員	川口 俊明						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	2	

授業の目的

人間の生涯発達という視点から人間の成長・発達を理解し、教育の果たす役割について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	教育学の基礎的な知識／考え方を習得できる。
2	現代日本の学校・教育の在り方について、批判的に考えることができる。

授業計画

1	授業内容と受講上の諸注意 【授業方法】講義 【予習】30分：シラバスを読み、テキストを確認する 【担当】川口
2	教育格差（1） 社会経済的地位 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
3	教育格差（2） 子どもの貧困 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
4	教育格差（3） デジタル化 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
5	教育格差（4） ジェンダー 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
6	教育格差（5） 国籍・日本語教育 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
7	英語教育 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
8	共通テスト 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
9	EdTech 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
10	9月入学論 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口

11	学費 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
12	教員の働き方 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み、わからないところをまとめる 【担当】川口
13	審議会 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキスト（3章の後半）をもとに，日本の学校について自身の考えを書く 【担当】川口
14	全国学力テスト 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】60分：テキスト（全体）を読み，わからないところをまとめる 【担当】川口
15	授業の総括（フィードバック） 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】60分：テキストの該当箇所を読み，わからないところをまとめる 【担当】川口

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

松岡亮二編著：教育論の新常識 格差・学力・政策・未来，中公新書ラクレ，2021.

参考文献

授業中に紹介する。

評価方法

講義内で指示される課題の提出状況および質（70%） 発言や議論への参加など授業への貢献（30%）

※詳細は講義内で指示する

※最終試験・レポートなどは課さない

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

授業では，Microsoft Teams等を活用する予定です。インターネットに接続できるタブレットか，ノートパソコンを用意してください。

教員等の実務経験

メッセージ

プレゼンテーションスキルズⅡ

更新日：2024/02/28 11:00:29

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	510800	授業コード	51080
担当教員	中村 茂徳						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

保健医療専門家として、他分野の専門家やステーク・ホルダー全般の理解と信頼を得られる発表・説明のあり方に関する理解とそれを行う技能を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて適切な言語と十分な資料を使用して発表することができる：具体的には、ある課題に対する対処法や解決法の情報を収集して、妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を最大限に行うことができる。
2	他者の発信に対し、有意意味な反応をすることができる（批評を行うことと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。

授業計画

1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのメカニズムおよび進行予定の確定 【授業方法】講義 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備 【復習:40分】コミュニケーションのメカニズムを説明できるようにする
2	P D C Aサイクルと「ほうれんそう」を使用した小プレゼンテーション①とその批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備;①担当者は内省と分析 【復習:40分】P D C Aサイクルとほうれんそうについて、説明できるようにする
3	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション②とその批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備;②担当者は内省と分析 【復習:40分】ブレインストーミングについて説明できるようにする
4	ディベートを使用した小プレゼンテーション③とその批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備;③担当者は内省と分析 【復習:40分】ディベート理論について説明できるようにする
5	ディベートを使用した小プレゼンテーション④とその批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備;④担当者は内省と分析 【復習:40分】ディベートの方法を習得する
6	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑤その批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備;⑤担当者は内省と分析 【復習:40分】文化人類学の問題について確認する
7	B A F A B A F Aを使用した小プレゼンテーション⑥その批評 【授業方法】演習（発表） 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備;⑥担当者は内省と分析 【復習:40分】B A F A B A F Aについて説明できるようにする
8	フィードバック：本科目によって学修したコミュニケーションに関する理論と実践方法について、フィードバックする 【授業方法】演習（発表）とフィードバック 【予習:40分】全員：最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備;⑦担当者は内省と分析 【復習:40分】コミュニケーションに関する理論と実践方法の確認

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントを配布する

参考文献

高瀬文広 他：日本語コミュニケーションⅠ.ぎょうせい, 2003.
早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック.成文堂,2018.

評価方法

批評活動への参加度24%、プレゼンテーション76%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを学びます。

法と看護

更新日：2024/02/26 11:38:41

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	520700	授業コード	52070
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

日本国憲法の学習を踏まえ国民の健康にかかわる法律と看護職者としての法的諸問題を理解し、看護における法的視点を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	保健師助産師看護師法、医師法、医療法をはじめとし医療行為にかかわる法規について学び、看護職の役割と限界について実践と結び付けて説明できる。
2	社会人としての個人、看護者としての権利と義務について述べるができる。
3	安全で秩序ある社会で生きるための権利と義務について考えることができる。

授業計画

1	人も歩けば「法」に当たる 法が定める看護職の身分を確認しよう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 保健師助産師看護師法の条文を振り返る。 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
2	看護師の業務（医師法との比べてみよう） 看護師がやっていいことややってはいけないこと、やらなければいけないことを理解しよう。やってはいけないことをやってしまうと罰を受けます。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 提示された資料を読み込む 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
3	医療提供施設 病院とはどういうところなのか、病院による違いがあるのか。 あなたの給料はどのように保証されているかを考えましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 民間か、国立・公立病院の違いになるものをみつける 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
4	訪問看護と遠隔診療 平等な医療の提供、過疎地や島しょ部での医療はどうなっている？ 遠隔診療が進んでますが、使用するには、注意点もあります。また遠隔診療が進むことで、訪問看護はどのように変化するべきかを考えましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 資料を読み込む 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
5	事故の処理と責任 医療過誤、医療事故を起こした、巻き込まれた場合、どういうことになるのか、どう対応しなければいけないか。他人ごとではありません。 病院の事故調査、法の裁きについて理解しましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 関心のある医療事故をみつける。 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井
6	暴力と看護（1） 性暴力の被害者にどのような看護が必要か。 魂の殺人といわれる性暴力ですが、被害者の苦痛や苦悩に取り組むことに専門的な知識と技術を用いる看護職がいます。その方の講義を得て、看護とは何かを考えてみましょう。 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分 資料の読み込み。 【復習】20分 講義内容を整理する。 【担当】柳井（ゲストスピーカー）

7	暴力と看護（2） 暴力の加害者とヘルスケア 暴力をふるう人の健康について考えてみようということです。無意識のうちに起こしてしまう重大な犯罪に対しては、無意識になる状態について解明しそうならないようケアが必要です。また健康問題を抱えているの刑務所等でのヘルスケアについて、考えてみましょう。 【授業方法】 演習（討議） 【予習】 30分 資料の読み込み。 【復習】 20分 講義内容を整理する。 【担当】 柳井
8	勤務で困らないために フィードバック 労働者の権利と義務を知り、ホワイต์な職場にしようということで、過剰労働、いじめ、ハラスメント等に遭遇しても泣き寝入りをしてしないよう労働者としての権利について理解しましょう。 【授業方法】 演習（討議） 【予習】 30分 就労する看護職者の問題を検討する（課題配布）。ポータルを活用してフィードバックを行う 【担当】 柳井

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

指定しない

参考文献

野崎和義・柳井圭子：看護のための法学[第5版].ミネルヴァ書房,2020.
 田村やよひ：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法 第2版.日本看護協会出版会,2015.
 看護行政研究会 編：看護六法2019年版：,新日本法規出版，2019.
 加納尚美・李節子・家吉望み：フォレンジック看護 性暴力被害者支援の基本から実践まで，医歯薬出版株式会社,2016.

評価方法

議論参加（60％）、評価試験：課題レポート（40％）で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

A協議会高齢者人権擁護研修会講師
 フォレンジック看護学会理事
 SANE-J（日本性暴力対応看護師）
 A医療施設内倫理審査委員会委員

メッセージ

授業は、最近のニュースで事件や事故を題材に、検討します。実習などで疑問に思った倫理（例えば、身体拘束、医療者の対応、患者の意思決定、理不尽な患者）また看護者になった場合、労働者としての権利はどこまで保障されるのか、ハラスメントやいじめにあった場合は、どうなるのか、どうするのか、等、実際の事例を基に検討します。

一人の人として、また看護職者として社会に出るまでに、社会の法制度（システム）を学んでおきましょう。「知は力なり」。

対象者を擁護する看護職は、法によって、「特権」を与えられています。その力を十分に発揮することが求められています。その力を、与えていく根拠となる法についての学習です。

また看護職も、人として保障される権利があることを再認識しましょう。犬も歩けば棒に当たるといいますが、人は歩けば「法」に当たります。社会の秩序は法によって成り立っています。職場、人間関係、私生活で遭遇するあらゆるトラブルをどう回避し、どう乗り越えるのか。法の適用と限界を知れば、よりよく生きる道になります。

社会福祉学

更新日：2024/02/08 14:30:06

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	520800	授業コード	52080
担当教員	荒木 剛						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

社会福祉の基本的枠組み及び基本的考え方について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：保健医療福祉行政論

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	現代社会において生じている生活問題や支援を必要とする人々（クライアント＝利用者や患者）について社会的文脈から把握することができる
2	クライアントの生活問題を解決・支援するための社会福祉のしくみや専門職、ソーシャルワーク実践の基礎的な知識を習得することができる
3	社会福祉および看護の両職種が連携することの意義を理解することができる

授業計画

1	社会福祉の定義と体系 【授業方法】講義 【授業内容】わが国の社会福祉の定義と法制度の体系について理解する。 【復習】30分：社会福祉（問題）の捉え方や現在の法制度の概要について整理する。 【担当】荒木
2	社会福祉を取り巻く状況 【授業方法】講義 【授業内容】人口構造、世帯数、出生数、平均寿命、就業構造など、社会福祉の問題が生じる背景について理解する。 【予習】30分：わが国に生じている社会福祉の問題について調べる。 【復習】30分：現代の社会状況と社会福祉の問題の関連について整理する。 【担当】荒木
3	戦後の社会福祉の展開 【授業方法】講義 【授業内容】戦後の社会福祉の歴史について、主に1990年代以降の展開について理解する。 【予習】30分：戦後の社会福祉の展開について調べる。 【復習】30分：1990年代以降の社会福祉の展開について整理する。 【担当】荒木
4	社会福祉の実施体制 【授業方法】講義 【授業内容】社会福祉に関わる行政機関、施設・事業所、団体等の現状と福祉サービスの提供システムについて理解する。 【予習】30分：身近にある社会福祉の行政機関や施設・事業所、団体について調べる。 【復習】30分：社会福祉のサービス提供者とその利用方法について整理する。 【担当】荒木
5	社会福祉の主な理念と概念 【授業方法】講義 【授業内容】ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、自己決定の尊重、クライアント主体など、社会福祉の主要な理念と概念について理解する。 【予習】30分：社会福祉の理念や概念を調べ、社会福祉専門職に必要となる価値・倫理について考える。 【復習】30分：社会福祉専門職と看護職の価値・倫理について、共通点や相違点を整理する。 【担当】荒木
6	社会福祉を支える人々 【授業方法】講義 【授業内容】社会福祉に従事する専門職・非専門職について理解する。 【予習】30分：社会福祉に従事する専門職と非専門職を調べる。専門職のうち、ソーシャルワーカーと呼ばれる職種とその業務や支援内容を調べる。 【復習】30分：社会福祉に従事する専門職と非専門職、ソーシャルワーカーの役割について整理する。 【担当】荒木

7	社会福祉の援助方法（ソーシャルワーク） 【授業方法】講義 【授業内容】ソーシャルワークの体系（ミクロ・メゾ・マクロ）、対象、視点、展開プロセスについて理解する。 【予習】30分：ソーシャルワークが展開している場（施設・機関など）と具体的な支援内容・方法について調べる。 【復習】30分：ソーシャルワークの方法と対象、求められる視点・価値、展開プロセスについて整理する。 【担当】荒木
8	まとめ（フィードバック）・評価試験 【授業方法】講義 【授業内容】これまでの授業の振り返るとともに、社会福祉専門職と看護職の連携の意義について理解する。 【予習】30分：これまでの授業を振り返り、社会福祉専門職と看護職の連携の意義・必要性について考える。 【復習】30分：社会福祉専門職と看護職が連携する際に求められる姿勢、視点、考え方について整理する。 【担当】荒木

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

鬼崎信好他：コメディカルのための社会福祉概論．講談社，2023．

評価方法

授業参加度や授業毎のコメントカード（40％）、評価試験（60％）で評価します。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

社会福祉（高齢者福祉分野）の現場経験のある教員が、その経験を活かして、社会福祉およびソーシャルワークの実際について講義します。

メッセージ

保健医療福祉行政論

更新日：2024/02/01 18:05:07

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	520900	授業コード	52090
担当教員	緒方 文子, 小野 ミツ						
備考	選択/必修：選択 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

保健医療福祉に関する法制度や関係法規の基礎知識を学ぶとともに、保健医療福祉に関する行政施策の基本となる考え方を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：保健医療福祉行政論

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	わが国の保健医療福祉行政の理念と仕組みについて説明できる。
2	保健医療福祉行政における地方公共団体の役割が理解できる。
3	保健医療福祉機関の役割と機能が理解できる。
4	保健医療福祉行政における政策化のプロセスを説明できる。

授業計画

1	保健医療福祉の行政・制度と保健師の活動 【授業方法】ガイダンス、講義 【予習】30分：教科書の1章（保健医療福祉の行政・制度と保健師の活動）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】小野
2	保健医療福祉の行政・財政の理念としくみ 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の2章（保健医療福祉の行政・財政の理念としくみ）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】小野
3	保健医療福祉行政の基本 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の3章（保健医療福祉行政の基本）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】緒方
4	社会福祉・公的扶助・介護保険の制度 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の4章（社会福祉・公的扶助・介護保険の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】緒方
5	公衆衛生の制度 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の5章（公衆衛生の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】緒方
6	医療の制度 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の6章（医療の制度）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】緒方
7	保健医療福祉分野における制度・政策と動向 【授業方法】講義・発表 【予習】60分：教科書の7章（保健医療福祉の行政・制度と保健師の活動）に目を通す。 【復習】20分：授業内容を復習する。 【担当】緒方、小野

8	保健医療福祉の政策の企画から実施・評価まで、フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の8章（保健医療福祉の政策の企画から実施・評価まで）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。フィードバックされた内容を復習する。 【担当】緒方
---	--

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

野村陽子他：保健学講座保健医療福祉行政論。メヂカルフレンド社，2022。

参考文献

藤内修二他著：標準保健師講座・別巻1保健医療福祉行政論第5版医学書院，2021。
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2023/2024。厚生労働統計協会，2023。
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊保険と年金の動向2023/2024。厚生労働統計協会，2023。
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民の福祉と介護の動向2023/2024。厚生労働統計協会，2023。
社会保険実務研究所編：週刊保健衛生ニュース。社会保険実務研究所，2024。

評価方法

授業時間外に実施する評価試験（筆記試験50％）は、第8回終了後に別日を設けて実施する。
第1～8回で行う評価試験40％（課題レポート1回あたり5％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

教員等の実務経験

保健師の臨床経験のある教員が、保健医療福祉制度について講義を担当します。

メッセージ

保健・医療・福祉・行政は相互に関連して社会を構成しています。それぞれの考え方を深く学ぶために、新聞や雑誌、ニュースなどから国内外の動向について情報収集を行いましょう。

看護・医療情報

更新日：2024/02/01 16:45:46

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	521000	授業コード	52100
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

ヘルスケアサービスの実践に必要な情報とは何か、またITを活用した情報管理の実際と課題、情報倫理の考え方と法的根拠について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	ヘルスケアサービスの実践に必要な情報について説明できる。
2	ITを活用した情報管理の実際を知り、その課題について述べることができる。
3	情報倫理の考え方と法的根拠について説明できる。
4	医療現場での情報の意義を理解したうえで、情報の適正な取り扱いに向けた行動について述べるができる。

授業計画

1	看護・医療と情報 【内容】看護・医療での情報の取り扱いの概要・現状、定義について 【予習】40分 報道で話題になっている医療情報について話題を見つける。 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
2	医療における自己決定権について 【内容】インフォームドコンセントについて 【予習】40分 インフォームドコンセントに関する話題を見つける 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
3	看護師の守秘義務と情報開示との調整について 【内容】看護師の守秘義務、その性質、知る権利との調整について 【予習】40分 ヘルスリテラシーに関する話題を見つける 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
4	看護記録について 【内容】看護記録の位置づけ、内容について（医師法との違い） 【予習】40分 看護記録の内容を検討する 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
5	遠隔診療について 【内容】オンライン診療と看護者の役割について 【予習】40分 資料を読み込む 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
6	個人情報保護法について 【内容】個人情報保護法の概要と情報主体の権利について 【予習】40分 個人情報保護法を検討する 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】演習 柳井
7	医療におけるビッグデータの活用 【内容】ビッグデータに関する法について 【予習】40分 医療のビッグデータに関する話題を見つける 【復習】20分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井
8	フィードバック・医療情報の活用と倫理について 【内容】医療情報に関する事例検討について 【予習】60分 事例の検討 ポータルサイトを利用して、フィードバックを行う 【復習】30分 内容整理 【授業方法・担当】講義 柳井

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

太田勝正・前田樹海編：エッセンシャル看護情報学2024年版．医歯薬出版，2024．
中村和弘：系統看護学講座 別巻 看護情報学 第3版．医学書院，2021．

評価方法

授業への参加度（50％）、最終レポート（50％）を総合して評価する。

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

遠隔診療の実際をタブレットを用いて演習を行います

教員等の実務経験

A県情報公開委員会委員

メッセージ

高度情報化社会は、医療のかたちも変えようとしています。将来、ビックデータの活用によって効果的・効率的な医療を提供できるでしょう。また医療者とのアクセスはICTを介して行うことになり、医療施設ではなく住み慣れた場で最期を迎えるまで療養を迎えることも可能になるでしょう。看護の対象である人は膨大で様々な情報から成り立っています。その情報を適切に取り扱い、医療の専門的知識と技術で対応するためにも、情報とは何か、どのように利活用していけるのか、本授業で考えてみましょう。そのためには安全で信頼ある情報の取り扱いが基本となります。情報の利活用そして適切な保護、この両者を兼ね備えた適正な取り扱いについて学びます。

健康行動論

更新日：2024/02/22 13:42:50

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	530200	授業コード	53020
担当教員	山本 孝治, 鈴鹿 綾子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

人間の健康に関する行動の変容と維持に関連する理論と考え方を理解し、自分たちの具体的な健康問題を基に行動変容プログラムを実践し、行動変容について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	様々な健康の概念を基に、人間の健康と健康行動について考察し考えを述べることができる。
2	人間がよりよい健康に向かうための行動変容と維持に関連する概念・理論について説明ができる。
3	健康行動に関連する理論を活用し、身近な健康課題を明確にし、生活習慣や価値・信念を考慮した行動変容計画を立案できる。
4	健康行動に関連する理論を活用し、事例に対する健康課題を明確にし行動変容計画を作成できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション、「人間の健康とは」「健康行動」「動機づけ」、「アドヒアランス」と「コンプライアンス」 【授業方法】講義（GW、発表、ICT支援） 【予習】20分：WHOの健康の定義について調べる、テキスト序章 【復習】30分： ①授業で学んだWHOの健康の定義や様々な概念をもとに、自分が考える「健康」について言語化する ②コンプライアンス、アドヒアランスについて例をあげて理解を深める ③ヘルスリテラシーに関する文献を読み、感想をまとめる 【担当】山本
2	健康行動に関する諸理論(1)：ヘルス・ビリーフ・モデル、計画的行動理論 【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援） 【予習】20分：テキスト第1章、第4章 【復習】30分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】山本
3	健康行動に関する諸理論(2)：社会的認知理論 【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援） 【予習】20分：テキスト第2章 【復習】30分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】鈴鹿
4	健康行動に関する諸理論(3)：変化のステージモデル、コントロール所在 【授業方法】講義・演習（GW、発表、ICT支援） 【予習】20分：テキスト第3章・第7章 【復習】30分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 【担当】山本
5	健康行動に関する諸理論(4)：ストレスとコーピング、ソーシャルサポート（社会支援） 【授業方法】講義（GW、発表、ICT支援） 【予習】20分：テキスト第5章・第6章 【復習】30分：講義資料の振り返り、学んだ理論の活用について学習する 行動変容計画の作成 【担当】鈴鹿、山本
6	行動変容計画作成：既習の理論を計画の根拠として活用する 【授業方法】講義・演習（GW、討議） 第2回～5回で学んだ理論のうち1つを選択して、行動変容計画を作成する 【予習】20分：学んだ理論の特徴をまとめる、行動変容計画の作成 【復習】45分：行動変容計画の追加・修正 【担当】山本、鈴鹿

7	行動変容計画のピア・レビュー、フィードバック 【授業方法】 演習（GW、発表） ①完成させた行動変容計画をグループ内でプレゼンテーションし、意見交換を行う ②グループメンバーが作成した行動変容計画について、ピア評価を実施する ③行動変容計画の最終提出日は、別途提示する 【予習】 45分：行動変容計画の追加・修正 【復習】 20分：ピア・レビューでメンバーが発表した理論を読み返し復習する 【担当】 山本、鈴鹿
8	筆記試験・授業フィードバック 【授業方法】 評価試験（60分）・授業フィードバック（30分） 【予習】 30分：学習してきた理論について再復習 【復習】 20分：定期試験の内容・授業フィードバックの振り返り 【担当】 山本、鈴鹿

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎－生活習慣病を中心に（第2版）。医歯薬出版，2024．

参考文献

松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編－生活習慣病の予防と治療のために（第2版）。医歯薬出版，2024．
宗像恒次：最新 行動科学からみた健康と病気．メヂカルフレンド社,1996.
日本健康教育士養成機構：新しい健康教育 理論と事例から学ぶ健康増進への道．保健同人社,2011.
Karen Glanz,et al.:Health Behavior and Health Education ; Theory, Research and Practice, 3rd edition. 2002, 曽根智史他訳：健康行動と健康教育 理論，研究，実践．医学書院,2006.
Bandura, A.：Self-efficacy in changing societies．1995，本明寛，野口京子監訳：激動社会の中の自己効力．金子書房，1997．

評価方法

評価試験（60％）、課題＜行動変容計画＞（35％）、授業への取り組み（5％）
※評価試験は第8回で実施する。
※課題は、第5回で提示する、提出は第7回後とする。評価方法は、ルーブリック評価＋ピア評価で行う。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）。

教員等の実務経験

産業保健師および、糖尿病内科病棟にて看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、健康や行動変容に対する支援についての講義をします。

メッセージ

皆さんは普段、「健康」について意識することはありますか？看護職を目指す人にとって、「健康」の概念の理解は欠かすことができません。この科目では、「健康」について深く考え、またよりよい健康を目指すための支援について学びます。健康管理には行動をどう変容させるのが重要で、そのためにも人の行動の特徴を捉えることが必要です。
第6～7回では、前半で学んだ諸理論を活用し、自身、もしくは身近な人の健康の課題を明確化した後、その対象がより健康になるための行動変容計画を作成していきますので、主体的な学習を期待します。

人体と薬物

更新日：2024/02/28 10:44:33

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	530600	授業コード	53060
担当教員	柳原 延章, 高橋 浩二郎						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

薬物の体内動態と薬理作用について学習し、看護に必要な臨床薬理学の基礎知識を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	個々の薬物、あるいは一群の薬物について生体のどの部位に作用するのか説明出来る。
2	薬物の薬理作用およびその作用機序を説明出来る。
3	薬物の臨床応用について説明出来る。
4	薬物の使用にともなう副作用の症状とその対策について説明出来る。

授業計画

1	末梢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：自律神経系と薬の作用・交感神経作用薬（1） 【授業方法】講義 【予習】50分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：交感神経作用薬について復習 【担当】柳原
2	末梢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：副交感神経作用薬・筋弛緩薬局所麻酔薬（2） 【授業方法】講義 【予習】50分：自律神経作用薬について予習 【復習】30分：副交感神経作用薬の復習 【担当】柳原
3	中枢神経系に作用する薬物(Ⅰ)：全身麻酔薬・催眠薬・抗不安薬・麻薬性鎮痛薬（3） 【授業方法】講義 【予習】50分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：麻酔薬、抗不安薬、麻薬性鎮痛薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】柳原
4	中枢神経系に作用する薬物(Ⅱ)：抗精神病薬・抗うつ薬・パーキンソン症候群治療薬・抗てんかん薬（4） 【授業方法】講義 【予習】50分：中枢神経系に作用する薬物の予習 【復習】30分：抗精神病薬・抗うつ薬・抗てんかん薬等の中枢神経作用薬の復習 【担当】柳原
5	抗アレルギー薬・抗炎症薬（5） 【授業方法】講義 【予習】50分：抗アレルギー薬・抗炎症薬の予習 【復習】30分：オータコイドによるアレルギーや炎症反応に対する治療薬の復習 【担当】高橋（浩）
6	呼吸器・消化器・生殖器官系に作用する薬物（6） 【授業方法】講義 【予習】50分：呼吸器・消化器・生殖器官系に作用する薬物の予習 【復習】30分：臓器別治療薬の復習 【担当】高橋（浩）
7	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅰ)：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬（7） 【授業方法】講義 【予習】50分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗高血圧薬・狭心症治療薬・うっ血性心不全治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】柳原

8	心臓・血管系に作用する薬物(Ⅱ)：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬・血液に作用する薬物（８） 【授業方法】講義 【予習】50分：循環器系薬物の予習 【復習】30分：抗不整脈薬・利尿薬・高脂血症治療薬等の循環器系薬理学の復習 【担当】柳原
9	物質代謝に作用する薬物（９） 【授業方法】講義 【予習】50分：物質代謝に作用する薬物の予習 【復習】30分：ホルモン等の物質代謝に影響する薬物の復習 【担当】高橋（浩）
10	薬理学総論（Ⅰ）（１０） 【授業方法】講義 【予習】50分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅰ)の復習 【担当】高橋（浩）
11	薬理学総論（Ⅱ）（１１） 【授業方法】講義 【予習】50分：薬理学総論の予習 【復習】30分：臨床薬理学の基礎(Ⅱ)の復習 【担当】高橋（浩）
12	抗感染症（１２） 【授業方法】講義 【予習】50分：抗感染症の予習 【復習】30分：抗生物質等の感染症治療薬の復習 【担当】柳原
13	抗がん剤・免疫治療薬（１３） 【授業方法】講義 【予習】50分：抗がん剤・免疫治療薬の予習 【復習】30分：癌や免疫治療薬の復習 【担当】高橋（浩）
14	薬害問題（１４） 【授業方法】講義 学生による自主学習の発表 【予習】50分：過去の薬害事件についての自主学習 【復習】30分：過去の薬害の復習 【担当】柳原
15	評価試験、まとめとフィードバック（１５） 【授業方法】講義 【予習】50分：これまでの全般的な講義の予習 【復習】30分：薬物治療学全般の復習 【担当】柳原

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

吉岡充弘 他：系統看護学講座 専門基礎分野 薬理学 疾病のなりたちと回復の促進 ③．医学書院，2021

参考文献

加藤隆一 他：NEW薬理学．南江堂，2017．

評価方法

評価（筆記）試験(90 %)、授業態度や授業参加度（10 %）。

試験後に、ポータルサイトを使ってフィードバックします。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

教員等の実務経験

医学部薬理学の科目担当元教授(柳原) や大学病院元薬剤部長（高橋）の実務経験を生かして、病態生理学に基づいた薬物治療の基礎をわかりやすく講義します。

メッセージ

臨床の現場で働く看護師にとって薬物の薬理作用や副作用の知識は、とても大切です。その薬物の基礎知識をわかりやすく解説し、さらに過去の国家試験問題を講義の中に取り入れた授業を行います。

疾病と治療Ⅱ

更新日：2024/02/01 18:02:59

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	530800	授業コード	53080
担当教員	石山 さゆり, 福田 陽子, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子, 井元 博文, 徳本 正憲, 中井 健太郎, 清島 圭二郎, 井上 靖, 谷本 一樹						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

慢性的な経過をたどる疾病とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	本科目で学習する各器官系統別の疾患について説明できる。
2	本科目で学習する各器官系統別疾患の治療法について説明できる。

授業計画

1	内分泌疾患について理解する：内分泌機能の概論と典型的な異常 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの内分泌・代謝疾患の構造と機能、病状とその病態生理の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえテキストの重要な個所を暗記する。 【担当】佐々木伸浩（福岡赤十字病院）
2	糖尿病の発症機序と治療方針 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの糖尿病の発症機序、診断、治療の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえテキストの重要な個所を暗記する。 【担当】佐々木伸浩（福岡赤十字病院）
3	内分泌疾患の機能亢進と機能低下症を中心に各内分泌器官別に理解する 【授業方法】講義 【予習】50分：内分泌系の検査、内分泌系疾患の特に機能亢進、機能低下症についてテキストを熟読する。 【復習】30分：講義内容を踏まえ要点を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
4	甲状腺、副腎について 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの甲状腺、副腎の疾患に関する箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】井元博文（福岡赤十字病院）
5	腎疾患について理解する：腎臓の機能 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの腎の構造と機能を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】徳本正憲（福岡赤十字病院）
6	腎疾患について理解する：急性腎炎、慢性腎炎 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの急性腎炎、慢性腎炎に関する箇所（症状、病態生理、検査、治療）を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】徳本正憲（福岡赤十字病院）
7	腎疾患について理解する：急性腎不全の病態と治療 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの急性腎不全の箇所（症状とその病態生理、検査と治療、疾患）を熟読する。 【復習】30分：講義内容の要点を暗記する。 【担当】中井健太郎（福岡赤十字病院）
8	腎疾患について理解する：慢性腎不全の病態と治療（透析、移植） 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの慢性腎不全の箇所（原因疾患、症状、病態生理、検査と治療）および透析療法、腎移植について熟読する。 【復習】30分：原因疾患も含め、要点をまとめ暗記する。 【担当】中井健太郎（福岡赤十字病院）

9	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：①尿路・生殖系の機能 【授業方法】講義 【予習】50分：泌尿器の構造と機能の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義の要点を暗記する。 【担当】清島圭二郎（福岡赤十字病院）
10	泌尿器・生殖器系疾患について理解する：②尿路の閉塞性疾患③尿路の炎症、男性の生殖器疾患 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの尿路の閉塞性疾患、尿路の炎症、男性の生殖器疾患の疾患、症状、病態生理、検査、治療の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義の要点を暗記する。 【担当】清島圭二郎（福岡赤十字病院）
11	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：全身性エリテマトーデス、関節リウマチ 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの膠原病、自己免疫疾患とその機序、症状とその病態生理、疾患の箇所を熟読する。 【復習】30分：講義内容を暗記する。 【担当】井上靖（福岡赤十字病院）
12	代表的な自己免疫性疾患の特徴と診断方法について理解する：シェーグレン症候群、ベーチェット病 他 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストのシェーグレン症候群、ベーチェット病（症状とその病態生理）の箇所を熟読する。 【復習】30分：要点を暗記する。 【担当】井上靖（福岡赤十字病院）
13	血液リンパ系疾患について以下の事項を理解する：① 造血器疾患概論と検査② 貧血の分類と特徴 【授業方法】講義 【予習】50分：テキストの血液の生理と造血の仕組み、検査・診断と症候・病態生理、疾患と治療の箇所を熟読する。 【復習】30分：要点を暗記する。 【担当】谷本一樹（福岡赤十字病院）
14	血液リンパ系疾患について以下の事項を理解する：③ 白血球系の異常（白血病）とその他の骨髄増殖疾患。悪性リンパ腫と脾・網内系疾患④ 出血性および血栓性疾患、輸血・骨髄移植 【授業方法】講義 【予習】50分：概要に沿ってテキストの該当箇所を熟読する。 【復習】30分：講義の要点を暗記する。 【担当】谷本一樹（福岡赤十字病院）
15	評価試験／フィードバック 【授業方法】講義 【予習】40分：講義内容を復習してくる。 【復習】40分：講義の要点を暗記する。 【担当】石山さゆり・福田陽子・西山陽子・鈴鹿綾子

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

繪本正憲，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護8 腎/泌尿器/内分泌・代謝．メディカ出版，2020．
蒔隆文，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護4 血液/アレルギー・膠原病/感染症．メディカ出版，2020．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) ． 2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
山内豊明，他：ナースিং・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進1 病態生理学（第7版）．メディカ出版，2023．
土居健太郎，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進2 病態生理学（第3版）．医学書院，2023．
大橋健一，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進1 病理学（第6版）．医学書院，2021．

評価方法

評価試験（100％）
※配点の内訳は授業の回数によって配分します。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。
講師は2024年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

疾病と治療Ⅲ

更新日：2024/02/06 15:04:53

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	530900	授業コード	53090
担当教員	木村 涼平, 姫野 稔子, 梶原 弘平, 鎌田 ゆき, 池村 聡, 吉岡 努, 継 仁, 北山 次郎, 竹下 弘道, 山口 宗男, 高岩 一貴, 濱崎 洋一 郎						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

加齢に伴う変化に関わる疾病とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	本科目で学習する各器官系統別の疾患について説明できる。
2	本科目で学習する各器官系統別疾患の治療法について説明できる。

授業計画

1	運動器系疾病について理解する：①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
2	運動器系疾病について理解する：②骨折・脱臼，変形性関節症 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
3	運動器系疾病について理解する：③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
4	脳神経系疾病について理解する：脳・脳神経の解剖、脳神経疾患の主要症候、脳卒中（脳出血・くも膜下出血） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】吉岡努（福岡赤十字病院）
5	脳神経系疾病について理解する：頭部外傷、脳腫瘍 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】継 仁（福岡赤十字病院）
6	脳神経疾病について理解する④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能性疾患（癲癇），脳卒中（脳梗塞） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
7	脳神経系疾病について理解する⑤認知症，感染性疾患，筋疾患，末梢神経障害 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
8	皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】竹下弘道（福岡赤十字病院）

9	女性生殖系疾病について理解する：女性生殖器の診察・検査，侵襲的治療，女性ライフサイクル（AYA世代，更年期）に伴う疾病，不妊症 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城幸子（福岡赤十字病院）
10	妊娠合併症について理解する：妊娠前疾患（心疾患，糖尿病，甲状腺疾患，精神疾患，腎・泌尿器疾患），妊娠中に発症する疾患（妊娠糖尿病，妊娠悪阻，妊娠高血圧症候群） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】遠城幸子（福岡赤十字病院）
11	眼科系疾病について理解する：①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
12	眼科系疾病について理解する②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
13	耳鼻咽喉系疾病について理解する：①耳鼻咽喉の主要症候（耳/難聴・聴覚障害・めまい，鼻/鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭/構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
14	耳鼻咽喉系疾病について理解する②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分：当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
15	まとめ（フィードバック）と評価試験 運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について整理する。 【担当】木村涼平・姫野穂子・梶原弘平・鎌田ゆき

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

萩野浩，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護7 運動器．メディカ出版，2019．
永廣信治，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護5 脳・神経．メディカ出版，2019．
永井由巳，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護6 眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚．メディカ出版，2019．
苛原稔，他：ナースিং・グラフィカ EX 疾患と看護9 女性生殖器．メディカ出版，2019．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（第11版）．医学書院，2022．
山内豊明，他：ナースিং・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進1 病態生理学（第7版）．メディカ出版，2023．
土居健太郎，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学（第3版）．医学書院，2023．
大橋健一，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進1 病理学（第6版）．医学書院，2021．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) ．2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

評価方法

小テスト（評価試験）：30％
（試験範囲と評価割合／第1回～第3回：5％ 第4回～第7回：10％ 第8回～第10回：5％ 第11回～第14回：10％）
※小テストの実施や受験方法等については、moodleで周知する。

評価試験：70％
（第15回講義時に第1回～第14回で学習した内容に関する評価試験を実施する。）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）

教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義する。

メッセージ

講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。

講師は2024年3月現在の予定で4月以降変更になる場合がある。

疾病と治療Ⅳ

更新日：2024/01/31 08:49:28

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	531000	授業コード	53100
担当教員	高瀬 理恵子, 太田 純代, 長友 太郎, 山口 賢一郎, 黒木 理恵, 波多江 健, 佐藤 武, 宮田 正和						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

小児特有の疾病とその治療について学習する。精神疾患とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	小児科系疾病について説明できる。
2	小児科系疾病の治療法について説明できる。
3	精神科系疾病について説明できる。
4	精神科系疾病の治療法について説明できる。

授業計画

1	新生児疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第1章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】長友太郎（福岡赤十字病院）
2	先天性心疾患、後天性心疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第9章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】山口賢一郎（福岡赤十字病院）
3	感染症疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第7章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】黒木理恵（福岡赤十字病院）
4	アレルギー疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第5章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】黒木理恵（福岡赤十字病院）
5	先天異常（染色体異常を含む） 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第2章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】長友太郎（福岡赤十字病院）
6	腎疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第11章） 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】波多江健（福岡赤十字病院）
7	神経疾患・小児救急 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第14章、第20章 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】米元耕輔（福岡赤十字病院）

8	血液疾患・腫瘍性疾患 【授業方法】講義 【予習】30分：小児の疾患と看護 主に第12章、第13章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】山口賢一郎（福岡赤十字病院）
9	統合失調症 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第10章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】佐藤武（九州大学伊都診療所）
10	気分(感情)障害 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第11章・第12章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】佐藤武（九州大学伊都診療所）
11	神経症性障害、ストレス関連障害、身体症状症および関連症群 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第13章・第14章・第15章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院／本学学校医）
12	発達障害 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第9章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】宮田正和（シエスタ荒木医院／本学学校医）
13	人格障害、摂食障害、物質関連障害、てんかん 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第21章・第16章・第18章・第20章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】佐藤武（九州大学伊都診療所）
14	脳の機能と薬物療法 【授業方法】講義 【予習】30分：標準精神医学 第2章・第6章に目を通しておく 【復習】30分：当該単元の授業内容を理解できるまで復習する 【担当】佐藤武（九州大学伊都診療所）
15	評価試験（60分）・まとめ（フィードバック） 小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について振り返り、内容を整理する。 【授業方法】講義 【予習】30分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】30分：小児科領域の疾患、精神科領域の疾患について整理する。 【担当】太田純代・高瀬理恵子

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

中村友彦，他：ナーシング・グラフィカ 小児看護学3 小児の疾患と看護（第3版）．メディカ出版，2023．
水野雅文，編他：標準精神医学（第9版）．医学書院，2024．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（第11版）．医学書院，2022．
山内豊明，他：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進1 病態生理学（第7版）．メディカ出版，2023．
土居健太郎，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学（第3版）．医学書院，2023．
大橋健一，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進1 病理学（第6版）．医学書院，2021．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body（11th ed.）．2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

評価方法

評価試験（100%）
※試験は第15講で行います。配点の内訳は、コマ数によって配分します。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性があります。
講師は2024年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。
授業終了後は必ず学修課題に記載された学修方法で復習を深めてください。

疾病と治療Ⅴ

更新日：2024/02/01 09:26:20

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	531100	授業コード	53110
担当教員	千原 明美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

学習した知識と臨床で学んだ実際に関連させながら、様々な疾病の治療を理解する能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	人体の構造と機能で学修した、解剖・生理学の知識を理解した上で疾病の病態・症状の関連を述べることができる。
2	疾病の検査・診断・治療を理解し、科学的根拠に基づいた看護展開に必要なアセスメントを述べることができる。

授業計画

1	A.運動器系・感覚器系の構造・機能及び疾病（骨・関節疾患、筋・神経接合部疾患、視覚・聴覚障害について） 【授業方法】講義 【予習】50分：運動器系、感覚器の構造・機能について教科書を読んで、骨折（各世代に多い骨折）、緑内障・白内障の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
2	B.脳神経系の構造・機能及び疾病（中枢神経系疾患、末梢神経性疾患について） 【授業方法】講義 【予習】50分：脳・神経の構造・機能について教科書を読んで、脳出血・脳梗塞、パーキンソン病の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
3	C.循環器系の構造・機能及び疾病（心疾患、血管系疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：循環器の構造・機能について教科書を読んで、心不全・虚血性心疾患の病態・検査・治療方法を調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
4	D.呼吸器系の構造・機能及び疾病（炎症性疾患、慢性閉塞性肺疾患・肺腫瘍について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：呼吸器の構造・機能について教科書を読んで、肺炎・COPD・肺がんの病態・検査・治療方法を調べて説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
5	E.内分泌系の構造・機能及び疾病（内分泌系疾患、代謝異常の疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：内分泌系の構造・機能について教科書で読んで、甲状腺疾患、糖尿病、脂質異常症についての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
6	F.消化器系の構造・機能及び疾病（消化器疾患について） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：消化器系の構造・機能について教科書を読んで、上部・下部消化管悪性腫瘍、肝臓・胆嚢・膵臓の悪性腫瘍の病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
7	G.腎・泌尿器系・生殖器系の構造・機能および疾病（腎・尿路系疾患、女性生殖器疾患、乳腺疾患、生殖機能障害、） 【授業方法】講義（GW・発表） 【予習】50分：腎・泌尿器、生殖器系の構造・機能について教科書を読んで、慢性腎臓病、尿路系悪性腫瘍、子宮がん、乳がん、前立腺肥大がんについての病態・検査・治療法について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原

8	F. 血液系・免疫系の構造・機能及び疾病（血液・造血管疾患、自己免疫疾患、アレルギー疾患）について、1～8回講義課題のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】50分：血液系・免疫系の構造・機能について教科書を読んで、貧血、白血病、SLE、アレルギー性疾患について調べ、説明できるようにしておく。 【復習】30分：講義で学んだ疾病の成り立ち・回復の促進について自分で説明できるようにしておく。 【担当】千原
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

人体の構造と機能、疾病と治療、治療検査と看護などの既習科目のテキスト・資料

参考文献

浅野喜延/吉山直樹 編集：看護のための臨床病態学 改定4版，南山堂，2020.

福井次矢他 総編集 今日の診療指針2024年版，医学書院，2024.

坂井建雄/岡田隆夫 著：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学，第10版，医学書院，2018.

医療情報科学研究所 編：「病気がみえる」シリーズ，Vol.消化器，Vol. 2.循環器，Vol.3.糖尿病・代謝・内分泌，Vol.4.呼吸器，Vol.5.血液，Vol.6.免疫・膠原病・感染症，Vol.7.脳神経，Vol.8.腎・泌尿器，Vol.9婦人科・乳腺外科，Vol.11.運動器・整形外科，Vol.12.眼科，Vol.13.耳鼻咽喉科，Vol.14.皮膚科， 各第1版から5版，メディックメディア，2013～2022年.

評価方法

評価試験（GWでの課題50％，毎回の小テスト30％、第8回確認テスト20％）

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

MoodleやMicrosoft Formsを活用して課題を出したり、フィードバックを行います。

教員等の実務経験

様々な疾病の急性期・慢性期の検査・治療を受ける患者の看護の実務経験が有る看護教員が担当します。

メッセージ

看護の専門職として、疾病に関する知識は科学的根拠に基づくものが現場では非常に重要です。

最終学年で、これまで学んだ臨床でもよくみられる疾病の病態・検査・治療についての知識の再確認を行い、これからの臨床での看護展開に活かすことができるように苦手意識のある人も得意な人も一緒に学びましょう。

統計学

更新日：2024/01/29 14:16:08

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	531200	授業コード	5312A
担当教員	中山 晃志						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

自然現象や社会現象を統計学的に観察・分析するための基本的な概念と方法を学習し、マクロ的に把握する視点を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

別表1：保健統計学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	データの種類を把握し、基本統計量を求めることができる。
2	データ間の関連について記述方法を理解し、図表や統計値を用いて適切に表現することができる。
3	統計検定の流れについて意味を理解したうえで、正しい検定結果の解釈ができる。
4	統計検定の目的を踏まえて、適切な検定手法を選ぶことができる。

授業計画

1	母集団と標本（記述統計と推測統計），データの種類 【授業方法】講義，演習 【復習】30分：統計学の概要とデータの種類について理解する。
2	1 変数データの記述 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：集計データの記述方法（図表）について理解する。
3	1 変数データの記述－代表値 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：データの特徴を表す「代表値」について理解する。
4	1 変数データの記述－散布度 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：データの特徴を表す「散布度」について理解する。
5	2 変数データの記述－量×量－ 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：2つの量的データを同時に記述したり，関連性を調べる方法を理解する。
6	2 変数データの記述－質×質 他－ 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：2つの質的データを同時に記述したり，関連性を調べる方法を理解する。
7	記述統計のまとめ 【授業方法】演習〔評価試験〕 【予習】30分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する。 【復習】30分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
8	フィードバック，確率・確率分布 【授業方法】講義，演習 【復習】30分：推測統計を考えるうえで必要となる確率・確率分布について理解する。
9	推定論 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：推定論の概要を理解する。
10	検定の流れ 【授業方法】講義，演習 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：検定論の基本となる「検定の流れ」について理解し，正しい結果の解釈ができるようにする。

11	検定手法各論(1) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。
12	検定手法各論(2) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。
13	検定手法各論(3) 【授業方法】講義，演習（討議） 【予習】20分：前回講義を振り返っておく。 【復習】30分：講義で出てきた検定手法がどのような時に使用できるか理解する。
14	推測統計のまとめ 【授業方法】演習（討議） 【予習】30分：これまでの内容で理解できていないところを重点的に学修する。 【復習】30分：講義を受けて理解できていなかったところを振り返る。
15	フィードバック 【授業方法】講義 【予習】20分：試験内容について振り返っておく。 【復習】30分：試験の結果から弱点を確認し，振り返りをおこなう。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

白戸亮吉，他：ていねいな保健統計学（第2版）．羊土社，2022．

参考文献

稲葉由之：プレステップ統計学Ⅰ：記述統計学．弘文堂，2012．

評価方法

第7回に行う評価試験 50%（筆記試験）

授業時間外に実施する評価試験 50%（筆記試験）は第14回と第15回の間に時間を設けて実施

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

毎回の講義内容が連続しています。講義で出てきた用語や流れなどはしっかり復習し，理解するようにしてください。

疫学Ⅰ

更新日：2024/02/28 10:47:45

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	531300	授業コード	53130
担当教員	吉田 大悟, 石田 有紀						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：疫学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疫学指標の意義を理解し、使いこなすことができる。
2	相関関係と因果関係を区別し、因果関係の立証過程を洞察できる。
3	横断研究・症例対照研究・コホート研究などの方法を課題にあわせて提案できる。
4	介入研究の方法を課題にあわせて提案できる。
5	スクリーニングの考え方を理解できる。
6	疫学的視点で、看護領域での課題を場面にあわせて指摘できる。

授業計画

1	疫学の概念：疫学の定義、疫学の三要素、ジョン・スノー、高木兼寛、ナイチンゲール 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の1章（疫学の概念）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
2	集団の健康状態の把握：有病率、罹患率、累積罹患率、死亡率、致命率、発症率、がん登録 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）と5章（疾病登録）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
3	疾患のリスクに関する指標：相対危険度、寄与危険割合、集団寄与危険割合、オッズ比 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の2章（集団の健康状態の把握）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
4	因果関係と相関関係：原因と結果、相関と因果の違い、相関と交絡、多要因原因説、多要因モデル 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
5	誤差と偏り：偶然誤差と系統誤差、信頼性と妥当性、選択の偏り、情報の偏り 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
6	疫学的研究手法：記述研究、生物学的研究の手法と長所・短所 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】吉田
7	疫学的研究手法：横断研究の手法と長所・短所 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田

8	疫学的研究手法：症例対照研究の手法と長所・短所、マッチング、オッズ比 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習 【担当】石田
9	疫学的研究手法：コホート研究の手法と長所・短所、追跡調査、罹患率、人年法 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
10	疫学的研究手法：コホート研究の実例紹介、疫学研究の進め方、疫学研究の体制と実務について 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）と6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
11	疫学的研究手法：介入研究の手法と長所・短所、介入群と対照群、二重盲検法、インフォームド・コンセント／アセント 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
12	スクリーニング検査：カットオフポイント、感度、特異度、陽性反応的中率、陰性反応的中率、ROC曲線の考え方 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：授業内容を復習する。 【担当】石田
13	おもな疾患の疫学：生活習慣と生活習慣病、母子保健、学校保健、産業保健、精神保健、感染症の疫学 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の6章（おもな疾患の疫学）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】石田
14	疫学と公衆衛生看護：地域診断、健康政策、PDCAサイクル、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学と公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】石田
15	評価試験・疫学的な考え方のまとめ、フィードバック 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】20分：過去14回の講義資料に目を通す。 【復習】40分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】石田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学 第3版．医学書院，2015．

参考文献

- ・厚生労働統計協会編：厚生指針 増刊,国民衛生の動向2022/2023．厚生労働統計協会，2022．
- ・中村好一著：基礎から学ぶ楽しい疫学 第4版．医学書院，2020．

評価方法

各回の提出物（演習シートまたはミニテスト）40％、授業参加度20％、評価試験40％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

メッセージ

疫学は単に研究について学ぶ学問ではなく、看護師や保健師の業務でも必須な学問です。疫学研究で得られた知見を科学的根拠（エビデンス）と呼び、臨床ではエビデンスに基づいた看護実践が求められます。また疫学を学ぶと物事を論理的に考え、数値を正しく理解できることにつながりますので、本講義で疫学の基礎をしっかりと学んでおきましょう。

疫学Ⅱ

更新日：2024/02/26 18:21:14

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	531400	授業コード	53140
担当教員	吉田 大悟						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

疫学Ⅰの基本的な概念と方法を踏まえ、保健師が対象とする健康問題の原因追究のアプローチを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：疫学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	疫学 の概念と方法を多様な課題に適用して理解できる。
2	疫学 研究の成果を批判的に吟味でき、成果を地域や集団に応用して考えられる。

授業計画

1	保健統計のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：該当箇所について教科書や参考書等を用いて勉強する。 【復習】30分：該当箇所を復習する。 【担当】吉田
2	疫学 研究方法のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学 的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：自分で方法を使う場合の条件や予想される結果を考える。 【担当】吉田
3	相関関係と因果関係のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学 的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：相関関係と因果関係の実例を考える。 【担当】吉田
4	疫学 指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の3章（疫学 的研究方法）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を再度確認する。 【担当】吉田
5	スクリーニングの考え方と数値指標のまとめ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の4章（疾病の予防とスクリーニング）に目を通す。 【復習】30分：感度、特異度、偽陽性率、偽陰性率などの具体例を考える。 【担当】吉田
6	標準化の考え方と保健活動 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：年齢調整死亡率、標準化死亡比の考え方をチェックする。 【復習】30分：関心のある市町につき、自分で計算してみる。 【担当】吉田
7	疫学 と公衆衛生看護：地域診断、健康政策、PDCAサイクル、ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチ 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：教科書の7章（疫学 と公衆衛生看護）に目を通す。 【復習】30分：講義を受けた箇所を復習する。 【担当】吉田
8	看護実践と疫学、フィードバック 【授業方法】講義・演習（PBL） 【予習】30分：全7回の講義資料に目を通す。 【復習】30分：直近の実習で経験した事例を疫学 的エビデンスの視点で振り返る。 【担当】吉田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

牧本清子 他：標準保健師講座・別巻 2 疫学・保健統計学 第3版．医学書院，2015．

参考文献

厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊,国民衛生の動向2022/2023．厚生労働統計協会，2022．

評価方法

各回提出物40％、授業参加度20％、評価試験（レポート）40％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

国内外で、疫学の手法を用いた調査・研究の経験がある教員が、その経験を活かして講義や演習を行います。

メッセージ

疫学は保健師が地域で保健活動するときの必須の方法論です。保健師国家試験に合格し、保健師として働くためにも、この方法論をしっかりと身につけてください。

保健統計学

更新日：2024/01/23 10:14:16

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	531500	授業コード	53150
担当教員	中山 晃志						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

公衆衛生の課題解決に向かう保健統計の考え方を理解し、それらの概念と方法を様々な集団に応用し、看護職者に必要なエビデンスに基づいた集団へのアプローチを習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

別表1：保健統計学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	人口に関する統計および指標について説明することができる。
2	出生や死亡の傾向および特徴について説明することができる。
3	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査について特徴を説明することができる。
4	人口動態調査や国民生活基礎調査、患者調査など様々な保健統計調査で得られる保健指標について説明することができる。

授業計画

1	保健統計の概要と用語、統計資料（データ、図表）の見方 【授業内容】保健統計の概要と統計資料の見方について 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】20分：前期「統計学」で学んだ図表に関して見直しておく 【復習】20分：用語の意味や使い方について理解する
2	人口静態統計 【授業内容】国勢調査や人口推計について 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：人口に関わる統計の種類や人口構成について用語、値、傾向などを理解する
3	人口動態統計と生命表 【授業内容】人口動態調査と生命表について 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：人口動態（死亡、出生、死産、婚姻、離婚）および生命表について用語、値、傾向などを理解する
4	主な疾患の死亡統計 【授業内容】主要疾患による死因の統計について 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT支援） 【復習】30分：年齢階級別の死因順位や疾患による死亡の特徴や傾向などについて理解する
5	基幹統計 【授業内容】医療福祉に関連する基幹統計について 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：国民生活基礎調査、患者調査、医療施設調査などの基幹統計について特徴や動向などを理解する
6	基礎的な統計調査 他 【授業内容】基幹統計以外の医療福祉に関連する統計調査について 【授業方法】講義・演習（調査学修／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：国民健康・栄養調査や国民医療費などについて特徴や動向などを理解する
7	保健統計調査のまとめ 【授業内容】これまでの統計調査に関して提示された項目について調べ、まとめる 【授業方法】演習（調査学修、GW） 【予習】30分：様々な統計調査の概要や保健指標について整理しておく
8	フィードバック、医療現場における情報システム 【授業内容】評価試験の振り返りと医療現場における情報システムについて 【授業方法】講義 【復習】30分：医療情報システムの概要について理解する

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

白戸亮吉，他：ていねいな保健統計学（第2版）．羊土社，2022．
厚生労働統計協会：厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2024/2025．厚生労働統計協会，2024．

参考文献

福富和夫，他：保健統計・疫学（改訂7版）．南山堂，2023．

評価方法

第1回から第7回に行う評価試験 20%（小テスト 6回）
授業時間外に実施する評価試験 80%（筆記試験）は第7回と第8回の間に時間を設けて実施

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレット端末を活用した授業を行う）
ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

教員等の実務経験

メッセージ

講義内で出てきた様々な調査の特徴や保健指標を自分で表にまとめるなどして，重要なポイントを整理するよう復習をしてください。

食生活論

更新日：2023/12/21 10:19:09

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	531800	授業コード	53180
担当教員	西田 真紀子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

栄養学の知識を基に、健康を保持・増進するための食生活の実践について学ぶ。
さらに、疾患別栄養食事療法を理解し、医療における栄養ケアについて学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】 集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

到達目標

1	健康を保持・増進し、疾病の予防に繋がる食生活とはどのような事かを事例と共に理解することができる。
2	調理実習を経験することにより食品の衛生・安全の管理法を理解することができる。
3	疾患別栄養食事療法の実践について理解することができる。

授業計画

1	健康の保持・増進のための食生活 ライフステージ別栄養と常食 【授業方法】 講義 【予習】 80分：テキスト①の4章、5章、8章を熟読し、栄養学で学んだことを復習しておく。 【担当】 西田
2	健康の保持・増進のための食生活 大学生の食生活の現状を知る 【授業方法】 講義・演習（GW） 【予習】 80分：①自分の1日の食事摂取量の現状についてまとめる（提出物1）②1日に必要な食事量について厚生労働省の情報（食事摂取基準）をもとに調べる 【担当】 西田
3	健康の保持・増進のための食生活 常食のメニューについて考える 【授業方法】 講義・演習（GW） 【予習】 80分：授業内で討議した大学生の食生活の現状の問題点を解決するような栄養バランスを考えた常食の献立を作成する（提出物2） 【担当】 西田
4	調理実習1 健康の保持・増進のための食事（調理実習の手目の献立作成、準備） 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 80分：①栄養価計算練習（提出物3）②3回目の授業内容を踏まえ、昼食の献立を考えてくる 【担当】 西田
5	調理実習1 健康の保持・増進のための食事（実習と試食） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 20分：調理実習に向け、食品の衛生・安全を理解する 【復習】 60分：調理実習後の考察・まとめ、栄養価計算（提出物4） 【担当】 西田
6	調理実習2 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法（糖尿病交換表を用いて） 【授業方法】 講義・演習（GW） 【復習】 80分：①糖尿病交換表についての理解を深める②次回調理実習の献立と栄養価計算 【担当】 西田
7	調理実習2 循環器疾患・栄養代謝性疾患患者の食事療法（実習と試食） 【授業方法】 演習（実技） 【予習・復習】 80分：治療食献立の調理実習と試食を通して調理法や献立を学習し、他の疾患の食事療法について応用出来るように理解する。 【担当】 西田
8	病人食の分類と形態・総括（献立作成等のフィードバック） 【授業方法】 講義 【復習】 80分：レポート課題作成 【担当】 西田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- ①中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能③栄養学 第13版．医学書院，2020．
②新しい食生活を考える会：八訂準拠ビジュアル食品成分表：食品解説つき．大修館書店，2021．
③日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版．文光堂，2013．

参考文献

なし

評価方法

最終課題50%、授業参加度（授業内課題提出を含む）50%

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

この授業は栄養学の講義がベースになっています。授業開始前に振り返っておいてください。提出物、グループワーク、調理実習の内容が評価に直結します。積極的に参加してください。

英語Ⅲ

更新日：2024/02/26 11:11:42

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	540300	授業コード	54030
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

国際活動や留学に必要な英語によるコミュニケーション能力を身につけるため、英語の「読む」「書く」「聞く」「話す」力を総合的に高める。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	医療・科学的な英文記事・エッセイを読み、内容を理解し、英語で要約することができる。
2	英語の授業を聞き、内容を聞き取ることができる。
3	英語でエッセイを書くことができる。
4	英語でプレゼンテーションができ、プレゼンの内容について質疑応答ができる。
5	異なる文化的背景を持つ人と英語で討議ができる。
6	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	Unit 1 Country Music/ Country Strong 【授業方法】 演習（GW、発表）、オリエンテーション 【予習】 30分：テキストのChapter 1(p.1-p.4)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
2	Unit 2 The Grimm Fairy Tales/ Tangled 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 2(p.5-p.8)のポイントを確認 し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
3	Unit 3 Religious Faith/ Life of Pi 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 3(p.9-p.12)のポイントを確認 し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
4	Unit 4 Automaton/Hugo 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 4(p.13-p.16)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
5	Unit 5 Environmental Problem/No Impact Man 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 5(p.17-p.20)のポイントを確認 し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
6	Unit 6 Asian Disciple to Reach Maturity/The Karate Kid 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 6(p.21-p.24)のポイントを確認 し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。

7	Unit 7 Bioengineering and Society/The Amazing Spider-Man 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 7(p.25-p.28)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 7の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
8	Unit 8 Complex and Pride/The King's Speech 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 8(p.29-p.32)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
9	Unit 9 Major League Baseball/Moneyball 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 9(p.33-p.36)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：Cテキストのchapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
10	Unit 10 Business/The Social Network 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 10(p.37-p.40)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
11	Unit 11 Psychological Test Subjects/The Experiment 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 11(p.41-p.44)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
12	Unit 12 Aroma/Spy Kids 4D:All the Time in the world 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 12(p.45-p.48)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
13	Unit 13 Dangerous Food Supply/Food, Inc. 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 13(p.49-p.52)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
14	Unit 14 Wolf & Witch-hunting/Red Riding Hood 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキストのChapter 14(p.53-p.56)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 50分：テキストのChapter 14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。
15	評価試験とフィードバック 【授業方法】 演習（GW、発表）、フィードバック テキストの"New Moments in Science"についての授業のフィードバック 【予習】 30分：レポート作成、与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】 50分：についての授業のフィードバック

指導教員

高瀬 文広

先行履修要件科目

なし

テキスト

高瀬文広 他：映画で学ぶ英語を楽しむ English Delight of Movie English and TOEIC. ミネルヴァ書房, 2015.

参考文献

Langan・John：“College Writing Skills”. Fifth Edition. McGraw-Hill, 2000.
 吉田友子：アカデミックライティング入門—英語論文作成法．第2版．慶應義塾大学出版会,2015.
 鳥飼玖美子：話すための英語力．講談社,2017.
 ロッシェル・カップ、大野和基：英語の品格．集英社,2017.
 植田一三,妻鳥千鶴子：英語で意見を論理的に述べる—技術とトレーニング．第14版．ベレ出版,2004.

評価方法

授業への参加度 30%、クラスでの活動評価（発表）20%、e-learningの課題達成度と課題参加 20%、評価試験 30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：インターネットを使用して、アルクエデュケーションのe-learningを自主学修支援として行う。e-learningのプログラムの中に設定されたTOEICの試験、実力テスト、学修課題等を活用する。

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト500点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて500点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト500点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで500点を得点できるように努力してください。

英語Ⅳ

更新日：2023/12/11 10:07:38

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	540400	授業コード	54040
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

保健医療関連の学術文章や思弁の内容を含む文章を理解し、日本の諸事情を大まかに説明する技能を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	英語で書かれた保健医療関連の学術文章等を積極的に読み、理解する姿勢と態度を身に着けることができる。
2	保健医療関連の学術文章等や思弁の内容の英語を理解することができる。
3	まとまった量の英文、医療保健についての専門的文章を読むことができる。
4	日本における保健医療関連の諸事情を理解しやすく説明できる。

授業計画

1	オリエンテーション と 1. Volunteer 【授業方法】 演習（GW、発表）、オリエンテーション 【予習】 20分：Chapter 1(p.1-p.5)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 1の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
2	2. Child Abuse 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 2(p.6-p.10)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 2の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
3	3. Internet Love 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 3(p.11-p.15)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 3の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
4	4. Women and Jobs 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 4(p.16-p.20)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 4の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
5	5. Barrier Free 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 5(p.21-p.25)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 5の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
6	6. Racial Problems 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 6(p.26-p.30)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 6の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬

7	7. Computer and CG 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 7(p.31-p.35)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 7文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
8	8. Drugs 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 8(p.36-p.40)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 8の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
9	9. Modern Medical Treatment 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter 9(p.41-p.45)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter 9の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
10	10. Mass Media 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter10(p.46-p.50)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter10の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
11	11. Major League 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter11(p.51-p.55)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter11の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
12	12. TV Shopping 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter12(p.56-p.60)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter12の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
13	13. Aesthetics 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter13(p.61-p.65)のポイントを理解し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter13の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
14	14. Abortion 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 Chapter14(p.66-p.70)のポイントを確認し、内容を理解する。 【復習】 60分：Chapter14の文法事項、重要単語、英語表現を使用できるように学修する。 【担当】 高瀬
15	フィードバック 【授業方法】 演習(発表)、フィードバック 【予習】 20分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 【復習】 60分：英語Ⅳで使用したテキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に関する諸問題を英文で表現したり、英語を使用して論じて、フィードバックを行う 【担当】 高瀬

指導教員

高瀬 文広

先行履修要件科目

なし

テキスト

高瀬文広 他：Every Movie Tells a Story 映画が語る現代社会.金星堂,2021

参考文献

鳥飼玖美子：国際共通語としての英語．講談社（現代新書）,2011．

中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！－英語負け組からの華麗なる脱出法．筑摩書房（ちくま文庫）,2008．

評価方法

授業への参加度 30%、クラスでの活動評価（発表）20%、e-learningの課題達成度と課題参加 20%、課題レポート 30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：インターネットを使用して、アルクエデュケーションのe-learningを自主学修支援として行う。e-learningのプログラムの中に設定されたTOEICの試験、実力テスト、学修課題等を活用する。

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、さまざまな英文を通して英語を学び、TOEIC L&Rテスト600点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテストまたは模擬テストにおいて600点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト600点突破コースを受講し、TOEIC L&Rテストまたは模擬テストで600点を得点できるように努力してください。

看護・医療英語

更新日：2024/02/26 11:14:19

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	540500	授業コード	54050
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

国際的な現場で働く看護職者に必要なコミュニケーション技能を認識し、その習得に必要な学習スキルを獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成する**DP**の力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	公的・技術的伝達と個別的・対人的伝達の違いが理解できる。
2	日本語において優位である伝達戦略と英語におけるその違いが理解できる。
3	「異文化」による価値観の違いに起因する解釈のずれの可能性について理解できる。
4	速読の技術、音声化の技術、医療用語の知識を獲得し、使用することができる。
5	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の4技能を高めることができる。

授業計画

1	Part 1: General Background Information Unit 1 The Human Body 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）、オリエンテーション授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：テキスト(p6.-p.9)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
2	Part 1: General Background Information Unit 2 Nutrition and Fitness 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.10-p.13)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
3	Part1: General Background Information Unit 3 Communicable Disease 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.14-p.17)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
4	Part1: General Background Information Unit 4 Hygiene and Public Health 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.18-p.21)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
5	Part1: General Background Information Unit 5 Reforming Japanese Healthcare Unit 6 Needlestick Injuries in Medicine 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.22-p.25)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
6	Part1: General Background Information Unit 7 Dr.Kitasato and the Development of Medicine in Japan 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.26-p.29)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬

7	Part II: Special Medical Technologists Unit 8 The Medical Laboratory Technologist 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.30-p.33)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
8	Part II: Special Medical Technologists Unit 9 Clinical Engineering 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.34-p.37)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
9	Part II: Special Medical Technologists Unit 10 Radiological Technology 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.38-p.41)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
10	Part II: Special Medical Technologists Unit 11 Physical Therapy 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.42-p.45)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
11	Part II: Special Medical Technologists Unit 12 Working in Occupational Therapy 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.46-p.49)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
12	Part II: Special Medical Technologists Unit 13 Speech-Language Therapy as a Vocation 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.50-p.53)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
13	Part II: Special Medical Technologists Unit 14 Orthoptics and Visual Science 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.54-p.57)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
14	Part II: Special Medical Technologists Unit 15 Why Is Team Medical Treatment Necessar? 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行う。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 テキスト(p.58-p.61)の読解課題の予習、不明部分の認識 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬
15	フィードバック 【授業方法】 演習（討議、GW、発表）授業初めに英語によるスピーチ発表、討議、GWを行い、フィードバックをする。 【予習】 40分：与えられたテーマに関する英語のスピーチの作成 授業で使用了テキストの既習部分を読み返し、病院・医療・人体と健康に 関する英語の専門用語や表現を確認して、フィードバックを行う。 【復習】 40分：用語の記憶、不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬

指導教員

高瀬 文広

先行履修要件科目

なし

テキスト

高津昌宏 他：The Hospital Team English for Medical Specialists. 南雲堂, 2016

参考文献

高橋順一, 渡辺文夫, 大淵憲一：人間科学 研究法ハンドブック. ナカニシヤ出版, 1998.
小林隆児, 西研（編）：人間科学におけるエヴィデンスとは何か. 新曜社, 2015.
斎藤兆史：英語達人列伝、中央公論社（中公新書），2000.

リチャード・ニスベット：木を見る西洋人森を見る東洋人.ダイヤモンド社,2004.
 Rita S.Bruase：Writing your Doctoral Dissertation. Falmer Press,New York,2000.

評価方法

授業への参加度 30%、課題の完成度（e-learning等）40%、評価試験：課題レポート 30%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：インターネットを使用して、アルクエデュケーションのe-learningを自主学修支援として行う。e-learningのプログラムの中に設定されたTOEICの試験、実力テスト、学修課題等を活用する。

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が講義をします。

メッセージ

本コースでは、医療や看護に関する英文を通して医療関係の英語を学び、TOEIC L&Rテスト730点突破コースでe-learningしながらTOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できる英語力を養成します。TOEIC L&Rテスト（又は模擬テスト）において730点以上得点できるように努力してください。

フランス語Ⅱ

更新日：2024/02/26 18:33:32

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	540800	授業コード	54080
担当教員	河野 敦子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

フランス語文法の基礎を踏まえ、簡単なフランス語会話技能を身につけ、フランス語圏の人々と交流できるようになる。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
---	-------------------------------------

授業計画

1	オリエンテーション：口述試験の準備 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：フランス語Ⅰで学んだことの復習 【復習】30分：フランス語の作品を何度も声に出して読みましょう。
2	7課：どこに行くのか伝えましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：7課 【復習】30分：使える動詞 aller と venir を覚えましょう。
3	8課：何を食べるのか相談しましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：8課 【復習】30分：いろいろな質問ができるようになりましょう。
4	8課：フランスに出発する日を伝えましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：8課 【復習】30分：日付を言えるようにしましょう。
5	9課：今日のパリの天気を言いましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：9課 【復習】30分：天気の状態を身につけましょう。
6	9課：今の正確な時間を教えましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：9課 【復習】30分：時間の表現を身につけましょう。
7	10課：旅行で使える表現を覚えましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：10課 【復習】30分：便利な動詞 devoir・pouvoir・vouloir を使いこなしましょう。
8	10課：1番おいしい葡萄酒を探しましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：10課 【復習】30分：比較の表現を身につけましょう。
9	11課：今日することを言いましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：11課 【復習】30分：フランス人が毎日使う動詞を覚えましょう。
10	12課：昨日したことを言いましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：12課 【復習】30分：過去のことを言えるようにしましょう。
11	まとめ：道案内をしましょう。 【授業方法】演習（GW） 【予習】50分：11課 【復習】30分：道案内の表現を身につけましょう。

12	まとめ：デパートで服を買いましょう。 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 50分：10課 【復習】 30分：欲しい色や素材などを伝える表現を身につけましょう。
13	まとめ：レストランでコース料理を注文してみましょう。 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 50分：8課 【復習】 30分：コース料理の注文方法を身につけましょう。
14	筆記試験及びフィードバック 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 50分：これまで学んできたことを復習しましょう。 【復習】 30分：これまで身につけてきたフランス語を振り返りましょう。
15	口述試験及びフィードバック 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 50分：フランス語の詩を暗誦しましょう。 【復習】 30分：フランス語で言えるようになったことを確認しましょう。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

有富智世 他：なびふらんせ1：パリをめぐる．朝日出版社，2016．

参考文献

中條屋進 他編：ディコ仏和辞典（新装版）．白水社，2016．

評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
評価試験（筆記試験 40%＋口述試験 20%＋ミニ・テスト 20%＋レポート 20%＝100%）
筆記試験はフランス語Ⅱで学んだ学習内容の100点満点の試験から40%（最高40点）。
口述試験はフランス語の詩の暗誦（最高20点）。
ミニ・テストは毎回の授業で身につけたフランス語の確認（最高20点）。
レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献(書名・著者名・出版社名・発行年など)を明記し、結論を作成し、5月15日水曜24時までに提出することで20点。

本科目で取得が望ましい点数

総合得点60点

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

メッセージ

講義概要

テキスト『なびふらんせ1ーパリをめぐるー』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するように努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語が使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。このテキストはフランス語学習サポート教材 Web <なびふらんせ1> を利用することができ、授業内容に沿って学習内容を振り返りながらゲームをするように語学学習を進めることができます。フランス語Ⅱではテキスト後半7課から進みます。

受講上の留意点

『ル・ディコ』などの仏和辞典を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。

6月と11月に行われる検校で5級・4級合格を目指し、フランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

スペイン語Ⅱ

更新日：2024/02/28 10:50:44

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	541000	授業コード	54100
担当教員	アルフレッド アンドレー						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

スペイン語文法の基礎を踏まえ、簡単なスペイン語会話技能を身につけ、スペイン語圏の人々と交流できるようになる。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	使用単語を増やして、辞書を引きながら、スペイン語文が読めるようになる。
2	スペイン語圏の文化について調べ、スペイン語で簡単な紹介をすることができるようになる。
3	一つのテーマについてスペイン語文を組み立てて、短い発表ができるようになる。

授業計画

1	導入、1年次の復習（自己紹介・挨拶・基本会話） 【授業方法】演習 【復習】40分：自己紹介のクラスノート 【担当】アルフレッド
2	職業と国籍、スペイン語で計算（数詞） 【授業方法】演習 【復習】40分：職業、国籍のクラスノート 【担当】アルフレッド
3	数えられる・数えられない名詞に基づいた会話 【授業方法】演習 【復習】40分：クラスノート 【担当】アルフレッド
4	場所の前置詞と副詞、天気と気候 【授業方法】演習 【復習】40分：場所の前置詞（33頁）、天気と気候（82頁） 【担当】アルフレッド
5	規則動詞、時間の副詞と副詞句 【授業方法】演習 【復習】40分：規則動詞、時間の表現（17・22・23頁） 【担当】アルフレッド
6	規則動詞Ⅱ、食べ物、飲み物、時間の表し方、疑問詞 【授業方法】演習 【復習】40分：時間の表現（25-26頁）疑問詞（27頁） 【担当】アルフレッド
7	家族と人間関係、性格と外観の形容詞、日常生活についての会話 【授業方法】演習 【復習】40分：プリント、テキスト65頁 【担当】アルフレッド
8	お店、動詞 "estar", "ser", "hay", "ir" に基づいた会話 【授業方法】演習 【復習】40分：テキスト41-45頁 【担当】アルフレッド
9	動詞 "gustar" の使い方、間接目的格人称代名詞 【授業方法】演習 【復習】40分：テキスト65-68頁 【担当】アルフレッド
10	直接法現在 不規則動詞Ⅰの活用と会話、直接目的格人称代名詞 【授業方法】演習 【復習】40分：テキスト49-50頁 【担当】アルフレッド

11	直接法現在 不規則動詞Ⅱの活用と会話、話法助動詞Ⅰ 【授業方法】 演習 【復習】 40分：テキスト57-58頁 【担当】 アルフレッド
12	話法助動詞Ⅱ、再帰動詞 【授業方法】 演習 【復習】 40分：クラスノート、プリント 【担当】 アルフレッド
13	総復習 【授業方法】 演習 【復習】 40分：クラスノート、プリント 【担当】 アルフレッド
14	これまでの総復習による試験 【授業方法】 演習 【復習】 60分：1～13回 【担当】 アルフレッド
15	評価試験のフィードバック 【授業方法】 演習 【予習】 50分：事前に理解不十分な箇所を学習しておく 【担当】 アルフレッド

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

村上陽子他：スペイン語の世界へようこそ1 改訂版．朝日出版社，2016．
アルフレッドオリジナル教材のカードやプリント

参考文献

宮城昇，山田善郎監修：現代スペイン語辞典．白水社，1999．
高橋覚二他：¿ケ・テ・パサ？ 初級スペイン語：看護・医療系語彙を中心に．朝日出版社，2009．

評価方法

評価試験（50％）、課題・レッスン積極的参加（50％）

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

韓国語Ⅱ

更新日：2024/02/26 17:28:48

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	541200	授業コード	54120
担当教員	張 慧珍						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

韓国語文法の基礎を踏まえ、簡単な韓国語会話技能を身につけ、韓国の大学生と交流できるようになる。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	外国語能力の向上及び韓国文化への理解とともに国際化におけるコミュニケーションの応用ができる。
2	正確な発音と文法を学び語彙を増やすことができる。
3	簡単な挨拶表現ができる。
4	韓国旅行会話を楽しく覚えることができる

授業計画

1	授業案内及び韓国語Ⅰの復習① 【授業方法】講義 【お知らせ】韓国語Ⅱの授業案内及び課題、総合評価のとフィードバックについて 【復習】1．韓国語Ⅰ（挨拶表現及びハングルの構造について） 2．基本子音字母と合成母音字母・基本子音字母・発音 【担当】張
2	韓国語Ⅰの復習② 【授業方法】講義 【予習】40分 かしこまった丁寧形の作り方 パッチム・固有数詞と漢数詞 【復習】1．韓国語Ⅰ（挨拶表現及びハングルの構造について） 2．基本子音字母と合成母音字母・基本子音字母・発音 【授業】1．かしこまった丁寧形の作り方 2．パッチム・固有数詞と漢数詞 【担当】張
3	会社員ではありません。① 【授業方法】講義 【予習】40分 時計の読み方・年月日・曜日の言い方 否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文） 【復習】1．かしこまった丁寧形の作り方 2．パッチム・固有数詞と漢数詞 【授業】1．時計の読み方・年月日・曜日の言い方 2．否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文） 【担当】張
4	会社員ではありません。② 【授業方法】講義 【予習】40分 助詞の使い方（～を・～から～まで） 発音変化 【復習】1．時計の読み方・年月日・曜日の言い方 2．否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文） 【授業】1．否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文） 2．助詞の使い方（～を・～から～まで） 3．発音変化 【担当】張

5	かしこまった丁寧形の過去形 【授業方法】講義 【予習】40分 電話番号・お金の勘定 かしこまった丁寧家の 過去形 【復習】 1. 否定形の作り方（後置き否定文と前置否定文） 2. 助詞の使い方（～を・～から～まで） 3. 発音変化 【授業】 1. 電話番号・お金の勘定 2. かしこまった丁寧家の 過去形 【担当】張
6	打ち解けた丁寧形の作り方 【授業方法】講義 【予習】40分 打ち解けた丁寧形の作り方 【復習】 1. 電話番号・お金の勘定 2. かしこまった丁寧家の 過去形 【授業】 1. 打ち解けた丁寧形の作り方「해요」形 2. 打ち解けた丁寧形の過去形と否定形 【担当】張
7	これはいくらかですか。 【授業方法】講義 【予習】40分 指示代名詞 位置関係代名詞 【復習】 1. 打ち解けた丁寧形の作り方 2. 打ち解けた丁寧形の否定形 【授業】 1. 指示代名詞 2. 位置関係代名詞 【担当】張
8	趣味は何ですか。① 【授業方法】講義 【予習】40分 職業・趣味に関する語彙練習 【復習】 1. 指示代名詞 2. 位置関係代名詞 【授業】 1. 疑問詞の使い方（何・どうだ・どこ・誰） 2. 打ち解けた丁寧形の過去形と否定形 3. 職業・趣味に関する語彙 【担当】張
9	趣味は何ですか。② 【授業方法】講義 【予習】40分 好み表現～が好きです。～が好きですか。 勧誘表現～しましょうか。～しましょう。 【復習】 1. 疑問詞の使い方（何・どうだ・どこ・誰） 2. 打ち解けた丁寧形の過去形と否定形 3. 職業・趣味に関する語彙 【授業】 1. ～が好きです。～が好きですか。 2. ～しましょうか。～しましょう。 【担当】張
10	可能形・得意・不得意な表現 【授業方法】講義 【予習】40分 可能形・得意・不得意な表現（～が出来る。～が上手だ。～が下手だ。） 【復習】 1. ～が好きです。～が好きですか。 2. ～しましょうか。～しましょう。 【授業】 1. ～が出来ますか。～が出来ます。 2. ～が上手ですか。～が上手です。 3. ～が下手ですか。～が下手です。 【担当】張
11	私の1日の日課 【授業方法】講義 【予習】40分 私の1日の日課を記録しましょう。「～해요」形の過去形と1日の日課の言葉 【復習】 1. ～が出来ますか。～が出来ます。 2. ～が上手ですか。～が上手です。 3. ～が下手ですか。～が下手です。 【授業】 1. 「～해요」形の過去形と1日の日課の言葉を使って自分の1日を紹介しましょう。 【担当】張
12	変則用言を覚えましょう。 【授業方法】講義 【予習】40分 変則用言の作り方を覚えましょう。（「ㄹ」 「ㅁ」 「ㄴ」 「ㄷ」 変則） 【復習】 1. 「～해요」形の過去形と1日の日課の言葉を使ってさらに練習しましょう。 【授業】 1. 変則用言を覚えましょう。（「ㄹ」 「ㅁ」 「ㄴ」 「ㄷ」 変則） 【担当】張

13	尊敬形の表現 【授業方法】講義 【予習】40分 尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」 特別な尊敬語を覚えましょう。 【復習】 1. 変則用言を覚えましょう。（「으」「ㅁ」「ㄷ」「ㄴ」変則） 【授業】 敬語表現 1. 尊敬形の作り方（尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」） 2. 特別尊敬表現 【担当】張
14	韓国の文化Ⅰ・Ⅱ 【授業方法】講義 【予習】40分 韓国語文化－文化の相違点・類似点について考えてみましょう。 【復習】 敬語表現 1. 尊敬形の作り方（尊敬形「～でいらっしゃる・お～になる・～られる」） 2. 特別尊敬表現 【授業】 韓国語文化－文化の相違点・類似点について考えてみましょう。ー グループワークの後、発表 人体用語・看板・メニュー表などを当てながら会話練習 【担当】張
15	評価試験及び全体フィードバック 【授業方法】講義 【予習】 韓国語文化－文化の相違点・類似点についての振り替え 【復習】 人体用語・看板・メニュー表などを当てながら会話練習 【評価試験】60分 【担当】張

指導教員

張慧珍

先行履修要件科目

なし

テキスト

授業資料は毎回の授業の際、アップロードいたします。

参考文献

民衆書林編集局：NEWポータブル日韓・韓日辞典．三修社，2003．

評価方法

15週目評価試験及び全体フィードバックのレポート（80％）,授業参加度（20％）

本科目で取得が望ましい点数

60点以上

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

毎回の授業に積極的に取り組みましょう。

赤十字活動Ⅱ

更新日：2024/02/01 17:33:01

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	541500	授業コード	54150
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

赤十字の理念に基づく活動を企画・実践し、社会における赤十字の活動意義・役割を考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	グローバル社会が直面する人道危機および健康課題とその要因を説明できる。
2	グローバル社会が直面する人道危機や健康課題への取り組みについて、国・地域・分野を超えて説明することができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために赤十字および看護が果たす役割について考察できる。

授業計画

1	研修の準備活動 【授業内容】コースガイダンス、事前学習 【授業方法】講義 【予習】30分：研修訪問地域、訪問施設、研修活動の概要を考える 【復習】50分：研修訪問地域や施設について調べる（統計指標、活動概要など） 【担当】小川
2	研修テーマに関する議論（1） 【授業内容】研修テーマについて、国や地域の実情や課題について討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】30分：日本の歴史、政治・経済、文化、災害、保健医療等について調べる 【復習】50分：討議結果をふまえ、グローバル社会が直面する災害について調べる 【担当】小川
3	研修テーマに関する議論（2） 【授業内容】（1）での議論をふまえ、課題解決に向けた取り組みについて討議する 【授業方法】演習（GW、討議） 【予習】60分：災害と看護について、英語で討議できるよう学習する 【復習】20分：日本から世界に発信できる災害への取り組みについて考える 【担当】小川
4	研修施設訪問 【授業内容】赤十字施設の訪問 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：災害と赤十字の活動について、英語で説明できるように準備する 【復習】20分：災害時の赤十字の対応と課題について考える 【担当】小川
5	研修訪問地区の地区踏査（1） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(フィールドワーク) 【予習】30分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】50分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川
6	研修訪問地区の地区踏査（2） 【授業内容】グループに分かれ、訪問地区の地区踏査を行う 【授業方法】演習(フィールドワーク) 【予習】30分：地区の歴史、文化、ハザード等について調べる 【復習】50分：地区踏査の結果をまとめる 【担当】小川

7	現地研修① 【授業内容】 現地調査① 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査結果をまとめる 【担当】 小川
8	現地研修② 【授業内容】 現地調査② 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査結果をまとめる 【担当】 小川
9	現地研修③ 【授業内容】 現地調査③ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川
10	現地研修④ 【授業内容】 現地調査④ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川
11	現地研修⑤ 【授業内容】 現地調査⑤ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川
12	現地研修⑥ 【授業内容】 現地調査⑥ 【授業方法】 演習(フィールドワーク) 【予習】 30分：研修に必要な資料を準備する 【復習】 50分：調査やシミュレーションの結果をまとめる 【担当】 小川
13	研修の振り返り（１） 【授業内容】 研修での学びと課題について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 30分：研修での学びを整理する 【復習】 50分：グループワークでの話し合いを英語でまとめる 【担当】 小川
14	研修の振り返り（２） 【授業内容】 研修での学びをふまえ、災害がもたらす人道危機や健康課題について考え、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 50分：発表資料の準備（英語） 【復習】 30分：グループワークでの話し合いについて、英語でまとめる 【担当】 小川
15	研修成果の発表/フィードバック 【授業内容】 研修成果を発表し、災害に備えるために、赤十字や看護の役割について協議し、まとめる 【授業方法】 演習（発表、討議） 【予習】 30分：発表資料の準備（英語） 【復習】 50分：発表をふまえ、レポートを作成する 【担当】 小川

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

「赤十字活動Ⅰ」「国際保健・看護Ⅰ」、「災害と看護」に挙げている文献や資料には必ず目を通す。対象地域に関連する文献を読む。

評価方法

事前学習30％ 研修への参加度（発表を含む）30％ レポート40％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

国内外において、赤十字の救援活動に従事していた教員が、講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目は、国際看護コースの選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ、Ⅲ」の単位を修得していることが望ましいです。

グローバル社会が直面する「災害」に着目し、国際交流協定校の学生とともに分野を超えて、人々の生命、尊厳、健康、生活を守るために私たちがすべきこと、そして赤十字の使命について考えます。

医療人類学

更新日：2024/02/28 10:56:09

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	541800	授業コード	54180
担当教員	星野 普						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

保健医療にかかわる文化の多様性を学び、文化が人間集団の多様な価値観やライフスタイルにどのように影響しているのかを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	文化人類学および医療人類学の視点、概念、方法論の特長を説明できる	
	秀	文化的多様性を踏まえた文化人類学の視点と方法の特徴を説明できる
	優	文化を定義し、自文化の相対化について説明できる
	良	文化を定義できる
	可	文化の多様性の例を挙げられる
	不可	文化の多様性の例を挙げられない
2	病気、健康、医療について、医療人類学的視点から説明できる	
	秀	病気が概念であることを説明できる
	優	病気が生活や社会や文化などと深く関わっていることを説明できる
	良	国際保健・医療協力でなぜ文化摩擦が起こるかを説明できる
	可	病気とそのケアが文化によって異なることを例示できる
	不可	病むことをめぐる文化的多様性の例を挙げられない
3	医療専門職と生活者の「病むこととケア」をめぐるとらえ方の相違（文化差）を説明できる	
	秀	医療専門職と患者・利用者の摩擦を回避・解消するためにはどのような視点・態度が必要か考えを述べられる
	優	医療専門職と患者・利用者の病むことやケアの捉え方の質的なちがいを説明できる
	良	医療専門職の病気とケアの捉え方の特殊性について説明できる
	可	病むことの語りについて説明できる
	不可	病むことの語りについて説明できない
4	超高齢化と人口減をもたらす医療環境および医療専門職のあり方の変化について説明できる	
	秀	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療の在り方について提案ができる
	優	少子高齢化・人口減に関わる保健・医療政策の動向について説明できる
	良	少子高齢化・人口減が医療の在り方に与える影響について説明できる
	可	日本を含む東アジアの少子高齢化・人口減の動向について解説できる
	不可	少子高齢化・人口減の動向について説明できない
5	具体的な臨床事例について、医療人類学的解釈にもとづき、解決案を提案できる	
	秀	医療人類学的視点を踏まえて書かれた事例をもとに現状分析や方向性を決めるディスカッションができる
	優	医療人類学的視点・方法を踏まえて自ら事例を読み書きできる
	良	与えられた事例について、社会文化的な要因を読み取ることができる
	可	医療専門職の視点で事例を読み書きできる
	不可	事例から課題を読み取れない

授業計画

1	文化人類学および医療人類学の視点と方法 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：文化が異なるとはどうか、考えおく。 【復習】 30分：講義で提供した資料をもとに文化人類学・医療人類学の視点と方法を整理する。 【担当】 星野
2	文化と医療：国際保健における文化摩擦の事例から 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：文化と医療の関係について考えておく。 【復習】 30分：講義の内容を振り返り、文化と医療の関係について理解しておく。 【担当】 星野
3	解剖実習と医学的まなざし 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：西洋医療の特長を考えておく 【復習】 30分：講義で取り上げた現代医療の文化的特性および医療者の職業的アイデンティティ形成について再確認する。 【担当】 星野
4	サファリングとケア：シャーマニズムの事例から 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：病むことをめぐる宗教と医療のアプローチちがいと関係について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたサファリングと病むこと、宗教と医療の関係について再確認する。 【担当】 星野
5	病むことの語り 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：医療専門職と生活者の病むことやケアに対する捉え方のちがいについて考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げたナラティブや生活者にとっての「病むこととケア」について再確認する。 【担当】 星野
6	くらしの現場のケア 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：医療専門職と病者やその家族のすれちがいとその回避について考えておく。 【復習】 30分：講義で取り上げた医療者―病者関係を異文化間コミュニケーションとする捉え方を再確認する。 【担当】 星野
7	高齢化する日本社会における医療環境の変化 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 50分：高齢社会白書等に目を通し、高齢化や人口減が日本の医療環境におよぼす影響を考えておく。 【復習】 30分：日本の医療環境の変化の動向を踏まえて、今後の医療専門職のあり方について再確認する。 【担当】 星野
8	事例検討・総括(フィードバック) 【授業方法】 講義（討議、発表） 【予習】 40分：提供されている臨床事例の課題解決方法について検討してくる。 【復習】 40分：全体を振り返り、医療人類学的な視点や方法が自身の将来の臨床にどのように関係するかを整理・再確認する。 【担当】 星野

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

指定テキストはない。必要な資料は講義中に適宜紹介する。

参考文献

波平恵美子 編：系統看護学講座 基礎9 文化人類学。医学書院，2021。
錦織宏・飯田淳子 編：医師・医学生のための人類学・社会学―臨床症例／事例で学ぶ。ナカニシヤ，2021。
江口重幸，斎藤清二，野村直樹 編：ナラティブと医療。金剛出版，2018。

評価方法

授業参加（毎回のコメントや宿題レポートを含む）40%、期末レポート60%から総合的に判断

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

自身の経験と照らし合わせながら、とにかく自分の頭で考えてください。そして視点を変えると、自分の生きている世界の見え方が変わることを楽しんでください。そのことが将来、病者や家族に対する理解を助け、みなさんの臨床を豊かなものにします。

ジェンダー論

更新日：2024/02/03 11:02:23

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	541900	授業コード	54190
担当教員	横山 美栄子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

看護専門職者として豊かな人間性を備え、高い倫理的態度を身につけるために、現代社会におけるジェンダーとセクシュアリティに関わる諸問題を、身近な問題として認識し、ジェンダー平等社会への展望と実践への意欲を持つことを目標とする。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	ジェンダーの視点を用いて、看護をはじめ社会の様々な分野に潜むジェンダー問題に気づくことができる。
2	ジェンダーをめぐる問題を自らの実践と結びつけて、現代社会への批判的な視点を獲得することができる。
3	国際的な視野に立って、ジェンダーに関わる諸問題について分析し考察ができる。

授業計画

1	セックス/ジェンダーの定義、性の多様性 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：生物学的な性、社会的な性、性自認、性指向の違いなど個人の性（セクシュアリティ）を成り立たせている要素やセクシュアリティの多様性について理解し、社会制度との関係を考える。 【担当】横山
2	子どもの社会化とジェンダー 作られる<男らしさ><女らしさ> 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：ジェンダーが社会的に作られていく過程を理解し、自らの成長過程で影響を受けたジェンダー問題を考える。 【担当】横山
3	ジェンダー問題に敏感な教育 教育とメディアリテラシー 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：授業内容に基づき、学校教育で受けた影響を振り返り、メディアに潜むジェンダーバイアスを読み解く。 【担当】横山
4	近代家族の形成と現代の家族関係 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：家族に関する考え方が近代の産物であり、ステップファミリー、同性婚など、変容し多様化する家族観から「家族」を歴史的相対的に見る視点を養う。 【担当】横山
5	「主婦」の誕生と変遷—女性の働き方を考える 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：主婦がいかに誕生し変わっていったかを、社会における女性の労働の位置づけや役割とともに考え、これからの働き方について考察する。 【担当】横山
6	女性に対する暴力 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：性暴力やセクシュアル・ハラスメント、DVなど女性に対する暴力の実態、法制度、救済システムなどについて理解し、諸外国と比較しながら看護専門職として果たすべき役割を考える。 【担当】横山
7	国際化の中の女性問題・男性問題 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：授業内容に基づき、日本のジェンダー格差を世界の動きから考察する。 【担当】横山
8	男女共同参画社会基本法が目指すもの及び全体フィードバック 【授業方法】講義・演習 【復習】80分：ジェンダーに関する基礎概念の整理 【担当】横山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

担当教員が配布する資料

参考文献

適宜指示する。

評価方法

授業への参加度・提出物（50％）、課題レポート（50％）を合計して算出する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

国際開発論

更新日：2024/02/01 17:16:41

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	542000	授業コード	54200
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	－	単位	1	

授業の目的

開発途上国の貧困解決と開発に関するさまざまな課題を学習し、開発と国際協力について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	国際社会が抱える課題を探究し、説明できる。
2	開発とは何かを理解し、説明することができる。
3	社会と人間の開発について説明できる。

授業計画

1	様々な視点から国際社会を概観する。 【授業内容】国際社会の現状について－今、世界で起こっていることは何か 【授業方法】講義 【予習】60分：地理的・社会的・政治的・経済的な観点からの世界の実情を調べる。 【担当】 小川里美
2	多様な世界の現実 (1) 政治の側面 【授業内容】政治や思想の歴史的変遷と現在の政治体制について 【授業方法】講義 【予習】60分：政治体制から見た世界の歴史的変遷について調べる。 【担当】 小川里美
3	多様な世界の現実 (2) 経済の側面 【授業内容】経済に関する諸理論と国際社会における経済の概観 【授業方法】講義 【予習】60分：経済的視点からみた世界の様相を調べる。 【担当】 小川里美
4	多様な世界の現実 (3) 文化の側面 【授業内容】政治・経済と文化の関連をふまえた、国際社会における文化の様相について 【授業方法】講義 【予習】60分：政治・経済と関連させながら、生活様式から見た文化の多様性について調べる。 【担当】 小川里美
5	貧しさと豊かさについて考える 【授業内容】貧しさ・豊かさとは何かについて探究する。 【授業方法】講義 【予習】60分：貧しさ、豊かさの指標および具体的な国の状況を調べる。 【担当】 小川里美
6	貧困と格差について考える 【授業内容】貧困の定義、貧困の種類、格差とは何か、貧困と格差について探究する。 【授業方法】講義 【予習】60分：貧困による生活、健康、環境への影響について調べる。 【担当】 小川里美
7	開発とは何か 【授業内容】開発の定義、開発の視点、現代社会における開発の潮流 【授業方法】講義 【予習】60分：開発援助の具体例を調べる。 【担当】 小川里美
8	援助と自立について考える 【授業内容】人間を中心とした開発と自立・自律的發展について 【授業方法】講義 【予習】60分：人間開発指数上位国と最下位国の差の要因について考える。 【担当】 小川里美

9	開発と国際協力について 【授業内容】 開発を担う国際機関とその活動について 【授業方法】 講義 【予習】 60分：国際協力機関とを調べる。 【担当】 小川里美
10	開発事例①（東南アジア諸国） 【授業内容】 東南アジア諸国の開発事例の検討 【授業方法】 講義 【予習】 60分：東南アジア諸国における開発の具体例を調べる。 【担当】 小川里美
11	開発事例②（アフリカ諸国） 【授業内容】 アフリカ諸国の開発事例の検討 【授業方法】 講義 【予習】 アフリカ諸国における開発の具体例を調べる。 【担当】 小川里美
12	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する① 【授業内容】 自分たちが興味をもつ開発事例について討議する。 【授業方法】 グループワーク 【予習】 60分：自分たちの興味のある開発分野と具体例を調べる。 【担当】 小川里美
13	事例検討-自分たちが関心を抱く開発事例を探究する② 【授業内容】 自分たちが興味をもつ開発事例の成果と課題について討議する。 【授業方法】 グループワーク 【復習】 90分：前回の討議をふまえ、開発事例の成果と課題について考える。 【担当】 小川里美
14	開発事例の成果と課題、展望について議論する 【授業内容】 検討成果について発表し、さらに討する。 【授業方法】 プレゼンテーション 【予習】 90分：発表資料を準備する。 【担当】 小川里美
15	「開発」再考 これまでの学びからのフィードバック 【授業内容】 まとめとフィードバック 【授業方法】 講義 【復習】 60分：人間にとって開発とは何かを再考し、自分が個人として、医療従事者としてどのようにかわることができるのか（あるいはできないのか）を考える。 【担当】 小川里美

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

斎藤文彦：国際開発論．日本評論社，2005．
 山本一巳・山形辰史 編：国際協力の現場から―開発にたずさわる若き専門家たち．岩波ジュニア新書，2007．
 アマルティア・セン：貧困の克服―アジア発展の鍵は何か．集英社新書，2002．
 西川 潤：人間のための経済学．岩波書店，2000．
 坪井ひろみ：グラミン銀行を知っていますか？．東洋経済新報社，2006．
 佐藤寛：開発援助の社会学．世界思想社，2005．
 佐藤寛 編：テキスト社会開発．日本評論社，2007．
 青柳まちこ 編：『開発の文化人類学』．古今書院，2000．

評価方法

授業への参加度 10% プレゼンテーション40% 課題レポート50% 提出時期は授業中に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を発表し共有する）

教員等の実務経験

赤十字やJICAで国際協力に携わった教員が講義を担当します。

メッセージ

3年生対象の講義なので、自分たちが調べ考えたことから、積極的に意見交換ができ議論が行なえる講義になると興味深いと思います。

看護理論の基礎

更新日：2024/02/21 15:00:55

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	610200	授業コード	61020
担当教員	本田 多美枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

看護の歴史の変遷を捉え、看護理論が創出されてきた背景と経緯について理解する。また、主要な看護理論について学び、これらの理論が看護実践、研究、教育を発展させる可能性について考える。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

【5-1看護の専門性を探究する力】 看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	看護理論を学ぶ意義について説明できる
2	看護の現象に迫る主要理論を複数列举することができる
3	事例分析を通して、看護理論の理解を深めることができる

授業計画

1	看護理論とは 【授業内容】 看護理論とは何か、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯 【授業方法】 講義 【予習】 2 0分：看護学概論で学習した内容について復習しておく。教科書p2～17を読む 【復習】 2 0分：疑問点を調べる
2	主要理論の理解（1）ニード/セルフケア理論 【授業内容】 オレムのセルフケア理論、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p76～86を読み、オレムとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
3	主要理論の理解（2）相互作用/人間関係理論 【授業内容】 トラベルビーの人間対人間の看護、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p144～156を読み、トラベルビーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
4	主要理論の理解（3）全体性理論 【授業内容】 M.ニューマンの拡張する意識としての健康、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p172～183を読み、M.ニューマンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
5	主要理論の理解（4）システム理論 【授業の内容】 ロイの適応モデル、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p184～192を読み、ロイとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
6	主要理論の理解（5）ケアリング理論① 【授業内容】 ワトソンのケアリング理論、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p219～232を読み、ワトソンとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
7	主要理論の理解（6）ケアリング理論② 【授業内容】 ベナー看護論、事例分析 【授業方法】 講義（討論） 【予習】 3 0分：教科書p246～257を読み、ベナーとはどのような理論家か、および理論の概要をまとめておく 【復習】 2 0分：自己の体験と照らして考えたことをまとめる。
8	これからの看護と看護理論の可能性について考える 【授業内容】 これからの看護と看護理論の可能性、看護理論を学ぶ意義について考えたことを意見交換する。各自が取り上げた理論を用いて自己の体験を考察し、レポートにまとめる。小テスト 【授業方法】 講義（討論）、評価試験（小テスト・レポート）およびフィードバック 【予習】 3 0分：レポート作成に向けて準備する 【復習】 4 0分：フィードバックをいかしてレポートを完成させる

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

筒井真優美編：看護理論 看護理論21の理解と実践への応用（改訂第3版）．南江堂，2019．

参考文献

筒井真優美編：看護理論家の業績と理論評価（第2版）．医学書院，2020．

野川道子他編：看護実践に活かす中範囲理論（第3版）．メテカルフレンド社，2023．

黒田裕子監修：看護診断のためのよくわかる中範囲理論（第3版）．学研メディカル秀潤社，2021．

初回授業時に、文献リストを配布する。その他、授業で配布する文献・資料

評価方法

各回のリアクションペーパー 30%、評価試験70%（小テスト 1回 20%：第8回に実施、レポート1回 50%：第8回授業の1週間後締め切り）から総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを用いた課題提出の確認、フィードバックを適宜行い、自主学習支援を行う。

教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を活かして、理論家の背景、理論の内容、看護実践への活用について授業を行う。

メッセージ

看護理論は難解というイメージが強いのではないのでしょうか。この授業では、理論家その人や理論の背景にある考え方を理解することによって、看護理論の面白みや深みを知ること、そして看護実践への活用について、事例をもとに考える機会にしたいと思います。

看護過程

更新日：2024/02/27 13:57:48

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	610300	授業コード	6103A
担当教員	阿部 オリエ, 小手川 良江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

看護の対象をホリスティックに捉え、対象の持つ健康上の課題を科学的にアプローチするための看護過程について、基盤となる知識と方法を学ぶ。また、演習を通して看護過程を展開するための基礎的能力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護過程とは何かについて説明できる。
2	看護の本質と看護過程との関係について説明できる。
3	看護過程の各段階について説明できる。
4	看護過程を展開するための基礎的能力を身につけることができる。
5	看護実践における看護過程の意義について考察できる。

授業計画

1	看護過程とは何か 1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp.272-281までを読み、ポイントをおさえる。 【復習】30分：授業の資料も含め理解を深める。理解不十分な箇所は質問を行う 【担当】阿部
2	看護過程とは何か 2 【授業方法】講義 【予習】60分：テキストp.292-321を読み、ポイントをおさえる 【復習】30分：授業の資料（レジュメおよびアセスメントガイド）を含め理解を深める。理解不十分な箇所は質問を行う 【担当】阿部
3	看護過程を展開していくための事例学習を深める 【授業方法】講義 【予習】60分：事前学習課題について春休み期間中にノートにまとめる。事例に関連した人体の構造と機能、疾患等について学習する 【復習】30分：病態についてまとめる 【担当】小手川
4	第一段階：アセスメントの理解 1 【授業方法】講義（ICT双）、評価試験：レポート（事例学習課題） 【予習】30分：テキストp.293-305を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：講義資料およびアセスメントガイドを活用し、「栄養/代謝」のクラスターに取り組む 【担当】阿部
5	第一段階：アセスメントの理解 2 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：「栄養/代謝」のクラスターを完成させる 【復習】60分：講義資料およびアセスメントガイドを活用し、「活動/運動」「健康知覚/健康管理」「排泄」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川
6	第一段階：アセスメントの理解 3 【授業方法】講義、評価試験：小テスト 【予習】30分：「活動/運動」「健康知覚/健康管理」「排泄」のクラスターを完成させる 【復習】60分：講義資料およびアセスメントガイドを活用し、「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川
7	第一段階：アセスメントの理解 4 【授業方法】講義、討議 【予習】30分：「睡眠/休息」「認知/知覚」「自己知覚/自己概念」のクラスターを完成させる 【復習】60分：講義資料およびアセスメントガイドを活用し、「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」のクラスターに取り組む 【担当】阿部、小手川

8	第一段階：アセスメントの理解5 【授業方法】講義 【予習】30分：「役割/関係」「性/生殖」「コーピング/ストレス耐性」「価値/信念」のクラスターを完成させる 【復習】60分：全クラスターを完成させる 【担当】阿部、小手川
9	第一段階：アセスメントの統合（関連図）1 【授業方法】講義、評価試験：レポート（アセスメント） 【予習】20分：テキストp.305を熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：関連図を描く 【担当】阿部
10	第一段階：アセスメントの統合（関連図）2 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：関連図を完成させる 【復習】60分：関連図までを完成させる 【担当】阿部、小手川
11	第二段階：看護問題の明確化1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp305-314までを熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：看護問題の明確化に取り組む 【担当】小手川
12	第二段階：看護問題の明確化2 【授業方法】演習（討議） 【予習】60分：看護問題の明確化に取り組む 【復習】30分：看護問題の明確化まで完成させる 【担当】小手川、阿部
13	第三段階：看護計画の立案1 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp314-318までを熟読し、ポイントをおさえる 【復習】60分：看護計画に取り組む 【担当】小手川
14	第三段階：看護計画の立案2 【授業方法】演習（討議） 【予習】60分：看護計画に取り組む 【復習】30分：看護計画まで完成させる 【担当】小手川、阿部
15	第四段階：実施、第五段階：評価、看護記録、まとめ（フィードバック） 【授業方法】講義、評価試験：小テスト 【予習】60分：テキストp318-328までを熟読し、ポイントをおさえる 【担当】小手川、阿部

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第19版 【電子版】、医学書院、2023。

参考文献

1)渡邊トシ子 編：ヘンダーソン・ゴードンの考えに基づく実践看護アセスメント（第3版）。ヌーヴェルヒロカワ、2011。
2)NANDA International：Nursing Diagnoses Definitions：Definitions & Classification 2021-2023 12th. 2021, 上鶴 重美訳：NANDA―I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版。医学書院、2021。
開講時、文献リストを配布する。

評価方法

課題提出【第4回開始時までにレポート：事例学習課題の提出、第9回開始時までにレポート：アセスメント提出（60％）、第6回、第15回小テスト（20％）、授業への参加度（20％）より総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

講義中にタブレット画面をミラーリングで活用し、提出された課題のFBや討議を行う。

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、看護職にとって必要不可欠な方法論となる『看護過程』について講義・演習を行います。

メッセージ

看護の対象となる人間を捉え、必要な看護援助を見出していくためには、人体のメカニズムを理解しておくことが不可欠となります。事例患者の病態、治療等については既習内容を活用しながら、自己学習を行い、学習ノートに適宜まとめてください。本科目は講義ですが、毎回課題を提出します。そのため、予習・復習

を活用しながら、主体的、計画的に課題に取り組みましょう。自身の視野を広げ、看護過程の展開能力を育成していくことが重要となります。

看護技術Ⅱ

更新日：2024/02/28 10:02:46

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	610700	授業コード	6107A
担当教員	鬼丸 美紀, 高堂 香菜子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況を考慮した看護技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	個別状況を考慮した看護技術の意義と必要性を説明できる。
2	対象および看護者の安全を守る技術の必要性とその基本を説明できる。
3	感染予防技術を理解し、基本技術を実施できる。
4	与薬・活動・休息・食事・排泄・清潔について、原理原則に基づきながら個別状況を考慮した看護技術を実施できる。
5	個別状況を考慮した看護技術を評価することができる。

授業計画

1	授業概要の説明：看護技術Ⅱの概要の説明、事前・事後課題、演習の進め方 【授業方法】講義（ICT支援） 【担当】鬼丸
2	感染防止の技術1：スタンダードプリコーション、無菌操作① 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】30分：テキスト「看護技術Ⅰ」p64-94を熟読する。 【復習】30分：小テストを受ける 【担当】鬼丸
3	感染防止の技術2：スタンダードプリコーション、無菌操作② 【授業方法】演習（ICT支援） 【予習】90分：テキスト「看護技術Ⅰ」p86～94を熟読し、無菌操作ができるように学習する。Moodle内の動画を確認する。 【担当】鬼丸
4	感染防止の技術3：スタンダードプリコーション、無菌操作③ 【授業方法】演習（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【復習】30分：技術練習をする。小テストを受ける。 【担当】鬼丸
5	感染防止の技術4：スタンダードプリコーション、無菌操作④ 【授業方法】演習（ICT支援）、評価試験（技術試験） 【予習】30分：技術練習をする。 【担当】鬼丸
6	感染防止の技術5：スタンダードプリコーション、無菌操作⑤ 【授業方法】演習（ICT支援）、評価試験（技術試験、小テスト） 【復習】30分：小テストを受ける。 【担当】鬼丸
7	与薬の技術1：与薬における安全、経口与薬・口腔内与薬、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】60分：テキスト2）「基礎看護技術Ⅱ」P310～325、テキスト1）「基礎看護技術Ⅰ」P104～115を熟読する。 【復習】30分：小テストを受ける。 ※オフィスアワーを活用する。Moodle上のフォーラム機能を活用し学生間のディスカッションを行う 【担当】高堂
8	与薬の技術2：注射（皮下・皮内・筋肉内注射、静脈内注射、点滴静脈内注射の管理） 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】60分：テキスト2）「基礎看護技術Ⅱ」P326～363を熟読する。 【復習】30分：小テストを受ける。 ※オフィスアワーを活用する。Moodle上のフォーラム機能を活用し学生間のディスカッションを行う 【担当】高堂

9	与薬の技術3：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理① 【授業方法】演習（GW,ICT支援） 【予習】45分：テキスト2）「基礎看護技術Ⅱ」動画 P485の28、29注射の準備、P487の34翼状針による点滴静脈内注射①輸液ルートの準備、35静脈留置針による点滴静脈内注射②刺入部の固定を視聴し、第8回の授業内で受けた小テストを再度確認し、演習で実施できるように学習する。 【担当】高堂
10	与薬の技術4：注射器の取り扱い、アンプルの吸い上げ、点滴静脈内注射の準備・管理② 【授業方法】演習（GW,ICT支援）、評価試験（小テスト） 【復習】45分：小テストを受ける。 【担当】高堂
11	身体に可動制限のある対象への援助技術1：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換) ① 【授業方法】講義（GW,ICT支援） 【復習】90分：事例の患者に対するシーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換の方法についてノートにまとめる。 【担当】鬼丸
12	身体に可動制限のある対象への援助技術2：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換) ② 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：事例の患者に対するシーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換の方法についてノートにまとめる。 【担当】鬼丸
13	身体に可動制限のある対象への援助技術3：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換) ③ 【授業方法】演習（GW） 【復習】60分：第12回・13回の演習をもとに、自身の援助方法を見直しを行う。 【担当】鬼丸
14	身体に可動制限のある対象への援助技術4：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換) ④ 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：事例の患者に対するシーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換の方法ノートにまとめる。 【担当】鬼丸
15	身体に可動制限のある対象への援助技術5：環境調整、清潔・衣生活援助、排泄援助(シーツ交換、寝衣交換、全身清拭、陰部洗浄、おむつ交換) ⑤ 【授業方法】演習（GW,ICT支援）、評価試験（小テスト） 【復習】70分：第13回・14回の演習をもとに、自身の援助方法を修正し、ノートを提出する。第11回～第15回の授業を復習後、小テストを受ける。 【担当】鬼丸
16	身体に可動制限のある対象への援助技術6：排泄の援助、活動援助（ポータブルトイレ、車いす、体位変換）① 【授業方法】演習（GW,ICT支援） 【予習】90分：事例の患者に対するポータブルトイレ、車いす移乗、体位変換の方法についてノートにまとめる。 【担当】鬼丸
17	身体に可動制限のある対象への援助技術7：排泄の援助、活動援助（ポータブルトイレ、車いす、体位変換）②：活動・休息援助① 【授業方法】演習（GW,ICT支援）、評価試験（小テスト） 【復習】30分：小テストを受ける。 【担当】鬼丸
18	身体に可動制限のある対象への援助技術8：活動・休息援助② 【授業方法】演習（GW,ICT支援） 【予習】90分：事例の患者に対する活動・休息援助を考えてノートにまとめる。 【担当】鬼丸
19	身体に可動制限のある対象への援助技術9：活動・休息援助③ 【授業方法】演習（GW） 【復習】60分：グループで決定した看護技術（援助）を練習する。 【担当】鬼丸
20	身体に可動制限のある対象への援助技術10：活動・休息援助④ 【授業方法】演習（GW） 【予習】60分：グループで決定した看護技術（援助）を練習する。 【担当】鬼丸
21	身体に可動制限のある対象への援助技術11：活動・休息援助⑤ 【授業方法】演習（GW）、評価試験（課題、レポート） 【復習】90分：グループで作成した課題を提出する。他のグループの看護技術（援助）について評価する。自身の行った看護技術について評価したレポートを提出する。 【担当】鬼丸
22	身体に可動制限のある対象への援助技術12：食事援助① 【授業方法】演習（実技,ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】60分：事例の患者に対する食事の援助方法についてノートにまとめる。 【復習】30分：小テストを受ける。 【担当】鬼丸
23	全体のまとめ、課題評価のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】課題を中心に授業全体の理解不足部分の確認をする。 【担当】鬼丸、高堂

指導教員

小手川良江、隈井寛子、添田梨香

先行履修要件科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔2〕基礎看護技術Ⅰ 第18版【電子版】. 医学書院, 2021.
- 2) 任和子 他：専門分野Ⅰ基礎看護学〔3〕基礎看護技術Ⅱ 第18版【電子版】. 医学書院, 2021.

参考文献

村中陽子 他編：学ぶ・活かす・共有する 看護ケアの根拠と技術 第3版. 医歯薬出版株式会社, 2019.
三木明德監修：人体の構造からわかる看護技術のエッセンス. 医歯薬出版株式会社, 2019.
竹内修二 他：解剖生理の視点でわかる看護技術の根拠Q&A. 照林社, 2010.
田中マキ子編：写真でわかる看護技術 日常ケア場面でのポジショニング. 照林社, 2014.
吉田みつ子, 本庄恵子監修：新訂版 写真でわかる基礎看護技術 アドバンス. インターメディカ, 2020.
藤本真記子 他監修：看護がみえるvol.1 基礎看護技術. メディックメディア, 2018.
近藤一郎 他監修：看護がみえるvol.2 臨床看護技術. メディックメディア, 2018.

評価方法

第2回,5回,6回,15回,17回,22回で行う評価試験30%（小テスト6回30%）、第7回,8回,10回で行う評価試験20%（小テスト3回20%）、第5～6回で行う評価試験25%（技術試験1回20%、課題1回5%）、第18～21回で行う課題25%（技術評価1回15%、レポート1回10%）

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを用いた自主学習支援を行う。学生はタブレット端末やスマートフォンを使用し、授業中でも講義資料を閲覧しながら授業を受けられるようにする。また、小テスト、課題等のフィードバックもMoodle上で行い、常に自身の評価を確認できるようにし、学習に支援の必要な学生に対しては個別に連絡を行うなどの配慮を行う。さらに、双方向解決できるように努める。

教員等の実務経験

看護の臨床経験を持つ教員が、その経験を活かして看護技術の講義、演習を行っていく。

メッセージ

本科目では、既習科目の知識を使い、より臨床で活用できるような技術の習得を目指しています。また本科目の講義や演習で学んだ知識と技術、態度は、2年前期の「看護過程の展開実習」で活用していくことが重要となります。

治療検査と看護

更新日：2024/03/14 15:50:11

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	610800	授業コード	61080
担当教員	千原 明美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

治療や検査の概要を学び、看護職者の役割と援助方法について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	治療・検査の目的及び方法を理解するとともに、検査・治療に伴う日常生活への影響および苦痛を述べることができる。
2	基本的な検査・治療の処置内容・実施前、実施中、実施後の観察項目・注意事項を説明することができる。
3	診療における治療・検査について、看護者が果たすべき役割を述べることができる。

授業計画

1	【ガイダンス】 【治療、検査の概念】 意義、目的、看護の役割 【授業方法】 講義 【復習】 40分：学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。
2	【生体機能検査1】 検体検査と看護（尿／便／体腔内貯留液／血液／喀痰／その他） 【授業方法】 講義 【予習】 40分：臨床検査「一般検査」p78～p184を読んで、尿・便・血液検査について目的および値をどう読み取れば良いか調べてくる。 【復習】 40分：学習した検査の正常値・異常値を述べられるよう復習を行う。。
3	【生体機能検査2】 呼吸機能検査と看護（経皮的動脈血酸素飽和度測定/肺機能検査/血液ガス検査） 【授業方法】 講義（GW，発表） 【予習】 40分：呼吸機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 40分：学習した呼吸機能検査の正常値および異常値を説明できるようにしておく。
4	【生体機能検査3】 循環機能検査と看護（12誘導心電図/心電図モニター） 【授業方法】 講義（GW，発表） 【予習】 40分：循環機能検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 40分：学習した循環機能検査の正常・異常について説明できるようにしておく。
5	【生体機能検査4】 画像診断と看護（X線単純撮影/消化管造影/脳血管造影/心血管造影，CT検査/MRI検査/PET検査/核医学検査） 【授業方法】 講義（GW，発表） 【予習】 40分：画像診断の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 40分：画像診断読影の基本的な知識を説明できるようにしておく。
6	【生体機能検査5】 内視鏡検査と看護（上部・下部消化管内視鏡検査/気管支鏡検査/膀胱尿道鏡検査） 超音波検査と看護（心エコー検査/乳房超音波検査/腹部超音波検査） 【授業方法】 講義（GW，発表） 【予習】 40分：内視鏡検査の種類・内容・看護について調べてくる。 【復習】 40分：内視鏡検査前・検査中・検査後に注意すべきことを説明できるようにしておく。
7	【治療を受ける患者への看護1】 輸血療法を受ける患者への看護 【授業方法】 講義 【予習】 40分：臨床検査「輸血に関する検査」P189～p192を読んでおく。 【復習】 40分：各種輸血製剤の管理・使用方法・実施前・実施中・実施後の注意点について述べられるように復習しておく。
8	【治療を受ける患者への看護2】 透析療法を受ける患者への看護 血液透析／腹膜透析 【授業方法】 講義 【予習】 20分：成人看護技術「腹膜透析」p356～p359を読んでおく。 【復習】 50分：血液透析・腹膜透析を受ける患者の看護について述べられるように復習しておく。
9	【治療を受ける患者への看護3】 手術療法を受ける患者への看護① 手術療法とは 手術における生体侵襲 手術前患者の看護 【授業方法】 講義 【予習】 40分：ナースングラフィカ 周術期看護P12～P55を読んでおく 【復習】 40分：手術前看護について述べられるように復習しておく。
10	【治療を受ける患者への看護4】 手術療法を受ける患者への看護② 手術中患者の看護 手術室の環境管理 【授業方法】 講義 【予習】 30分：ナースングラフィカ 周術期看護P58～p70を読んでおく。 【復習】 40分：手術中看護について述べられるように復習しておく。

11	【治療を受ける患者への看護5】 手術療法を受ける患者への看護③ 手術後患者の回復を促進する看護 合併症予防と発生時の看護 【授業方法】 講義 【予習】 30分：ナースングラフィカ 周術期看護 P90～p118を読んでおく。 【復習】 40分：手術後看護について述べられるように復習しておく。
12	【治療を受ける患者への看護6】 手術療法を受ける患者への看護④ 創傷管理技術 排液管理とドレーン 【授業方法】 講義 【予習】 30分：創傷治癒について、病理学・人体の構造と機能で習ったメカニズムを復習し、ナースングラフィカ 周術期看護 P33～P35を読んでおく。 【復習】 50分：創傷管理・排液管理・ドレーン管理について注意すべきことを述べられるように復習しておく。
13	【治療を受ける患者への看護7】 輸液療法を受ける患者への看護 ME 機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ） 【授業方法】 演習 【予習】 50分：輸液療法におけるME 機器について調べて、使用時の注意点を説明できるようにしておく。 【復習】 30分：演習で使用したME機器についての使用上の注意点を再度テキストを読んで復習する。
14	【治療を受ける患者への看護8】 手術療法を受ける患者への看護⑤ 排泄ケア ストーマケア 【授業方法】 講義 【予習】 30分：成人看護技術「排泄ケア」 p214～p222を読んでおく。 【復習】 30分：ストーマについて、ストーマを有する患者の看護について述べられるように復習しておく。
15	【まとめ】 治療、検査における看護のまとめ及び試験・課題のフィードバック 【授業方法】 講義 【復習】 60分：治療・検査それぞれに必要な看護についてポイントを自分で説明できるようにしておく。検査値の読み取りができ、それを看護に活用できるように復習しておく。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

奈良信雄 他編：系統看護学講座 別巻 臨床検査 第9版．医学書院，2023．
野崎真奈美 他編著：看護学テキストNICE成人看護技術 改訂第3版．南江堂，2022．
中島恵美子 他編：ナースングラフィカ 成人看護学④ 周術期看護 第4版．メディカ出版，2022．

参考文献

石塚睦子 編著：よくわかる周手術期看護．学研メディカル秀潤社，2017．
杉本由香 監修：Nursing Canvas Book 8 生体検査・検体検査・看護技術．学研メディカル秀潤社，2016．
本庄 恵子 他監修：写真でわかる臨床看護技術1・2 アドバンス，インターメディカ，2016．
下 正宗 編集：エビデンスに基づく検査データ活用マニュアル 改定第3版，学研メディカル秀潤社，2020．
繪本正憲 他編著：ナースングラフィカEX疾患と看護⑧ 腎／泌尿器／内分泌・代謝，メディカ出版，2020．

評価方法

評価試験（GW課題30％，演習課題20％，各講義の終了時の小テスト30％、第15回確認テスト20％）※詳細については、第1回講義内で説明します。

本科目で取得が望ましい点数

75

ICTの活用・教育リソース

各講義でMoodleやMicrosoft Formsを活用して小テスト、確認テスト、課題を提示しフィードバックを行います。

教員等の実務経験

急性期・慢性期を含めいろいろな診療科で治療・検査を受ける患者の看護を行った臨床での実務経験のある看護教員が講義を担当。

メッセージ

本科目で学んだ知識をこれからの臨地実習や臨床での看護過程展開に活かせるように、頑張って事前・事後学修をしっかりと行いながら自己知識として修得して
いって下さい。

キャリアデザインⅠ

更新日：2024/02/22 09:01:49

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	610900	授業コード	61090
担当教員	原田 紀美枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

自分の将来像を模索し、専門職としての目的意識を形成する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【2-1.自己教育力】自らの思考や行動を内省することにより、自己の成長を促進することができる。

到達目標

1	キャリアおよびキャリアデザインの基本的な考え方を理解できる。
2	自己を分析的に捉え、自身の傾向について考察できる。
3	様々な看護専門職について調べ、理解することができる。
4	専門職としてのキャリアデザインを基に、自身の将来像について考察できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション　キャリアデザインの基本　キャリアに影響する要素 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章（P.12-26）を精読する 【担当】原田
2	看護職としてのキャリア形成の基礎：資格と教育背景　＊評価試験（レポート課題提出） 【授業方法】講義　演習（GW） 【予習】60分：看護職の様々な専門性を示す資格制度について調べ、レポートにまとめる(事前提出) 【復習】20分：キラリ看護の仕事（日本看護協会）の中で、関心がある動画を視聴し、自身のキャリアについて考える(Formsへの回答) 【担当】原田
3	看護師としての成長 看護師のクリニカルラダー　＊1年次のPROGテスト結果持参 【授業方法】講義　演習（GW） 【予習】 30分：テキスト第3章（p.78-113）第5章(p.163-170)を精読する 【復習】 30分：1年次のPROGテストの結果を参考に自身の特徴を考えレポートを作成する(わたしの履歴書、夢・目標) 【担当】原田
4	看護職の就業状況の特徴　＊評価試験（レポート課題提出） 【授業方法】講義 【予習】30分：配布資料を精読する 【担当】原田
5	看護師のキャリアにおける障壁 看護師としての転機 【授業方法】講義 【復習】60分：テキスト第4章(p.116-137，148-162，171－183）を精読する 【担当】原田
6	看護という仕事の特徴 看護師の社会的イメージ 感情労働 臨床におけるジレンマ 【授業方法】講義 【予習】30分：配布資料を精読する 【復習】30分：テキスト第1章（p.27-33）、第4章（p.138-145）を精読する 【担当】原田
7	ゲストスピーカーの講話を通して様々な看護師の働き方を学ぶ 【授業方法】講義 【復習】60分：今までの学習内容をもとに最終レポート課題の準備を行う 【担当】原田・池田尚大（福岡赤十字病院）
8	自身の将来像を描く　1・2回目レポートのフィードバック 【授業方法】講義　演習（GW） 【復習】80分：自身のキャリアデザインについてレポートを作成をする 【担当】原田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

勝原裕美子：看護師のキャリア論。ライフサポート社，2007。

参考文献

Patricia,B.:From Novice to Expert. 1984,井部俊子訳：ベナー看護論 新訳版 初心者から達人へ。東京,医学書院，2005。
武井麻子：感情と看護 人とかかわりを職業とすることの意味。医学書院，2001。
Gratton, L., Scott, A.:LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略。東洋経済新報社，2016。

他、適宜提示する

評価方法

評価試験：第2回・4回・8回のレポート課題（60%）、授業への取り組み（40%）で総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用して課題の提出を行います。

教員等の実務経験

認定看護管理者の資格を有し、医療機関での看護管理者経験がある教員が指導します。

メッセージ

キャリアというと職業や仕事に関することのみを指すと思われがちですが、キャリアを考えることは自身の人生を考えることです。職業人としてまた専門職者としての可能性を探り、自身の将来像を描くことで、人生の展望を広げていきましょう。長期の「夢・目標」を設定することが、大学生活で何をどのように学んでいくのかを考えることにつながっていきます。

キャリアデザインII

更新日：2024/01/24 11:08:09

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	611000	授業コード	61100
担当教員	小手川 良江, 西村 和美, 西山 陽子, 福島 綾子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

看護職者としての自己の課題を認識し、キャリア形成の基礎力と専門職として必要な知識を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	キャリアに関する主要理論の概要について説明できる
2	看護職としてキャリア形成していくうえで必要な基礎的知識を獲得できる
3	看護職のキャリアについて探求し説明することができる
4	自己のキャリアについて創造的にデザインすることができる

授業計画

1	キャリアに関する主要理論（キャリアアンカー、キャリアドリフト、トランジション、レジリエンス等） 【授業方法】講義 【予習】15分：シラバスの内容を確認する 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】小手川
2	看護職のワークライフバランスを支える法律・制度 【授業方法】講義 【予習】30分：前回資料の確認 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】小手川
3	看護職のキャリア①高度実践看護師 【授業方法】講義 【予習】30分：前回資料の確認、看護協会のホームページの確認 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】福島
4	看護職のキャリア②起業 【授業方法】講義 【予習】30分：第1回講義資料の見直し 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー：株式会社ホスピタリティワン代表取締役 高丸 慶
5	看護職のキャリア③国際医療救援活動 【授業方法】講義 【予習】30分：第1回講義資料の見直し 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】ゲストスピーカー
6	看護職のキャリアの探究① 【授業方法】演習（GW）：看護職のキャリア①②③を踏まえて、ディスカッションを行い自己のキャリアについて考える。また、提示するテーマ（Ⅰ～Ⅳ）の中から1つを選び、テーマ別のグループを形成する。 【復習】30分：授業資料の見直し 【担当】小手川、西村、西山、福島
7	看護職のキャリアの探究② 【授業方法】演習（GW）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】30分：選択したテーマの文献を収集する 【復習】30分：調べたことをまとめる 【担当】小手川、西村、西山、福島

8	看護職のキャリアの探究③ 【授業方法】 演習（GW）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】 30分：選択したテーマの文献を収集する 【復習】 30分：調べたことをまとめ、発表準備をする 【担当】 小手川、西村、西山、福島
9	看護職のキャリアの探究④ 【授業方法】 演習（発表・討議）：テーマ別グループごとに探究課題を設定し調べる。 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の修正 【担当】 小手川、西村、西山、福島
10	看護職のキャリアの探究⑤ 【授業方法】 演習（グループワーク） 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の修正 【担当】 小手川、西村、西山、福島
11	看護職のキャリアの探究⑥ 【授業方法】 演習（ワールド・カフェ）：中間発表 探究課題について対話を通して考えを深める 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の仕上げ 【担当】 西山、小手川、西村、福島
12	看護職のキャリアの探究⑦ 【授業方法】 演習（ワールド・カフェ）：中間発表 【予習】 30分：発表資料の作成 【復習】 30分：発表資料の仕上げ 【担当】 西山、小手川、西村、福島
13	全体発表① テーマⅠ、Ⅱ 【授業方法】 演習（発表・討議） 【予習】 30分：発表準備 【復習】 30分：発表資料を見直す 【担当】 小手川、西村、西山、福島
14	全体発表② テーマⅢ、Ⅳ 【授業方法】 演習（発表・討議） 【予習】 30分：発表準備 【復習】 30分：発表資料を見直す 【担当】 小手川、西村、西山、福島
15	まとめとフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 30分：これまでの講義・発表を踏まえて自己のキャリア像を明確にする 【復習】 30分：レポート作成 【担当】 小手川、西村、西山、福島

指導教員

先行履修要件科目

テキスト

特に指定しません。

参考文献

金井壽宏：働くひとのためのキャリア・デザイン。PHP研究所，2002。
勝原裕美子：看護師のキャリア論：多くの節目を越えて生涯にわたる成長の道筋を見出すために。ライフサポート社，2007。
金井壽宏，他：日本のキャリア研究：専門技能とキャリア・デザイン。白桃書房，2013。
Schein, E.：Career anchors：discovering your real values（Revised ed）。1993，金井壽宏訳：キャリア・アンカー：自分のほんとうの価値を発見しよう。白桃書房，2003。
他、必要に応じて提示します。

評価方法

授業やワークへの参加度10%、第11～14回の発表40%、評価試験（レポート50%）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

看護師の臨床経験を有する教員が、キャリアに関する主要理論と看護職の様々なキャリアについて講義します。

メッセージ

様々な看護職の方に、キャリアの実際を話していただきます。卒業を目前としている時期に、自分のキャリア像について考え、自分の望む働き方を見つける機会にしてください。

本科目の演習では、以下の4つのテーマの中から各自が1つを選択し、同じテーマでグループを形成し、看護職のキャリアについて探求します。

- I．看護職の新しい活躍の場の提案
- II．看護職の新しい働き方についての提案
- III．高度実践看護師の将来像
- IV．多様な背景をもつ対象者への看護の探究

看護過程の展開実習

更新日：2024/02/28 09:27:18

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	611200	授業コード	61120
担当教員	小手川 良江, 鬼丸 美紀, 高堂 香菜子, 添田 梨香, 隈井 寛子, 阿部 オリエ, 本田 多美枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	3	

授業の目的

健康障害を持った対象者との関わりを通して、看護過程の展開方法を学ぶとともに、看護学実習における基本的学習方法を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	自己の行動を分析的に捉えることができる
2	看護過程を展開できる
3	看護実践における看護過程の意義について説明できる
4	学生として責任のある行動をとり、主体的に学ぶことができる

授業計画

1	事前課題【予習】 ・看護過程の教科書、資料、事例の看護展開を用いて、看護過程の復習を行う（取組時間：90分） ・看護技術の復習を行う（取組時間：90分） ・実習要項の看護過程の展開実習に関する箇所を熟読する（取組時間：60分）
2	実習方法と実習の進め方 1．実習方法 1) 期間（病院・学内） 2024年7月16日～8月2日（3週間） 2) 実習場所 おなが病院、嘉麻赤十字病院、九州病院、熊本赤十字病院、福岡赤十字病院、宗像医師会病院、門司メディカルセンター、山口赤十字病院 3) 指導体制 一つの病棟に学生4-6名程度を配置し、担当教員と実習指導者が主に指導にあたる 2．実習の進め方 1) 全体オリエンテーション 実習目的および概要を理解する（全体オリエンテーション時は必ず実習要項を持参する） ＜予習＞45分 ・看護過程の展開実習の実習要項を熟読する ・Ⅰ.看護学臨床実習の意義～Ⅹ.実習における注意事項、レベルⅡ実習要項を熟読しておく 2) 学内演習 看護技術練習 看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について理解する ＜学修課題：予習＞ 90分：受持ち対象者に実施できるレベルまで看護技術を練習する 60分：看護過程の第四段階（実施）、第五段階（評価）について教科書や資料などを用いて復習する 3) 病院実習 入院している対象者1名（もしくは2名程度）を受け持ち、看護過程の展開を行う 看護過程記録物のフィードバック 看護技術到達度表を用いた看護技術に対する学生の自己評価や教員からのフィードバック 自分が行った看護の意味について検討する ＜留意点＞ 実習要項を確認し、主体的に病院実習に取り組む 看護過程の記録物は病院実習期間中に完成させる 自分が行った看護の意味について検討し、課題レポートにつなげる 4) 学内実習 学内カンファレンス、面接、文献学習等を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する理解を深める レポートのフィードバック 実習のフィードバック 【担当】 小手川・阿部・隈井・鬼丸・添田・本田

指導教員

先行履修要件科目

日常生活援助実習

テキスト

特に指定しない。

参考文献

対象者を理解するために、必要な文献を自ら収集・活用すること。

評価方法

実習目標の達成度(80%)、実習態度(20%) により総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

85

ICTの活用・教育リソース**教員等の実務経験**

様々な分野での臨床経験を持つ教員が、看護過程を指導する。

メッセージ

講義・演習で学んだ看護過程を基本とし、臨床の場で実際に看護過程を展開します。看護過程を展開するためには、1年生から学んだ人体の構造と機能、疾病の知識が重要になります。また、大学で学んでいないことを自分で学び看護過程につなげることも重要です。みなさんが主体的に取り組むことを期待しています。

リハビリテーション論

更新日：2024/01/25 14:34:25

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	620100	授業コード	62010
担当教員	千原 明美, 梶原 弘平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

多様に展開されているリハビリテーションを保健・医療・福祉の視点から理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【3-2. チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	リハビリテーションの概念、リハビリテーション看護の概念について述べることができる。
2	リハビリテーションを必要とする人の特徴について述べることができる。
3	経過別・障害機能別リハビリテーションについて説明することができる。
4	リハビリテーション・チームにおける看護師の役割と多職種連携について説明することができる。

授業計画

1	ガイダンス，リハビリテーション看護とは 【授業方法】講義，GW 【予習】30分：2年次地域看護Ⅰで履修した、ICFについてを再度復習しておく。 【復習】50分：テキストp12～p46を読んで、リハビリテーション看護について自分のことばでまとめられるようにしておく。 【担当】千原
2	生活の再構築①（障害とともに生きること、社会生活の適応に向けた心理的支援） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキストp64～p88を読む。 【復習】40分：講義内容の重要用語について復習し、合わせて講義内容を振り返る。 【担当】梶原
3	生活の再構築②（健康維持のための支援、家族への援助） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキストp88～104を事前に読む。 【復習】40分：講義した心理・社会的なアセスメントが活用できるように、講義資料を基に振り返りを行う。 【担当】梶原
4	リハビリテーションに必要な臨床倫理と法律 【授業方法】講義 【予習】30分：テキストp106～p124を読み、リハビリテーションにおける倫理的課題を考える。 【復習】30分：テキストp124の重要用語の説明をできるように振り返りを行う。 【担当】千原
5	対象理解と援助（ICFの枠組みを用いて） 【授業方法】講義、GW 【予習】30分：ADL,ICF,FIM,BIについて調べて、説明できるようにしておく。 【復習】30分：テキストp126～p148を読む。 【担当】千原
6	対象理解と援助（事例を用いて） 【授業方法】講義、GW 【予習】30分：障害のある人に関する法律・施策についてテキストp52～63までを読んで、障害のある対象者への生活再構築に向けての社会資源を調べてくる。 【復習】50分：テキストp232～p309を読んで、各事例のリハビリテーション看護について理解する。 【担当】千原
7	チームアプローチと看護の役割 【授業方法】講義 【予習】30分：p48～p61を読んで、チームアプローチの中での看護の役割を考えてくる。 【復習】30分：講義で学んだチームアプローチと看護の役割について、自分の考えをまとめる。 【担当】小倉リハビリテーション病院 地域リハビリテーションセンター センター長 森山 雅志

8	評価試験/リハビリテーション看護のまとめ/課題・試験のフィードバック 【授業方法】講義 【予習】60分：これまでの講義で学んだ重要用語について説明できるように復習しておく。 【担当】千原
---	--

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

石川ふみよ他 編集：ナースングラフィカ 成人看護学⑤リハビリテーション看護 第5版1刷．メディカ出版，2024．

参考文献

酒井郁子，金城利雄編集：リハビリテーション看護 障害をもつ人の可能性とともに歩む 改定第3版．南江堂，2022．
武田宜子他：系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 第6版．医学書院，2015．
落合慈之監修：リハビリテーションビジュアルブック 第2版．学研，2016．

評価方法

各回講義の小テスト及び課題70%，評価試験30%（第8回講義）

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Microsoft Formsを活用して、課題・小テストを実施し、フィードバックを行います。

教員等の実務経験

急性期・慢性期病院での臨床、及び在宅・地域でリハビリテーションを他職種連携で実践してきた看護師経験のある看護教員が講義を担当。

メッセージ

多職種連携や在宅支援に向けた大事な科目です、テキストに使われているリハビリテーション看護での重要用語を予習・復習し今後の看護展開に活かせるようになりましょう。

慢性看護Ⅰ

更新日：2024/02/21 14:22:33

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	620200	授業コード	62020
担当教員	中村 光江, 山本 孝治, 西山 陽子, 鈴鹿 綾子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

各ライフステージにわたる、慢性疾患とともに生きる人を理解するための概念を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	慢性病の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病とともに生きる人への理解や看護を支える理論や概念を説明できる。
3	慢性病とともに生きる人とその家族へのアセスメントの視点や援助方法について例を挙げて述べることができる。

授業計画

1	慢性病とその治療の特徴/看護の役割 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章「慢性期看護とは」（p.2～25,35～43）を熟読する。 【復習】20分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
2	慢性病とともに生きる人とその家族の身体的・心理社会的特徴（受け入れ過程/自己概念/役割） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第2章「慢性疾患を有する人とその家族の理解」（p.56～86.）を熟読する。 【復習】20分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
3	各ライフステージにおける慢性病の特徴と影響（特に成人期） 【授業方法】講義、ディスカッション、評価試験（小テスト） 【予習】30分：「人間の成長発達段階」（看護学概論）を復習する。テキスト第2章「慢性疾患を有する人とその家族の理解」（p.64～66）を熟読する。 ＊第3回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【復習】15分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
4	慢性疾患を有する人のセルフケア・セルフマネジメント能力を高める看護 【授業方法】講義 【予習】30分：健康行動論で学んでいる理論・概念を復習する。 テキスト第3章「A.セルフケア B.セルフマネジメント」（p.88～95）、第3章「A.セルフマネジメント能力を高める支援」（p.117～122.）を熟読する。 【復習】20分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
5	慢性病とともに生きる人への理解「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の理解 【授業方法】講義、演習 【予習】30分：テキスト第3章「G.病みの軌跡」（p.110～116）を熟読し「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の概要を理解する。 【復習】30分：授業で提示する事例の「病みの軌跡」について考え、演習用フォーマットを完成させる。 【担当】中村
6	慢性病とともに生きる人への理解「慢性疾患の病みの軌跡モデル」の活用 【授業方法】講義、演習、評価試験（レポート） 【予習】15分：完成させた「病みの軌跡」のフォーマットを見直し、疑問点を明確にしておく。 【復習】60分：事例の「病みの軌跡」についてまとめ記述する。（レポート課題） 【担当】中村

7	慢性疾患を有する人とその家族への支援：チームアプローチ（多職種連携）と社会資源 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第Ⅰ章「3. 慢性疾患を有する人をとりまく療養環境の特徴」（p.26~34）、「5. 慢性疾患を有する人にかかわる専門職とチーム医療」（p.44~47.）、第Ⅲ章「3. 社会資源の活用」（p.133~153.）を熟読し、以下についてまとめる。 ・どのような専門職との連携が必要か。 ・どのような社会資源を活用できるか。 【復習】15分：授業内容のまとめ 【担当】中村
8	消化器系障害とともに生きる人への看護（胃・十二指腸潰瘍/肝炎/肝硬変/肝臓がん） 【授業方法】講義（ICT支援・GW）、評価試験（小テスト） 【予習】30分：テキスト第Ⅴ章（p.318~352.）「胃・十二指腸潰瘍」「慢性肝炎」「肝硬変」「肝臓がん」を熟読し、要点にマーカーを引く。 【復習】30分：小テストの解答を確認して、各疾患の病態と治療、看護についてまとめる ※第8回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】山本
9	免疫系障害とともに生きる人への看護：関節リウマチ/全身性エリテマトーデス/ステロイド療法 【授業方法】講義（ICT支援・GW）、評価試験（小テスト） 【予習】30分：テキスト第Ⅳ章4.「ステロイド療法を受ける患者の援助」（p.187~195.）、Ⅴ-6の4.「関節リウマチ」（p.445~456.）、5.全身性エリテマトーデス（p.457~464.）を熟読し、要点にマーカーを引く。 【復習】25分：小テストの解答をテキストや講義内容から確認する。 ※第9回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】山本
10	循環器系障害とともに生きる人への看護（高血圧/慢性心不全/虚血性心疾患） 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】40分：テキストⅤ-2「循環器系の障害を有する人とその家族への援助」高血圧p.276~279、虚血性心疾患 p.295~297、慢性心不全 p.308~310を熟読。「疾病と治療Ⅰ」で学んだ循環器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※第10回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】鈴鹿
11	呼吸器系障害とともに生きる人への看護（気管支喘息/慢性閉塞性肺疾患） 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】40分：テキストⅤ-1呼吸器系の障害を有する人とその家族への看護援助 p.250~252、慢性呼吸不全p.258~260を熟読し、「疾病と治療Ⅰ」で学んだ呼吸器系の疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の復習 ※第11回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】鈴鹿
12	腎機能障害とともに生きる人への看護（慢性腎臓病/腎不全/人工透析） 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】60分：テキストⅤ-5「腎・泌尿器系の障害を有する人とその家族への援助」p.357~367.「人工透析を受ける患者の援助」p.140~150.を熟読し、「疾病と治療Ⅱ」で学んだ腎疾患について復習しておく。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※第12回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】西山
13	脳・神経系障害とともに生きる人への看護（1）（脳梗塞／パーキンソン病） 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】60分：テキストⅤ-7「脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助」1. 脳梗塞、2. パーキンソン病 を熟読する。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 【担当】西山
14	脳・神経系障害とともに生きる人への看護（2）（筋萎縮性側索硬化症） 【授業方法】講義（ICT支援）、評価試験（小テスト） 【予習】60分：テキストⅤ-7「脳・神経系の障害を有する人とその家族への援助」3. 筋萎縮性側索硬化症 を熟読する。 【復習】30分：授業内容の要点をまとめる。 ※第13回・第14回の授業内容を対象としてmoodleを用いた評価試験（小テスト）を実施する。 【担当】西山
15	評価試験（筆記試験）・授業全体のフィードバック 【授業方法】科目全体の内容を対象とする評価試験（筆記試験 60分）・授業全体のフィードバック（30分） 【復習】30分：全体の振り返り 【担当】中村、山本、西山、鈴鹿

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第4版．南江堂，2023．

参考文献

Woog,P.(ed.)：The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model. 1992，黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡．医学書院，1995．
 Strauss,A.L.et al. (ed.)：Chronic Illness and the Quality of Life, 南裕子監訳：慢性疾患を生きる．医学書院，1987．

評価方法

評価試験（小テスト）（40%）、評価試験（筆記試験）（50%）、評価試験（レポート）（10%）で総合的に評価する。

※評価試験（小テスト）：当日の授業内容を対象として、第3回（5%）、8回（5%）、9回（5%）、10回（5%）、11回（5%）、12回（5%）、14回（10%）にmoodleを用いて小テストを実施する。

※評価試験（筆記試験）：科目全体の内容を対象として第15回に筆記試験を実施する。

※評価試験（レポート）：第6回に示す事例の「病みの軌跡」をまとめ記述する。提出期限は第6回において提示する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）。

教員等の実務経験

慢性看護（腎臓内科、消化器科、糖尿病専門科など）の分野で看護師として臨床経験がある教員が講義を担当する。

メッセージ

「慢性看護Ⅰ」で学ぶ理論や概念は、2年生前期の「健康行動論」「がん看護」「緩和ケア」と関連させることでより看護実践に活用できるようになります。本科目での学びは、後期の「慢性看護Ⅱ」の演習において具体化され、その後の「レベルⅢ慢性看護実習」での発展的活用につながっていきます。

慢性看護Ⅱ

更新日：2024/02/22 13:56:20

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	620300	授業コード	6203A, 6203B
担当教員	山本 孝治, 鈴鹿 綾子, 西山 陽子, 中村 光江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

慢性疾患の予防からセルフケア、患者会の運営、セルフケアグループの役割など、個および集団への指導や援助方法を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	様々な慢性疾患の特徴と生活への影響について説明できる。
2	慢性病をもつ人とその家族について、長期的な視点に基づいて全人的なアセスメントができる。
3	慢性病の予防から終末期までそれぞれの病期の特性に応じて、セルフケアを支えるための具体的な援助方法を説明できる。
4	事例の展開を通して、慢性病をもつ人と家族への看護を具体的に考察できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション：演習「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」オリエンテーション、病みの軌跡の復習 【授業方法】講義 【予習】20分：慢性看護Ⅰで取り組んだ病みの軌跡について振り返る 【復習】30分：事例の看護展開（課題）に取り組む。 【担当】山本、中村
2	消化器系障害とともに生きる人への看護（炎症性腸疾患：潰瘍性大腸炎・クローン病） 【授業方法】講義（ICT支援・GW）・評価試験（小テスト） ※第2・3回は同日2コマ連続で実施する。 【予習】20分：テキスト第Ⅴ章（p.353～366.）「潰瘍性大腸炎」「クローン病」を熟読し、要点にマーカーを引く。 【復習】30分：小テストの解答をもとに、炎症性腸疾患の特徴と症状・療養による生活への影響についてまとめる 【担当】山本
3	慢性病とともに生きる人への理解 療養の実際、患者会の活動について 【授業方法】講義（討議）・評価試験（小テスト） 【予習】20分：テキスト第Ⅴ章（p.353～366.）「潰瘍性大腸炎」「クローン病」を熟読し、要点にマーカーを引く。 【復習】20分：ゲストスピーカーの講義をふまえ、「病いとともに生きること」についてまとめる 【担当】ゲストスピーカー
4	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(1)：アセスメントに関するグループワーク 【授業方法】講義・演習（GW、討議） 【予習】40分： 「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」のアセスメントにおける【健康知覚・健康管理】、【栄養】、【排泄】のクラスターについて小グループでディスカッションを行う。 【復習】20分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村
5	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(2)：事例患者に対する観察の実践① 【授業方法】演習（実技、シミュレーション） 事例患者に対するバイタルサイン・フィジカルアセスメント、観察からアセスメントまでの一連を実施する ※第5・6回はA/Bクラスに分かれ、同日2コマ連続で実施する。 【予習】30分： ①第6回授業を踏まえ「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正 ②webカルテから追加の情報を収集する ③事例患者に必要な観察項目とバイタルサイン、フィジカルアセスメントをどのようにすすめるか手順をまとめる 【復習】30分： ①実践を振り返り、根拠に基づいたバイタルサイン、フィジカルアセスメントの実施についてまとめる ②グループによる実践を経過記録用紙にまとめる 【担当】：山本、西山、鈴鹿、中村

6	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(3)：事例患者に対する観察の実践② 【授業方法】演習（実技、シミュレーション）・評価試験（観察の実践演習の取り組み） 事例患者に対するバイタルサイン・フィジカルアセスメント、観察からアセスメントまでの一連を実施する ※第5・6回はA/Bクラスに分かれ、同日2コマ連続で実施する。 【予習】30分： ①第6回授業を踏まえ「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の修正 ②webカルテから追加の情報を収集する ③事例患者に必要な観察項目とバイタルサイン、フィジカルアセスメントをどのようにすすめるか手順をまとめる 【復習】30分： ①実践を振り返り、根拠に基づいたバイタルサイン、フィジカルアセスメントの実施についてまとめる ②グループによる実践を経過記録用紙にまとめる 【担当】：山本、西山、鈴鹿、中村
7	「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」(4)：Q and A /オリエンテーション② 【授業方法】講義・演習（討議、発表） アセスメント、関連図、看護問題の抽出について、小グループでディスカッションを行う 看護過程の展開「看護問題抽出」までのポイントを解説する 【予習】20分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【復習】30分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【担当】山本
8	慢性疾患を有する人とその家族への支援：成人教育（アンドラゴジー） 【授業方法】講義・評価試験（小テスト） 【予習】20分：テキスト第III章 「治療・療養を促進する支援」（p.117～131.）を熟読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ 【担当】中村
9	代謝・内分泌系障害とともに生きる人への看護 【授業方法】講義（ICT支援）・評価試験（小テスト） 【予習】30分：テキストV-4「糖尿病」p367～371、IV「インスリン療法を受ける患者の援助」p156～p160、系統看護学講座専門分野Ⅱ内分泌のテキストを熟読する。 【復習】30分：糖尿病の病態・治療の学修後にもう一度テキストを熟読し、要点をまとめる。 【担当】鈴鹿
10	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（1）：セルフケア支援計画書の実際 【授業方法】講義・演習（GW、討議、発表） グループワークによる討議，教員からのフィードバック 【予習】40分：テキストV-4「糖尿病」，系統看護学講座専門分野内分泌のテキストを用いて，糖尿病指導案の事例についてクラスター「健康管理・健康知覚」のアセスメントを完成させておく。 【復習】30分：「健康管理・健康知覚」のクラスターについて追加修正 【担当】鈴鹿
11	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の具体的方法（2）：セルフケア支援計画書のピアレビュー 【授業方法】講義（GW、討議、発表） グループワークによる討議，教員からのフィードバック 【予習】30分：糖尿病事例に対するセルフケア支援計画書の「テーマ」「患者指導の目的」「患者の行動目標」，パンフレットを完成させておく。 【復習】20分：セルフケア支援計画書、パンフレットの追加修正 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
12	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実践（1）：セルフケア支援計画書・パンフレットを用いたセルフケア指導の実践① 【授業方法】演習（実技、GW、討議、発表） 【予習】30分：セルフケア指導実践の練習 【復習】30分：演習の振り返り ※第12・13回はA/Bクラスに分かれ、同日2コマ連続で実施する。 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
13	慢性病予防およびセルフケアのための学習支援・行動変容支援の実践（2）：セルフケア支援計画書・パンフレットを用いたセルフケア指導の実践② 【授業方法】演習（実技、GW、討議、発表）・評価試験（課題：セルフケア支援計画書、パンフレット）（セルフケア指導実践演習の取り組み） 【予習】30分：セルフケア指導実践の練習 【復習】30分：演習の振り返り ※第12・13回はA/Bクラスに分かれ、同日2コマ連続で実施する。 【担当】鈴鹿、山本、西山、中村
14	演習に関するQ and A 【授業方法】講義・演習（討議、発表）・評価試験（課題：病みの軌跡を用いた看護過程の展開） 「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」、「セルフケア指導実践」に関するQ and A/まとめ 【予習】40分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」＜看護計画立案まで完成させておく＞ 【復習】40分：「病みの軌跡を用いた看護過程の展開」の追加・修正 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村
15	科目のまとめ、慢性看護実習に向けた学習準備 【授業方法】講義（討議、発表） 科目全体の学びの意見交換、課題のフィードバック 【予習】20分：取り組んだ課題を振り返る 【復習】20分：科目で学んだことを慢性看護実習でどのように活かすのかまとめる 【担当】山本、西山、鈴鹿、中村

先行履修要件科目

なし

テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病气とともに生活する人を支える 改訂第4版．南江堂，2023．

参考文献

鈴木志津枝他編：慢性期看護論 第3版．ヌーヴェルヒロカワ，2014．
日比紀文監修：チーム医療につなげる！IBD診療ビジュアルテキスト．羊土社，2016．
日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表第7版．文光堂，2013．
日本糖尿病教育・看護学会編：糖尿病に強い看護師育成支援テキスト．日本看護協会出版会，2008．
福井トシ子監修：ライフステージから理解する糖尿病看護：事例で学ぶアセスメントのポイント．中央法規，2013．

評価方法

評価試験（20％）、課題（60％）、演習への取り組み（20％）を総合的に評価する。
※評価試験は第2回、第3回、第8回、第9回の授業内容を対象として、その授業終了後にmoodleを用いて実施する。
※課題の評価内訳：第10-13回分のセルフケア支援計画書・パンフレット作成（25％）、第1-14回分の病みの軌跡を用いた看護過程の展開（35％）
※演習の取り組みの評価内訳：第5-6回分の事例患者に対する観察の実践（10％）、第12-13回分のセルフケア指導の実践（10％）

課題、演習の取り組みの評価は、ルーブリック評価を用い行う。課題の提出時期は、授業内に提示する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）。

教員等の実務経験

腎臓内科、糖尿病内科等の病棟で看護師の経験がある教員が講義、演習を担当する。

メッセージ

慢性看護Ⅱは2年生の集大成といえるレベルⅢ慢性看護実習につなぐ科目です。授業のなかで、学生間の全体討論やピアレビューを実施します、活発な意見交換をして学びを共有し深めていきましょう。課題は計画的に学習を進めていくように心がけてください。

母性看護 I

更新日：2024/02/21 18:36:14

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	620400	授業コード	62040
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 福田 陽子, 菊池 さよ, 内田 文月						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

女性の各ライフステージにおける健康課題、女性特有の疾患に対する看護の特性、周産期看護の基礎となる周産期学の知識を学び、女性の生涯を通じた看護や健康支援を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：母性看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	女性の健康は性周期ならびに性ホルモンの変動に大きく影響されていることを説明することができる。
2	女性のライフサイクルの各ステージ（思春期・成熟期・更年期・老年期）の健康課題と支援について考察することができる。
3	女性特有の疾患に対する看護の特性を説明することができる。
4	妊娠、分娩、産褥の正常経過を説明することができる。
5	新生児の生理的变化について説明することができる。

授業計画

1	母性看護の基盤となる概念・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第1章 母性看護の基盤となる概念（A母性とは～F母性看護のあり方）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】永松
2	母性を取り巻く社会の変遷と現状・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第2章 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】石山
3	母性看護における倫理・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第1章 母性看護の基盤となる概念（G母性看護における倫理・H母性看護における安全・事故予防）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】石山
4	母性看護の対象理解・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議，ICT双） 【予習】45分：「人体の構造と機能Ⅳ」での生殖器および受精と発生に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第3章 母性看護の対象理解」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】菊池
5	女性の健康と看護①（ライフサイクルにおける女性の健康と看護：思春期の健康と看護）・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論）の「第5章 女性のライフステージ各期における看護（Aライフサイクルにおける女性の健康と看護・B思春期の健康と看護）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】内田
6	女性の健康と看護②（ライフサイクルにおける女性の健康と看護：性成熟期の健康と看護）・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第5章 女性のライフステージ各期における看護（C性成熟期の健康と看護）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】菊池

7	女性の健康と看護③（ライフサイクルにおける女性の健康と看護：更年期・老年期の健康と看護）・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義・演習 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第5章 女性のライフステージ各期における看護（D更年期・老年期の健康と看護）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】菊池
8	リプロダクティブヘルスケア①・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第6章 リプロダクティブヘルスケア（A家族計画～D人工妊娠中絶と看護）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】内田
9	リプロダクティブヘルスケア②・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第6章 リプロダクティブヘルスケア（E喫煙と女性の健康～H国際化社会と看護）」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】内田
10	妊娠期における生理的变化・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：「人体の構造と機能Ⅳ」での受精と発生（胎児の発達、妊娠による母親の変化）に関する学習内容の復習、およびテキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第3章 妊娠期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
11	分娩期における生理的变化・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第4章 分娩期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
12	産褥期における生理的变化・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第6章 産褥期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田
13	新生児期における生理的变化・評価試験（小テスト） 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）の「第5章 新生児期における看護」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】菊池
14	評価試験（筆記試験）/評価試験の内容に関するフィードバック 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：第1回から第13回までの講義内容【復習】30分：評価試験の内容 【担当】永松、石山、福田、菊池、内田
15	母性看護に必要な看護技術 【授業方法】講義（討議） 【予習】45分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学[1] 母性看護学概論）の「第4章 母性看護に必要な看護技術」をよく読み、予習しておく。 【復習】45分：①講義の復習、②関連知識を自身で調べ、③引用参考文献をまとめる。 【担当】福田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論（第14版）．医学書院，2021．
森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）．医学書院，2021．

参考文献

中込さと子，他：ナースিং・グラフィカ 母性看護学① 概論・リプロダクティブヘルスと看護（第3版）．メディカ出版，2024．
小林康江，他：ナースিং・グラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践（第3版）．メディカ出版，2024．
末岡浩，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器（第15版）．医学書院，2019．
仁志田博司：新生児学入門（第5版）．医学書院，2018．

評価方法

第14回評価試験（50％）、第1～13回評価試験（小テスト）（50％）をもとに総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双方向型授業：講義によっては、Moodle等を用いて双方向性の授業を展開する。

教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟での臨床経験がある教員が、その経験を活かし、女性の生涯を通じた健康支援と妊産褥婦および新生児への看護に必要な理論基盤や知識について講義し、共に討議します。

メッセージ

少子化、核家族化、生殖補助療法、出生前診断など、女性を取り巻く環境は大きく変化し続けています。多角的な視点から母性看護の基盤となる知識を習得し、母性看護Ⅰでの学びを深めていきましょう。

母性看護Ⅱ

更新日：2024/01/17 15:06:52

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	620500	授業コード	62050
担当教員	石山 さゆり, 福田 陽子, 菊池 さよ, 内田 文月						
備考	必修/選択：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

周産期看護に必要な理論と技術について学び、周産期を中心とした母子およびその家族の看護に必要な基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：母性看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	周産期における対象の特性に応じた看護の視点を、基礎的知識を用いて説明できる。
2	母性の看護過程の展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。

授業計画

1	オリエンテーション／母性看護の看護過程の展開／事例の紹介 【授業方法】講義 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容を復習し、講義に臨む。 【復習】50分：妊娠期事例の看護展開を行う。 【担当】福田・菊池・内田
2	妊娠期における看護／事例のアセスメント・看護診断立案の方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとにアセスメントを行う。グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（妊娠期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅰ 妊娠の異常と看護」をよく読み、予習しておく。事例の看護過程の展開をもとに、必要な情報を個人で整理し、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメント・看護診断の発表準備を行う。 【担当】菊池・福田・内田
3	妊娠期における看護過程の展開／アセスメント・看護診断に対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメント・看護診断をグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容やアセスメント・看護診断のポイントについて、フィードバックを行う。 【予習】30分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第3章 妊娠期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅰ 妊娠の異常と看護」をよく読み、グループ毎に発表資料の準備を行う。 【復習】50分：アセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】菊池・福田・内田
4	分娩期における看護／事例のアセスメント方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとに、グループで討議しながら、事例のアセスメントを行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（分娩期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第4章 分娩期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅱ 分娩の異常と看護」をよく読み、予習しておく。事例の看護過程の展開をもとに、必要な情報を個人で整理し、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメントの修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
5	産褥期における看護／事例のアセスメント方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとに、グループで討議しながら、事例のアセスメントを行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（産褥期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護」「第7章 妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅳ産褥の異常と看護」をよく読み予習しておく。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメントの修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
6	産褥期における看護過程の展開① 【授業方法】演習（PBL，GW）個人ワークで行った情報整理・アセスメントをもとに、グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で情報整理・アセスメントを行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、アセスメントの発表準備を行う。 【担当】福田・菊池・内田

7	産褥期における看護過程の展開②／アセスメントに対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメントをグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容やアセスメントのポイントについて、フィードバックを行う。その後、グループで討議しながら、事例のアセスメント修正・看護診断の立案を行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で情報整理・アセスメント・看護診断の立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：アセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
8	新生児期における看護／事例のアセスメント方法 【授業方法】講義・演習（PBL，GW）をもとにアセスメントを行う。グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：母性看護Ⅰでの学習内容（新生児期）の復習、テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第5章 新生児期における看護」「第7章妊娠・分娩・新生児・産褥の異常Ⅲ新生児の異常と看護」をよく読み予習しておく。 【復習】50分：新生児期事例の看護展開を行う。 【担当】菊池・内田・福田
9	新生児期における看護過程の展開／アセスメントに対するフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）事例をもとにしたアセスメントをグループ毎に発表し、討議を行う。発表内容やアセスメントのポイントについて、フィードバックを行う。その後、グループで討議しながら、事例のアセスメント修正・看護診断の立案を行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で情報整理・アセスメント・看護診断の立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：アセスメント・看護診断の加筆修正を行う。 【担当】菊池・内田・福田
10	産褥期・新生児期における看護過程の展開 【授業方法】演習（PBL，GW）個人ワークで立てた看護計画をもとに、グループで討議しながら、発表の準備まで行う。 【予習】30分：事例をもとに、個人で看護計画の立案を行い、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、看護計画の発表準備を行う。 【担当】福田・菊池・内田
11	産褥期・新生児期における看護過程の展開／看護診断・看護計画のフィードバック 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）グループ毎に、作成した産褥期・新生児期の看護診断・看護計画を発表し討議を行う。 【予習】30分：発表の準備を行う。 【復習】50分：グループ毎に、作成した産褥期・新生児期の看護診断・看護計画の加筆修正を行う。 【担当】福田・菊池・内田
12	周産期に関わる看護技術 【授業方法】演習（実技，GW）グループ毎に実施する(日程がグループで異なる)。産褥期（退行性変化・進行性変化の観察）、および新生児期（バイタルサインの測定、全身状態の観察、清潔の保持）の看護技術を用いながら、立案した看護計画をもとに、事例の情報収集とアセスメント、報告までを行う。 【予習】30分：テキストもしくは参考文献（根拠と事故防止からみた母性看護技術 第3版. 医学書院）のARコンテンツから該当の動画を視聴し、事前学習課題（演習後に要提出）に取り組みながら、看護技術実践の準備を行う。 【復習】50分：演習後、演習時に収集した情報をもとに事例のアセスメント、看護計画の加筆修正を個別に行う。 【担当】福田・菊池・内田
13	セルフケア能力を高める看護（産褥期）① 【授業方法】演習（PBL，GW）グループ毎に実施する(日程がグループ毎に異なる)。個人ワークをもとに、グループで討議しながら、事例に必要な保健指導案を作成する。 【予習】30分：事例の看護過程の展開をもとに、事例に必要な保健指導とその内容について個人で考え、グループワークの準備をする。 【復習】50分：グループワークをもとに、保健指導案の発表準備を行う。 【担当】石山
14	セルフケア能力を高める看護（産褥期）② 【授業方法】演習（PBL，GW，発表，討議，ICT双）作成した保健指導案を、グループ毎に発表し討議を行う。 【予習】30分：テキスト（系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論）「第6章 産褥期における看護 C褥婦と家族の看護、D施設退院後の看護」をよく読み、グループ毎に保健指導案の作成と発表準備を行う。 【復習】50分：保健指導案および発表資料の加筆修正を行う。 【担当】石山・福田・菊池・内田
15	母性看護Ⅱの評価試験／看護過程の展開・評価試験に対するフィードバック 【授業方法】講義（評価試験） 【予習】60分：第1回から第14回までの講義内容を学習しておく。看護過程の展開で理解不十分だった箇所について整理しておく。 【復習】20分：母性看護過程の展開・母性看護技術についてまとめる。 【担当】石山・福田・菊池・内田

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論（第14版）．医学書院，2023．
森恵美，他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論（第14版）．医学書院，2023．

参考文献

石村 由利子：根拠と事故防止からみた母性看護技術（第3版）．医学書院，2022．
堀内成子，他：パーフェクト臨床実習ガイド：母性看護（第2版）．照林社，2017．
横尾京子，他：ナースিং・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術（第6版）．メディカ出版，2024．
小林康江，他：ナースিং・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践（第3版）．メディカ出版，2024．
中村幸代，他：根拠がわかる母性看護過程：事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画．南江堂，2018．
仁志田博司：新生児学入門（第5版）．医学書院，2018．

評価方法

評価試験（30%）、課題提出（50%）、保健指導案の発表資料（10%）、授業参加度（10%）をもとに総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双方向型授業：発表時タブレット等の画面のミラーリングを活用しながら、講義を行う。

教員等の実務経験

助産師として産婦人科病棟・産婦人科外来・地域での実践経験がある教員が、その経験を活かし、妊産褥婦および新生児への看護について講義します。

メッセージ

本科目は、女性のライフサイクルの中で特に変化の大きい周産期に特化した科目になります。本科目での講義や演習課題（看護過程展開）への取り組みを通して、女性とその家族への支援について、学修していきましょう。

小児看護Ⅰ

更新日：2024/03/16 12:52:30

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	620600	授業コード	62060
担当教員	川崎 幹子, 太田 純代						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

子どもの成長・発達を生涯発達の視点から理解し発達の評価を学ぶ。成長・発達する子どもとその家族を含めた社会的環境との関係を理解し、健康問題の解決への手がかりを学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	子どもの成長・発達に関する理論と特徴を説明できる
2	子どものフィジカルアセスメントの特徴を説明できる
3	子どもの成長・発達の特徴を踏まえた援助を説明できる
4	子ども・家族の諸統計、家族看護理論を説明できる
5	子どもの健康に関わる法律・施策、小児看護の目標および役割を説明できる

授業計画

1	小児を取り巻く医療の変遷と課題・評価試験(小テスト)① 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P17～40 予習キーワード：小児看護・医療の歴史、小児看護の変遷、小児看護の国際動向、小児看護・医療の課題と展望 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
2	小児看護における概念と理念・評価試験(小テスト)② 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P125～145、課題1に取り組む 予習キーワード：エリクソンの自我発達理論、ピアジェの認知発達理論、パウルビの愛着理論、マラーの分離－個体化理論、家族システム論、家族発達理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
3	小児を守る法律と制度・評価試験(小テスト)③ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P41～46、P69～83 予習キーワード：小児看護・医療の法律、学校保健、予防接種、難病や障害をもつ小児への保健・福祉 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
4	発達障害のある子どもと家族の看護・評価試験(小テスト)④ 【授業方法】講義 【予習】60分：予習キーワード：広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害、学習障害 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
5	小児看護の特質・評価試験(小テスト)⑤ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～15 予習キーワード：小児看護の目標、小児看護師の役割 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
6	母子保健の動向、小児保健統計、母子保健対策からみる小児看護の視点・評価試験(小テスト)⑥ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P61～66 予習キーワード：母子保健、子育て支援 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田

7	小児の成長・発達と看護（発達の基本）・評価試験(小テスト)⑦ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123 予習キーワード：成長・発達・発育の概念と定義、成長・発達の区分・原則 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
8	小児の成長・発達と看護（発達評価法）・評価試験(小テスト)⑧ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123、課題2に取り組む 予習キーワード：遠城寺式乳幼児分析発達検査法、日本版デンバー式発達スクリーニング検査指数を用いた評価（カウプ指数、ローレル指数、肥満度） 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
9	小児の成長・発達と看護（日常生活援助の視点）・評価試験(小テスト)⑨ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P85～123、課題3に取り組む 予習キーワード：原始反射、姿勢反射、粗大運動、微細運動、眠る・食べる・排泄の機能 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
10	子どもの虐待に関する小児看護の役割・評価試験(小テスト)⑩ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P44～45、P66～69 予習キーワード：ネグレクト、性的虐待、身体的虐待、心理的虐待、マルトリートメント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
11	子どもの事故防止と安全教育（家庭内と施設内）・評価試験(小テスト)⑪ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P166、P177～179、P197、P213～214、第2・6回の講義内容を復習してから本講義に臨む 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
12	障害をもつ子どもと家族に向けた小児看護・評価試験(小テスト)⑫ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P78～83、P147、P148、P151、P152 予習キーワード：ノーマライゼーション、セルフケア理論 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】ゲストスピーカー
13	小児期にある対象の理解と看護・評価試験(小テスト)⑬ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P1～15 予習キーワード：今までの講義を通して、「子どもとはどのような存在か」を考察する。 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
14	子どもの最善の利益にかなう医療・看護/子どもの人権・評価試験(小テスト)⑭ 【授業方法】講義 【予習】60分：教科書P46～57 予習キーワード：子どもの権利条約、小児医療における倫理的配慮 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田
15	小児看護Ⅰの評価試験/フィードバック 【授業内容】小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所についてのフィードバックを行う。 【授業方法】評価試験(筆記試験)60分、フィードバック30分 【予習】60分：小児看護Ⅰにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所 【復習】30分：これまでの授業資料を確認しておく 【担当】川崎・太田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

小林京子、他著：小児看護学概論 小児保健 第7版．メヂカルフレンド社，2022．

参考文献

厚生労働統計協会：国民衛生の動向2021/2022．厚生労働協会，2021．

二宮啓子，他著：小児看護技術 改訂第4版．南江堂，2022．

評価方法

第15回評価試験(筆記試験50％：第15回、小テスト20％：第1～14回、課題30％：第2回、第8回、第9回提出課題)

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

メッセージ

出生から思春期もしくは青年期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。各回で学ぶ内容を知識として定着するために予習キーワードを提示しています。そこで、キーワードを確認し学修した上で講義に臨んでください。

提出課題については、演習ノートに記載して自己学習を行ってください。課題の詳細は、講義中に示します。また演習ノートを参考にして、復習の機会にしてください。演習ノートは、3年次科目の小児看護ⅡやレベルⅣ実習でも活用するので、今から内容が充実した演習ノートを作成しましょう。

小児看護Ⅱ

更新日：2024/03/16 12:53:08

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	620700	授業コード	62070
担当教員	川崎 幹子, 太田 純代						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

小児の健康問題を理解し、病院や地域において種々の健康レベルにある子どもと家族への看護方法・技術、健康教育、継続的支援の方法を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	小児看護Ⅰで学んだ基礎的知識を踏まえて、対象の特性に応じた看護の視点を説明できる。
2	小児の看護展開において必要な視点および看護ケアの特性について説明できる。
3	小児の健康障害を持つ子どもと家族の看護の特性を説明できる。

授業計画

1	障害および入院が小児と家族に及ぼす影響と看護：①小児の病気に対する認識過程、②入院時、入院中の看護、③家族の反応と心理理解・評価試験(小テスト)① 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P2～23、P278～279 予習キーワード：小児の療養の場、小児の病気の理解と説明、インフォームド Consent、インフォームドアセント 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
2	急性的経過をたどる健康問題／障害と看護、慢性的経過をたどる健康問題／障害と看護・評価試験(小テスト)② 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P128～134（急性期）、P144～154（慢性期） 予習キーワード：＃8000、急性期の小児の特徴、急性状態が小児に与える影響、小児慢性特定疾病対策事業、慢性期疾患に伴う小児の状態、移行期 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
3	先天的な健康問題のある小児と家族の看護、感染予防の必要がある小児と家族の看護・評価試験(小テスト)③ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P204～208 予習キーワード：先天異常の定義と分類、小児の発達段階に応じた援助、心室中隔欠損症、感染経路、感染経路別予防策、急性細気管支炎 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
4	周術期における小児と家族の看護、活動制限が必要な小児と家族の看護・評価試験(小テスト)④ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P134～143、P177～182、P514～516 予習キーワード：周術期にある小児と家族の体験、手術が小児に与える影響、周術期の小児と家族の看護、直腸肛門奇形、活動制限の種類や目的、活動制限による影響、小児の骨折と治療 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
5	看護過程の展開・評価試験(小テスト)⑤ 【授業方法】講義 【予習】30分 予習キーワード：急性期・周手術期・慢性期にある小児と家族の体験、病気や入院が小児と家族に与える影響、急性期・周手術期・慢性期の小児と家族の看護 【復習】50分：講義資料の振り返り 【担当】川崎
6	小児看護に必要な看護技術・評価試験(小テスト)⑥ 【授業方法】講義 【予習】50分：教科書P290～348内の動画も視聴すること。 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換、身体計測、採血、採尿、骨髓穿刺、腰椎穿刺、与薬、注射、輸液療法、吸引、酸素療法、経管栄養、プレパレーション 【復習】30分：講義資料の振り返り 【担当】太田

7	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換①評価試験(小テスト)⑦ 【授業方法】 演習（実技、グループワーク） 【予習】 50分：教科書P290～318、課題1（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田・川崎
8	新生児のバイタルサイン測定、沐浴、オムツ交換②評価試験(小テスト)⑧ 【授業方法】 演習（実技、グループワーク） 【予習】 50分：教科書P290～318、課題1（必修）に取り組む 予習キーワード：バイタルサイン測定、フィジカルアセスメント、沐浴、オムツ交換 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田・川崎
9	プレバレーション①評価試験(小テスト)⑨ 【授業方法】 演習（実技、グループワーク、発表） 【予習】 50分：教科書P279～287、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：プレバレーション 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田・川崎
10	プレバレーション②評価試験(小テスト)⑩ 【授業方法】 演習（実技、グループワーク、発表） 【予習】 50分：教科書P279～287、課題2（必修）に取り組む 予習キーワード：プレバレーション 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田・川崎
11	低出生体重児と家族の看護・評価試験(小テスト)⑪ 【授業方法】 講義 【予習】 50分：教科書P26～36、P199～203、P376～402 予習キーワード：新生児の分類、ハイリスク新生児の特徴と要因、アセスメントの視点、入院中の看護 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田
12	ターミナル期および災害時における小児と家族の看護・評価試験(小テスト)⑫ 【授業方法】 講義 【予習】 50分、教科書P156～163、P262～268 予習キーワード：発達段階における死の概念、終末期の小児をもつ家族看護、災害による小児への影響 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田
13	心身障害のある小児と家族への看護、医療的ケアを必要としながら退院する小児と家族への看護・評価試験(小テスト)⑬ 【授業方法】 講義 【予習】 50分：教科書P208～222、P517～519 予習キーワード：大島分類、超重症児、てんかん、脳性麻痺、医療的ケア、経管栄養法、気管切開、入院生活から在宅への移行に向けた支援 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 ゲストスピーカー
14	在宅・地域で医療的ケアを必要とする小児と家族への看護、家庭で療養している慢性疾患のある小児と家族への看護・評価試験(小テスト)⑭ 【授業方法】 講義 【予習】 50分、教科書P234～245 予習キーワード：慢性疾患のある小児へのセルフケア支援、ネフローゼ症候群 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 ゲストスピーカー
15	小児看護Ⅱの評価試験・フィードバック 【授業内容】 小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題についてのフィードバックを行う。 【授業方法】 評価試験(筆記試験)60分、フィードバック30分 【予習】 50分：小児看護Ⅱにおける学習内容の中で理解不十分だった箇所、課題 【復習】 30分：講義資料の振り返り 【担当】 太田・川崎

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

小林京子他：小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 第7版．メヂカルフレンド社，2022．

参考文献

小林京子他：小児看護学概論 小児保健 第7版．メヂカルフレンド社，2022．

今野美紀他：小児看護技術 改訂第4版．南江堂，2022．

荻津智子編著：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程．医歯薬出版，2021．

岡田喜篤監修：新版 重症心身障害療育マニュアル．医歯薬出版，2015．

鈴木康之他監修：写真でわかる重症心身障害者(児)のケア．インターメディカ，2015．

評価方法

第15回評価試験(筆記試験60%：第15回、小テスト20%：第1～14回、課題20%：第7、第8回、第9回、第10回提出課題)

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

小児看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、小児看護について講義します。

メッセージ

本科目は、出生から小児期までの幅広い対象の特性と看護を学ぶ科目です。本科目を学習する際に、小児看護Ⅰから知識を集積している講義ノートを準備してください。各回講義前の予習として学習課題に予習キーワードを挙げています。ただし、キーワードがすべて該当ページにあるとは限りませんので、事前に自身で調べておいてください。該当ページでのキーワードの予習を講義ノートに記載した上で、講義に臨んでください。講義では、講義ノートに必要事項を書き加えてください。演習は、事前課題と指定の視覚教材の視聴を課して、小児看護に必要な基礎的技術を習得してもらいます。

老年看護Ⅰ

更新日：2024/03/14 11:56:20

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	620800	授業コード	62080
担当教員	姫野 稔子, 原田 紀美枝, 千原 明美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

個々のもつ老年観を豊かにし、高齢者や高齢者を取り巻く社会支援システムについて理解を深め、高齢者看護の基礎的能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	自己の老年観をみつめ、老年観の構成要素や老年看護における老年観の重要性を理解できる。
2	高齢者疑似体験を通して高齢者の身体特性を体感し、心理・社会的特性を洞察できる。
3	老化の理解と日常生活への影響を理解できる。
4	加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の疾病を理解できる。
5	高齢者に関する統計的輪郭および変遷と施策に結び付けて理解することができる。
6	高齢者が生活もしくは療養している場と関連する制度を理解できる。
7	老年看護の原理・原則および役割機能を理解できる。
8	治療を受ける高齢者の看護について理解できる。

授業計画

1	「古い」「老いを生きる」とはどういうことなのかを考える：1）個々の老年観を言語化し、見つめ、洞察する/2） Aging の捉え方を理解する 【授業方法】講義 【復習】30分：老年期の特徴についてレジュメや教科書で復習する 【担当】姫野
2	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（1） 【授業方法】演習（GW・討議） 【復習】60分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野
3	高齢者疑似体験演習により、身体・心理・社会的側面から老いにアプローチする（2） 【授業方法】演習（GW・討議） 【復習】60分：高齢者疑似体験の各役割を通しての学びをレポートにまとめる 【担当】姫野
4	国内外における高齢化の統計的輪郭と施策の変遷を理解する 【授業方法】講義 【復習】60分：統計的データから高齢化を理解し、保健福祉政策とのつながり整理する 【担当】姫野
5	老化のメカニズムと身体機能の変化を理解する・レポートに関するフィードバック（FB） 【授業方法】講義 【予習】40分：老年看護病態・疾病論1章、ナースンググラフィカ第1章pp50-66を読んでくる 【復習】40分：それぞれの器官の正常と加齢による生理的变化について復習する 【担当】姫野
6	社会の高齢化に伴う社会保障と権利擁護について理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナースンググラフィカ第2章3高齢者を支える制度を読んでくる 【復習】30分：介護保険、権利擁護について復習する 【担当】原田
7	高齢者に関するケアシステムを理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナースンググラフィカ第3章 1.地域包括ケアを読んでくる 【復習】30分：高齢者医療に関する制度を整理する 【担当】原田

8	認知症疾患の病態を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：医学書院テキスト第4章 A.認知症を読んでくる 【復習】30分：授業資料を読みわからないところを調べる 【担当】原田
9	認知症高齢者への対応方法を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：8回目の講義内容をもとに、認知症疾患の特徴を整理する。 【復習】30分：授業資料を読みわからないところを調べる 【担当】原田
10	老年医学（１）脳神経系・筋骨格系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分：人体の構造と機能で学んだ脳神経・筋骨格系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】40分：講義で学んだ疾病について復習する。 【担当】千原
11	老年医学（２）呼吸器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分：人体の構造と機能で学んだ呼吸器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】40分：講義で学んだ疾病について復習する。 【担当】千原
12	老年医学（３）循環器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分：人体の構造と機能で学んだ循環器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】40分：講義で学んだ疾病について復習する。。 【担当】千原
13	老年医学（４）感覚器系・泌尿器系における諸機能の変化と疾病を理解する 【授業方法】講義 【予習】40分：人体の構造と機能で学んだ感覚器・泌尿器系の機能及び疾病を復習しておく。 【復習】40分：講義で学んだ疾病について復習する。。 【担当】千原
14	治療を受ける高齢者への看護の役割を理解する 【授業方法】講義 【予習】30分：ナースングラフィカ第1章 4.高齢者とQOLを読んでくる 【復習】30分：治療を受ける高齢者への看護の役割を整理する 【担当】原田
15	評価試験／老年看護の理念・目標・原則を理解する 【授業方法】評価試験および老年看護Ⅰの総括・フィードバック（FB） 【復習】60分：老年看護Ⅰの学習内容および知識の整理を行う。 【担当】原田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

佐々木英忠著：系統看護学講座21 老年看護 病態・疾患論。医学書院，2020。
堀内ふき他著：ナースングラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害。メディカ出版，2023。

参考文献

メアリー・A. マテソン他：看護診断にもとづく老人看護学1～5。医学書院，1992-1995。
E. H. エリクソン他：老年期-生き生きしたかわりあい。みすず書房，1997。
Lawton, M.P. : Environment and other determinants of well-being in older people. Gerontologist 23(4).349-357, 1983.

評価方法

評価試験（レポート20％、筆記試験80％：15コマ目に実施する）

本科目で取得が望ましい点数

75

ICTの活用・教育リソース

MoodleやGoogle Driveを活用し、レポートの提出や確認テストを行います。
高齢者看護の場で看護師・看護管理者の経験がある教員がその経験を活かして、講義や演習を行います。

教員等の実務経験

人体の構造と機能Ⅰ～Ⅳおよび疾病と治療Ⅰ～Ⅳの復習をして講義に臨んでください。

メッセージ

人体の構造と機能の知識が加齢によりどのように変化していくのかをつなげ、老年看護Ⅱや老年看護実習の基盤となる科目です。

老年看護Ⅱ

更新日：2024/02/21 10:14:10

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	620900	授業コード	62090
担当教員	梶原 弘平, 千原 明美, 高比来 ひとみ, 原田 紀美枝, 姫野 稔子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

加齢に伴う諸機能の変化と高齢者特有の健康課題から生じる日常生活上の問題に対し、個別的援助方法を導くための視点と技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	高齢者特有の健康問題のメカニズムおよび看護を説明することができる。
2	生活者として的高齢者をとらえるために必要なアセスメントの視点を理解し、高齢者の個性性を捉えた生活援助技術を実施することができる。
3	高齢者特有の健康問題を持つ対象のアセスメント結果から科学的根拠に基づいた看護援助方法を具体的に述べるることができる。

授業計画

1	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 活動・運動/睡眠・休息パターン（転倒・廃用症候群・睡眠障害） 【授業方法】科目オリエンテーション（老年看護における看護過程含む）、講義 【予習】20分：テキスト1-4.3睡眠障害、1-5.1歩行・移動、1-5.4廃用症候群を事前に読む。 【復習】40分：高齢者の転倒・廃用症候群・睡眠障害の看護について復習する。 【担当】梶原
2	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン①（栄養障害・浮腫） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト高齢者の生活を支える看護1-1-4低栄養、1-7-7浮腫を精読する。 【復習】40分：高齢者の栄養障害、浮腫の特徴について整理する。 【担当】原田
3	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン②（脱水・皮膚掻痒症） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト高齢者の生活を支える看護1-1-2脱水および1-3-2掻痒を精読する。 【復習】40分：授業資料を読みわからないところを調べる。 【担当】高比来
4	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン①（抑うつ・せん妄） 【授業方法】講義 【予習】20分：テキスト2.2うつ病、2.3せん妄を事前に読む。 【復習】40分：高齢者のうつ病、せん妄の看護について復習する。 【担当】梶原
5	高齢者のEnd-of-Lifeケア 【授業方法】講義 【復習】60分：終末期の看護を理解し、講義内容を踏まえてそれぞれの死生観を考察する。 【担当】梶原
6	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン③（コミュニケーション障害） 【授業方法】講義 【復習】60分：コミュニケーション障害の原因と種類を理解し、各々の看護について復習する。 【担当】姫野
7	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 認知・知覚パターン②（認知障害）認知症サポーター養成講座 【授業方法】講義 演習（認知症サポーター養成講座） 【復習】60分：認知症の病態及び症状に対する看護について復習する。 【担当】原田 ゲストスピーカー：松永（宗像市社会福祉協議会 認知症地域支援推進員）
8	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 栄養・代謝パターン③（摂食・嚥下障害） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト第1章－1 摂食嚥下障害を精読する。 【復習】30分：摂食・嚥下のメカニズム及び看護について復習する。 【担当】高比来

9	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法1 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 60分：8回目の授業内容を演習で使えるように理解してくる。 【担当】 高比来 姫野 原田 千原 梶原
10	摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法2 【授業方法】 演習（実技） 【復習】 60分：摂食、嚥下障害のアセスメントと食事援助、口腔ケア援助方法について復習する 【担当】 高比来 姫野 原田 千原 梶原
11	高齢者に特有な健康問題及びアセスメントの視点 排泄パターン（排尿障害・排便障害） 【授業方法】 講義 【予習】 30分：排泄のメカニズムについて人体の構造と機能及び看護技術で学んだ内容を復習しておく。 【復習】 50分：排泄障害およびその看護について復習をする。 【担当】 千原
12	高齢者への排泄の援助 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 40分：11回目の授業内容の復習を行い、排泄援助の具体的な看護技術について実際に演習が行えるように考えてくる。 【復習】 40分：実施した技術の振り返りを行う。 【担当】 千原 原田 梶原 姫野 高比来
13	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 1 【授業方法】 講義・演習(GW) 【予習】 20分：事前に配布された課題に取り組みGWに備える。今までの看護過程を復習する。 【復習】 60分：GWでの意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 梶原 原田 千原 姫野 高比来
14	高齢者に特有の健康問題を持つ対象の看護過程の展開 2 【授業方法】 演習（GW・発表） 【予習】 20分：事前に配布された課題に取り組み発表に備える。 【復習】 60分：発表での意見を踏まえ看護過程を修正する。 【担当】 梶原 原田 千原 姫野 高比来
15	評価試験および老年看護Ⅱの総括/事例の看護過程展開の解説・フィードバック 【授業方法】 講義 【復習】 60分：老年看護Ⅱにおける学習内容で理解が不十分であった箇所の知識の整理を行う。 【担当】 梶原 千原

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべきすべての科目

テキスト

堀内ふき他：ナースングラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践．メディカ出版，2023.

参考文献

上鶴 重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版．医学書院，2021．
マージョリー・ゴードン,看護アセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-．医学書院，2010．
山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2012．
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画.メディカルビュー社，2008．
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程.医歯薬出版株式会社，2015．
大塚真理子:カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2014．

評価方法

第15回評価試験：30% 各回講義の課題：30% 演習課題：20%(第9、10、12回) 各回講義の小テスト：20%
小テストの実施方法及び課題等の詳細については講義内で説明します。
提出期限は厳守して下さい。

本科目で取得が望ましい点数

75

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用して、課題の提出を行います。

教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして、看護過程や高齢者の看護援助技術についての講義や実技指導を行います。

メッセージ

本科目は、3年後期に控える老年看護実習につなげる位置づけです。老年看護実習で活用できるように知識・技術を身につけてください。

クリティカルケアⅠ

更新日：2024/01/31 17:30:38

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	621000	授業コード	62100
担当教員	福島 綾子, 櫻本 秀明, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

救急看護やクリティカルケアを受ける患者およびその家族を理解するための理論や概念の学習を通して、危機的状況にある患者やその家族への看護について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	クリティカルな状況下にある患者の身体的側面および心理的側面の特徴を述べることができる。
2	クリティカルな状況下にある患者の家族の機能と対処能力について述べるができる。
3	クリティカルな状況下にある患者の早期回復と苦痛緩和のための援助方法について考えることができる。
4	クリティカルな状況下にある患者への看護専門職としての援助役割について考えることができる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】クリティカルケアⅠの全体像、【クリティカルケアの概念と現状】クリティカルケアの対象となる人々の特徴 救急医療・集中治療の現状 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】30分： □テキスト2） 第1部：クリティカルケアとは 【復習】30分： 授業内容、事後課題（Moodle） 【担当】櫻本
2	【急性の状態にある患者の身体的反応】侵襲と生体反応 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】60分： □テキスト1） 第1部：急性期看護概論、2．急性の状態にある患者の身体的・心理的反応、A．急性の状態を生じる原因、B．患者が体験する侵襲、C．ショック □テキスト2） 第2部：クリティカルケアの実際、第Ⅴ章：ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴、1．ICU入室患者と家族の特徴、B．患者の身体的特徴 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
3	【集中治療下での看護の実際】 過大侵襲時の代謝、栄養障害と栄養管理、消化機能のアセスメントと看護 【授業方法】講義 【予習】30分： □テキスト1） 第2部：周手術期看護、第Ⅳ章：手術後期の看護、7．栄養状態のアセスメントと看護、8．消化管機能のアセスメントと看護 □テキスト2） 第2部：クリティカルケアの実際、第Ⅵ章：ICUにおける看護、2．ICU入室患者に対する看護の実際、E．栄養管理 第2回授業内容の復習（侵襲と生体反応） 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】鴨川

4	【集中治療下での看護の実際】 脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護（1） 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第IV章：手術後期の看護、2. 意識レベルのアセスメントと看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第VI章：ICUにおける看護、1. ICU入室患者に対するアセスメント、B. アセスメントの方法 ☐既習科目の復習：意識の評価（JCS、GCS） 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
5	【集中治療下での看護の実際】 脳・神経系障害、意識障害のアセスメントと看護（2） 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第VII章：事例で考える周術期看護、1. 統制機能（脳神経機能）の再確立-開頭腫瘍摘出術 ☐テキスト2) 第XII章：事例で考えるクリティカルケア、2. 激しい頭痛-くも膜下出血、6. 意識障害-低血糖 ☐既習科目の復習：意識障害、脳卒中 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
6	【集中治療下での看護の実際】 呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護（1） 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第IV章：手術後期の看護、3. 呼吸状態のアセスメントと看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第VI章：ICUにおける看護、1. ICU入室患者に対するアセスメント、B. アセスメントの方法、2. ICU入室患者に対する看護の実際、A. 呼吸機能の維持 ☐既習科目の復習：呼吸のメカニズム、化学受容体、呼吸不全 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
7	【集中治療下での看護の実際】 呼吸障害、呼吸器系のアセスメントと看護（2） 【授業方法】講義（GW／ICT支援／ICT双） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第VII章：事例で考える周術期看護、2. 呼吸機能の再確立-胸腔鏡下肺葉切除術 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第XII章：事例で考えるクリティカルケア、3. 呼吸困難-気管支喘息 ■既習科目の復習：肺炎、無気肺、COPD、気胸、肺塞栓症、呼吸音 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
8	【集中治療下での看護の実際】 循環障害、循環器系のアセスメントと看護（1） 【授業方法】講義 【予習】30分： ☐テキスト1) 第1部：急性期看護概論、2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的反応 C. ショック、第2部：周術期看護、第IV章：手術後期の看護、4. 循環動態のアセスメントと看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第VI章：ICUにおける看護、2. ICU入室患者に対する看護の実際、B. 循環機能の維持 ☐既習科目の復習：肺循環と体循環、血圧のメカニズム、ショックの分類、刺激電動系、正常心電図 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】吉原
9	【集中治療下での看護の実際】 循環障害、循環器系のアセスメントと看護（2） 【授業方法】講義 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第VII章：事例で考える周術期看護、3. 循環機能の再確立-冠動脈バイパス術 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第XII章：事例で考えるクリティカルケア、1. 激しい胸痛-急性心筋梗塞、4. 急性腹症①-急性大動脈解離、7. ショック-アナフィラキシー ☐既習科目の復習：心不全 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】吉原

10	【集中治療下での看護の実際】 事例：意識・呼吸・循環障害のアセスメント（統合） 【授業方法】講義、事例のアセスメント（GW） 【予習】60分： 第1～9回までの授業内容の復習（脳・神経障害と意識障害のアセスメント、呼吸器障害と呼吸器系のアセスメント、循環器障害と循環器系のアセスメント） 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】櫻本
11	【集中治療下での看護の実際】 敗血症の治療と看護（凝固・線溶系障害、多臓器障害のアセスメントと看護を含む） 【授業方法】講義 【予習】30分： ☐テキスト1) 第2部：周術期看護、第IV章：手術後期の看護、6. 術後感染のアセスメントと看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケア看護の実際、第V章：ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴、1. ICU入室患者と家族の特徴、B. 患者の身体的特徴 第VI章：ICUにおける看護、2. ICU入室患者に対する看護の実際、L. 感染対策 ☐既習科目の復習：敗血症、感染症対策、血液凝固と線溶のメカニズム、DIC 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】鴨川
12	【集中治療下での看護の実際】 患者の精神障害、患者の苦痛と看護 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第1部：急性期看護概論、2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的特徴 D. 急性の状態にある患者と家族の心理的反応 第2部：周術期看護、第IV章：手術後期の看護、5. 疼痛のアセスメントと看護、9. 術後精神状態（術後せん妄）のアセスメントと看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第VI章：ICU入室患者と家族の特徴、C. 患者の心理的特徴 第VI章：ICUにおける看護、2. ICU入室患者に対する看護の実際、C. 苦痛の緩和、D. せん妄と看護、M. 心理・精神的支援、 ☐PADISガイドラインもしくはJ-PADガイドラインを読む 【復習】30分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】福島
13	【集中治療下での看護の実際】 危機理論／家族看護／終末期看護 【授業方法】講義（GW） 【予習】30分： ☐テキスト1) 第1部：急性期看護概論、2. 急性の状態にある患者の身体的・心理的特徴 E. 急性の状態にある患者と家族を理解するための概念、3. 急性の状態にある患者と家族に対する看護 ☐テキスト2) 第2部：クリティカルケアの実際、第V章：ICU・救急外来で治療を受ける患者と家族の特徴、1. ICU入室患者と家族の特徴、D. 家族の特徴、2. 救急外来受診患者と家族の特徴 第VI章：ICUにおける看護、3. ICU入室患者の家族に対する 第X章：クリティカルケアにおけるターミナルケア／エンドオブライフケア 【復習】60分： 授業内容、小テスト（Moodle） 【担当】福島
14	【集中治療下での看護の実際（まとめ）】 受け持ち患者（事例）を理解するために必要な病態、治療について理解する（1） 【授業方法】講義（GW／ICT双） 【予習】30分： 第1～13回までの授業内容の復習 事前に提示された受け持ち患者（事例）の病態、治療について資料を見直す 【復習】60分： 事後課題 【担当】福島
15	【集中治療下での看護の実際（まとめ）】 受け持ち患者（事例）を理解するために必要な病態、治療について理解する（2） 【授業方法】講義（GW／ICT双） これまでの小テストに対するフィードバック 受け持ち患者（事例）を理解するための学習内容に対するフィードバック（Teamsでの双方向のディスカッション） 【予習】30分： 第1～13回までの授業内容の復習 事前に提示された受け持ち患者（事例）の病態、治療について資料を見直す 【復習】60分： 事後課題、小テスト（Moodle） 【担当】福島

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- 1) 林直子, 佐藤まゆみ編：成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術期看護 改訂第4版．南江堂，2023．
- 2) 佐藤まゆみ, 林直子編：成人看護学 急性期看護Ⅱ クリティカルケア 改訂第4版．南江堂，2023．

参考文献

- 1) 道又元裕他著：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2020．
 - 2) 山勢博彰, 山勢善江他著：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2024．
 - 3) 讃井将満他著：ナースング・グラフィカEX疾病と看護①呼吸器第1版．メディカ出版，2021．
 - 4) 野原隆司他著：ナースング・グラフィカEX疾病と看護②循環器第1版．メディカ出版，2021．
 - 5) 永廣信治他著：ナースング・グラフィカEX疾病と看護⑤脳・神経第1版．メディカ出版，2020．
- その他適宜提示する

評価方法

授業ごとに実施する評価試験（Moodle上の小テスト）：40％
 時間外に行う評価試験（筆記試験）：40％
 ※評価試験（筆記試験）は第15回授業終了後に別日を設けて実施します
 事前・事後課題への取り組み状況：20％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodle、Teams等を活用した自主学習支援を行う。
 ICT双方向型授業：各自の学習成果をタブレット等のミラーリングを活用し、共有しながら授業を行う。また、Teamsの投稿機能を活用して随時質問、議論ができるようにする。

教員等の実務経験

救命救急センターやICU、CCUなどの救急・集中治療領域での臨床経験のある教員が、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について講義を行います。

メッセージ

クリティカルケアは人の反応を取り扱う看護の専門分野です。対象となる人は、重症で高度な治療が必要だったり、病態が複雑だったりすることが多いです。そのような「人」の命と生活を支えるために、これまで学習した【人体の構造と機能】、【疾病と治療】、【人体と薬物】などの知識を活用しながら、ICUやCCU、救急病棟で集中治療・救急医療を受ける患者の状態を正しく理解するために「どのように学ぶのか」を考え、習得することを目指します。この科目で学んだことを、クリティカルケアⅡ、クリティカルケア実習でつなげていってほしいと願っています。

講義科目ですが習得した知識をOutputすることも重視します。そのため、復習とし授業ごとにMoodleでの小テストを実施したり、掲示板機能でのグループワーク・ディスカッションの時間も準備したりしています。互いに学ぶ！を合言葉に、一緒に学習していきましょう。

クリティカルケアⅡ

更新日：2024/01/31 18:37:06

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	621100	授業コード	6211A, 6211B
担当教員	吉原 駿, 福島 綾子, 鴨川 めぐみ, 櫻本 秀明						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

救急およびクリティカルな状況下にある患者への看護を展開するための方法を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	予測的視点を用いて患者の観察項目を見出すことができる。
2	クリティカルな状況にある患者の状態を正しい方法で観察できる。
3	得た情報をアセスメントし、患者の看護問題を抽出することができる。
4	看護問題に対して具体的・個別的な看護計画を根拠に基づいて立案することができる。
5	チームで協力しながら、主体的に課題に取り組むことができる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】 クリティカルケアⅡの全体像の説明、事前・事後課題、演習の進め方 【クリティカルケアに必要な看護技術】 急変時の看護、救急処置を必要とする患者への看護 【授業方法】 講義、演習（GW） 【予習】 40分： クリティカルケアⅠ資料の確認 【復習】 40分： 事例患者の看護過程の展開（病態の整理、行われている検査、治療内容の学習、アセスメント） 【評価試験】（小テスト：10点）クリティカルケアⅠの復習テスト 【担当】 吉原、櫻本、福島、鴨川
2	【クリティカルケアに必要な看護技術：必修編】 モニタリング、人工呼吸器管理、意識レベルの判断、鎮痛鎮静管理、血液検査データの評価 【授業方法】 講義（オンデマンド、ICT支援） 【予習】 40分： 事例患者の病態についてまとめ、観察項目を抽出する 【復習】 40分： 事例患者のモニタリングの内容、人工呼吸器管理の状況、意識レベルを判断する方法、鎮痛鎮静管理方法、血液検査データの評価方法を整理する 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
3	【クリティカルケア看護に必要な看護技術：選択編】 以下の項目から2つ以上選択して受講する 水分出納の管理、口腔ケア、家族看護、せん妄ケア、ドレーン／カテテル類の管理、早期リハビリテーション、創傷管理、PICS、体温管理、睡眠 【授業方法】 講義（オンデマンド、ICT支援） 【予習】 40分： クリティカルケアⅠおよびこれまで学習した資料の見直し 【復習】 40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションできるようまとめる（資料作成、プレゼン準備） ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【評価試験】（小テスト：10点 必修編） 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
4	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合（1） 【授業方法】 演習（GW、反転） 【予習】 40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備 【復習】 40分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本

5	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 グループでの知識の統合（2） 【授業方法】 演習（GW、反転） 【予習】 40分： 受講した内容をチームメンバーにプレゼンテーションするための知識の確認、プレゼンテーションの準備 【復習】 40分： 1）事例患者の状態を理解するために必要な観察項目の立案 2）実際に観察するための練習 【評価試験】（小テスト：10点 選択編） 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
6	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（1） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 40分： 1）フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2）必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する 【復習】 40分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
7	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察（練習）（2） 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 40分： 1）フィジカルアセスメントの基本的手技の確認 2）必修編の講義内容を復習し、手技を実践できるようにポイントを確認する 【復習】 40分： 事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
8	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察・評価（実践）（1） 【授業方法】 演習（実践確認テスト、シミュレーション） 【予習】 40分： 1）事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 2）情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】 40分： 得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本、山本、鈴鹿
9	【クリティカルケア看護に必要な看護技術】 事例患者の観察・評価（実践）（2） 【授業方法】 演習（実践確認テスト、シミュレーション） 【予習】 40分： 1）事例患者の状態を判断するために必要な観察方法の確認と練習 ※オフィスアワーを活用する 2）情報収集の結果から患者の状態を判断するために、病態や治療の内容を再度確認する 【復習】 40分： 得た情報をもとに事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う ※各チームでTeamsなどを使ってのディスカッションし理解を深める 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本、山本、鈴鹿
10	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化（1） 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 40分： 1）観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2）事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める 【復習】 40分 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
11	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 看護問題、看護目標の明確化（2） 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 40分： 1）観察した結果から、事例患者のアセスメント、関連図、看護問題の抽出を行う 2）事例患者の看護目標（期待される結果）を導きだす ※各チームのTeamsなどを使ってのディスカッションし、理解を深める 【復習】 40分 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
12	【事例患者の看護展開：看護計画立案】 発表会にむけての準備 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 40分： 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【復習】 40分： 発表会の準備としてチームで発表準備をすすめる 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本

13	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（1） 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 40分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など ※Teamsなどを使つてのディスカッション 【復習】 40分： 1）発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2）最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
14	【事例患者の看護展開：看護計画の発表】 最終発表会（2） 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 40分： 発表会の準備：プレゼンテーションの工夫、資料作成など ※Teamsなどを使つてのディスカッション 【復習】 40分： 1）発表会での質疑応答の結果を踏まえた看護計画の追加修正 2）最終提出に向けての看護過程の見直し 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本
15	【まとめ】 事例患者の看護過程の展開、技術確認テスト、小テストについてのフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 40分： クリティカルケアIIにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認（第2・3回で視聴したオンデマンド講義の再確認など） 【復習】 40分： 学習内容の復習（専門性強化演習Iにて小テストを実施） 【評価試験】（小テスト：10点 クリティカルケアIIで学修した内容に関する問題） 【担当】 吉原、福島、鴨川、櫻本

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

- 1) 林直子, 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅰ：概論・周手術期看護（改訂第4版）．南江堂，2023．
2) 佐藤まゆみ, 他編：看護学テキストNiCE 成人看護学 急性期看護Ⅱ：クリティカルケア（改訂第4版）．南江堂，2023．

参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学．医学書院，2020．
2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学．医学書院，2024．
3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用．日本看護協会出版会，2007．
4) クリティカルケア・災害看護領域ホームページで提供する各種情報を参考にする：<https://gongehead5.wixsite.com/jrckicn-ccdn/general-1>

その他、適宜提示する

評価方法

評価試験（1・3・5・15回で行う小テスト）40%、最終発表会とその取り組み20%、授業参加度10%（ピア評価含む）、8・9回目で行う実践確認テスト10%、事前・事後課題20%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

授業を行う上では、患者の事例展開を行う際に、Web上電子カルテシステム「Medi-EYE」を活用する。Medi-EYEを使用した事例展開を行った上で、実際の観察やフィジカルアセスメントを高機能シミュレーターを用いて実践する。また、学生はスマートフォンやタブレット端末を使用し、授業中でも過去の講義や資料を閲覧しながら授業を受けることができるようにする。

学生の学習支援として、第2回、第3回の授業でMicrosoft Teams、LMSを活用したオンデマンドでの講義を行い、クリティカルケアに必要な観察のポイントを繰り返し学習できるように支援を行う。オンデマンドでの講義では、学生の閲覧回数やアクセス回数を確認し、学習に支援が必要な学生に対しては個別に連絡を行うなど配慮する。また、オフィスアワーを活用し、学生が患者状態の観察やフィジカルアセスメントを繰り返し実践できるよう、教員に質問できる時間の確保を行う。

教員等の実務経験

救命救急センターやICU、CCUなどの救急・集中治療領域での臨床経験のある教員が、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について講義を行います。

メッセージ

クリティカルな状況にある患者は、その病態が複雑だったり、重症で高度な治療が必要だったりしますので、「人体の構造と機能」、「疾病と治療」や「クリティカルケアI」で学修した知識などを駆使しなければ太刀打ちできません。また、クリティカルケア領域の最新の知見についても紹介していきます。それらの知識を用いて受け持つ患者は、突然、特殊な環境に身を置かれ、そのような環境で生活をしなければならなくなった人です。病態や治療上の理由から、基本的ニードや自立・自律性が脅かされています。このような患者・家族を理解し、根拠に基づいた看護を実践するための方法について学んでいきます。みなさんには（事例）患者の受け持ち看護師として、これまで学修した知識や観察の技術、日常生活援助技術を用いて、患者に合わせた工夫を行い、小さな変化を見逃さず、その人の生活を支えて行く事を求めます。難しいこともあると思いますが、「命を救い、生を支える」というクリティカルケア看護の実践を目指してみなさんと一緒に考えていきたいと思っています。一人の力だけでなく、チームとして、そして私たち教員と一緒に学んでいきましょう。

在宅看護Ⅰ

更新日：2024/02/26 09:04:45

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	621200	授業コード	62120
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、在宅で提供する看護に必要な知識、方法を学ぶ。

指定規則上の教授内容

- 別表3：地域・在宅看護論
別表1：公衆衛生看護学概論、個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	在宅看護における歴史的変遷を理解し、地域で暮らす療養者と家族への支援のあり方を考察することができる。
2	在宅看護の目的と対象者の特性、活動の場、看護活動の特徴について説明できる。
3	医療保険および介護保険による訪問看護制度について説明できる。
4	在宅看護を取り巻く法制度や社会資源を理解し、多職種連携・協働の意義を考察することができる。
5	在宅療養者と家族の健康と暮らしを支えるケアマネジメントや地域包括ケアシステムについて説明できる。

授業計画

1	社会の変化、地域での暮らしと健康の理解 【授業方法】講義（ICT支援・ICT双） 【予習】30分 テキスト地域・在宅看護論①P16～21を通読する。 【復習】30分 授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
2	地域・在宅看護の目的・意義・基本理念 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P21～30, P34～39, P41～51を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
3	地域・在宅看護の対象と看護の基盤 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P33～P41, P56～P66を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
4	地域・在宅看護における家族支援 【授業方法】講義（GW） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P66～P84を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
5	地域・在宅看護の介入時期と看護の継続性 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキスト地域・在宅看護論①P103～P111を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
6	地域・在宅看護が提供されるさまざまな場 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P111～P113, P154～P156, P285～286 を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
7	訪問看護の制度と機能 / 評価試験（小テスト①・レポート①） 【授業方法】第1～6回目の小テスト / 講義（ICT支援） 【予習】50分：第1～6回目の復習、テキスト地域・在宅看護論①P198～P211を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出） 【担当】鎌田

8	地域・在宅看護に関する制度（1）：介護保険制度におけるサービスの概要 / 評価試験（レポート②） 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P149～P161を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出）。 【担当】鎌田
9	地域・在宅看護に関する制度（2）：介護保険制度におけるケアマネジメント 【授業方法】講義（ICT支援・GW） 【予習】30分：テキスト地域・在宅看護論①P121～P133を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
10	地域・在宅看護に関する制度（3）：医療保険制度、障害者支援制度 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P145～P149, P164～P172を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
11	地域包括ケアシステム / 評価試験（レポート③） 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキスト地域・在宅看護論①P94～P113を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出）。 【担当】鎌田
12	評価試験（小テスト②） / 暮らしの場で行われる治療と看護（1） 【授業方法】第7～11回目の小テスト / 講義（ICT支援） 【予習】50分：第7～11回目の復習、テキスト地域・在宅看護論② P108 在宅における薬物療法、P155 褥瘡予防処置、P150 輸液・在宅中心静脈栄養法、P175 疼痛管理 を通読する。 【復習】30分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
13	暮らしの場で行われる治療と看護（2） / 評価試験（レポート④） 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論② P132 在宅人工呼吸療法・非侵襲的陽圧換気療法、P123 気管カニューレ、P127 在宅酸素療法、P142 ストーマ管理、P137 膀胱留置カテーテル を通読する。 【復習】30分：12回、13回の授業内容を見直して理解を深め、レポートに要点をまとめる（提出）。 【担当】鎌田
14	地域・在宅看護の変遷 【授業方法】講義（ICT支援・ICT双・GW） 【予習】40分：テキスト地域・在宅看護論①P30～P33を通読する。 【復習】40分：授業内容を見直して理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
15	評価試験（筆記試験） / 授業全体のフィードバック 【授業方法】筆記試験（範囲 第1～14回目：60分） / 授業全体のフィードバック（30分） 【復習】60分：全体の振り返り 【担当】鎌田、西村

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

臺有桂 他 編：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，2022.
臺有桂 他 編：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，2022.

参考文献

河野あゆみ他 編：新体系看護学全書 在宅看護論。メチカルフレンド社，2019.
河原加代子他 編：系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論1 地域・在宅看護の基盤。医学書院，2024.
石垣和子他 編：看護学テキストNICE 地域・在宅看護論Ⅰ総論 改訂第3版，南江堂，2024.

評価方法

7回，12回で実施する評価試験（小テスト） 20％＝10％×2
7回，8回，11回，13回で実施する評価試験（レポート） 20％＝5％×4
15回で実施する評価試験（筆記試験：範囲 第1～14回） 40％
授業参加度 20％

本科目で取得が望ましい点数

79点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

教員等の実務経験

訪問看護師としての臨床経験および介護支援専門員の資格をもつ教員がその経験を活かして、在宅看護活動について講義します。

メッセージ

在宅看護では、人々の健康と暮らしを支援することが求められます。
まず「暮らし」に関心をもちイメージできるよう取り組んでいきます。

在宅看護Ⅱ

更新日：2024/02/27 18:03:51

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	621300	授業コード	6213A, 6213B
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

在宅ケアチームの一員としての看護の役割を理解し、在宅で提供する看護の基礎的な技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養者と家族の事例展開を通して、療養者が望む暮らしを支える看護の必要性について説明できる。
2	在宅療養者に提供されるケアマネジメントの実際を検討し、社会資源の活用について説明することができる。
3	在宅療養者と家族を支援する多職種連携と協働について説明することができる。
4	訪問看護におけるマナーと面接技術を習得し、在宅療養者・家族との信頼関係形成の重要性を考えることができる。

授業計画

1	在宅看護Ⅱガイダンス、訪問看護におけるマナーと面接技術 【授業方法】講義・復習テスト（評価の対象に含まない）、ICT双 【予習】30分：地域・在宅看護論② p18-22（家庭訪問、訪問の手順と心構え）を精読する。復習テスト範囲（在宅看護Ⅰ）：地域・在宅看護論①p3-3-42（在宅看護の基盤、地域療養を支える在宅看護の役割・機能）、p56-66（在宅看護の対象者、在宅療養の成立要件）、p198-212（訪問看護の特徴、在宅ケアを支える訪問看護ステーション） 【復習】30分：在宅看護Ⅰの復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
2	在宅看護における看護過程の特徴（2） 【授業方法】講義：事例紹介、情報収集 【予習】30分：地域・在宅看護論② p22-30（在宅療養における看護過程の展開技術）を精読する。 【復習】30分：プロフィール用紙①②を追加・修正する。事例の病態・症状・治療・看護を復習する。 【担当】西村
3	看護過程の展開演習（1）：情報収集・アセスメント 【授業方法】演習（PBL）：事例アセスメントについて意見交換 【予習】40分：アセスメント用紙を記載する。 【復習】30分：演習での意見交換をふまえアセスメントを追加・修正する。 【担当】西村、鎌田
4	看護過程の展開演習（2）：訪問看護のロールプレイ 【授業方法】演習（PBL）：情報収集を目的とした訪問看護のロールプレイ（ICT支援、Moodleを用いた自主学習支援を行う） 【予習】30分：地域・在宅看護論②p262動画を視聴する。演習事例の行動計画を作成する。 【復習】30分：演習の学びをレポートに記載する。情報収集した内容をプロフィール用紙、アセスメント用紙、全体像に追記する。 【課題】レポート及びプロフィール用紙、アセスメント用紙、全体像を指定された期日までに提出（評価対象）。 【担当】西村、鎌田
5	対象別看護：在宅療養における子どもと家族の看護 【授業方法】講義：事例 在宅重症心身障害児・医療的ケア児の看護ケア、家族支援 【予習】40分：地域・在宅看護論①p63（疾病や障害をもつ小児）、p167-182（障害者に関連する法律、難病法、子どもの在宅療養を支える制度と社会資源）、地域・在宅看護論② p145-150（在宅経管栄養法）、p132-137（在宅人工呼吸療法）、p232-236（事例）を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
6	対象別看護：在宅療養における難病療養者の看護（1） 【授業方法】講義：難病療養者が利用できるサービス・福祉用具 【予習】30分：地域・在宅看護論① p142-144（社会資源の活用）、地域・在宅看護論② p46-53（環境整備・生活リハビリテーション）、p206-209（事例）を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村

7	対象別看護：在宅療養における難病療養者の看護（2） 【授業方法】講義：訪問看護と多職種連携・協働 【予習】30分：地域・在宅看護論① p132-136（看護師が担うケアマネジメント、地域包括ケアと地域ケア会議）、p149-162（介護保険サービス）を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
8	対象別看護：在宅療養における緩和ケア 【授業方法】講義：事例 在宅療養において全人的苦痛をやわらげる看護ケア 【予習】30分：地域・在宅看護論① p63.健康レベルからみた対象者、地域・在宅看護論② p175-180.疼痛管理、p150-155.在宅中心静脈栄養法を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
9	対象別看護：地域生活を基盤とする精神障がい者の看護（精神科訪問看護） 【授業方法】講義：事例 精神障がい者の地域生活を支援する看護支援 【予習】30分：地域・在宅看護論① p63（精神科訪問看護）、p167-172（障害者総合支援法）、地域・在宅看護論② p228-231（事例）を精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
10	看護過程の展開演習（3）：看護課題の明確化、目標、計画 【授業方法】演習（PBL）：看護課題・看護計画発表について意見交換 【予習】40分：全体像と看護課題リスト、看護計画を作成する。 【復習】30分：意見交換をふまえて追加修正する。 【担当】西村、鎌田
11	看護過程の展開演習（4）：演習オリエンテーション 【授業方法】演習（PBL）：看護計画に基づいて訪問看護を実践するための行動計画作成 【予習】30分：演習要項を精読する。 【復習】30分：行動計画を追加・修正する。 【担当】西村、鎌田
12	看護過程の展開演習（5）：演習準備 【授業方法】演習（PBL）：実践にむけた行動計画の具体化 【予習】30分：行動計画を完成させる。 【復習】30分：意見交換をふまえて、行動計画を具体的に記入する。 【担当】西村、鎌田
13	看護過程の展開演習（6）：訪問看護の実践、評価 【授業方法】演習（PBL）：訪問看護をロールプレイで実施 【予習】30分：訪問計画を見直し模擬練習する。 【復習】40分：訪問記録、演習の学びをワークシートに記入する。看護計画を追加・修正する。 【課題】演習の学び及び事例の看護計画を指定された期日までに提出（評価対象）。 【担当】西村、鎌田
14	在宅療養におけるケアマネジメント、多職種連携・協働 【授業方法】講義（PBL）：事例について介護保険における居宅介護支援（ケアプラン）を検討 【予習】30分：地域・在宅看護論① p88, p124-134.ケアマネジメントを精読する。 【復習】30分：授業内容の復習・まとめ、疑問点を追加学修する。 【担当】鎌田
15	評価試験/在宅看護Ⅱのまとめ/演習課題・評価試験に関するフィードバック 【授業方法】評価試験（筆記試験：第5-9回、第14回）、フィードバック 【復習】30分：演習および評価試験のフィードバックをふまえて疑問点を追加学修する。 【担当】西村、鎌田

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

在宅看護Ⅰで使用したテキスト（下記の2冊）を毎回持参する。
臺有佳 他：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア 第7版．メディカ出版，2022．
臺有佳 他：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 第2版．メディカ出版，2022．

参考文献

押川眞喜子監修：写真でわかる訪問看護アドバンス．インターメディカ，2020．
河野あゆみ編集：新体系看護学全書 地域・在宅看護論 第6版．メヂカルフレンド社，2022．
尾崎章子他編：療養者が望む暮らしを支える地域・在宅看護過程．医歯薬出版，2023．

評価方法

評価試験（筆記試験：第15回）：40％
看護過程演習課題の提出状況と内容：40％
授業参加度：10％
対象別看護の講義（第5-9回、14回）の中での課題：10点

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

教員等の実務経験

外来や地域看護活動等で看護師として臨床経験のある教員が、在宅療養者と家族への看護の経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

療養者が望む暮らしを支える看護とは何かを考えながら、在宅看護Ⅰの学修内容を活かし積極的に取り組みましょう。

精神保健看護Ⅰ

更新日：2024/03/01 14:33:16

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	621400	授業コード	62140
担当教員	高橋 清美, 牧 マリコ, 高瀬 理恵子, 森 千郷						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

生涯にわたるパーソナリティーの発達と各ライフステージにおける精神的危機に対する保健看護の役割を学ぶとともに、メンタルアセスメントの枠組みとなる理論と技法について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成するDPの力

【1-1.人間の尊厳と権利を擁護する力】幅広い教養を培うことによって豊かな人間性を育むことができる。

到達目標

1	精神保健看護の意義、役割と機能が説明できる。
2	精神保健看護学の対象であるこころの健康、こころの発達が説明できる。
3	精神の健康に影響する因子を理解し、精神の健康保持・増進への援助について述べる事が出来る。
4	精神の健康保持増進のための看護援助方法を説明できる。

授業計画

1	精神の健康、こころの発達 【授業内容】精神の健康、こころの発達について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容のノートをまとめる 【担当】高橋
2	精神看護の考え方 【授業内容】精神看護の考え方について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの序論、第1章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
3	治療場における看護援助 【授業内容】治療場における看護援助について学修する。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱ第1章該当ページを通読すること 【担当】ゲストスピーカー（不知火病院 原看護部長）
4	精神看護援助の基本：セルフケア理論による看護援助 【授業内容】精神看護援助の基本であるセルフケア理論による看護援助について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬
5	精神保健医療の歴史① 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
6	精神保健医療の歴史② 【授業内容】精神保健医療の歴史について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋

7	精神保健福祉と法制度 【授業内容】精神保健福祉と法制度について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋
8	精神看護援助の基本：患者—看護師関係 【授業内容】 1. 第1～第7回の講義内容に対する評価試験（筆記試験）を実施する。 2. 精神看護援助の基本である患者—看護師関係について学修する。患者—看護師関係での気がかりな場面の取り上げ方を説明しGWを経たうえでプロセスレコードで自己の振り返りを行う。 【授業方法】 1. 筆記試験（30分） 2. 演習 GW 気がかりな場面についてグループディスカッションを行い、プロセスレコードに記載する。 【予習】10分 はじめての看護実習 基礎からステップアップ 看護コミュニケーション, p70-71を通読すること 【復習】60分 プロセスレコードを作成する。作成後は教員が指定する日時に提出する 【担当】高橋,森
9	障害者と権利擁護 【授業内容】障害者と権利擁護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第3章（社会復帰・社会参加の項）、第4章の該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
10	教育の場、職場におけるこころの健康 【授業内容】教育の場、職場におけるこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】45分 ・教育の場におけるこころの健康については、文部科学省HPで児童・生徒・学生の心の健康に関し、自己の関心テーマを検索し学習をしておくこと。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること ・職場におけるこころの健康については、厚生労働省HPで職場における心の健康問題に関し、自己の関心テーマを検索し、学習をすること。教科書Ⅰの第3章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
11	地域社会とこころの健康 【授業内容】地域社会とこころの健康について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第6章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
12	精神保健医療に関する社会資源 【授業内容】精神保健医療に関する社会資源について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第3章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高瀬
13	リエゾン精神看護 【授業内容】リエゾン精神看護について学修する。授業の最後に小テストで学習内容を振りかえる。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅰの第2章を通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】牧
14	精神看護援助の基本：生きる力と強さへの支援 【授業内容】精神看護援助の基本である生きる力と強さへの支援について学修する。 【授業方法】講義 【予習】30分 教科書Ⅱの第1章該当ページを通読すること 【復習】45分 学修した内容をノートにまとめる 【担当】高橋

15	精神保健看護Ⅰで学修した主要な内容に対するフィードバック 【授業内容】 1. 第8回～第14回の講義内容に関する評価試験（筆記試験）を実施する 2. 全15コマで学んだ内容について振り返りを行う 【授業方法】 1. 筆記試験（30分間） 2. 講義　まとめシートによる振り返りを行う 【予習】30分　第14回までの復習 【復習】60分　全ての学習内容の知識の整理 本講義のフィードバックに関しては、特に押さえてほしい内容を「まとめシート」に記載しています。まとめシートの内容に沿って自己学習を進めてください。 【担当】高橋、牧、高瀬、森
----	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

高橋清美　編著：はじめての看護実習　基礎からステップアップ　看護コミュニケーション．へるす出版，2014．
吉松和哉　他　著：第6版　精神看護学Ⅰ　精神保健学．ヌーヴェルヒロカワ，2015．
川野雅資　他　著：第6版　精神看護学Ⅱ　精神臨床看護学．ヌーヴェルヒロカワ，2015．
野村総一郎　他　編集：標準精神医学　第8版．医学書院，2021．

参考文献

Erikson, E.H.　：The Life Cycle Completed　．1982，村瀬孝雄・近藤邦夫訳：ライフサイクル、その完結．みすず書房，1989．
野中猛　監修：看護に必要な精神保健制度ガイド　第3版．中山書店，2012．
野末聖香　編：リエゾン精神看護　患者ケアとナース支援のために．医歯薬出版，2004．

評価方法

第1回～第7回の内容に関する評価試験（40％）は第8回講義のはじめ30分で行う。
第8回～第14回の内容に関する評価試験（45％）は第15回講義のはじめ30分で行う。
参加度10％、評価試験（筆記試験）85％、プロセスレコード課題5％

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

精神科看護師、病院心理士、スクールカウンセラーの経験がある教員が、その経験を活かして、精神保健看護実践について講義します。

メッセージ

講義終了後は、必ず復習を行い、学習ノートに学びをまとめてください。
各授業での知識の定着を確認することを目的に「小テスト」を実施します。小テスト内容を重点的に復習を行って下さい。
疾病と治療Ⅳの内容を踏まえながら予習して授業に臨んでください。

精神保健看護Ⅱ

更新日：2024/02/27 16:46:17

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	621500	授業コード	62150
担当教員	牧 マリコ, 高瀬 理恵子, 高橋 清美, 森 千郷						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「授業担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	主な精神症状と生活障害について説明できる。
2	精神科医療で提供される医療・保健・福祉の概要が説明できる。
3	精神疾患を有する人のセルフケアの観察とアセスメントの視点を説明できる。
4	精神疾患を有する人に対する看護の役割について倫理観、人権の視点を含めて述べることができる。
5	地域における精神保健福祉のサポートシステムについて説明できる。

授業計画

1	精神看護に必要な理論と看護過程 【授業内容】オリエンテーションおよび精神看護に必要な理論と看護過程について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 教科書Ⅱ 第1章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高橋
2	精神科アセスメント（精神症状・状態像・セルフケアの把握） 【授業内容】精神看護における看護過程の思考のプロセスを説明します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 教科書Ⅱ 第1章 3) 標準精神医学 第3章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高橋
3	統合失調症を有する人とその家族への看護①（急性期看護） 【授業内容】統合失調症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、隔離室の看護、精神療法、薬物療法について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第10章 3) 教科書Ⅱ 第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬
4	統合失調症を有する人とその家族への看護②（回復期・慢性期看護） 【授業内容】統合失調症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、SST、心理教育について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第10章 3) 教科書Ⅱ 第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬

5	気分・感情障害を有する人とその家族への看護①・電気けいれん療法 【授業内容】気分・感情障害を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、電気けいれん療法時の看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第11章、第6章p.150-152 3) 教科書Ⅱ 第5章、第2章p.93 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
6	気分・感情障害を有する人とその家族への看護② 【授業内容】気分・感情障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、家族看護、認知行動療法について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第12章 3) 教科書Ⅱ 第5章、第2章p.101-105 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
7	摂食障害を有する人とその家族への看護/評価試験 【授業内容】摂食障害をもつ人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義・評価試験(筆記試験30分間) 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第16章 3) 教科書Ⅱ 第5章 4) 第1講義目から第6講義目までの内容の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】40分：評価試験の見直しと第7講義の内容・小テストの復習 【担当】牧、森
8	発達障害・知的障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】発達障害・知的障害を有する人の併存症状(精神状態)とセルフケアのアセスメント、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第9章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高橋
9	物質関連障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】アルコール依存症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第18章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
10	パーソナリティ障害を有する人とその家族への看護 【授業内容】パーソナリティ障害を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第21章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧
11	ストレス関連障害(パニック障害・適応障害・PTSD)・認知症を有する人とその家族への看護 【授業内容】ストレス関連障害(パニック障害・適応障害・PTSD)・認知症を有する人の精神状態とセルフケアのアセスメントの方法、看護について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 疾病と治療Ⅳ 精神科的疾患講義資料の振り返り 2) 標準精神医学 第13・15・19章 3) 教科書Ⅱ 第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】牧

12	アウトリーチ型精神医療と看護について 【授業内容】ACTの実際について学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読し、関連文献を収集する。 1) 地域移行、退院支援に関する文献を収集し目を通す 2) 教科書Ⅰ 第3章 3) 教科書Ⅱ 第4章 【復習】40分：授業資料の見直し 【担当】渡邊（ちはやACTクリニック院長）
13	精神看護における安全管理と身体合併症を有し精神状態が不安定な対象への看護 【授業内容】精神科で起こりやすい副作用や合併症（誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群）と看護、身体合併症によって精神状態が不安定となっている人への看護介入を学修します 【授業方法】講義 【予習】40分：以下を精読 1) 教科書Ⅱ 第2章、第4章、第5章 【復習】40分：小テストの見直し 【担当】高瀬
14	精神障がい者とその家族の地域生活支援（精神科訪問看護、デイケアでの看護、生きる力と強さ）、精神疾患を有する人とその家族の看護の実際 【授業内容】事例を用いて看護過程を学修します 【授業方法】講義(討議)、自分で展開した看護過程(関連図と看護計画)に関して、グループワークでディスカッションし、追加修正する。（授業後に関連図と看護計画を提出。15回で返却、フィードバックを行います。） 【予習】40分：以下を精読 1) 事例を熟読 2) これまでの授業の振り返り 【復習】40分：これまでの授業の振り返り 【担当】高瀬
15	評価試験および精神保健看護Ⅱの総括/評価試験へのフィードバック 【授業内容】評価試験・精神保健看護Ⅱおよび評価試験の解説とまとめ 【授業方法】評価試験(筆記試験30分間)・講義 【予習】40分：第7講義目から第14講義目の内容の復習を行い、自己の課題を明確にする 【復習】40分：すべての学習内容 【担当】牧、高瀬、高橋、森

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

吉松和哉，他編：精神看護学Ⅰ 精神保健学（第6版）．ノーヴェルヒロカワ，2015．
川野雅資，他編：精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学（第6版）．ノーヴェルヒロカワ，2015．
尾崎紀夫：標準精神医学（第8版）．医学書院，2021．

参考文献

中井久夫，他：看護のための精神医学（第2版）．医学書院，2004．
長嶺敬彦：抗精神病薬の「身体副作用」がわかる：The Third Disease．医学書院，2006．
宇佐美しおり，他：オレムのセルフケアモデル：事例を用いた看護過程の展開（第2版）．ノーヴェルヒロカワ，2003．
Sadock, B., et al.：Kaplan & Sadock's synopsis of psychiatry : behavioral sciences/clinical psychiatry（11th ed.）．2015，四宮滋子，他監訳：カプラン臨床精神医学テキスト：DSM-5診断基準の臨床への展開（第3版）．メディカル・サイエンス・インターナショナル，2016．

評価方法

評価試験：
①第1講義から第6講義までの内容を第7講義目で評価試験(筆記試験)40％、②第7講義目から第14講義目までの内容を第15講義目で評価試験(筆記試験)45％を行う。
さらに③として第14講義目の看護過程のグループディスカッション後の加筆修正した看護過程個人ワークの成果物15％の①②③合計で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

精神科看護師の臨床経験がある教員が、その経験を活かして精神保健看護実践について講義します。

メッセージ

授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を行ってください。
第3回講義で看護過程様式を配布します。第14回講義で、個人で看護過程展開した看護過程様式を持参してください。
疾患とその看護に関して、講義時間内に看護過程を演習し繰り返し学習します。

がん看護

更新日：2024/02/01 18:06:40

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	621600	授業コード	62160
担当教員	西山 陽子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

さまざまな健康段階にあるがん患者の身体機能、心理・社会的機能の特徴と健康問題について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	がんの病態と治療により患者・家族がうける身体的、心理・社会的影響について述べることができる。
2	がん患者・家族に対しがん治療の効果を促進するために必要な看護について述べることができる。

授業計画

1	オリエンテーション／がん患者の看護 【授業方法】講義 【予習】40分：P10～25がんを取り巻く状況、第2章がんの病態と診断のP50～71を熟読する。 【復習】30分：P184～194がん看護の対象と特徴を読み、要点を振り返る。
2	がん治療における看護：手術療法、放射線療法 【授業方法】講義 ＊講義後にMoodleを用いて評価試験①を行う。 【予習】60分：P72～81がんの診断、P84～92がん治療の選択、P111～127手術療法、P159～182放射線療法、P281～294放射線療法における看護を熟読する。 【復習】20分：講義内容を復習し要点を暗記する。
3	がん治療における看護：薬物療法 【授業方法】講義 ※講義後にMoodleを用いて評価試験②を行う。 【予習】30分：P128～158薬物療法を熟読する。 【復習】30分：P263～281を読み要点を暗記する。
4	乳がんと共に生きる人への看護 【授業方法】演習（GW）、講義 ジグソー学習オリエンテーション 【予習】80分：乳がんの治療を受ける人への看護について調べ、ノートにまとめる。ノートは講義に持参する。
5	胃がんと共に生きる人への看護（1） 【授業方法】演習（ジグソー学習） 【予習】60分：提示された課題に取り組み課題シートへ記入して持参する。 【復習】20分：課題へ学んだことを追加記入する。
6	胃がんと共に生きる人への看護（2） 【授業方法】演習（ジグソー学修発表） ＊課題シートは提示された期限までに提出する。 【予習】80分：グループで発表準備を行う。
7	演習FB、がん患者の療養支援、まとめ 【授業方法】講義 【予習】30分：P317～346を読んで、重要な箇所にラインを引く。 【復習】50分：第1回から第7回までの講義の要点を復習する。
8	評価試験、フィードバック 【授業方法】評価試験③、終了後に解答のフィードバックを行う。 【予習】80分：講義資料とテキストを用いて要点を復習し、評価試験に臨む準備を行う。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

小松浩子，他：系統看護学講座 別巻 がん看護学（第3版）．医学書院，2022．

参考文献

必要に応じて提示する

評価方法

評価試験①②（小テスト）：25%、評価試験③（筆記試験）：50%、課題：20%、授業参加度：5% によって総合的に評価を行う。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（Moodleを用いて評価試験を実施）、課題の取り組み方法などの説明を行う。

教員等の実務経験

がん患者への看護を臨床で実践した経験がある教員が担当する。

メッセージ

この科目では、代表的ながん治療や治療経過、治療に関連する有害事象への対策など、がんの診断から治療期における患者家族への基本的な看護について学びます。がんは、日本人の約2人に1人が生涯のうちに罹患する疾患といわれ、がんとともに生きる方は増加しています。治療効果を促進し、がんサバイバーのQOLを保つために、どのような看護が必要か考えていきましょう。

家族看護

更新日：2024/02/27 18:48:34

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	621700	授業コード	62170
担当教員	西村 和美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

「家族看護とは何か」という視点を持ちつつ、家族を単位とした看護のアプローチ方法と、さまざまな健康問題やライフステージの対象者の家族について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	家族看護の特徴や理念、対象を説明できる。
2	家族看護を支える理論を説明できる。
3	家族看護展開の方法を説明できる。
4	家族アセスメントモデルを説明できる。
5	家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験について考察できる。

授業計画

1	家族看護とは 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP1～30を熟読する。 【復習】30分：家族看護の特徴と理念、定義をまとめる。
2	家族看護の対象理解 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】40分：テキストP30～83を熟読し、ジェノグラム・エコマップを作成する。 【復習】30分：家族構造の把握方法（ジェノグラム・エコマップ）、家族機能、現代家族の課題についてまとめる。
3	家族看護を支える理論と介入法 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP86～116を熟読する。 【復習】30分：家族看護の理論（家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論）についてまとめる。
4	家族看護展開の方法：家族看護過程 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP118～172を熟読する。 【復習】30分：家族看護過程の方法についてまとめる。
5	家族アセスメントモデル 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分：テキストP172～186を熟読する。 【復習】30分：家族アセスメントモデルの特徴についてまとめる。
6	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（1）／評価試験 【授業方法】演習（ICT支援・GW）、評価試験：筆記試験（第1回～第5回） 【予習】40分：テキストP188～273の指定された事例を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】30分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
7	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（2） 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】40分：テキストP188～273の指定された事例を熟読し、ワークシートを作成する。 【復習】30分：事例の家族アセスメントとアプローチについてまとめる。
8	事例を通した家族アセスメントとアプローチの検討（3）まとめ、課題および評価試験へのフィードバック 【授業方法】演習（発表）、事例課題および評価試験に対するフィードバック 【復習】60分：家族員の健康問題が家族に与える影響や、療養生活を支える家族の体験について考察する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

上別府圭子：系統看護学講座 別巻 家族看護学．医学書院，2023．

参考文献

中野綾美，他：家族看護学-家族のエンパワーメントを支えるケア．メディカ出版，2020．
山崎あけみ，他：看護学テキストNICE家族看護学（改訂第3版）臨床場面と事例から考える．南江堂，2022．

評価方法

評価試験（筆記試験：第6回）50％
事例発表内容（第7回または第8回）30％
レポート（第8回に提示する）10％
授業参加度（第1回～第8回）10％

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

教員等の実務経験

病院や地域で患者および家族支援の臨床経験をもつ教員が、その経験を活かして、家族看護活動について講義します。

メッセージ

定型的な家族の枠組みにとらわれず、多様な家族のあり方を考える機会とします。家族を理解するには、まず自分の家族体験を振り返り、家族のイメージを描きます。自己を振り返り、患者・家族を看る目を育ててください。様々な事例の家族看護について一緒に考えていきましょう。

地域看護Ⅰ

更新日：2024/02/01 18:49:27

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	621800	授業コード	62180
担当教員	小野 ミツ, 緒方 文子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進について、基礎的な考え方を理解し、地域看護の特性について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護学概論

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	地域看護の基盤となる理念や概念を理解できる。
2	地域看護活動の歴史的変遷について理解できる。
3	地域で生活する人々の疾病の予防、健康の保持・増進活動について説明できる。
4	公衆衛生看護活動を展開する場を理解できる。

授業計画

1	ガイダンス、公衆衛生看護学の概念（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部1章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
2	公衆衛生看護学の概念（2） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部1章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
3	公衆衛生看護の歴史 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部2章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野
4	公衆衛生看護の基盤と対象 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部3章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
5	ヘルスプロモーション 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部3章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
6	公衆衛生看護の展開方法 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部4章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方
7	公衆衛生看護活動を展開する場（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部5章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方

8	公衆衛生看護活動を展開する場（２）、フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書第1部5章を熟読する。 【復習】30分：教科書と講義資料を読み直し、理解を深める。フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】緒方
---	---

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版．中央法規，2021．

参考文献

標 美奈子他 編：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論 第6版．医学書院，2022．
厚生労働統計協会 編：厚生 の指標 増刊 国民衛生の動向 2023/2024．厚生労働統計協会，2023．

評価方法

授業時間外に実施する評価試験（筆記試験50％）は第8回終了後に別日を設けて実施する。
1回から8回で行う評価試験（課題レポート40％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

教員等の実務経験

看護師や保健師の臨床経験のある教員が、地域で生活する人々の健康への支援について講義を担当します。

メッセージ

地域で生活する人々への疾病予防、健康の保持・増進のための看護活動を学び、日常生活の中で、個々人が自らの健康に関心を持ち、地域で健康課題を解決できるように支援していくための看護職の役割について、学び考えていきましょう。

地域看護Ⅱ

更新日：2024/02/22 18:22:23

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	621900	授業コード	62190
担当教員	小川 有希子, 緒方 文子, 小野 ミツ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域で生活する様々なライフステージにある人々の健康課題、健康に関連する行動や生活と環境の特性を理解し、生涯にわたる継続的な健康支援とプライマリヘルスケアシステムの重要性、地域における看護活動を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域における看護職の活躍の場と役割について理解できる。
2	プライマリヘルスケアの概念について説明できる。
3	看護の継続の必要性や地域連携の重要性を理解できる。
4	各ライフステージにおける健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
5	リスクの高い人々の健康課題と保健活動の概要と関連法規について説明できる。
6	国内外の社会情勢に応じた健康ニーズについて説明できる。

授業計画

1	ガイダンス・精神保健福祉 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：精神保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小野
2	母子保健（親子保健）活動（1） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の広報を持参する，母子が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
3	母子保健（親子保健）活動（2） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：乳幼児の成長・発達について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
4	成人保健活動（1） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：成人保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
5	成人保健活動（2） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：成人保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
6	高齢者保健福祉 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：高齢者保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小野
7	障がい者（児）保健活動 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：自分が住んでいる市町村の障がい者（児）が利用できる制度や社会資源について調べまとめる。 【課題】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）

8	難病保健福祉 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：難病保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小野
9	感染症保健活動 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：感染症法の対象となる感染症の種類、予防接種、結核の病態生理について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
10	歯科保健活動 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：歯科口腔保健を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
11	学校保健 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：教科書第3部：学校保健活動を熟読する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】緒方
12	産業保健（1） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：産業保健の歴史、労働災害について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
13	産業保健（2） 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：労働安全衛生法に基づく安全衛生管理について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
14	健康危機管理 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：自分が住んでいる地域の保健所が策定している健康危機管理基本指針について調べまとめる。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し，理解を深める。 【担当】小川（有）
15	評価試験，地域看護Ⅱの講義フィードバックとまとめ 【授業方法】評価試験、講義（PBL）フィードバックとまとめ 【予習】30分：第1～14回の講義フィードバックとまとめ 【復習】30分：フィードバック受けた内容を復習する。 【担当】小川（有）、緒方、小野

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

- 1上野昌江，他編：公衆衛生看護学（第3版）．中央法規出版，2021．
（2年後期「地域看護Ⅰ」で使用したテキスト）
- 2厚生労働統計協会：厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2023/2024．厚生労働統計協会，2023．

参考文献

- 1中谷芳美，他：標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（第4版）．医学書院，2018．
- 2標美奈子，他：標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論（第6版）．医学書院，2022．

評価方法

第15回目に実施する評価試験50％（筆記試験）
第1回から第14回目で行う評価試験（課題レポート14回40％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双：Forms等を用いてその場で結果を提示しながら講義を行う
ICT支援：Moodleを用いた自主学习支援を行う

教員等の実務経験

保健師・看護師の臨床経験のある教員が，地域で生活する人々へのさまざまな保健活動について講義を担当します。

メッセージ

地域で生活する様々な健康レベル・ライフステージにある人々への保健活動がどのようなヘルスケアシステムの中で実施されているかを理解し、地域を体系的にとらえることができるように学修していきます。

既習の科目「保健統計学」「慢性看護Ⅰ」「地域看護Ⅰ」「在宅看護Ⅰ」などで学修した内容を復習しておきましょう。

看護技術Ⅲ

更新日：2024/02/01 12:16:33

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622000	授業コード	6220A, 6220B
担当教員	西山 陽子, 山本 孝治, 鈴鹿 綾子, 中村 光江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

健康障害を持った対象者に対して、個別状況に応じた看護技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護技術を安全に実施するための手順を経験し、理解できる。
2	看護技術の実施前・中・後に合併症やアクシデントを予測したアセスメントを実施できる。
3	健康障害を持つ対象者の個別状況に応じ、安楽を考慮して看護技術を実施できる。

授業計画

1	科目オリエンテーション、食事の看護技術/経管栄養法（1） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援） 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①オンデマンド講義を踏まえ、経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本、西山
2	食事の看護技術/経管栄養法（2） 【授業方法】演習（実技、グループワーク、ICT支援） ＊Moodleを用いて評価試験①を実施する。 【予習】40分：①経管栄養法に関連した人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p47-54）およびMoodleに提示される動画を視聴して、経管栄養法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：①経管栄養法の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。②テキストp56のゼミナール「復習と課題」についてまとめる。 【担当】山本
3	創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(1) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援） 演習(実技、グループワーク) 【予習】60分：①皮膚・粘膜の構造と機能を復習②指定された動画を視聴し、創傷の処置の手順、褥瘡予防のケアについてまとめる（テキストp262～p272、p277～p284） 【担当】鈴鹿
4	創傷管理技術：創傷のアセスメント・処置/褥瘡予防(2) 【授業方法】演習（実技、グループワーク、ICT支援） ＊Moodleを用いて評価試験②を実施する。 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
5	呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（1） 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）・演習(実技、グループワーク) 【予習】60分：①呼吸に関する人体の構造と機能を復習する。②Moodleに提示された講義動画を視聴し、酸素吸入療法、一時的吸引の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【担当】西山
6	呼吸循環を整える看護技術：酸素吸入療法、一時的吸引（2） 【授業方法】演習(実技、グループワーク、ICT支援) ＊Moodleを用いて評価試験③を実施する。 【復習】30分：演習を通して学んだことをノートに加筆・修正する。 【担当】西山
7	症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（1） 【授業方法】講義(反転授業、ICT支援) 演習（実技、グループワーク） ＊第7・8回は同日2コマで実施する。 【予習】60分：インスリン分泌に関する人体の構造と機能について復習し、血糖測定とインスリン自己注射の手順とポイントをまとめる。演習の手法を想起できるようにする。 【担当】鈴鹿

8	症状・生体機能管理技術：血糖測定/インスリン自己注射（2） 【授業方法】演習（実技、グループワーク、ICT支援） ＊Moodleを用いて評価試験④を実施する。 【復習】30分：演習を振り返り、創傷処置の手順とポイントをまとめる。 【担当】鈴鹿
9	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（1） 【授業方法】演習（実技、グループワーク、反転授業） 【予習】60分：看護技術Ⅱで学んだ無菌操作の原理原則をテキスト、講義資料で復習する。Moodleに提示された動画を視聴し一時的導尿の手順と留意点、観察(アセスメントの視点と項目)をノートにまとめる。 【担当】西山
10	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）（2） 【授業方法】演習（実技、グループワーク） 【復習】60分：手順を暗記、実施できるよう自己練習を行う。 【担当】西山
11	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）評価試験 【授業方法】評価試験⑤ 【予習】60分：手順と留意点を暗記し、手技を練習する。 【復習】20分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。 【担当】西山・山本・鈴鹿
12	排泄の看護技術：導尿（一時的・持続的）評価試験 【授業方法】評価試験⑤ 【予習】60分：手順と留意点を暗記し、手技を練習する。 【復習】20分：教員からのフィードバックを振り返り、理解が不十分な部分はテキスト、講義資料を確認する。 【担当】西山・山本・鈴鹿
13	排泄の看護技術：浣腸、坐薬(1) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）・演習（実技、グループワーク） 【予習】40分：①排便に関連する人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p61-65,p80-85）およびMoodleに提示される動画を視聴して、浣腸と坐薬の与薬方法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：：浣腸、座薬の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。 【担当】山本
14	排泄の看護技術：浣腸、坐薬(2) 【授業方法】講義（反転授業、ICT支援）・演習（実技、グループワーク）＊Moodleを用いて評価試験⑥を実施する。 【予習】40分：①排便に関連する人体の構造と機能をノートにまとめる。②テキスト（p61-65,p80-85）およびMoodleに提示される動画を視聴して、浣腸と坐薬の与薬方法手順とポイントをまとめる。 【復習】30分：：浣腸、座薬の実施手順と援助実施前・中・後のアセスメントの視点をまとめる。 【担当】山本
15	評価試験、FB 【授業方法】評価試験と講義 【予習】80分：講義及び演習内容から要点を復習する。講義資料のみでなくテキストも用いて学修し試験に臨むこと。 【担当】西山・山本・鈴鹿・中村

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

任和子他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 第18版．医学書院，2022．

参考文献

浅野浩一郎他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[2]呼吸器 第15版．医学書院，2019．
南川雅子他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[5]消化器 第15版．医学書院，2019．
吉岡成人他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[6]内分泌・代謝 第15版．医学書院，2022．
大東貴志他：系統看護学講座 専門2 成人看護学[8]腎・泌尿器 第15版．医学書院，2022．

評価方法

事前学習：14％、授業態度：6％、第1回から第14回までの評価試験①②③④⑥（小テスト）：15％、第11回、第12回の評価試験⑤（技術テスト）：15％、第15回の評価試験（筆記試験）：50％ によって総合的に評価する。
＊事前学習：学習したことをノートにまとめ、毎回持参すること。教員が内容を確認し評価する。
＊授業態度：主体性と協調性、臨地実習に準じた身だしなみやマナーを評価対象とする。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを用いて課題の提示や取り組み方などを提示する。

教員等の実務経験

臨床で看護師として様々な対象者へ看護技術を実践した経験を持つ教員が担当する。

メッセージ

この科目では、グループダイナミクスを発揮して、主体的に周囲と協力、意見を交換しながら学びを深める姿勢で臨むことを求めます。学ぶポイントは、解剖・生理、疾病の成り立ち、治療検査時の看護、看護技術Ⅰ・Ⅱなどの知識を生かすことです。科学的根拠を理解したうえで、安全に、そして対象者にとっての安楽を考慮して実施できるようになりましょう。

看護技術Ⅳ

更新日：2024/02/22 12:37:09

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	622100	授業コード	6221A, 6221B
担当教員	鴨川 めぐみ, 福島 綾子, 吉原 駿, 櫻本 秀明						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

健康レベル、ライフステージ、個もしくは集団など、対象の特性に対して、適切な看護を行うための看護技術を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	侵襲度の高い看護技術を適切に実施するために必要な基本的知識と、科学的根拠に基づいた原理原則について説明できる。
2	援助の必要性を判断し、侵襲度の高い看護技術を対象の特徴に合わせて安全に実施できる。
3	実施した結果を患者の状況に合わせて評価することができる。

授業計画

1	授業ガイダンス：看護技術を適切に実践するための要素とは、【与薬の技術：注射】筋肉内注射 【授業方法】講義（一部オンデマンド講義） 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学2 「序章 看護技術を学ぶにあたって」 p2～15 「第2章 感染防止の技術 F 感染性廃棄物の取り扱い G 針刺し防止策」 p92～98 「第3章 安全確保の技術 B 誤薬防止」 p105～115 2）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「序章 看護技術の根底をなすもの B 看護技術の基盤」 p2～p 8 3）系統看護学講座基礎看護技術Ⅱ「第9章与薬の技術 H注射」 p310～314 p326～369 なお、このページ内の動画はすべて視聴しておくこと。 【復習】40分： 事例患者の病態、治療の理解 【担当】鴨川・福島・吉原
2	【与薬の技術：注射】筋肉内注射（1） 【授業方法】演習（実技、討議） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする。 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章与薬の技術 C筋肉内注射」 p342～345 2）筋肉内注射チェックリストを作成する。 【復習】40分： 1）自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する。 2）担当教員より提示された事後課題に取り組む 【担当】鴨川
3	【与薬の技術：注射】筋肉内注射（2） 【授業方法】演習（実技、討議） シミュレーターを用いて筋肉内注射の実践を行う。 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする。 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章与薬の技術 c 筋肉内注射」 p342～345 2）筋肉内注射チェックリストを作成する。 【復習】40分： 1）自らの手技を確認し、チェックリストに自分の課題と工夫を追加する。 2）担当教員より提示された事後課題に取り組む 【担当】鴨川
4	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（1） 【授業方法】演習（実技） 筋肉内注射の技術テストに向けて準備を行う（手技の確認、根拠の確認など）。 【予習】40分： 1）筋肉内注射チェックリストを見直す。 2）事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術や看護行為の目的と評価のポイントをまとめる。 【復習】40分： 技術テストに向けて、動画の再視聴やオフィスアワーを活用し、技術を再確認する。 【担当】鴨川

5	【与薬の技術：注射】筋肉内注射 技術テストに向けての練習（2） 【授業方法】演習（実技） 筋肉内注射の技術テストに向けての準備をする（手技の確認、根拠の確認など）。 【予習】40分： 1）筋肉内注射チェックリストを見直す。 2）事例患者の問題点とその問題を解決するための看護技術、実施後の評価のポイントをまとめる。 【復習】40分： 技術テストに向けて、動画の再視聴やオフィスアワーを活用し、技術を再確認する。 【担当】鴨川
6	【与薬の技術：注射】技術テスト 【授業方法】演習（技術テスト） 【予習】40分： オフィスアワーを活用し、技術の再確認を行う。 【復習】40分： 1）筋肉内注射に関連した事後課題に取り組む。 2）小テスト 【担当】鴨川・福島・吉原
7	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】40分： 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413 【復習】40分： 1）静脈血採血チェックリストを作成する。 2）静脈血採血を行う目的、採血実施前後の患者の安全と観察の視点を確認する。 【担当】福島
8	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 【授業方法】オンデマンド講義 【予習】40分： 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」p346～369 【復習】40分 1）静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストを作成する。 2）点滴静脈内注射を行う目的、点滴静脈内注射実施前、投与中、実施後の患者の安全と観察の視点を確認する。 【担当】吉原
9	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（1） 【授業方法】演習（実技、討議） シミュレーターを用いて採血の実践を行う。 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする。 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413 2）静脈血採血チェックリストを作成する。 【復習】40分： 1）静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題 【担当】福島
10	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（2） 【授業方法】演習（実技、討議） シミュレーターを用いて採血の実践を行う。 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする。 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413 2）静脈血採血チェックリストを作成する。 【復習】40分： 1）静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題 【担当】福島
11	【症状・生体機能管理技術：検体検査】血液検査（3） 【授業方法】演習（実技、討議） シミュレーターを用いて採血の実践を行う 互いに看護師役、患者役を行い、体験を通しての気づきをグループでディスカッションする。 【予習】40分： 1）系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第11章症状・生体機能管理技術 A 症状・生体機能管理技術の基礎知識 B検体検査」p406～413 2）静脈血採血チェックリストを作成する。 【復習】40分： 1）静脈血採血のチェックリストの追加修正と事後課題 2）小テスト 【担当】福島

12	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (1) 【授業方法】 演習（実技、討議） 予習：40分 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」 復習：40分 1) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストを作成する 2) 点滴静脈内注射を行う目的、点滴静脈内注射実施前、投与中、実施後の患者の安全と観察の視点を確認する。 【担当】 吉原
13	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (2) 【授業方法】 演習（実技、討議） 予習：40分 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」p346～369 復習：40分 1) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストを作成する 2) 点滴静脈内注射を行う目的、点滴静脈内注射実施前、投与中、実施後の患者の安全と観察の視点を確認する。 【担当】 吉原
14	【与薬の技術：注射】 静脈内注射／点滴静脈内注射 (3) 【授業方法】 演習（実技、討議） 予習：40分 系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学3「第9章 与薬の技術 d 静脈内注射」p346～369 復習：40分 1) 静脈内注射／点滴静脈内注射チェックリストを作成する。 2) 点滴静脈内注射を行う目的、点滴静脈内注射実施前、投与中、実施後の患者の安全と観察の視点を確認する。 3) 小テスト 【担当】 吉原
15	演習を終えてのフィードバック／事後課題・小テストに対するフィードバック 【授業方法】 講義 【予習】 40分：看護技術Ⅳにおける学習内容で理解不十分だった部分についての確認を行う。 【復習】 40分：全体の学びを整理する。 【担当】 鴨川・福島・吉原

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

茂野香おる，他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ（第18版）．医学書院，2023．
任和子，他：系統看護学講座 専門分野 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ（第18版）．医学書院，2023．

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

評価試験：技術テスト30％、演習態度10％、事前・事後課題30％、第6回、第11回、第14回で行う評価試験：小テスト30％

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教科書内の動画やMoodleを活用したオンデマンド講義の視聴で、侵襲の高い看護技術をイメージしてもらいます。それらを活用し患者さんへの実践について必要な個人の知識を習得し、グループでの活動で学習効果を高めます。Moodle内の視聴状況について担当教員で確認し、学習に支援が必要な学生においては個別に支援を行います。

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、臨床看護技術について教授します。

メッセージ

看護技術Ⅳで取り扱う技術は、患者にとって侵襲度の高い看護技術です。そのため、単に手技を実施するのではなく、その技術に関する正しい知識に基づき、看護職者としての責任と態度を自覚し演習に臨んで下さい。3年次の科目ですので、演習の準備から片付け、および演習の進行についても学生主体で取り組んでもらいます。
個人の学習にとどまらず、チームで課題に取り組み、互いに高め合いながら学修していくことを希望します。

専門性強化演習Ⅰ

更新日：2024/02/21 10:56:49

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622200	授業コード	62220
担当教員	原田 紀美枝, 鴨川 めぐみ, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 永松美雪, 姫野 稔子, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 西村 和美, 太田 純代, 鎌田 ゆき, 福島 綾子, 福田 陽子, 内田 文月, 菊池 さよ, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限		－	単位	1

授業の目的

各専門領域の実習に必要な知識、技術、態度を強化する。
実習の体験で得られた看護の現象について探求し、課題としてとらえた看護の現象について言語化・抽象化・概念化といった思考過程を繰り返しながら、次の看護実践の方向性を見出す能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	各専門領域における技術演習を通して、レベルⅣ実習に向けて必要となる知識、技術、態度を主体的に身につけることができる。
2	実習中に直面しうる倫理的問題について、看護の視点から考えることができる。
3	実習での体験をもとに、看護の現象に潜む探究課題を見出すことができる。
4	探究課題を明らかにするために必要な情報資源を収集、活用することができる。
5	看護実践の探求を通して、看護実践の言語化、抽象化、概念化するための方法を学ぶことができる。

授業計画

1	コースガイダンス：レベルⅣ実習に必要な援助技術、看護学実習における倫理とは 【授業方法】講義 コースガイダンス① 各専門領域における実習に必要な技術演習の到達目標や演習の進め方、事前課題などを理解し、主体的に演習に参加するための準備を整える。 コースガイダンス② ケースメソッドによる倫理的課題の検討の進め方を理解し、討議に参加するための準備を整える。 【復習】60分：講義内容および倫理に関する既習学習も参考にしながら、これまでの実習における倫理的課題について振り返る。 【担当】原田・鴨川
2	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
3	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
4	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
5	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
6	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員

7	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
8	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
9	【レベルⅣ実習前】各専門領域における技術演習（在宅看護領域、精神看護領域、クリティカル領域、老年看護領域、成育看護領域） 【授業方法】演習と講義（実技） 【予習】30分：各担当領域から提示される課題 【復習】30分：各担当領域から提示される課題 【担当】レベルⅣ担当教員
10	【学内一斉週】倫理的問題や場面の振り返り 【授業方法】演習（グループワーク） 前半クルの実習で体験した倫理的問題についてグループで振り返る。 【予習】60分：グループ内で有意義なディスカッションができるよう取り組むための準備として、レベルⅣ実習で直面した倫理的問題について既習の学習内容と照らし合わせまとめておく。 【復習】20分：ディスカッションした内容を自己の学習内容としてまとめる。 【担当】原田 鴨川
11	【学内一斉週】看護倫理・ケースメソッド法について 【授業方法】講義 1. 看護倫理に関する既習学習内容を振り返る 2. ケースメソッドの目的・手法を学ぶ 【復習】30分：ケースメソッド法における学習方法の目的を理解するため講義内容を整理する。 【担当】原田 鴨川
12	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する① 【授業方法】講義・演習（グループワーク） 1. ケースメソッドの進め方 2. 検討事例紹介 提示された事例について倫理的課題の様相を見出し、その様相に対する考えを確立できるよう自己学習を行う。 【復習】60分：事例を精読し、論理的課題を理論立て見出し、講義資料や文献検索をしながら、自身の考えを整理し全体討議で発言ができるよう準備する。 【担当】原田 鴨川
13	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する② 【授業方法】演習（グループワーク） 個人学習で導き出した学習内容と意見交換が必要な事項をグループ内に提示する。 主に自己の考えを確立するに至る文献などを検索し、根拠を持ち事例検討を行う。 【予習】40分：グループワークで意見交換ができるように文献検索を行なう。 【復習】40分：事例の設問に対する自分なりの考えを整理し、意見交換ができるようにメモを準備する。 【担当】原田 鴨川
14	【レベルⅣ実習終了後】事例における倫理的問題に対しケースメソッドを展開する③ 【授業方法】演習（討議）グループ討議へのフィードバック ディスカッション設問に対しグループ内で討議する。自己学習で準備してきた自分なりの考えを述べ、他者の意見を聞くことで共通点や相違点を明らかにしつつ全体討議に向けた準備を行う。 【予習】40分：自己学習を基盤に、グループ討議に向けて自身の考えを整理する。 【復習】20分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。 【担当】原田 鴨川 高橋 西村 川崎
15	【レベルⅣ実習終了後】倫理的問題においてケースメソッドを展開する④ 【授業方法】演習（討議）全体討議へのフィードバック グループ討議において、その問題に関連する記述や資料に関連付け自己の解釈として導いた自己の倫理観を発言する。 【予習】10分：グループ討議を基盤にさらに自身の考えを整理し、全体討議に向けた準備を行う。 【復習】70分：最終レポートを作成する。 【担当】原田 鴨川 高橋 西村 川崎 櫻本 太田 高瀬理

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要時、資料を配布する。

参考文献

適宜、提示する。

評価方法

各領域における技術演習での取り組み状況（30%）、グループディスカッションへの参加状況（10%）
ケースメソッドへの自己学習に対する取り組み状況（30%）、評価試験：レポート（30%）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを用いた自主学習支援を行います。

教員等の実務経験

看護の各専門領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、さまざまな看護活動について講義・演習のサポートをします。

メッセージ

レベルⅣ実習では、約3か月という短い時間で対象や場の特徴が異なる5領域、6つの実習でそれぞれの実習目的を達成しなければなりません。一方で、レベルⅣ実習での各専門領域における実習は、実践を通し経験することで「看護」についての意味を考え、看護観を形作るという大切な時期になるのではと思っています。ぜひ各領域での学びが深まることを期待しています。

自らの経験についてじっくりと振り返ることは、難しい作業となるかもしれませんが、しかし、その作業の中でしか気づくことのできない言動の意味、自身の思考などは、みなさんが自分自身の「看護」を発展させていく上での大きな味方ともなってくれるはずです。この科目では、みなさんの「もっと成長したい」気持ちを伸ばしていくことをモットーに、レベルⅣ担当教員全員でサポートしていきます。コロナ禍の実習で、学生同士で討議する機会も少なくなっています。学生同士で討議することで学びを深めていきましょう。苦しい作業になるかもしれませんが、じっくり、しっかり「考え」、「討議し」それぞれの問いの答えを見つけていきましょう。

慢性看護実習

更新日：2024/01/31 19:26:46

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622300	授業コード	62230
担当教員	鈴鹿 綾子, 山本 孝治, 西山 陽子, 中村 光江						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	3	

授業の目的

慢性期にある対象の特徴や日常生活への影響を理解したうえで、看護実践を通して、継続的な支援を必要とする対象のニーズを把握し、個別性に応じた看護を提供できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	慢性病を持つ対象者の健康問題に対して適切に看護を展開できる。
2	慢性病を持つ対象者とその家族に必要な支援について考えることができる。
3	包括的医療における看護の役割を理解し、多職種との協働について考えることができる。
4	分析的に自己を捉え、自主的に実習に取り組むことができる。

授業計画

1	授業方法と学習課題 【授業方法】実習 【予習】18時間 ＊予習の必要時間は個々で異なるため時間はあくまで目安である ・「病みの軌跡」と「看護過程の展開」の振り返り ・主として「慢性看護Ⅰ・Ⅱ」、「健康行動論」、「看護技術Ⅲ」、「人体の構造と機能」、「がん看護」、「疾病と治療」における知識や理解に関し、自己の課題を克服するための学習 ・代表的な慢性疾患である以下について、事前学習を行っておく ＜糖尿病、慢性腎不全、慢性心不全、慢性閉塞性肺疾患、肺がん、慢性肝炎・肝硬変＞ ・行動変容を促す看護技術 【復習】6時間 ・受け持ち対象者の疾患および病態生理に関する知識の整理 ・対象者への看護実践の振り返り（指導内容と指導方法を含む） ・実習で明らかとなった自己の課題への取り組み 【担当】鈴鹿・山本・西山・中村
2	実習方法 1）実習期間 2026年1月15日（水）～2月5日（水） ※臨地実習とその後の学内実習数日を予定している ※2月3日（月）は学部の入試の為、休みとする 2）実習場所 複数の医療施設での実習を予定している 3）実習の進め方 （1）学内オリエンテーション 10月、12月、1月に複数回実施する（実習時間に含まれる） （2）学内演習 臨地実習において実施可能な看護援助及び研鑽が必要な看護技術の演習を計画・実施・評価する。 （3）施設での実習 入院中あるいは外来受診中の慢性病をもつ対象者1人を受け持ち、看護を実践する。 （4）学内実習 学内カンファレンス・面接・レポート作成を通して実践を振り返り、現象を探究する過程を経て、看護に対する自身の考えを深める。 担当教員との面談を通し、実習の到達目標の達成状況、課題についてフィードバックを受ける。 ＊状況によっては施設実習ではなく、オンライン・学内実習など実習方法が変更される可能性がある。 その場合は科目担当者から別途連絡をおこなう。

指導教員

先行履修要件科目

レベルⅡ看護過程の展開実習

テキスト

鈴木久美他編：成人看護学 慢性期看護 病気とともに生活する人を支える 改訂第4版．南江堂，2023．
松本千明：医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎－生活習慣病を中心に（第2版）．医歯薬出版，2024．
田村恵子他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版．医学書院，2022．
小松浩子他：系統看護学講座 別巻 がん看護学 第3版．医学書院，2022．

参考文献

Woog,P.(ed.)：The Chronic Illness Trajectory Framework-The Corbin and Strauss Nursing Model．1992，黒江ゆり子他訳：慢性疾患の病みの軌跡．医学書院，1995．
宗像恒次：最新 行動科学からみた健康と病気．メヂカルフレンド社，1996．
慢性看護領域の教員が担当した授業で配布された資料

評価方法

実習目標の達成度（69％）、実習態度（16％）、課題レポート（15％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

看護師の臨床経験のある教員の指導の下、慢性病をもつ対象者に対する看護を実践する実習を行う。

メッセージ

慢性病を持つ人々は年々増加し、一人が複数の慢性病を持つことも一般的になってきました。病気や障害とともに生きる過程を全人的に理解し、長期的な視点を持って個別性に応じた看護を学びます。病気と折り合いをつけつつ、その人らしく生きていくことについて、ご本人や家族とともに考えましょう。対象者の「病みの軌跡」に対する理解を看護実践にも活かしてください。
レベルIII実習になりますので、主体的かつ積極的に学ぶ姿勢を期待します。

成育看護実習

更新日：2024/02/01 16:13:25

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622400	授業コード	62240
担当教員	永松美雪, 石山 さゆり, 川崎 幹子, 福田 陽子, 太田 純代, 菊池 さよ, 内田 文月, 小西 彩香						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	3	

授業の目的

リプロダクションサイクルにある人々の健康と次代を担う子どもが健やかに育つための看護を提供できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：小児看護学、母性看護学

本科目で育成する**DP**の力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	リプロダクションサイクルにある対象者（周産期・小児期における母子およびその家族）を、成長発達過程をふまえ、連続的に身体的、心理・社会的存在として説明できる。
2	リプロダクションサイクルにおける対象者の健康状態を、身体的、心理・社会的特性をふまえて明確にし、健康の保持増進と発達を促すような看護を展開できる。
3	リプロダクションサイクルにある対象者の人権を尊重し、倫理的態度に関わる重要性を理解し、考察することができる。
4	看護と保健医療・福祉・教育などの関連諸機関との連携について説明できる。
5	自己を内省し、主体的・積極的に実習に取り組むことで、リプロダクションサイクルにある対象者と援助の人間関係を構築するためのアプローチを考察できる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】臨地実習もしくは学内実習 【担当】永松・石山・川崎・福田・太田・菊池・内田
2	I．実習方法 1．実習期間 3週間 2．実習場所 臨地実習もしくは学内実習 3．実習の進め方 1) 母性看護実習（1週間）： 周産期の母子と家族を対象とした看護過程の展開を行う。 2) 小児看護実習（1週間）： 健康問題または障がいをもって入院する子どもと家族を対象とした看護過程の展開を行う。 3) 成育実習（1週間）： 地域で生活する乳幼児期の子どもの成長・発達の特徴を理解し、 乳幼児期の子どもと援助の人間関係を築くためのコミュニケーションの特徴について説明できることを目標に、保育所もしくは幼稚園で実習を行う。 ＊学習の進捗状況に応じて、実習指導教員が実習記録物や課題レポートに関するフィードバックを行う。 4．実習時間 9：00－16：00
3	II．実習上の留意点 対象の特性から感染防止には特に注意しなければならない。学生自身が感染媒介となることを防止するために体調不良時には必ず医療機関を受診する。
4	III．学修課題 【予習】取り組み時間：90分 内容：事前課題に取り組み、課題ノートにまとめる。 母性、小児看護学の講義内容および演習内容を振り返る。 母性、小児領域の主な疾患について病態を振り返る。 【復習】取り組み時間：80分 内容：成育看護実習で課されている記録をまとめる

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

1. 母性看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料
(1)森恵美, 他: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [1] 母性看護学概論 (第14版). 医学書院, 2023.
(2)森恵美, 他: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 [2] 母性看護学各論 (第14版). 医学書院, 2023.

2.小児看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト・配布資料
(1) 小林京子, 高橋孝雄: 小児看護学概論 小児保健 (第7版). メヂカルフレンド社, 2022.
(2) 小林京子, 高橋孝雄: 小児看護学② 健康障害をもつ小児の看護 (第7版). メヂカルフレンド社, 2022.

参考文献

石村 由利子: 根拠と事故防止からみた母性看護技術 (第3版). 医学書院, 2022.
堀内成子, 他: パーフェクト臨床実習ガイド: 母性看護 (第2版). 照林社, 2017.
横尾京子, 他: ナーシング・グラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 (第6版). メディカ出版, 2024.
小林康江, 他: ナーシング・グラフィカ 母性看護② 母性看護の実践 (第3版). メディカ出版, 2024.
中村幸代, 他: 根拠がわかる母性看護過程: 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画. 南江堂, 2018.
石黒彩子 編: 発達段階からみた小児看護過程+病態関連図 (第2版). 医学書院, 2012.
山元恵子 編: 写真でわかる小児看護技術 (第3版). インターメディカ, 2015.
鈴木康之, 舟橋満寿子 編: 写真でわかる重症心身障害児(者)のケア. インターメディカ, 2017.
倉田慶子, 市原真穂, 仁宮真紀 編: ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護計画. へるす出版, 2017.

評価方法

①母性看護実習評価40% ②小児看護実習評価40% ③成育実習評価20%
成育看護実習は母性看護実習、小児看護実習、成育実習にて構成されていることから、本実習の単位取得は総合評価とする。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

助産師または看護師として、成育看護領域の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、成育看護実習の指導を行います。

メッセージ

成育看護実習は母性看護学、小児看護学、成育実習にて構成されています。本科目の病棟実習はそれぞれ1週間であり、その1週間の中で受け持ち対象者の看護展開を行う必要があります。それまでの実習と比べると戸惑いを覚えるかもしれませんが、実際には、成育看護の対象となる人々の状態変化は著しく、入院期間も短いことが一般的です。したがって、その看護展開には十分な準備と予測的視点を持って臨むことが求められます。とくに母性看護Ⅱと小児看護Ⅱは実習を想定した授業内容になっており、母性看護Ⅱと小児看護Ⅱで学んだ知識を総動員して実習に臨んでほしいと思います。

老年看護実習

更新日：2024/01/29 11:13:00

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622500	授業コード	62250
担当教員	原田 紀美枝, 高比来 ひとみ, 梶原 弘平, 千原 明美, 姫野 稔子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

療養が必要となった高齢者を包括的に捉え、尊厳や生命の維持およびQOLの向上を目指す援助を実践できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：老年看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	高齢者および家族と良好な援助関係を築くことができる。
2	高齢者の身体的・心理的・社会的特性を踏まえ、個性性を尊重した看護を展開することができる。
3	高齢者の医療を支える職種の役割・機能および看護師の役割・機能を理解することができる。
4	看護の現象を振り返り、それに基づいたそれぞれの老年観および看護観を言語化できる。
5	自らの課題を認識し、課題解決に向けた目標を持ち、主体的に行動することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】8時間：事前課題に取り組む。 ・老年医学の講義内容の振り返り ・高齢者に起こりやすい健康問題の講義内容の振り返り ・高齢者に関連する社会保障制度について ・看護過程 【担当】原田・高比来・梶原・千原・姫野
2	I．実習方法 1．実習期間 2週間 2．実習場所 今津赤十字病院、嘉麻赤十字病院、有吉病院 遠賀中間医師会おかがき病院、白十字リハビリテーション病院、福岡みらい病院、 3．実習の進め方 1～2名の患者を受け持ち、看護過程の展開を行う。 【スケジュール】 1日目(学内)：オリエンテーション/受け持ち患者概要説明、実習の個人目標の確認 2日目(臨地)：病棟オリエンテーション、受け持ち患者を決定し情報収集 3日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 4日目(臨地)：受け持ち患者の情報収集 5日目(学内)：看護計画立案 6日目(臨地)：看護計画発表 7日目(臨地)：看護計画実施・実習個人目標中間評価 8日目(臨地)：看護計画実施・評価発表 9日目(臨地)：病院実習のまとめ 10日目(学内)：全体でのまとめ ※看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。また実習中間時期に、実習個人目標の中間評価を行い、教員のフィードバックを受け自己課題を明確にする。
3	II．実習上の留意点 ・実習スケジュールは、施設や祭日の状況に応じ調整をしながら進行するため、教員の指示を確認する。 ・臨地実習においては、自分の健康管理を行うこと。特に新型コロナウイルス等様々な感染症における感染拡大防止対策に関しては、別途示す対策を遵守する。対策の遵守ができていない場合は、臨地実習を中止せざるを得ないことがあることを十分に理解しておく。 ・受け持ち対象者へのケアの実施に関しては、患者の安全を確保するため、単独では実施しない。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設するすべての必修科目

テキスト

堀内ふき他：ナースングラフィカ老年看護学①高齢者の健康と障害．メディカ出版，2021．
堀内ふき他：ナースングラフィカ老年看護学②高齢者看護の実践．メディカ出版，2021．
鳥羽研二他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護 病態・疾患論．医学書院，2018．

参考文献

山田律子他：生活機能から見た老年看護過程．医学書院，2018．
正木治恵他：パーフェクト臨床実習ガイド老年看護（第2版）．照林社，2017．
折茂肇他：高齢者の特徴的な症状と看護計画．メジカルビュー社，2008．
奥宮暁子他：生活機能のアセスメントに基づく老年看護過程．医歯薬出版株式会社，2015．
大塚真理子：カラー写真で学ぶ高齢者の看護技術．医歯薬出版株式会社，2018．
上鶴重美他：NANDA-I看護診断 定義と分類 2021-2023 原書第12版．医学書院，2021．
マージョリー・ゴードン，看護アセスメント研究会訳：看護診断マニュアル 原書第11版-機能的健康パターンに基づく看護診断-．医学書院，2010．
その他、実習中に適宜提示する。

評価方法

看護過程ルーブリック評価（DP問題解決力）52％
実習目標達成度（DP人間の尊厳を擁護する力・自己教育力・チームで働く力・看護の専門性を探究する力）48％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

高齢者を診療する医療機関で、看護師・看護管理者・退院調整看護師の経験がある教員が、その経験を活かして臨地での実習指導を行います。

メッセージ

受け持ち対象事例は、疾患や障害を持ちながら生活をされています。対象者が、健やかにその人らしい老年期を過ごすために、どのような援助が必要なのかを考えてほしいと思います。

クリティカルケア実習

更新日：2024/02/01 09:40:42

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622600	授業コード	62260
担当教員	櫻本 秀明, 福島 綾子, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

救急およびクリティカル状況下で集中治療・看護を受ける患者および家族の危機状態に対する看護を提供できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：成人看護学

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	救急およびクリティカルな状況下にある患者や家族への看護に必要な態度を身につけることができる。
2	患者やその家族の身体・心理・社会的危機状況についてアセスメントすることができる。
3	患者の生命を守るために行われている治療・検査を理解し、必要な看護を実施できる。
4	救急およびクリティカルな状況下での看護における看護師の役割と専門性について述べるができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 1. 授業方法：実習
	2. 事前課題：1日1時間程の学習を2週間程度（合計10～15時間。予習の目安は個々でことなるため、あくまで目安である） 1) 学習項目は、8月上旬、実習オリエンテーション時に提示する予定 2) クリティカルケアⅠ、クリティカルケアⅡの内容についての復習 3) フィジカルアセスメントの技術についての復習（オフィスアワーを活用する） 4) 実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 また、実習の心構えをよく読み、目的・目標を達成するための自己の課題を明らかにしておく。 3. 実習概要 1) 実習時間 2週間（90時間） 2) 実習施設 福岡赤十字病院、熊本赤十字病院、飯塚病院、小倉記念病院のICU、CCU、HCU、SCU、救急病棟、救命救急センターや救急外来 3) 実習スケジュール 1週目 月：【学内】実習オリエンテーション／学内演習 火～金：【病院】臨地実習（木の午後：記録の整理） 2週目 月～木：【病院】臨地実習（水の午後：記録の整理） 金：【学内】学びの共有／記録の整理／面接 など 4) 実習方法 ・各実習施設の救急・集中ケアのユニットにおいて実習を行う。 ・学生は複数名のチームでクリティカルな状況にある患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を実践する。 ・救命救急センターや救急外来では見学実習を行う。 ・看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。 ・また、実習中間時期に、個人目標の中間評価を行い、教員のフィードバックを受け自己課題を明確にする。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開講する全ての必修科目

テキスト

テキストは、クリティカルケアⅡの講義と同じものを使用する

参考文献

- 1) 道又元裕 他：系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学. 医学書院, 2020.
- 2) 山勢博彰 他：系統看護学講座 別巻 救急看護学. 医学書院, 2018.
- 3) 寺町裕子 他：クリティカルケア看護 理論と臨床への応用. 日本看護協会出版会, 2007.

その他、実習中に適宜提示する

※学生自身で実習に関連する書籍・文献等も収集し活用する。
※実習用図書として準備したものを活用できる。

評価方法

実習評価表（ルーブリック）に基づき評価する。
実習目標の達成度 実習態度 25%（ピア評価を含む） 看護の実践、記録物 75%
なお、遅刻・早退は1点、欠席は2点の減点となる

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

クリティカルケア領域（ICU、CCUなどの集中治療ケアのユニット、救急病棟）に従事する高い専門性をもつ臨地実習指導者と、クリティカルケア看護の臨床経験のある教員が協力し、その経験を活かしてクリティカルケア領域の看護について実習指導を行います。

メッセージ

クリティカルケア実習では、クリティカルな状況下で集中治療・看護を受ける患者を受け持ち、看護過程を用いて看護を展開します。クリティカルケアⅠ／Ⅱおよびその他、既習の知識や理論を用いて患者を全人的に捉え、顕在および潜在する問題に対して予測的な視点と科学的根拠に基づいた看護を実践し、評価していきます。

また、クリティカルケア実習では「受け持ち看護師」としての責任を持った行動を求めます。患者に対して必要となる看護は何かを臨地実習指導者や日々の担当看護師、実習担当教員を含めた看護チームで常に意見交換を行いながら、最善の看護を検討し実践してください。そのため、学生は複数名で1名の患者を受け持ち、常に学生同士のチーム間で意見交換をしつつ、看護チームの一員という自覚を持って実習に取り組むことを期待します。また、自己教育力を育成・向上するために、自己分析を繰り返し常に自己の課題を明確にしながら、目標達成のために継続的に取り組む事を期待します。

在宅看護実習

更新日：2024/02/27 17:14:12

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622700	授業コード	62270
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域で生活しながら療養する人々とその家族を理解し、訪問看護で提供する看護援助の方法を学ぶ。また、在宅ケアシステムにおける専門職種間の連携・協働を理解するとともに、その中で果たす看護職の役割を考える。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	在宅療養者とその家族の健康と暮らしを支援し、QOL向上をはかるための看護を展開することができる。
2	在宅ケアにおける看護職の果たすべき役割を説明できる。
3	在宅療養を支える保健・医療・福祉の社会資源について理解を深め、多職種間の連携・協働の必要性を説明できる。
4	在宅療養者とその家族の看護に必要な態度を身につけることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習（ICT支援） 【事前課題】 ・夏季課題提示 1．在宅医療・看護・福祉に関する知識の確認 2．訪問看護制度（医療保険、介護保険等）に関する知識の確認 3．教科書②事例の病態・治療・看護、社会資源等の確認 4．在宅看護過程 ＊事前課題は実習に活用されるものであり、実習中の自己学習も追加していくこと 【予習】 ・自己の実習目標について「在宅看護実習で学びたいこと」を指定された用紙にまとめる（取組時間：40分） ・在宅看護実習の実習要項を熟読し、実習目的、目標を理解する（取組時間：30分）
2	実習方法 1．実習期間：2024年10月7日（月）～12月20日（金） 2週間 2．実習場所：福岡県内の訪問看護ステーション及び関連施設、学内（実習初日と最終日） 3．実習の進め方：臨地実習 ・受持療養者1名を担当し、看護過程を展開する。 ・受持療養者以外の同行訪問では、多様な対象者の暮らしと看護ケアを学ぶ ・多職種間の連携・協働について学びを深める ・臨地実習でのカンファレンスは、週1回（中間・最終）の計2回行う ＊最終カンファレンスの日時は実習指導者と担当教員と調整する ＊カンファレンスは、学生が主体で行い、事前準備や司会進行を行う ・学内実習は、評価試験（筆記試験）と目標に沿ったグループディスカッションを実施する ・学内実習最終日は学習成果に対してフィードバックを行う。 4．実習担当教員：西村、鎌田
3	実習上の注意事項 ・事前課題の提出は、実習の前提条件および評価対象となるので留意する。 ・報告・連絡・相談は適切なタイミングで、担当教員の実習用携帯電話や指定された方法（Teams等）で行う。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設する全ての必修科目

テキスト

在宅看護Ⅰ・Ⅱで使ったテキストおよび資料

参考文献

実習に関連する文献は学生各自で収集し、活用する

評価方法

ルーブリック評価：90%

評価試験(筆記試験)：5%

事前課題：5%

本科目で取得が望ましい点数

78

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。

教員等の実務経験

看護師として臨床経験のある教員が、在宅看護での経験を活かして実習指導を担当します。

メッセージ

これまでの学びを臨地で確認するとともに、臨地でなければ学べない在宅場面での看護活動を学修していきましょう。在宅療養者と家族の暮らしや価値観を尊重した個性や、療養者・家族が望む暮らしを支える看護について考えていきましょう。

精神保健看護実習

更新日：2024/02/27 16:58:07

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	622800	授業コード	62280
担当教員	高瀬 理恵子, 森 千郷, 牧 マリコ, 高橋 清美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

精神疾患をもつ人々とその家族に対する精神看護の展開方法ならびに基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：精神看護学

本科目で育成するDPの力

【1-2.人間の尊厳と権利を擁護する力】赤十字の理念である人道に基づき、人間としての尊厳と権利を尊重・擁護することができる。

到達目標

1	精神に障害をもつ人の尊厳を重視した倫理的行動の重要性を説明する事ができる。
2	患者－看護者関係の発展過程や治療的関わりを通してよりよい援助の人間関係を築く事ができる。
3	自己を分析的に捉え、自主的かつ自律的に実習に取り組む事ができる。
4	多職種連携における看護の役割を認識し、チーム内での自己の役割を実践できる。
5	精神疾患をもつ対象者及び家族の抱える問題をアセスメントし、主体性を尊重した看護を展開できる。
6	精神疾患をもつ人とその家族に対する看護の役割と専門性について述べる事ができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【事前課題】事前課題A（8月上旬に提示） ・知識の復習：精神保健福祉に関する知識の確認 ・自己学習ノート：主な精神疾患の病態と症状・治療・アセスメントの視点と援助のポイントをまとめる ・プロセスレコードの記載：これまでの実習で経験した場面で記載する ※取り組み時間は、平日の1日1時間の学修を2週間程度実施すること。 ※自己学習ノートは、疾病と治療Ⅳ、精神保健看護Ⅰ・Ⅱの内容を復習しながら、実習で活用できるように作成すること。 【担当】高瀬・森・石飛・高橋
2	Ⅰ．実習方法 1) 実習期間 2週間 2) 実習場所 太宰府病院、福岡病院、福岡保養院、一本松すずかけ病院、晴明病院、中村病院 3) 実習の進め方 患者1名を受け持ち、看護過程を展開する。 実習初日【学内】大学オリエンテーション／学内演習（プロセスレコード検討会） 実習2日目以降【病院】 1週目 受け持ち患者の情報収集・アセスメント・看護計画の発表 2週目 立案した看護計画の実施・プロセスレコード検討会・看護計画の評価 実習最終日【学内】記録の整理・レポート作成 ※看護過程の展開は、実習記録やカンファレンスなどを通して、適宜教員からフィードバックを受けながら進める。 ※実習の進め方は、施設や祭日の状況、新型コロナウイルス感染症等の状況により、計画変更する可能性があるため、教員の指示を確認する。

指導教員

先行履修要件科目

3年前期に開設するすべての必修科目。

テキスト

講義で使用したテキストおよび配布資料。

参考文献

適宜、提示する。
実習用図書として準備したものを活用できるが、学生自身でも実習に関連する書籍・文献等を収集し活用すること。

評価方法

精神保健看護実習 ルーブリック評価表に基づき評価する

①実習目標の達成状況および実習態度 80%

②事前課題A 14%

③レポート（形式分）6%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

精神科看護の臨床経験のある教員が実習指導を担当する。

メッセージ

精神保健看護実習では、看護における倫理観や倫理的行動について十分に学修を深めてほしい。
実習要項をよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解して実習に取り組むことを期待する。

災害と看護

更新日：2024/02/01 17:19:45

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630100	授業コード	63010
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

災害サイクルの特徴を概観し、各サイクルにおける健康課題や看護ニーズ、看護職者の役割について理解するとともに、災害看護に必要な基礎的能力を習得する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	災害および災害医療・災害看護に関する基礎的知識について理解できる。
2	災害サイクルに応じた被災者の特性と看護について理解できる。
3	トリアージの基本的知識および方法について理解できる。
4	災害時における看護職者の役割について理解できる。

授業計画

1	災害とは、災害の種類と特徴、災害と法律について 【授業内容】災害の基礎知識を学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：日本や世界で起きた災害について調べる。 【担当】小川
2	災害と健康、災害サイクルと災害医療、災害時要援護者、要配慮者について 【授業内容】災害サイクルの特徴と各期の健康問題について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害サイクルとその特徴、健康問題についてまとめる。 【担当】小川
3	災害急性期の看護（1）—赤十字医療施設・救護班の活動 【授業内容】災害急性期における赤十字に活動について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：赤十字の災害救護活動について調べる。 【担当】小川
4	災害急性期の看護（2）—DMATについて 【授業内容】過去の災害からDMATが組織された背景について学ぶ。 【授業方法】講義 【予習】30分：DMATとは何かを調べる。 【担当】ゲストスピーカー
5	災害急性期の看護（3）—DMATの活動の実際 【授業内容】DMATの活動の実際、課題や展望について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：DMATの活動と赤十字の救護活動の類似と相違について調べる。 【担当】ゲストスピーカー
6	災害慢性期の看護—仮設住宅・復興住宅における健康問題と看護 【授業内容】災害慢性期・復興期の特徴、生活や健康問題について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害復興期の特徴と被災者の生活や健康問題とその看護について整理する。 【担当】小川
7	災害静穏期・準備期の看護について 【授業内容】災害静穏期・準備の特徴と対応について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害静穏期・準備期における医療施設での対応についてまとめる。 【担当】小川

8	災害時のこころのケア 【授業内容】災害時のメンタルヘルスケアについて学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：災害がもたらす精神的影響とそのケアについてまとめる。 【担当】小川
9	受援、災害支援ナース、放射線災害について 【授業内容】受援とは何か、災害支援ナースの役割、放射線災害の概要について学ぶ。 【授業方法】講義 【復習】60分：受援や災害支援ナースの受け入れに必要なことは何かについてまとめる。 【担当】小川
10	災害看護演習（災害時の避難について考える）① 【授業内容】提示された事例から災害時の避難について討議する。 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】30分：これまでの避難訓練とその課題について整理する。 【担当】小川
11	災害看護演習（災害時の避難について考える）② 【授業内容】提示された事例から災害時の避難について討議する。 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：グループで検討した避難方法・経路の妥当性について考える。 【担当】小川
12	災害看護演習（災害対応マニュアルについて考える）③ 【授業内容】災害対応マニュアルについて検討する。 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】30分：災害対応マニュアルについて調べる 【担当】小川
13	災害看護演習（災害対応マニュアルを作成してみる）④ 【授業内容】災害対応マニュアルについて検討する。 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】90分：発表用の資料を作成する。 【担当】小川
14	災害看護演習（災害対応マニュアルの妥当性について検討する）⑤ 【授業内容】作成した災害対応マニュアルを発表し、共有する。 【授業方法】演習（発表） 【復習】60分：自分たちが作成したマニュアルの妥当性、課題を明らかにする。 【担当】小川
15	災害と看護のまとめ フィードバック 【授業内容】授業の振り返り、まとめ、フィードバック 【授業方法】講義 【復習】60分：これまでの講義・演習での学びを振り返り、災害看護について自己の考えをまとめる。 【担当】小川

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

竹下喜久子 他：系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践〔3〕災害看護学・国際看護学 第4版．医学書院，2021．
その他、必要に応じて資料を配付する。

参考文献

小原真理子：いのちとこころを救う災害看護．学研，2008．
小原真理子：演習で学ぶ災害看護．南山堂，2010．
齋藤正子，他編：災害看護：心得ておきたい基本的な知識（改訂3版）．南山堂，2019．
その他、必要に応じて紹介する。

評価方法

授業への参加度10％ 課題への取り組み40％ レポート50％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を共有する）

教員等の実務経験

国内外で災害救護の実務経験のある教員が、講義を担当します。

メッセージ

講義の他、演習を通じて災害看護について考えていきます。積極的な取り組みを期待します。

国際保健・看護 I

更新日：2024/02/01 17:06:15

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630200	授業コード	63020
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義・演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

日本を含む世界各国における保健衛生の現状や課題、関連する要因について基礎的な理解を深め、人々の健康増進に関与する国際保健・看護の特性について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	グローバル社会における健康課題とその要因について説明できる。
2	人々の生命・健康・生活の課題とそれらに取り組む国際的な支援の枠組みや活動について説明できる。
3	グローバル社会における保健医療と看護の役割について説明できる。

授業計画

1	国際看護概論/国際保健概論 【授業内容】 授業の進め方、国際看護コースについて、 国際保健・グローバルヘルスとは、グローバルヘルスに関連する主要概念 保健指標の種類と読み方、活用方法について 【授業方法】 講義 【予習】 15分：国際看護とは何かを調べる。【復習】 30分：関心のある国について調べる 【担当】 小川
2	グローバルヘルスの課題（1） 【授業内容】 グローバルヘルスに関連する主要概念、国際機関、保健医療に関する開発理念、人間開発 【授業方法】 講義/演習（グループワーク） 【復習】 30分：関心のある国の健康課題について調べる 【担当】 小川
3	グローバルヘルスの課題（2） 【授業内容】 健康の決定要因、グローバルヘルスの課題、ヘルスシステムなど 【授業方法】 講義 【復習】 30分：講義内の興味のあるテーマについて調べる 【担当】 小川
4	在日外国人の保健医療/異文化理解とケア 【授業内容】 在留・訪日外国人に対する保健医療のしくみなど 【授業方法】 講義 【予習】 15分：日本人出国者と外国人入国者の推移について調べる 【復習】 15分：在留・訪日外国人への県内の取り組みや課題について調べる 【担当】 小川
5	国際看護概論の概念と理論 【授業内容】 国際看護の概念、原理、活動など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：看護の定義、対象、健康の定義など復習しておく 【担当】 小川
6	紛争と看護 【授業内容】 戦傷外科、国際人道法、赤十字国際委員会の活動など、 【授業方法】 講義 【予習】 30分：紛争中の国や地域を調べる 【担当】 小川
7	難民と看護 【授業内容】 難民・国内避難民、スフィアプロジェクトなど 【授業方法】 講義 【復習】 60分：難民の生活、健康などについて調べる 【担当】 小川

8	開発と看護 【授業内容】 開発の概念、開発協力と赤十字など 【授業方法】 講義 【予習】 30分：開発の概念、開発協力と赤十字について調べる 【担当】 ゲストスピーカー
9	看護の将来的展望 【授業内容】 国際看護の課題（労働力移動、看護の人材育成など）開発の概念、ICN、管理・政策・研究 【授業方法】 講義 【予習】 30分：国際看護師協会（ICN）/開発協力（外務省、NGO等）について調べる 【担当】 小川
10	ケーススタディ 事例提示/展開 【授業方法】 講義/演習（グループワーク） 【復習】 30分：事例を読みこみ、必要な情報を収集する。 【担当】 小川
11	ケーススタディ事例展開 グループワーク① 【授業方法】 演習（討議、グループワーク） 【復習】 30分：グループワークで抽出された問題に対して自分の考えをまとめる。 【担当】 小川
12	ケーススタディ事例展開 グループワーク② 【授業方法】 演習（討議、グループワーク） 【復習】 30分：資料内容の検討と提出資料の作成 【担当】 小川
13	ケーススタディ事例発表 グループワーク③ 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 60分：発表資料を準備する。 【担当】 小川
14	ケーススタディ事例発表 グループワーク④ 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 60分：発表資料の作成 【担当】 小川
15	ケーススタディ事例発表/フィードバック 【授業方法】 講義・演習（発表） 【復習】 60分：国際看護についての考えをまとめる。 【担当】 小川

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

樋口まち子編集：看護の統合と実践③ 国際看護学。メジカルフレンド社，2023。

参考文献

国際保健医療学会編：国際保健医療学第3版。杏林書院，2013。
 中村安秀，河森正人編：グローバル人間学の世界。大阪大学出版会，2011。
 Leininger M.：Transcultural Nursing。Masson international nursing publications，1979。

評価方法

授業への参加度（30%）
 授業中に課された課題への取り組み（40%）
 評価試験（課題レポート30%）提出期限は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を共有する）

教員等の実務経験

国際赤十字やJICAでの救援や開発協力の経験のある教員が、その経験を活かして、講義・演習を担当します。

メッセージ

本科目では、前半はグローバル化の進展に伴う多様化・複雑化する世界の健康問題の現状、わが国における在日外国人の保健医療の課題、保健医療の国際協力等、国際看護に必要な基礎知識を学びます。後半は、具体的な状況判断が必要な事例の検討を通して、グローバルヘルスの課題と国際看護を実践的に深く学びます。国際看護や国際協力について考え、他者に伝えられる機会を提供します。

国際保健・看護Ⅱ

更新日：2024/02/21 10:36:31

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	630300	授業コード	63030
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

グローバル化の進展に伴い、多様化・複雑化する世界の健康問題について、海外研修を通して学習し、保健医療分野、特に看護の役割・課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因について調べ、まとめることができる。
2	国際交流協定校のある国の保健医療・看護の現状や課題、関連する要因を訪問国の看護学生らと討議し、課題解決に向けた取り組みを考え、実施できる。
3	日本および国際交流協定校のある国の保健医療・看護の実情と課題や課題解決への取り組みについて、自己の考えをまとめ発表できる。

授業計画

1	国際交流協定校のある国に関する事前学習、先方の学生との討議の準備を行い、資料をまとめる。 【授業内容】 【演習】 第1回~第9回：準備活動 GW、発表、討議 コースガイダンスおよび活動内容を決める。 事前学習を行い、その内容をまとめ、発表する。 【学修課題：予習60分】 訪問国の概要（政治・経済、医療システム、健康指標等）を調べ、まとめる。 第10回~第40回：国際交流協定校を訪問。国際交流協定校の学生との討議 フィールドワーク、グループワーク・プレゼンテーション 学習目的、討議内容を英語で伝える。日本の文化や看護について説明する（英語）。事前学習・準備を活かし、国際交流協定校の看護学生らと健康課題への取り組みについて討議する。 【学修課題：復習60分】 日々の研修内容をふりかえり、各自で学修成果をまとめる。 第41回~第45回：研修レポートおよび報告書の作成、フィードバック 国際交流協定校との一連の活動で、学習、経験したことをまとめる。研修全般を通して、自己の体験・考えをまとめる。報告書を期日までに編集する。
---	--

指導教員

先行履修要件科目

2年前期までに履修すべき全ての科目

テキスト

テキストは使用しない。適宜、資料を配布する。

参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には目を通す。訪問国や研修内容に基づいて、必要な文献を読む。

評価方法

事前学習（30%）
研修中の活動への参加度（30%）
評価試験：研修終了後のレポート（40%）提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、事前学習成果を共有する）

教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が、研修を担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者を対象にしています。

研修に必要な英語力を修得するよう、例えば、英語IIIの履修やTOEIC700点など目標を掲げ、意図的に英語の学習をすることが必要です。

研修国を知るためにも、保健医療・看護に限らず、様々な文献を調べるとともに、英語の文献も積極的に読むようにして下さい。

国際保健・看護Ⅲ

更新日：2024/02/21 10:34:25

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630400	授業コード	63040
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

自ら企画した研修を通して国内外の健康問題を多角的に探究し、保健医療、看護の役割・課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	知的興味や関心に基づき、研修で取り組むテーマを明確にできる。
2	研修目標を設定し、その達成に向けた具体的な計画を立案できる。
3	研修を遂行するために、関係機関との交渉ができる。
4	研修計画に基づいた実践ができる。
5	研修成果をまとめ・発表し、レポートとして記述できる。
6	自己の研修目標を適切に評価できる。

授業計画

1	学生自身が選択したテーマに基づき研修計画を立案し、主体的に研修を行う。 【研修方法】 1．研修期間：現地での研修は、原則として5日間以上10日間以内で行う。(国際交流協定校への短期留学の場合は、先方との調整で決定する。) 2．研修場所：国際交流協定校を含む国内外の施設 3．研修の進め方【演習】 ・自ら選択したテーマに基づき実施可能な研修計画を立案する。 (日本語・英語) ・研修テーマに関連する事前学習を行い、発表資料を作成し、発表する。 (英語) ・先方と調整しながら現地での研修を行う。(施設訪問、フィードワーク等) ・自己のテーマに関する討議の機会を設定し、事前学習を活用しながら討議を行う。 ・研修終了後、学修成果をレポートにまとめ、研修目標の達成について評価する。 ・教員よりフィードバックを行う。 【学修課題】 事前学習として研修テーマに関連する文献や統計資料等を読み込み、日本と訪問国・地域の状況についてまとめる。 最終日に学修成果を発表することになるので、日々学修したことをまとめ、発表資料の作成につなげる。 (予習90分)
---	---

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

国際保健・看護Ⅰに挙げている文献には、目を通す。研修内容に必要な文献を検索し読む。

評価方法

研修計画書（30％）

研修への取り組み姿勢（20％）

研修目標の達成度（30％）：学生各自が自己の研修目標に沿って評価表を作成し評価する。

評価試験：研修終了後の課題レポート（20％）提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、学習成果を共有する）

教員等の実務経験

赤十字やJICAでの国際活動の経験のある教員が担当します。

メッセージ

本科目は国際看護コース履修者の選択科目です。

本科目を履修するためには、「国際保健・看護Ⅱ」の単位修得していることが望ましいです。

研修には相当な準備と事前学習が必要です。興味・関心のある国内外の健康・保健医療・看護の課題を見出し、自分で研修を企画・立案し、実践することで、将来のキャリアを考えるきっかけにしてほしいと考えています。

看護とリスクマネジメント

更新日：2024/02/29 11:26:14

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	630500	授業コード	63050
担当教員	太田 純代						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

医療現場におけるリスクの特性やヒューマンエラーに関する基礎知識を学習し、看護業務におけるリスクの予見と対応方法を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-1.チームで働く力】 集団の中で自己の果たしうる役割を理解し、他者と協働することができる。

到達目標

1	医療安全についての概要を知り医療安全を学ぶ意味を説明できる。
2	医療現場で起こりやすい医療事故について危険を予知し、対策を立案できる。
3	医療事故発生のメカニズムと事故後の対応について説明できる。
4	医療事故防止のためのコミュニケーションスキルについて説明できる。
5	実習中に看護学生に求められるリスクマネジメントについて考察できる。

授業計画

1	医療安全とリスクマネジメントの概念 1) 医療安全と看護の理念 2) 医療安全への取り組みと医療の質の評価 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第1章第2章を読み、インシデント・アクシデントの定義を調べておく。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
2	起こりやすい医療事故と対策1【日常生活援助編】危険予知訓練(KYT) 【授業方法】講義、演習（グループワーク） 【予習】50分：日常生活援助実習におけるヒヤリ・ハット事例を振り返る。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
3	起こりやすい医療事故と対策2【診療補助編】危険予知訓練(KYT) 【授業方法】講義、演習（グループワーク） 【予習】50分：テキスト第5章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
4	医療事故の発生のメカニズムとリスクマネジメント 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第3章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
5	医療事故後の対応/医療従事者の安全を脅かすリスクと対策 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第7章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
6	医療安全とコミュニケーション（Team STEPPS） 【授業方法】講義、演習（グループワーク） 【予習】50分：事前に配布する資料を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田
7	医療事故に対する看護師の法的責任と倫理的課題・看護学生の実習と医療安全 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第1章、第8章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】太田

8	評価試験/フィードバック 【授業方法】評価試験（筆記試験）60分、フィードバック30分 【予習】60分：学習内容の中で理解不十分だった箇所 【担当】太田
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

松下由美子他編集：ナースング・グラフィカ 看護の統合と実践②医療安全第5版．メディカ出版，2023．

参考文献

河野龍太郎：医療におけるヒューマンエラー．医学書院，2014．

相馬孝博：ねころんで読めるWHO患者安全カリキュラムガイド．メディカ出版，2013．

兵藤好美，細川京子：医療安全に活かすKYT．メヂカルフレンド社，2012．

評価方法

グループワークなど授業への参加度（20％）、第8回評価試験（80％）により総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、安全に看護を提供するための基礎的知識について講義します。

メッセージ

人間はエラーを誘発しやすい特性を持っています。看護師は24時間・365日ベッドサイドで看護を行ない、患者の最も近くにいる存在です。患者も私たち看護師も安全で安心な環境で過ごすことができるように、医療安全の知識を深めていきましょう。

看護政策

更新日：2024/02/26 11:41:17

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630600	授業コード	63060
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

看護行政・政策の概要を理解し、国民によりよい看護サービスを提供するための仕組みについて理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	政策に関する基本概念をふまえたうえで、医療や看護に関する政策はどのように決定されるのか、例を挙げて説明できる。
2	現在の日本における保健医療福祉行政の課題を批判的に吟味し、解決のための方法（これからの自分の行動を含む）を具体的に提案することができる。
3	政策決定において看護職として意見を反映させる方法を述べることができる。

授業計画

1	看護における政策過程：よりよい看護の提供と看護制度・政策の関係 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第1章第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】柳井
2	保健師助産師看護師法関連トピックス（看護師特定行為研修制度） 【授業方法】講義 【予習】50分：第4章、コラムp68を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】柳井
3	診療報酬改定への看護職の関与 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第3章第4章、コラムp110～111を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】柳井
4	日本看護協会、日本看護連盟と看護政策 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第3章第4章、コラムp46、48、65、75を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】柳井
5	政策提言コンペティションの準備①（個人での文献検討とグループ形成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【予習】60分：教員が提示したテーマから1つ選び、関連する文献を調べる。 【担当】柳井
6	政策提言コンペティションの準備②（グループでの検討） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：グループで検討した政策を洗練させる。 【担当】柳井
7	政策提言コンペティションの準備③（グループで発表資料作成） 【授業方法】演習（グループワーク） 【復習】60分：発表資料の作成 【担当】柳井
8	政策提言コンペティションレポートへのフィードバック 【授業方法】講義（プレゼンテーション・討議） 【予習】60分：発表資料の作成 【担当】柳井 レポート提出後にフィードバックします。

指導教員

柳井圭子

先行履修要件科目
なし
テキスト
見藤隆子他著：看護職者のための政策過程入門第2版．日本看護協会出版会，2017．
参考文献
日本看護協会出版会編：日本看護協会の政策提言活動．日本看護協会出版会，2010． 田村やよひ著：私たちの拠りどころ 保健師助産師看護師法第2版．日本看護協会出版会，2015．
評価方法
授業への参加度（20％）、プレゼンテーションの内容（20％）、評価試験：レポート（60％）で評価する。
本科目で取得が望ましい点数
60点
ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験
看護師として臨床経験、法学（医事法）の研究者としての経験を活かして、政策決定過程をおさえ看護職として意見を反映させるための基礎的知識について講義します。

メッセージ
あなたも看護変革者になりうる一人です。 将来、政策的アプローチで看護を変えていけるよう、本科目では看護政策の基礎的知識を学びましょう。対象者によりよい看護を提供したいと考えたときに、今ある制度や政策をどこをどうすればよいか・・・を攻め方を掴みましょう。
本科目の演習では、以下の4つのテーマの中から各自が1つを選択し、政策提言します。 Ⅰ．私が、厚生労働省看護技官なら、新たにこんな制度を作りたい Ⅱ．今後の診療報酬・介護報酬改定で、新たに加えるべき看護サービス(看護行為)はこれだ Ⅲ．保健師助産師看護師法または看護師等の人材確保の促進に関する法律のここを改正したい Ⅳ．私が日本看護協会労働政策部の職員なら、看護師の働き方のここを変えたい

看護教育

更新日：2024/02/27 13:58:51

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630700	授業コード	63070
担当教員	阿部 オリエ						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

看護学教育の歴史的変遷を踏まえ、その目的、達成に向けた看護教育制度および教育課程について基礎的な理解を深め、看護学教育の今日的課題について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【2-2.自己教育力】自ら目標を設定し、主体的かつ自律的に継続して学習することができる。

到達目標

1	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題について説明できる
2	看護教育制度の歴史的変遷を理解し、社会情勢との関連において説明できる
3	看護教育の仕組みと課題を理解し、看護学を大学で学ぶ意味について説明できる
4	看護学教育を具体化するためのカリキュラムの概要について説明できる
5	看護学教育の今日的課題について考察し、今後の展望について自己の考えを述べることができる

授業計画

1	看護教育学を学ぶ意義について理解する/看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：看護職は専門職といえるのか、文献などを活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
2	看護学教育の目的、対象領域、特徴と課題（2） 【授業方法】講義 【予習】60分：制度も含め、新人看護職員に対する支援がどのように行われているか調べる 【担当】阿部
3	看護教育制度の歴史的変遷（1） 【授業方法】講義 【予習】60分：資料を活用し、看護制度の変遷について概要をまとめる 【担当】阿部
4	看護教育に関するTOPICS 【授業方法】講義（ICT支）、討議 【予習】60分：看護大学が増えた理由について、統計などの資料を活用し、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
5	看護教育の仕組みと課題（1） 【授業方法】講義 【復習】60分：これまでの資料、参考図書を活用し疑問点を明らかにする 【担当】阿部
6	看護教育の仕組みと課題（2） 【授業方法】講義、討議 【復習】60分：看護基礎教育における課題について、自己の考えをまとめる（課題レポートにつなげる） 【担当】阿部
7	看護学教育を具体化するためのカリキュラムについて 【授業方法】講義（ICT支）、討議 【予習】20分：カリキュラムとは何かについて調べる 【復習】50分：本学カリキュラムの良い点と改善点について、自己の考えをまとめる 【担当】阿部
8	看護学教育の今日的課題と今後の展望について考える・課題のフィードバック 【授業方法】講義、GW 【予習】20分：課題レポートのテーマについて考え、必要な文献・資料を収集する 【復習】60分：課題レポートの作成を行う 【担当】阿部

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

レジュメを配布し、適宜参考文献を紹介する

参考文献

開講時、文献リストを配布する

評価方法

①授業への参加度・予習（40％）、②評価試験：課題レポート（60％）により総合的に評価する

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

第4回、第7回の授業では、MoodleまたはTeamsを用い、学生が自主学習したことを入力し教員がFBを行いながら授業を進行する。

教員等の実務経験

看護師の臨床経験があり、看護教育学を探究している教員が、その経験を活かして、看護の統合科目である『看護教育』について講義を行います

メッセージ

看護と教育がどのように関係し合っているか、皆さんは考えたことがありますか？看護教育とは、いつ、どこで、誰が、何の目的で始めたのでしょうか？看護教育が始まる前に、看護は存在していなかったのでしょうか？この授業では、皆さんがこれまで学習してきたこと、これから学習していくことをふまえ、看護教育の歴史の変遷、現在、将来的な展望について考察を深める授業となります。よって、選択科目ではありますが、看護学生として、皆、受講してもらう必要がある科目と考えています。看護は学習することで成立します。学習とは、専門職である以上、生涯かけて行う営みです。現在だけではなく、今後、看護職としてどのように学習していけばよいのかを考えるきっかけになるような授業にしたいと考えています。きっと、社会に出た時に役に立ったり、拠り所になると思います

緩和ケア

更新日：2024/02/01 20:31:53

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	630800	授業コード	63082
担当教員	鈴鹿 綾子, 西山 陽子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	2年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

苦痛を有する患者および家族の特徴を理解し、患者や家族にとってできる限り望ましいＱＯＬを実現するために必要な理論、ケア技術について学ぶ。また、緩和ケアチームにおける看護職者の役割を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【4-1.問題解決力】人間・環境・健康・看護・国際に関する知識を体系的に修得することにより、看護を必要とする個人・家族・集団・コミュニティを適切にとらえることができる。

到達目標

1	緩和ケアの特徴と意義を理解できる。
2	生命を脅かす病苦を持つ人およびその家族の特徴を理解できる。
3	全人的ケアについて理解できる。
4	緩和ケアにおけるチームアプローチと看護の役割について理解できる。
5	緩和ケアにおける倫理的課題について理解できる。

授業計画

1	緩和ケアの特徴と意義・意思決定支援 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】 3 0分：テキスト第1章、第6章Cを精読。 ※Moodleを用いた評価試験①を実施する。 【復習】20分：授業内容をまとめる。評価試験の復習。 【担当】 鈴鹿
2	全人的ケア（１）身体的ケア・心理的ケア・コミュニケーション 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】 2 0分：テキスト第3章、第5章A、Bを精読。 ※Moodleを用いた評価試験①を実施する。 【復習】 2 0分：授業内容をまとめる。評価試験の復習。 【担当】 西山
3	全人的ケア（２）社会的ケア・スピリチュアルケア 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】 2 0分：テキスト第5章C、Dを精読。 ※Moodleを用いた評価試験①を実施する。 【復習】 3 0分：授業内容をまとめる。評価試験の復習。 【担当】 西山
4	全人的ケア（３）緩和ケアにおけるチームアプローチ・家族のケア 【授業方法】講義 【予習】 20分：テキスト第2章、第8章A、B、Cを精読。 【復習】20分：授業内容をまとめる。 【担当】 鈴鹿
5	全人的ケア：臨床における緩和ケアの実践 【授業方法】講義（GW） 【予習】20分：第4回までのテキスト、配布資料、自己学習を見直す。 【復習】20分：授業内容をまとめる。 【担当】 高村 知美（緩和ケア認定看護師）、西山
6	緩和ケアの広がりー非がん患者への緩和ケアー 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】 20分：テキスト第6章A、Bを精読。 ※Moodleを用いた評価試験①を実施する。 【復習】 30分：授業内容をまとめる 【担当】 鈴鹿

7	緩和ケアにおける倫理的課題・臨死期にある患者と家族へのケア 【授業方法】講義(ICT支援) 【予習】20分：テキスト第4章、第7章、第8章Dを精読。 ※Moodleを用いた評価試験①を実施する。 【復習】30分：授業内容をまとめる。 【担当】鈴鹿
8	科目全体の内容を対象とする評価試験②（60分）・授業全体のフィードバック（30分） 【授業方法】講義 【復習】30分：科目全体の振り返り。 【担当】鈴鹿、西山

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

田村恵子他編：系統看護学講座 別巻 緩和ケア 第3版．医学書院，2022．

参考文献

梅田恵編他：緩和ケア 尊厳ある生と死，大切な生活をつなぐ技と心 改訂第2版．南江堂，2018．
 kübler-Ross, E. : On Death and Dying. 1969, 鈴木晶 訳：死ぬ瞬間—死とその過程について．中央公論新社，2001．
 広瀬寛子：悲嘆とグリーフケア．医学書院，2011．
 小西恵美子他：看護倫理 よい看護・よい看護師への道しるべ 改訂第3版．南江堂，2021．
 (監修)日本赤十字社医療センター看護部，古川裕子他：看護スキルアップシリーズ 臨終時のケア，2011. (DVD)

評価方法

評価試験①（20％：1回が4％の評価試験を計5回実施する）、評価試験②（80％）
 ※ 授業形態の変更がある場合、評価方法についても変更の可能性があります。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）。

教員等の実務経験

緩和ケア、ターミナルケアの分野で看護師としての臨床経験を持つ教員が講義を担当する。

メッセージ

現在の日本は超高齢社会であり多死社会でもあります。最後まで自分らしく生きることについて考える人々が増え、緩和ケアやエンド・オブ・ライフケアへのニーズも高まっています。本科目では既習の看護学およびその他諸学の知識を活かして、緩和ケアおよびエンド・オブ・ライフケアについて考えます。自らの死生観および看護者としての姿勢を問い直し、より深い人間理解に基づいた看護を目指しましょう。

看護管理

更新日：2024/01/30 11:20:36

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	630900	授業コード	63090
担当教員	原田 紀美枝						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

質の高い看護サービスを提供するための、システムやマネジメントに必要な基礎知識を学習し、リーダーシップやマネジメントを理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	看護管理のプロセスについて説明できる。
2	看護師の仕事とその管理、看護管理に求められる能力について説明できる。
3	看護の質向上のために必要な知識について説明できる。
4	看護職の教育制度と人材育成について説明できる。
5	看護活動を取り巻く法律・制度を説明できる。

授業計画

1	看護管理の基本となるもの① 1. 看護管理とは 2. 看護管理の基盤となる知識 3. 看護管理のプロセス 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第3章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
2	看護管理の基本となるもの② 4. 市民・多職種との連携・協働 【授業方法】講義 GW 討議 【予習】50分：テキスト第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
3	看護師の仕事とその管理 業務のマネジメント 資源管理 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第4、7章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
4	看護管理に求められる能力 1. 集団に働きかけるスキル 2. 看護管理能力の基盤となる理論 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第2章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
5	看護職の教育制度と人材育成 1. 看護の教育体系 2. 看護職としてのキャリア 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第9章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田

6	看護の質保証 1. 看護管理と倫理 2. 医療・看護の質と評価 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第5章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
7	看護活動を取り巻く法律・制度 1. 医療保険制度 2. 看護管理に関連する法律 【授業方法】講義 【予習】50分：テキスト第10章を読んでくる。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田
8	看護管理の総括 / 評価試験とフィードバック 【授業方法】講義（発表・ディスカッション）評価試験とフィードバック 【予習】50分：ディスカッションの準備をする。 【復習】30分：授業資料を再読し、疑問点について調べる。 【担当】原田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

吉田千文他編：ナースিং・グラフィカ看護の統合と実践①看護管理（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

上泉和子他：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践（1）第10版．医学書院，2018．
他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

各回で指定する学習課題および授業参加度40％、ディスカッションの事前課題10％、評価試験（8回目）50％で評価する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用して課題提出を行います。

教員等の実務経験

看護管理者として臨床経験のある教員が、その経験を活かして、組織的に質の高い看護サービスを提供するための基礎的知識について講義します。

メッセージ

看護管理は、看護管理者だけに必要な知識ではなく、一人一人の看護師にも必要とされる知識やスキルです。基礎教育での最終段階でこの科目を学ぶことは今後、看護職者として働く皆さんの実践をよりよいものにすると考えます。
各回で、皆さんに考えていただきたいポイントを提示します。看護管理に関する理論を深く理解するために、能動的に参加してください。

看護研究方法

更新日：2024/02/29 10:33:27

開講年度	2024	学期	通年	科目コード	631000	授業コード	63100
担当教員	梶原 弘平, 牧 マリコ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

看護研究の特徴、研究の組み立て方、および研究倫理の知識を獲得する。あわせて、国内外の看護関連論文（原著）のクリティークを通して、批判的思考能力の獲得を目指す。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	看護研究の特徴、意義、研究デザイン、研究方法について説明できる。
2	研究の倫理的配慮の必要性を理解し、それを確保する方法を説明できる。
3	研究を計画する際に検討を必要とする事項を理解し、研究計画書作成のプロセスを経て、模擬研究計画書を作成できる。
4	研究の進め方、論文の書き方、研究結果の活用方法について説明できる。
5	看護研究論文のクリティークが実施できる。

授業計画

1	看護研究の意義と役割/研究の基本的な考え方/論文の種類と読み方と検索/研究プロセスの概観 【授業方法】科目オリエンテーション、講義 【予習】60分：テキスト「1 看護研究とは」を事前に読む 【復習】20分：研究の基本的事項をまとめる 【担当】梶原
2	研究の問い（研究課題）/研究枠組みと研究デザインの位置づけ/研究デザインの種類/論文の構成 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト「2 研究課題の選定」を事前に読む 【復習】20分：Research Questionについてまとめる 【担当】梶原
3	量的研究① データの収集、母集団と標本/データの分析/記述統計 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト第6章「データの収集」を事前に読む 【復習】40分：量的研究の特徴、データの種類と質問紙法 【担当】梶原
4	質的研究① 質的研究とは/質的研究の特徴/質的研究のデータ/質的研究の課題 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト「5 質的研究の基礎」を事前に読む 【復習】20分：質的研究の特徴についてまとめる 【担当】牧
5	量的研究② 推測統計 【授業方法】講義 【予習】40分：第3回の内容を整理し、テキスト「4 量的研究の基礎」を読む 【復習】40分：推測統計の種類を提示し、どういう場合に用いるのか事例を考える 【担当】梶原
6	研究論文の構成/よい論文とは/論文クリティーク 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト「2.2 文献検索」を事前に読む 【復習】40分：提示された2つの研究論文（量的研究・質的研究）を熟読し、クリティークの準備をする 【担当】梶原
7	指定論文（量的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】50分：指定論文（量的研究）の熟読/クリティーク 【復習】30分：指定論文（量的研究）に対するクリティークをまとめ、期日(講義内で説明)までに提出する 【担当】梶原 牧

8	指定論文（質的研究）のクリティーク 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】50分：指定論文（質的研究）の熟読/クリティーク 【復習】30分：指定論文（質的研究）に対するクリティークをまとめ、期日(講義内で説明)までに提出する 【担当】牧 梶原
9	研究計画書の書き方 【授業方法】講義・研究計画書作成課題の提示 【予習】40分：テキスト「6.研究計画書の作成」を事前に読み、指定論文の計画書部分を調べる 【復習】40分：研究計画書作成の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成開始 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原
10	指定論文（量的研究/質的研究）のクリティークへのフィードバック 【授業方法】講義・演習(個人ワーク) 【予習】30分：提出した指定論文（量的研究/質的研究）のクリティークの見直し 【復習】50分：クリティークの復習、研究計画書作成継続 【担当】梶原 牧
11	研究倫理の確保/研究計画書への倫理的配慮の記載/リサーチクエスションへの熟考 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト「3 研究における倫理」を事前に読む 【復習】50分：研究計画書に必要な倫理的配慮、および量的研究、質的研究の特徴に応じた研究倫理の確保の基本をまとめる ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】牧
12	研究計画書作成（文献検索・リサーチクエスション及び研究目的の決定）① 【授業方法】講義・演習(GW) 【予習】20分：研究計画書の作成方法の復習 【復習】60分：研究計画書作成 ※ 研究計画書作成のための文献検索、文献精読、文献リスト作成継続 （主として、リサーチクエスション及び研究目的絞り込みのため） 【担当】梶原 牧
13	研究計画書作成（文献検索・研究目的に応じた研究方法の検討）② 【授業方法】講義・演習(個人ワーク) 【予習】30分：研究計画書の作成方法の復習/文献検討（文献検索、文献精読、文献リスト作成） ※文献検討は、主として、研究目的に応じた研究方法を検討するため 【復習】50分：研究目的に応じた研究方法を検討する。決定した内容を研究計画書に記述する 研究計画書を期日(講義内で説明)までに提出 【担当】梶原 牧
14	看護研究プロセスについてのまとめ/研究計画書へのフィードバック 【予習】30分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】50分：研究を計画するうえでの重要事項を整理する 【担当】梶原 牧
15	優秀論文から学ぶ 【授業方法】講義・演習(優秀論文の発表会に参加し、看護研究を実施するうえでの留意点を学ぶ) 【予習】30分：授業全体を振り返り疑問点を明確にしておく 【復習】50分：優秀論文から学んだ内容をレポートにまとめる 【担当】梶原 牧

指導教員

先行履修要件科目

2年後期までに履修すべき全ての科目

テキスト

前田ひとみ 他：ナーシング・グラフィカ 基礎看護④ 看護研究．大阪，メディカ出版，2023．

参考文献

坂下玲子 他：系統看護学講座 別巻 看護研究．東京，医学書院，2023．
南裕子 他編：看護における研究 第2版．東京，日本看護協会出版会，2017．
黒田裕子：黒田裕子の看護研究 Step by Step 第5版．東京，医学書院，2017．
ビヴァリー M. ヘンリー：看護研究ハンドブッカーヘルスケアの質改善のためにー．東京，医学書院，2004．
他、適宜提示する

評価方法

評価はレポート（100％）で、内訳は、クリティークに関するレポート（40％）、研究計画書（60％）とする。
レポートの提出は、前期に3回（クリティークに関するレポート2編、研究計画書）とする。
詳細なレポートの提出の期日は講義内で説明しますので、提出期限は厳守する。

本科目で取得が望ましい点数

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用してレポート(課題)の提出を行う。

教員等の実務経験

看護研究を継続してきた教員が、その経験を活かして看護研究方法の授業を実施する。

メッセージ

1～14回は前期に、15回目(優秀論文発表会に参加)は後期に開講する。

本科目受講の前提として、データベース検索の理解は不可欠です。図書館での指導(データベースガイダンスを受講)も活用し、文献データベースの利用方法を習熟して授業に臨んでください。

4年次の卒業研究のためだけでなく、就職後も看護の質を向上させるための研究を自身で進めていくことができるように、基礎をしっかり学びましょう。

卒業研究

更新日：2024/01/12 17:03:45

開講年度	2024	学期	通年	科目コード	631100	授業コード	63110
担当教員	柳井 圭子, 高瀬 文広, 中山 晃志, 木村 涼平, 小川 里美, 小野 ミツ, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 中村 光江, 永松美雪, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 阿部 オリエ, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 西村 和美, 原田 紀美枝, 森山 ますみ, 小手川 良江, 太田 純代, 鎌田 ゆき, 西山 陽子, 福田 陽子, 福島 綾子, 山本 孝治, 内田 文月, 小川 有希子, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高堂 香菜子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿, 山田 桜子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年		曜日/時限	一	単位	2

授業の目的

4年間の学習過程で培われた自己の問題意識を、既習知識と文献検索の結果を活用して、研究上の問い、研究テーマへと発展させ、それらへの答えを探索する過程を通し、論理的・科学的探究方法の基礎的能力を育成する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	これまで体験した看護実践を踏まえてResearch Questionを立てることができる。
2	Research Questionを明らかにするための研究計画を立案することができる。
3	研究のプロセスに沿って自らを律し積極的に研究を遂行することができる。
4	研究における倫理的問題を考慮し、基本的人権を擁護することができる。
5	研究結果を論文にまとめることができる。

授業計画

1	学生は、主体的かつ計画的に下記のとおり研究を実施する。実施過程において、適宜教員にアポイントを取り、助言を受けながら進める。 【授業方法】演習 1. Research Questionの設定 授業科目「看護研究方法」で学修した内容を踏まえ自ら関心のあるResearch Questionを設定する。 2. 研究計画書作成【提出期限：5月8日（水）13時】 1) 設定したResearch Questionについて研究計画書作成例に基づき研究計画書を作成する。 2) 研究計画書は提出期限までに指導教員に提出する。 3) 研究対象が患者、住民、家族などの人を対象とする場合は本学研究倫理審査委員会および臨床側が指定する研究倫理審査機関の規定に基づき倫理審査申請を行う。 3. データ収集・分析 作成した研究計画書に基づき実施する。 4. 予習・復習 【予習】研究内容の事前学習及び検討 【復習】研究内容を振り返り、自身の課題の整理 5. 論文作成、抄録、ルーブリック評価表の提出【提出期限：10月31日（木）13時】 研究論文本文と抄録は作成規定に従い作成する。 6. 卒業研究へのフィードバック 提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰する。 12月下旬に全体に対するフィードバックと全学年対象に優秀論文の発表会を開催する。 ※卒業研究に関する様々な情報提供などは、Teams等を用いて行う。
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

看護研究方法で使用したテキスト

評価方法

卒業研究ルーブリック評価（ディプロマポリシーにもとづく）（40％）、研究計画書（20％）、論文本文および抄録（40％）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

臨床経験（看護師等）のある教員や、リベラルアーツの各分野に精通した教員が、その経験を活かして、卒業研究の指導を行います。

メッセージ

提出された研究論文の中から優秀な研究論文を選出し、優秀論文として表彰します。
選ばれた学生には、12月の優秀論文発表会で研究への取り組みと結果について発表していただきます。

看護技術 V

更新日：2024/02/08 18:54:17

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	631200	授業コード	63120, 6312B
担当教員	姫野 稔子, 高橋 清美, 小川 里美, 鎌田 ゆき, 西村 和美, 西山 陽子, 山本 孝治						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

専門性のある看護職者として必要な知識・技術等の能力が身についているか客観的評価を行うとともに、自らの課題解決に向けて取り組む。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	看護実践能力向上に向け、現時点における自己の課題を明確にし、課題解決に向けて取り組むことができる。
2	既習の知識や技術を用いて看護における状況判断を行い、観察、実施、報告ができる。
3	客観的臨床能力試験(objective structured clinical examination:OSCE)への取り組みを通して、今後の課題を明確にできる。

授業計画

1	【ガイダンス】授業概要の説明、事例提示 【授業方法】講義、GW 看護技術Vの進め方、OSCEについて、事例提示 【復習】60分：事例患者の状態を理解するために必要な学習（解剖生理、病態、治療・検査、関わる関係法規など） 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田
2	【事例に基づく技術演習1-1】訪問看護演習（外国人療養者の訪問看護において急変した事例） 【授業方法】演習（PBL，GW，ICT支援） 【予習】60分 事例についてアセスメントし訪問計画を立案する。 【担当】鎌田、西村、他2名
3	【事例に基づく技術演習1-2】訪問看護演習（外国人療養者の訪問看護において急変した事例） 【授業方法】演習（PBL，GW，実践，ICT支援）＊評価試験：レポート 【復習】60分 事例について訪問時のアセスメント・評価についてレポート作成する。 【担当】鎌田、西村、他2名
4	【事例に基づく技術演習2-1】身体可動性障害のある患者のアセスメントに基づく看護ケア 【授業方法】演習（GW・討議・技術演習） 【予習】60分：アセスメントシートに基づき、事例に対するアセスメントを行う 【復習】20分：自己評価シートを用いて演習の振り返りを行う 【担当】姫野、高橋、高瀬り、森
5	【事例に基づく技術演習2-2】身体可動性障害のある患者のアセスメントに基づく看護ケア 【授業方法】演習（GW・討議・技術演習） ＊評価試験：自己評価シート 【予習】60分：アセスメントシートに基づき、事例に対するアセスメントを行う 【復習】20分：自己評価シートを用いて演習の振り返りを行う 【担当】姫野、高橋、高瀬り、森
6	【事例に基づく技術演習3-1】慢性疾患をもつ患者へのアセスメントに基づく看護ケア 【授業方法】演習（GW・討議、技術演習）、FB 【予習】80分：事例の状況をアセスメントするための個人学修（人体の構造と機能、疾病と治療、事例の病状、看護等）、演習課題に応じた看護ケアの方法を考察する 【担当】西山、山本、その他2名
7	【事例に基づく技術演習3-2】慢性疾患をもつ患者へのアセスメントに基づく看護ケア 【授業方法】演習（GW・討議、技術演習）、FB ＊評価試験：自己評価シート 【復習】80分：FBやGWを通した学びを踏まえ、事例患者への適切なアセスメントと看護ケアについてまとめる。 【担当】西山、山本、その他2名
8	【ガイダンス】OSCEに向けたガイダンスと技術練習計画に関するプレゼンテーションの準備 【授業方法】演習、GW 【予習】60分：3事例の看護技術に関する学習や振り返りの内容、課題を再度確認する。 【担当】姫野、高橋、高瀬り、森
9	【OSCEに向けた技術演習】OSCEに向けた技術練習計画のプレゼンテーションおよび技術練習① 【授業方法】演習（発表、討議） 【復習】60分：プレゼンテーションおよび討議を通して技術計画の修正をする。OSCEの課題に向けて取り組む。 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田

10	【技術演習 1】OSCEに向けての技術練習② 【授業方法】演習（実技、G.W.） OSCEに向けた技術練習計画を実施する。 【予習】20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】60分：OSCEのに向けた課題に取り組む 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田
11	【事例に基づく技術演習 2】OSCEに向けての練習③ 【授業方法】演習（実技、G.W.） OSCEに向けた技術練習計画を実施する。 【予習】20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】60分：OSCEのに向けた課題に取り組む 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田
12	【事例に基づく技術演習 2】OSCEに向けての練習④ 【授業方法】演習（実技、G.W.） OSCEに向けた技術練習計画を実施する。 【予習】20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】60分：OSCEのに向けた課題に取り組む 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田
13	OSCE① 【授業方法】OSCEの実施（個人で実施）＊評価試験：OSCE 【予習】20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】60分：OSCEにおける自己の課題を明らかにする 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田、他3名
14	OSCE② 【授業方法】OSCEの実施（個人で実施）＊評価試験：OSCE 【予習】20分：OSCEに向けた課題を確認する 【復習】60分：OSCEにおける自己の課題を明らかにする 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田、他3名
15	【まとめ】フィードバック 【授業方法】講義、GW OSCEのフィードバックを受け、自己の課題に取り組む 【予習】30分：OSCEにおける自己の課題を整理する。 【復習】30分：自己の課題に向けて取り組む。 【担当】姫野、高橋、小川、西村、西山、山本、高瀬り、鎌田

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

参考文献

適宜提示する

評価方法

評価試験 第2回～第3回：レポート 10％
 第4回～第5回：自己評価シート 10％
 第6回～第7回：自己評価シート 10％
 第13回～第14回：OSCE 40％
 課題への取り組み状況 30％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodlesを用いた学修支援を行う

教員等の実務経験

看護の各専門領域における経験のある教員が、その経験を活かして指導します。

メッセージ

この科目は看護技術の集大成となる演習です。これまで学んできた講義、演習、実習における実践を統合して取り組んでください。具体的には、これまで学修した知識を根拠に看護における状況を判断し、看護専門職を目指す者として適切な態度に基づき、患者の状況に応じた看護技術の実践ができることを目指します。その際、看護実践能力の向上を目指すための自己の課題を明らかにしたり、課題達成に向けて取り組んだり、看護実践の取り組みを通して新たな課題を発見するためにチームで協力したり、最適なリソースを活用しながら主体的に学習を深めてください。数か月後には看護師として社会に巣立つためのステップとして学習できることを望んでいます。

専門性強化演習Ⅱ

更新日：2024/02/01 10:15:03

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	631300	授業コード	63130
担当教員	阿部 オリエ, 高堂 香菜子, 鎌田 ゆき, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 永松美雪, 中村 光江, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 緒方 文子, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 西村 和美, 原田 紀美枝, 太田 純代, 小手川 良江, 西山 陽子, 福島 綾子, 福田 陽子, 山本 孝治, 内田 文月, 小川 有希子, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年		曜日/時限	一	単位	1

授業の目的

1. 健康課題を持つ人々への看護を探究するために、これまで学んだ知識や技術を統合させ、専門的な技能を獲得する。
2. 地域で生活する人々への看護を探究するために、地域包括ケアシステムを学び、多職種連携・協働およびケアマネジメントについて理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、地域・在宅看護論、地域包括ケア実習

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	自身の看護実践に対する興味・関心や自己の課題に基づき、実習で取り組む看護実践を明確にできる。
2	実習目標を設定し、その達成に向けた実習計画を具体的に立案できる。
3	地域包括ケアシステムの必要性を説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態、生活の状況に応じたケアマネジメントの特徴を述べることができる。
5	地域で生活する人々の健康レベルや健康状態に応じた支援について説明できる。

授業計画

1	専門性強化演習Ⅱコースガイダンス（看護の統合実習・地域包括ケア実習合同） 【授業方法】演習 【予習】60分：実習要項を読み、自己課題を整理してくる。 【担当】阿部・鎌田
2	既習の臨地実習や学内実習を通して学んだ看護を学生カンファレンスや教員からの指導を受けてリフレクションし、自己の学習課題を明確にする 学習課題を明確にするためにリフレクションを行う。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
3	看護の統合実習計画立案1（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目的の明確化と実習目標の設定） 自己の学習課題を明確にし、実習目的の明確化と実習目標の設定を行う。演習の中で、実習目的や実習目標に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
4	看護の統合実習目標達成に向けて必要な知識の習得 関心のある看護実践について文献等で学習をする。演習の中で、学習した内容に関してフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
5	看護の統合実習計画2（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員

6	看護の統合実習計画3（学生カンファレンスや教員からの指導を受けて実習目標達成に向けた行動計画の立案） 実習計画書を作成する。演習の中で、実習計画書に関するフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
7	看護の統合実習計画4（学生カンファレンスや教員・臨床指導者からの指導を受け実習計画を修正する） 学生カンファレンスや教員・臨床指導者の指導をもとに実習計画を修正する。演習の中で、実習計画の修正に関してフィードバックを受ける。 【授業方法】演習（GW） ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：実習計画書の作成。学生カンファレンスや教員・臨床指導者より指導を得るための実習計画書案を作成する。 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
8	学生カンファレンスや教員の指導に基づき実習計画を完成させる 実習計画書の改善点を反映させ、実習計画を完成させる。 【授業方法】演習 ※開講日は統合実習実習指導教員へ確認すること 【予習】40分：助言・指導を受けた内容をまとめ、実習計画書の改善点を明らかにする。 【復習】40分：実習計画書の修正 【担当】実習指導担当教員
9	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（1）地域包括ケアシステム・ケアマネジメント 【授業方法】演習（ICT支援、GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、地域包括ケアシステム・ケアマネジメントについて探求する。 【予習】40分：地域包括ケアシステムやケアマネジメントについて説明できるよう、文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
10	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（2）医療機関における入退院支援 【授業方法】演習（GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、医療機関における入退院支援について探求する。 【予習】40分：在宅移行支援の現状と課題について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
11	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（3）高齢者の地域包括ケアシステム 【授業方法】演習（GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、高齢者の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：高齢者のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
12	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（4）障害児（こども）のケアマネジメント 【授業方法】講義 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、障害児（こども）の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：障害児（こども）のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：講義・演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員・ゲストスピーカー
13	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（5）障害者（成人）の地域包括ケアシステム 【授業方法】演習（GW） 臨地実習での経験や講義の既習内容を生かして、障害者（成人）の地域包括ケアシステムについて探求する。 【予習】40分：障害者（成人）のケアマネジメントの特徴、関連する法制度、チームアプローチ（関連するサービス・職種）について文献や先行研究等で調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
14	地域包括ケア実習に向けた既習内容の統合（6）地域アセスメント 【授業方法】演習（GW） 【予習】40分：実習施設所在地の地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、実習施設の特徴（サービスの種類、関連する法制度、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べ、A4用紙1枚程度にまとめる。 【復習】40分：演習で学んだ内容を活用して学修内容の追加修正を行う。 【担当】実習指導担当教員
15	地域包括ケア実習に向けたフィードバック、実習オリエンテーション 【授業方法】演習のフィードバック、実習オリエンテーション 【予習】40分：演習で学んだことを活用して地域包括ケア実習（臨地・学内）における実習目標を検討する。 【復習】40分：臨地及び学内における実習目標・学びたいことを所定の用紙に記述する。 【担当】実習指導担当教員

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

看護の統合実習のための演習：特に指定しない。
地域包括ケア実習のための演習：
・在宅看護Ⅰで使用したテキスト
 臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，第 7 版，2022。
・地域看護Ⅱで使用したテキスト
 松田正己他編：標準保健師講座・3対象別公衆衛生看護活動第4版。医学書院，2020。
 標美奈子他編：標準保健師講座・1公衆衛生看護学概論第6版。医学書院，2022。
 厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2022/2023。厚生労働統計協会，2022。

参考文献

実習テーマに関する文献は、学生各自で収集し、活用する。
クエスチョン・バンク2023-24（メディックメディア）

地域包括ケア実習にむけた演習：
・在宅看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト
 臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，第 2 版，2022。
・地域看護Ⅰで使用したテキスト
 上野 昌江他 編：公衆衛生看護学 第3版。中央法規，2021。
・藤澤まこと：ナースが行う入退院支援 患者・家族の“その人らしく生きる”を支えるために。株式会社メチカルフレンド社，2020。
・佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学。メチカルフレンド社，2019。 他

評価方法

看護の統合実習のための演習（2回から8回）：実習計画書作成30% 取り組み姿勢20%
地域包括ケア実習のための演習（9回から15回）：課題レポート30% 取り組み姿勢20%

本科目で取得が望ましい点数

80

ICTの活用・教育リソース

看護の統合実習のための演習では、各領域によって、ICT支援：Moodle、TEAMS、ZOOMを用いた自主学修支援を行う。
地域包括ケア実習のための演習では、ICT支援：Moodleを用いた自主学修支援を行う。

教員等の実務経験

看護の臨床経験のある教員がその経験を活かして講義演習を行います。
地域包括ケアシステムにおける保健・医療・福祉の実務経験のある教員が、地域包括ケア実習にむけた演習を担当します。

メッセージ

看護基礎教育において総仕上げの実習に向けた演習になります。各自、主体的に実習計画を立案しましょう。

地域包括ケア実習

更新日：2024/02/08 10:10:30

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	631400	授業コード	63140
担当教員	鎌田 ゆき, 西村 和美, 緒方 文子, 小川 有希子, 小野 ミツ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動の実際について、多職種連携/協働によるチームアプローチの視点から学ぶとともに健康に寄与する看護職の役割を理解する。
また、地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアの意義を学ぶとともに、将来の地域ケアシステムのあり様を考える。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論、看護の統合と実践
別表1：個人・家族・集団・組織の支援実習

本科目で育成するDPの力

【3-2.チームで働く力】グローバル社会における看護の役割と機能を多面的にとらえ、チームの一員として集団の力の最大化に努めることができる。

到達目標

1	地域で生活する人々に対する保健医療福祉活動における多職種連携/協働によるチームアプローチの実際を説明できる。
2	地域で生活する人々に対するケアマネジメントと看護職の役割を説明できる。
3	地域で生活する人々の健康レベルや健康課題に応じた地域包括ケアについて説明できる。
4	地域で生活する人々の健康レベルや健康段階に応じた将来の地域ケアシステムのあり様を考察することができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【事前課題】 1. 地域包括ケアシステム / 地域ケアシステムとは 2. 高齢者の地域包括ケアシステム ①高齢者の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 3. 障害者（成人）の地域包括ケアシステム ①障害者（成人）の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 4. こども（障害児）の地域包括ケアシステム ①こども（障害児）の地域包括ケアシステムにおけるケアマネジメントの特徴 ②関連する法律・制度 ③チームアプローチ（関連する職種を含む） 5. 実習施設（2か所）の所在地における地域の特徴（地域アセスメント）、実習施設の概要、関連する法律・制度 【予習】30分 事前課題でまとめた資料（実習施設に関連する法制度など）を熟読する。 【復習】50分 臨地実習で学んだケアマネジメント・多職種連携の実際とその意義について考察をまとめ、臨地実習で明らかになった自己の学修課題に取り組む。
2	1. 実習期間 1クール：2024年5月13日（月）～5月24日（金） 2クール：2024年5月27日（月）～6月7日（金）
3	2. 実習方法 実習期間は2週間（10日間）で臨地8日間、学内2日間で構成する。 事前課題、臨地実習、学内実習を通して地域保健医療福祉活動と看護職が行うケアマネジメント及び多職種連携/協働によるチームアプローチの実際と現状の課題について総合的に学ぶ。また、地域包括ケアシステムの現状と課題及び将来の地域ケアシステムのあり様を考察する。 最終日は学習成果に対してフィードバックを行う。

4	3. 実習場所 宗像市、福津市、福岡市、北九州市などの保健医療福祉施設とし、詳細は別途資料を配布する。 原則、学生1名につき2か所の臨地実習施設での実習を行う。 1) 医療機関の地域医療連携室、入退院支援センターなど 2) 居宅介護支援事業所 3) 地域包括支援センター 4) 介護保険施設、高齢者施設 5) 障害福祉サービス事業所 6) 訪問看護ステーション、相談支援事業所 他
---	--

指導教員

先行履修要件科目

3年次後期に開講される成育看護実習、老年看護実習、クリティカルケア実習、在宅看護実習、精神保健看護実習の単位をすべて修得していること。

テキスト

- ・2・3年次の在宅看護Ⅰ・Ⅱで使用したテキスト
臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア。メディカ出版，第7版，2022。
臺有桂 他 編：ナースング・グラフィカ 地域・在宅看護論② 在宅療養を支える技術。メディカ出版，第2版，2022。
- ・2年次の地域看護Ⅰで使用したテキスト
標美奈子他 編：標準保健師講座 1 公衆衛生看護学概論。医学書院，2019。
- ・3年次の地域看護Ⅱで使用したテキスト
松田正己他 編：標準保健師講座・3 対象別公衆衛生看護活動 第4版。医学書院，2020。
標美奈子他 編：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論 第6版。医学書院，2022。
厚生労働統計協会 編：厚生指標 増刊 国民衛生の動向2022/2023。厚生労働統計協会，2021。

参考文献

- ・藤澤まこと：ナースが行う入退院支援 患者・家族の“その人らしく生きる”を支えるために。株式会社メヂカルフレンド社，2020。
- ・佐々木明子他 編：新体系看護学全書 健康支援と社会保障制度②公衆衛生学。メヂカルフレンド社，2019。 他

実習に関する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

ルーブリック評価	
ディプロマポリシー(実習目標に基づく)	50%
レポート評価	50%

本科目で取得が望ましい点数

79

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

地域包括ケアシステムにおける保健医療福祉の実務経験のある教員が実習指導を担当します。

メッセージ

レベルⅣ実習での学びを生かし、地域包括ケア実習では人々の多様な生き方・価値観に応じたケアマネジメントや多職種連携の実際を学びます。地域での暮らしを支えるしくみ（法制度）の理解を深めて自らの学修課題を見つけ、地域ケアシステムについて俯瞰的に考える力を身につけましょう。

看護の統合実習

更新日：2024/02/27 15:03:05

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	631500	授業コード	63150
担当教員	阿部 オリエ, 高堂 香菜子, 櫻本 秀明, 高橋 清美, 永松美雪, 中村 光江, 姫野 稔子, 本田 多美枝, 牧 マリコ, 石山 さゆり, 梶原 弘平, 川崎 幹子, 原田 紀美枝, 太田 純代, 小手川 良江, 西山 陽子, 福島 綾子, 福田 陽子, 山本 孝治, 内田 文月, 鬼丸 美紀, 鴨川 めぐみ, 菊池 さよ, 隈井 寛子, 鈴鹿 綾子, 添田 梨香, 高瀬 理恵子, 高比来 ひとみ, 千原 明美, 森 千郷, 吉原 駿, 小西 彩香						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年		曜日/時限	一	単位	3

授業の目的

病院や施設で、臨床に即した看護を経験する中で、専門職者として必要な知識・技術・態度を統合できる能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	実習計画を遂行するために、必要な関係者と調整ができる。
2	人間の尊厳と人権の擁護に配慮しながら、対象者の持つ健康問題に対して実習計画に基づき看護実践ができる。
3	チームアプローチや多職種連携の視点をを用いて、医療チームの一員として看護師の役割を理解できる。
4	創造的に看護を探究するために、実習で経験した看護実践を記述して分析し、その成果をレポートにまとめることができる。

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】実習 【予習】 60分：シラバスをよく読み、実習目的、実習目標を十分に理解しておく。 2週間程度：自らが選択したテーマに関連する領域の知識・技術を十分に振り返った上で臨地実習や学内実習へ臨む。 【担当】実習担当教員
2	実習方法 専門性強化演習Ⅱで立案した実習計画に基づき主体的に実習を行う。 1．実習期間 臨地および学内での実習は、原則として2024年6月10日～7月12日の期間とする。 2．実習場所 病院・施設・学内 3．実習の進め方 「基礎看護学・看護教育学」「成人看護学（急性期）」「リプロダクティブヘルス看護学」「小児看護学」「精神看護学」「老年看護学」「成人看護学（慢性期）」の領域の中から決定した1領域で実習を行う。学生は、担当教員や臨地実習指導者からフィードバックを受け、看護展開に対する指導を受けながら主体的に実習に取り組むことが求められる。また、臨地実習終了後には、教員よりフィードバックを受け、創造的に看護を探究した成果をレポートにまとめる。

指導教員

先行履修要件科目

3年次後期までに開設されている必修科目の単位をすべて修得していること。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

関連する文献は学生各自で収集し、活用する。

評価方法

実習目標の達成度（50％）、実習への取り組み姿勢：（20％）、課題レポート（30％）を総合して評価を行う。

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

看護の統合実習では、各領域によって、ICT支援：Moodle、TEAMS、ZOOMを用いた自主学修支援を行う。

教員等の実務経験

看護師・助産師・保健師として勤務経験を持つ教員がその経験を生かし、指導にあたります。

メッセージ

看護基礎教育課程最後の実習になります。自分たちで立案した実習企画を実践することで、卒業までに解決すべき自己課題を明確にし、より多くのことを学習しましょう。臨地実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、主体的に充実した実習にしてください。

公衆衛生看護Ⅰ

更新日：2024/03/16 12:52:30

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	640100	授業コード	64010
担当教員	緒方 文子, 小川 有希子, 小野 ミツ, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域で生活を営む対象(個人・家族・集団・地域)の健康に影響を及ぼす要因を理解し、地域特性と健康課題をアセスメントする方法を学習する。

指定規則上の教授内容

別表1：個人・家族・集団・組織の支援

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題を明確化するための方法やプロセスを理解することができる。
2	地域特性を把握するために必要な既存資料を収集することができる。
3	既存資料や住民インタビューの結果を分析・統合して地域特性を把握することができる。

授業計画

1	公衆衛生看護の基盤となる理論（1） 【授業方法】ガイダンス、講義 【予習】30分：テキスト（1）熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野、緒方、小川、山田
2	公衆衛生看護の基盤となる理論（2）/評価試験① 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】30分：テキスト（1）熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【復習】30分：他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】小野、緒方、小川、山田
3	地域組織活動の展開、地域ケアシステムの構築とネットワーク化 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（1）熟読「7章：地域組織活動の展開」「8章：地域ケアシステムの構築とネットワーク化」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野、緒方、小川、山田
4	地域特性の把握（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（1）熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方、山田、小川、小野
5	地域特性の把握（2） 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：テキスト（1）熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】山田、緒方、小川、小野
6	地域特性の把握（3）/評価試験② 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：テキスト（1）熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」 【復習】30分：他グループの発表を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、山田、小川、小野
7	情報収集とアセスメント 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（1）熟読「6章：公衆衛生看護活動の展開方法 C」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方、山田、小川、小野
8	福岡県および実習地域の特性について：情報収集とアセスメント/評価試験③ 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページを閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】山田、緒方、小川、小野

9	情報の分析及び統合と診断 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：地域特性の把握」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】緒方、山田、小川、小野
10	福岡県および実習地域の特性について：情報の分析及び統合と診断/評価試験④ 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページと資料を閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】山田、緒方、小川、小野
11	健康課題の抽出 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト熟読「6章：地域特性の把握」 【復習】30分：福岡県および実習地域のホームページや資料を確認し、健康課題について考える。 【担当】緒方、山田、小川、小野
12	福岡県および実習地域の特性について：健康課題の抽出/評価試験⑤ 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページや資料を閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】山田、緒方、小川、小野
13	診断結果の発表（1）/評価試験⑥ 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページや資料を閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：他グループの意見を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、山田、小川、小野
14	診断結果の発表（2）/評価試験⑥ 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページや資料を閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：他グループの意見を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、山田、小川、小野
15	福岡県および実習地域の特性について：フィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：福岡県および実習地域のホームページや資料を閲覧し、情報収集を行った上で授業に参加する。 【復習】30分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】緒方、山田、小川、小野

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

標美奈子編：標準保健師講座1公衆衛生看護学概論第6版．医学書院，2022．
中村裕美子他編：標準保健師講座2公衆衛生看護技術第5版．医学書院，2023．
厚生労働統計協会編：厚生指針増刊国民衛生の動向2024/2025．厚生労働統計協会，2023．

参考文献

井伊久美子他編：新版保健師業務要覧第4版．日本看護協会出版会，2022．
佐伯和子編：地域保健福祉活動のための地域看護アセスメントガイド第2版地区活動ならびに施策化のアセスメント・活動計画・評価計画の立案．医歯薬出版株式会社，2020．
都築千景編：地域特性がみえてくる 地域診断 地域包括支援センターの活動充実を目指して．医歯薬出版株式会社，2020．
金川克子他編：地域看護診断第2版．東京大学出版会，2011．
Anderson, E., McFarlane, J. M.：Community as partner：theory and practice in nursing．2004，金川克子，早川和生監訳：コミュニティアズパートナー地域看護学の理論と実際（第2版）．医学書院，2007．

評価方法

第1～12回で行う評価試験50％（評価試験①～⑤各10％）、第13～14回で行う評価試験40％（評価試験⑥）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、地域診断についての講義を担当します。

メッセージ

この科目では講義の一部でデータ処理を行うため、情報機器の操作で学んだ内容を復習し、使い慣れた状態で講義に臨んでください。また、集計した結果を分析・統合して地域特性を把握する際には、既習科目で学んだ統計学や疫学Ⅰ、保健統計学の知識や技術が必要となります。

公衆衛生看護Ⅱ

更新日：2024/03/14 15:50:11

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	640200	授業コード	64020
担当教員	緒方 文子, 小川 有希子, 小野 ミツ, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	3年	曜日/時限	一	単位	2	

授業の目的

地域において健康課題を持つ個人や集団にアプローチやエンパワメントするための知識を深め、看護活動方法や技術を学習する。

指定規則上の教授内容

別表1：公衆衛生看護活動展開論

本科目で育成するDPの力

【5-1.看護の専門性を探究する力】看護の課題を探究する総合的な視野を培うことにより、看護を発展させるための基礎的能力を身につけている。

到達目標

1	地域に暮らす個人・家族・集団が持つ健康への力を向上するための保健活動について理解できる。
2	地域で生活している個人の健康課題を明確化し、保健指導による支援活動の展開が理解できる。
3	地域で生活している家族に対し家庭訪問の場における支援活動の展開が理解できる。
4	地域で生活している集団に対し健康教育による支援活動の展開が理解できる。
5	地域の健康課題を解決するための施策化へのプロセスが理解できる。

授業計画

1	公衆衛生看護における機能と技術、公衆衛生看護における対象の理解 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（2）熟読「1章：公衆衛生看護における機能と技術」「2章：公衆衛生看護における対象の理解」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野、山田、緒方、小川
2	公衆衛生看護の基盤となる理論 【授業方法】講義、演習（討議） 【予習】30分：テキスト（2）熟読「3章：公衆衛生看護の基盤となる理論」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野、山田、緒方、小川
3	対人支援活動の展開（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（2）熟読「4章：対人支援活動の展開」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小野、山田、緒方、小川
4	対人支援活動の展開（2）評価試験① 【授業方法】演習（発表） 【予習】30分：テキスト（2）熟読「4章：対人支援活動の展開」 【復習】30分：他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】小野、山田、緒方、小川
5	対人支援活動の展開（3）評価試験①、フィードバック 【授業方法】演習（発表、討議） 【予習】30分：テキスト（2）熟読「4章：対人支援活動の展開」 【復習】30分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】小野、山田、緒方、小川
6	家庭訪問による支援の展開（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト（2）熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【復習】30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】小川、山田、緒方、小野
7	家庭訪問による支援の展開（2）：母子（親子）への支援 【授業方法】演習（PBL） 【予習】30分：テキスト（2）熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【復習】30分：家庭訪問基本的技術チェックリストを参考に追加・修正する。 【担当】小川、山田、緒方、小野

8	家庭訪問による支援の展開（3）：母子（親子）への支援/評価試験② 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【復習】 30分：他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】 小川、山田、緒方、小野
9	家庭訪問による支援の展開（4）：母子（親子）への支援/評価試験②、フィードバック 【授業方法】 演習（発表、討議） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「5章：家庭訪問による支援の展開」 【復習】 30分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】 小川、山田、緒方、小野
10	健康教育の展開（1） 【授業方法】 講義 【予習】 30分：テキスト熟読「6章：健康教育の展開」 【復習】 30分：テキストおよび講義資料を読み直し、理解を深める。 【担当】 緒方、山田、小川、小野
11	健康教育の展開（2）：企画書と指導案の作成 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「6章：健康教育の展開」 【復習】 30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】 山田、緒方、小川、小野
12	健康教育の展開（3）：シナリオと教材の作成 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「6章：健康教育の展開」 【復習】 30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】 山田、緒方、小川、小野
13	健康教育の展開（4）：シナリオと教材の作成 【授業方法】 演習（GW） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「6章：健康教育の展開」 【復習】 30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】 山田、緒方、小川、小野
14	健康教育の展開（5）：健康教育の実施/評価試験③ 【授業方法】 演習（発表） 【予習】 30分：テキスト（2）熟読「6章：健康教育の展開」 【復習】 30分：他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】 緒方、山田、小川、小野
15	健康教育の展開（6）：健康教育の実施/評価試験③、フィードバック 【授業方法】 演習（発表、討議） 【予習】 30分：これまでに使用した資料を読んで授業に参加する。 【復習】 30分：フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】 緒方、山田、小川、小野

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

中村裕美子他編：標準保健師講座2公衆衛生看護技術第5版．医学書院，2023．
松田正巳他編：標準保健師講座3対象別公衆衛生看護活動第4版．医学書院，2020．
厚生労働統計協会編：厚生指の指標増刊国民衛生の動向2024/2025．厚生労働統計協会，2023．

参考文献

井伊久美子他編：新版保健師業務要覧第4版．日本看護協会出版会，2022．
村嶋幸代他編：最新保健学講座 2公衆衛生看護支援技術．メヂカルフレンド社，2022．
村嶋幸代他編：最新保健学講座 3公衆衛生看護活動展開論．メヂカルフレンド社，2022．

評価方法

第1～15回で行う評価試験90％（評価試験①～③各30％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、公衆衛生看護技術について講義・演習を担当します。

メッセージ

実践の場面では対象と課題により支援手法が異なるため、既習科目の看護コミュニケーションや健康行動論を復習して講義に臨んでください。

公衆衛生看護Ⅲ

更新日：2024/02/01 08:01:01

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	640300	授業コード	64030
担当教員	小野 ミツ, 緒方 文子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	1	

授業の目的

公衆衛生看護管理の目的および機能を理解し、公衆衛生看護管理の実際、保健師の担うべき役割について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表1：公衆衛生看護管理論

本科目で育成するDPの力

【5-2.看護の専門性を探究する力】看護職としての社会的使命を自覚し、人々の健康増進への関心と意欲をもち、研究的取り組みを通して、看護の発展に貢献することができる。

到達目標

1	地域診断の概念、課程、実際について説明できる。
2	事業計画、保健福祉計画の策定のプロセスと仕組みが理解できる。
3	公衆衛生看護管理の特色、諸相について述べることができる。
4	健康危機管理と保健活動が理解できる。
5	地域ケアシステムの発展過程について理解できる。

授業計画

1	地域アセスメント（地域診断） 【授業方法】講義、演習（発表、討議） 【予習】30分：教科書の「6章：公衆衛生看護活動の展開方法」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、小野
2	保健医療福祉における施策化（1） 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「7章：保健医療福祉における施策化」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
3	保健医療福祉における施策化（2） 【授業方法】講義、演習（発表、討議） 【予習】30分：教科書の「7章：保健医療福祉における施策化」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、小野
4	公衆衛生看護管理 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「8章：公衆衛生看護管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
5	健康危機管理（1） 【授業方法】講義、演習（GW） 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。 【担当】緒方
6	健康危機管理（2） 【授業方法】演習（GW） 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：メンバーの意見を参考に追加・修正する。 【担当】緒方
7	健康危機管理（3） 【授業方法】演習（発表、討議）、フィードバック 【予習】30分：教科書の「9章：健康危機管理」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：他者評価を参考に追加・修正する。 【担当】緒方、小野

8	地域ケアシステムづくり、まとめとフィードバック 【授業方法】講義 【予習】30分：教科書の「5章：公衆衛生看護活動の展開の基盤（4地域へのアプローチ）」を読んで授業に参加する。 【復習】30分：講義資料と教科書を読み直し理解を深める。フィードバックを受けた内容を復習する。 【担当】小野、緒方
---	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

標美奈子他編：標準保健師講座1公衆衛生看護学概論第5版．医学書院，2019．（地域看護Ⅰで使用したテキスト）
厚生労働統計協会編：厚生指標増刊国民衛生の動向2022/2024．厚生労働統計協会，2023．

参考文献

平野かよ子編：最新 保健学講座5第4版公衆衛生看護管理論．メヂカルフレンド，2022．
井伊久美子他編：新版 第4版 保健師業務要覧．日本看護協会出版会，2022．
社会保険実務研究所編：週刊保健衛生ニュース．社会保険実務研究所，2024．

評価方法

授業時間外に実施する評価試験（筆記試験50％）は第8回終了後に別日を設けて実施する。
1回から8回で行う評価試験（課題レポート40％）、授業参加度10％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、Teams を用いた自主学習支援を行う。また、Teams 等を用いて双方向の授業を展開する。

教員等の実務経験

保健師の臨床経験のある教員が、公衆衛生看護管理について講義を担当します。

メッセージ

公衆衛生看護に関連する既習の科目について、内容を復習しておきましょう。

公衆衛生看護実習

更新日：2024/02/26 11:41:17

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	640400	授業コード	64040
担当教員	小川 有希子, 緒方 文子, 小野 ミツ, 山田 桜子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	4年	曜日/時限	一	単位	5	

授業の目的

これまでの学修を踏まえ、地方自治体を中心に、地域における対象（個人・家族・集団・組織・地域）の健康課題をアセスメントし、地域住民のQOL向上のために行われるヘルスプロモーション活動を学び、地域での看護実践を行う意義を理解するとともに基本的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表1：個人・家族・集団・組織の支援実習、公衆衛生看護活動展開論実習、公衆衛生看護管理論実習

本科目で育成するDPの力

【4-2.問題解決力】グローバル社会における健康ニーズを把握し、科学的根拠に基づいた解決策を考え、実践・評価することができる。

到達目標

1	地域の健康課題や強みを把握する方法を修得することができる。
2	公衆衛生活動が地域住民の健康課題に果たしている役割を理解することができる。
3	対象の健康ニーズを捉え、特性に応じた援助方法を修得することができる。
4	地域の保健・医療・福祉、その他の関係機関の役割と連携の実際を理解することができる。
5	住民の主體的な保健組織活動の実際を学び、健康施策への住民の参画の意義を理解することができる。

授業計画

1	授業方法 【授業方法】実習 【予習】18時間：以下の課題を事前に実施し実習に臨む 【事前学修課題】 1）実習目標および実習計画を作成する。 2）実習する保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 3）参加する保健事業の事業内容と法的根拠について学習する。 4）健康教育の企画立案，指導案，シナリオ案，媒体案を作成する。 5）実習に必要な知識・技術の復習をする。 【担当】小川（有）、緒方、山田、小野
	1）実習期間 学内：2024年7月29日（月）～8月2日（金） 学外：2024年8月19日（月）～9月13日（金） ※一部の施設は8月26日（月）～9月20日（金） 225時間（5単位）
3	2）実習施設 学外の実習施設は、福岡県内の保健福祉環境事務所（保健所）および政令指定都市（保健所・区役所）・市区町村（保健センター等）である。
4	3）実習配置 別途配布
5	4）指導体制 学外実習では実習施設の指導者と教員が連携して指導を行う。
6	5）実習の進め方 実習期間は5週間、学内5日、学外20日（保健福祉環境事務所5日と市町村15日、政令指定都市については保健所3日と区役所17日）で構成する。 実習の流れは、保健福祉環境事務所、市町村、政令指定都市によって実習時間・実習の進め方・留意点等が異なるため実習オリエンテーションで提示する。 実習目標および実習計画に沿って、毎日の行動計画を立案し主体的に学習をすすめる。
7	学修課題 以下の課題を事前に実施し実習に臨む （1）実習目標および実習計画を作成する。 （2）実習する保健所管轄地域および市町村について、必要な既存資料を入手し、データから地域アセスメントを行い、暫定的な地域の健康課題を明確化する。 （3）参加する保健事業の事業内容と法的根拠について学習する。 （4）健康教育の企画立案，指導案，シナリオ案，媒体案を作成する。 （5）実習に必要な知識・技術の復習をする。
8	フィードバック 実習終了後に公衆衛生看護実習での学習成果をまとめた成果報告会を実施する。

指導教員

西村和美、大森健太郎

先行履修要件科目

保健師国家試験受験に必要なすべての科目(公衆衛生看護実習を除く)。

テキスト

特に指定しない。

参考文献

それぞれの政策に関する法律に関連する文献などは各自で検索・収集し、実習に活用する。

評価方法

実習参加度（健康管理含む）（10％）、実習目標に基づくルーブリック評価（40％）、ディプロマポリシーに基づく評価（40％）、課題レポート（10％）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

保健師としての臨床経験のある教員が、実習指導を担当します。

メッセージ

地域診断や健康教育の準備では、グループメンバーと協力して計画的に進めていくように心がけてください。また、主体的に実習指導者や担当教員とコミュニケーションを図り、積極的な姿勢で実習に臨んでください。

人体の構造と機能 I

更新日：2024/02/21 09:56:17

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100010	授業コード	
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2 (30)	

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構(運動器系・神経系・感覚器)を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	解剖生理学の基本的事項，細胞・細胞膜・細胞内小器官 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 人体の腔所，細胞・細胞膜・細胞小器官について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 人体の腔所，細胞・細胞膜・細胞内小器官について講義内容と要点を整理する。
2	結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 結合組織，神経組織，筋組織，上皮組織について講義内容と要点を整理する。
3	骨格系とは（体の支持と運動） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体の支持と運動について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体の支持と運動について講義内容と要点を整理する。
4	関節，筋の種類 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 関節，筋の種類について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 関節，筋の種類について講義内容と要点を整理する。
5	頭頸部の骨格と筋，上肢の骨格と筋 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 頭頸部の骨格と筋，上肢の骨格と筋について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体幹の骨格と筋，上肢の骨格と筋について講義内容と要点を整理する。
6	体幹の骨格と筋，下肢の骨格と筋 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体幹の骨格と筋，下肢の骨格と筋について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体幹の骨格と筋，下肢の骨格と筋について講義内容と要点を整理する。
7	筋の収縮 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 筋の収縮について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 筋の収縮について講義内容と要点を整理する。
8	神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 神経系の構造と機能，ニューロンでの興奮の伝導，シナプスでの興奮の伝導について講義内容と要点を整理する。
9	大脳，間脳，脳幹，小脳 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 大脳，間脳，脳幹，小脳について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 大脳，間脳，脳幹，小脳について講義内容と要点を整理する。
10	脳室と髄膜，脳脊髄液の循環，脳の高次機能（睡眠・記憶・本能行動・情動行動） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳室と髄膜，脳脊髄液の循環，脳の高次機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脳室と髄膜，脳脊髄液の循環，脳の高次機能について講義内容と要点を整理する。

11	脳神経（12脳神経の機能） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脳神経（12脳神経の機能）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脳神経（12脳神経の機能）について講義内容と要点を整理する。
12	脊髄と脊髄神経（感覚機能と上行伝導路，運動機能と下行伝導路） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脊髄と脊髄神経（感覚機能と上行伝導路，運動機能と下行伝導路）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脊髄と脊髄神経（感覚機能と上行伝導路，運動機能と下行伝導路）について講義内容と要点を整理する。
13	交感神経・副交感神経（自律神経による内臓機能の調節） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 交感神経・副交感神経について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 交感神経・副交感神経について講義内容と要点を整理する。
14	体性感覚・特殊感覚の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体性感覚・特殊感覚の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体性感覚・特殊感覚の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
15	脳神経系・運動器・感覚器の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナーシング・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) . 2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R., et al. : Gray's anatomy for students (4th ed.) . 2020, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K., et al. : Ganong's review of medical physiology (26th ed.) . 2019, 稲田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology（アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

教員等の実務経験

ヒトの正常解剖の経験を有する教員が，その豊富な経験を生かして講義を行う。

メッセージ

人体の構造と機能Ⅱ

更新日：2024/02/21 09:56:42

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100020	授業コード	
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2 (30)	

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（呼吸器系・循環器系・消化器系）を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	循環器系の構成，心臓の構造 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環器系の構成，心臓の構造について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 循環器系の構成，心臓の構造について講義内容と要点を整理する。
2	冠状血管系，冠状循環 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 冠状血管系，冠状循環について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 冠状血管系，冠状循環について講義内容と要点を整理する。
3	心周期と心内圧 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 心周期と心内圧について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 心周期と心内圧について講義内容と要点を整理する。
4	血圧，心負荷 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血圧，心負荷について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血圧，心負荷について講義内容と要点を整理する。
5	末梢循環系の構造，特殊な循環（頭部・門脈・胎児・微小循環：毛細血管における物質交換） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 末梢循環系の構造，特殊な循環について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 末梢循環系の構造，特殊な循環について講義内容と要点を整理する。
6	呼吸器の構造，肺の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 呼吸器の構造，肺の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 呼吸器の構造，肺の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
7	呼吸：肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肺が膨らむメカニズム，呼吸運動の調節について講義内容と要点を整理する。
8	呼吸気量，ガス交換（酸素と二酸化炭素）とガスの運搬 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 呼吸気量，ガス交換とガスの運搬について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 呼吸気量，ガス交換とガスの運搬について講義内容と要点を整理する。
9	肺循環，換気血流比 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肺循環，換気血流比について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肺循環，換気血流比について講義内容と要点を整理する。
10	消化器系の構造 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 消化器系の構造について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 消化器系の構造について講義内容と要点を整理する。

11	胃・小腸の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 胃，小腸について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 胃，小腸について講義内容と要点を整理する。
12	脾臓の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 脾臓の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 脾臓の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
13	肝臓・胆嚢の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 肝臓・胆嚢の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 肝臓・胆嚢の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
14	吸収と排泄（大腸） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 吸収と排泄（大腸）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 吸収と排泄（大腸）について講義内容と要点を整理する。
15	循環器・呼吸器・消化器の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り復習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナースিং・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）．メディカ出版，2023．

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学 （第11版）．医学書院，2022．
Gerard, T. , et al. ：Introduction to the human body（11th ed. ）．2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．
Drake, R. , et al. ：Gray's anatomy for students（4th ed. ）．2020, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）．エルゼビア・ジャパン，2021．
Barrett, K. , et al. ：Ganong's review of medical physiology（26th ed. ）．2019, 稲田仁，他訳：ギャノン生理学（原書26版）．丸善出版，2022．
Visible Body on Ovid：Anatomy & Physiology（アプリ）．Wolters Kluwer，2018．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

教員等の実務経験

ヒトの正常解剖の経験を有する教員が，その豊富な経験を生かして講義を行う。

メッセージ

人体の構造と機能III

更新日：2024/02/21 09:56:59

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100030	授業コード	
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

人体の構造と機能の有機的関連を細胞・器官レベルで理解し、生命を維持する機構（血液系・内分泌系・腎泌尿器系）を学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：人体の構造と機能

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	人体の構造をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
2	人体の機能をミクロ（細胞・組織）レベルからマクロ（器官系）レベルまで説明できる。
3	構造と機能を統合し、科学的視点から生命現象を説明することができる。

授業計画

1	血液の組成と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血液の組成と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血液の組成と機能について講義内容と要点を整理する。
2	血液の凝固と線維素溶解，血液型 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 血液の凝固と線維素溶解，血液型について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 血液の凝固と線維素溶解，血液型について講義内容と要点を整理する。
3	自然免疫系，獲得免疫系 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 自然免疫系，獲得免疫系について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 自然免疫系，獲得免疫系について講義内容と要点を整理する。
4	リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 リンパとリンパ管，生体防御の関連臓器について講義内容と要点を整理する。
5	内分泌系による内臓機能の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 内分泌系による内臓機能の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 内分泌系による内臓機能の調節について講義内容と要点を整理する。
6	甲状腺と副甲状腺 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 甲状腺と副甲状腺について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 甲状腺と副甲状腺について講義内容と要点を整理する。
7	膵臓，副腎，性腺 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 膵臓，副腎，性腺について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 膵臓，副腎，性腺について講義内容と要点を整理する。
8	腎臓の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 腎臓の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 腎臓の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
9	傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 傍糸球体装置，クリアランスと糸球体濾過，腎臓から分泌される生理活性物質について講義内容と要点を整理する。
10	排尿路，体液の調節 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 排尿路，体液の調節について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 傍排尿路，体液の調節について講義内容と要点を整理する。

11	体液の調節、酸塩基平衡 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 体液の調節、酸塩基平衡について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 体液の調節、酸塩基平衡について講義内容と要点を整理する。
12	男性生殖器官の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 男性生殖器官の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 男性生殖器官の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
13	女性生殖器官の構造と機能 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 女性生殖器官の構造と機能について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 女性生殖器官の構造と機能について講義内容と要点を整理する。
14	受精と発生、ホルモンの変化 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 受精と発生、ホルモンの変化について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 受精と発生、ホルモンの変化について講義内容と要点を整理する。
15	血液・泌尿器・生殖器官の構造と機能を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

武田裕子，他：ナースিং・グラフィカ 人体の構造と機能1 解剖生理学（第5版）。メディカ出版，2023。

参考文献

坂井建雄，他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能1 解剖生理学（第11版）。医学書院，2022。
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) . 2019, 佐伯由香, 他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）。丸善出版，2020。
Drake, R., et al. : Gray's anatomy for students (4th ed.) . 2020, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）。エルゼビア・ジャパン，2021。
Barrett, K., et al. : Ganong's review of medical physiology (26th ed.) . 2019, 稲田仁, 他訳：ギャノン生理学（原書26版）。丸善出版，2022。
Visible Body on Ovid : Anatomy & Physiology（アプリ）。Wolters Kluwer，2018。

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学習支援を行う）

教員等の実務経験

ヒトの正常解剖の経験を有する教員が，その豊富な経験を生かして講義を行う。

メッセージ

疾病と治療 I

更新日：2024/02/21 10:06:43

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100050	授業コード	
担当教員	梶原 弘平, 姫野 稔子, 木村 涼平, 鎌田 ゆき, 池村 聡, 吉岡 努, 継 仁, 北山 次郎, 竹下 弘道, 山口 宗男, 高岩 一貴						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

生命の維持に関わる疾病（運動器系・神経系・感覚器系）とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	運動器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	脳神経系の疾病とその治療法について説明できる。
3	感覚器（皮膚・耳・眼）系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	運動器系疾病について理解する：①運動器疾患概論，運動器の症候・観察・検査，治療，リハビリテーション 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
2	運動器系疾病について理解する：②骨折・脱臼，変形性関節症 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
3	運動器系疾病について理解する：③脊椎・脊髄疾患，加齢性疾患，悪性疾患 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】池村聡（福岡赤十字病院）
4	脳神経系疾病について理解する：①脳・神経疾患概論，中枢神経・末梢神経 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】吉岡努（福岡赤十字病院）
5	脳神経系疾病について理解する：②脳神経疾患の主要症候，観察，検査，脳・神経疾患の治療（侵襲的治療），脳卒中（脳出血・くも膜下出血） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】吉岡努（福岡赤十字病院）
6	脳神経系疾病について理解する：③脳腫瘍，頭部外傷 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】継 仁（福岡赤十字病院）
7	脳神経疾病について理解する④神経変性疾患，脱髄性疾患，機能性疾患（てんかん），脳卒中（脳梗塞） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
8	脳神経系疾病について理解する⑤認知症，感染性疾患 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）

9	脳神経系疾病について理解する⑥筋疾患，末梢神経障害 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】北山次郎（福岡赤十字病院）
10	皮膚科系疾患について理解する：皮膚の主要症候，検査，治療，主要疾患（湿疹・皮膚炎・感染症・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】竹下弘道（福岡赤十字病院）
11	眼科系疾病について理解する：①視機能（視力・順応・視野・色覚），眼の検査・治療，結膜疾患 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
12	眼科系疾病について理解する②網膜・硝子体疾患，水晶体疾患，緑内障 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】山口宗男（福岡赤十字病院）
13	耳鼻咽喉系疾病について理解する：①耳鼻咽喉の主要症候（耳/難聴・聴覚障害・めまい，鼻/鼻出血・嗅覚障害，咽頭・喉頭/構音障害・嚥下障害），耳鼻咽喉の検査 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
14	耳鼻咽喉系疾病について理解する②耳鼻咽喉主要疾患（炎症性疾患・悪性腫瘍） 【授業方法】講義 【予習】20分:当該単元の該当箇所のテキストに目を通しておく 【復習】60分:当該内容の講義内容を理解できるまで復習する 【担当】高岩一貴（福岡赤十字病院）
15	運動器・脳神経系・感覚器のまとめ：評価試験・フィードバック 【授業方法】講義(評価試験含む) 【予習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器官系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患の講義内容の振り返り 【復習】40分：運動器系疾患、脳神経系疾患、女性生殖器官系疾患、皮膚科領域の疾患、眼科領域の疾患、耳鼻咽喉科領域の疾患について整理する。 【担当】梶原弘平・木村涼平・姫野稔子・鎌田ゆき

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

萩野浩 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑦運動器第1版.メディカ出版,2020.
永廣信治 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑤脳・神経第1版.メディカ出版,2020.
永井由巳 他：ナースিং・グラフィカEX疾患と看護⑥眼/耳鼻咽喉/歯・口腔/皮膚第1版.メディカ出版,2020.

参考文献

坂井建雄, 他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
Gerard J. Tortora, et al：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版，2020.
山内豊明：ナースিং・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進 病態生理学 第7版. メディカ出版，2023.
土居 健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進② 病態生理学（第3版）. 医学書院，2023.
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進① 病理学（第6版）. 医学書院，2021.

評価方法

評価試験 70%(第15回に実施; 第1回～14回の内容), 各回講義の小テスト30%(第1～5回:10%, 第6～9回:10%, 第10～14回10%)
小テストの具体的な実施等の詳細についてはmoodle上で別途お知らせします。

本科目で取得が望ましい点数

70

ICTの活用・教育リソース

ICT支援（moodleを用いた自主学習支援を行う）

教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。
講師は2024年3月現在の予定で4月以降変更になる場合がある。

疾病と治療Ⅱ

更新日：2024/02/21 13:47:07

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100060	授業コード	
担当教員	櫻本 秀明, 吉原 駿, 向井 靖, 河合 俊輔, 徳留 正毅, 松川 龍一, 大坪 俊夫, 中垣 憲明, 平川 克哉, 冬野 雄太, 工藤 哲司, 岩下 英之						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

生命の維持に関わる疾病（循環器系・呼吸器系・消化器系）とその治療について学習する。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	循環器系の疾病とその治療法について説明できる。
2	呼吸器系の疾病とその治療法について説明できる。
3	消化器系の疾病とその治療法について説明できる。

授業計画

1	循環器疾患について理解する：心臓・血管の基礎知識と心疾患 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 心臓・血管系の機能に関して、人体の構造と機能での既習内容の振り返り 【復習】60分 心臓・血管の基礎知識と心疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】向井靖（福岡赤十字病院）
2	循環器疾患について理解する：心拍動の仕組み～不整脈とその治療・ペースメーカー 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 心電図と不整脈に関して、人体の構造と機能での既習内容の振り返り 【復習】60分 不整脈治療とペースメーカーに関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】河合俊輔（福岡赤十字病院）
3	循環器疾患について理解する：虚血性心臓病～動脈硬化とはなにかを学ぶ 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 心臓血管の基礎知識、冠動脈の走行と心疾患に関する振り返り 【復習】60分 虚血性心臓病、動脈硬化に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】徳留正毅（福岡赤十字病院）
4	循環器疾患について理解する：心不全～血行動態とはなにかを学ぶ 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 心臓血管の基礎知識、機能に関する振り返り 【復習】60分 心不全、血行動態に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】松川龍一（福岡赤十字病院）
5	循環器疾患について理解する：高血圧症と関連臓器障害を学ぶ＊大動脈解離等血管系疾患を含む 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 高血圧、高血圧に関する関連臓器障害に関して使用定期ストを用いての予習 【復習】60分 高血圧症と関連臓器障害、大動脈解離等血管系疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】大坪俊夫（福岡赤十字病院）
6	呼吸のしくみと防御機能について理解する：呼吸不全、呼吸器系の症状と検査と治療 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 呼吸に関わる筋肉や各臓器に関して人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 呼吸不全、呼吸器系の症状と検査、治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）

7	呼吸器系疾患について理解する：呼吸器感染症（かぜ、インフルエンザ、気管支炎、肺炎、結核などの抗酸菌症、真菌・寄生虫疾患を含む日和見感染）について 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 呼吸器感染症に関する事項について、ナーシング・グラフィカEX疾患と看護①呼吸器を用いて予習を行う。呼吸器感染症に関わる細菌やウイルスに関する振り返りを行う。 【復習】60分 呼吸不全、呼吸器系の症状と検査、治療に関しての振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
8	呼吸器系疾患について理解する：間質性疾患、気道疾患（喘息・気管支拡張症）、COPD、肺気腫について 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 気道、気管支、肺に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 間質性肺炎、気道疾患やCOPD、肺気腫に関して呼吸機能への影響や疾病の成り立ちに関しての振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
9	呼吸器系疾患について理解する：呼吸不全、肺腫瘍、環境・職業と関連する疾患、縦隔・胸膜疾患などについて 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 呼吸器感染症、間質性肺炎や気道疾患、COPD、肺気腫に関する振り返り 【復習】60分 呼吸不全の種類や評価指標、職業・環境関連肺疾患や腫瘍、縦郭・胸膜疾患に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】中垣憲明（福岡赤十字病院）
10	消化器系疾患について理解する：消化器系疾患の総論、症状のおこるメカニズム 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 消化器系の人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 消化器疾患、症状発現の機序に関しての振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】平川克哉（福岡赤十字病院）
11	消化器系疾患について理解する：食道、胃など上部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 食道・胃など上部消化管に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 上部消化管疾患と検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】冬野雄太（福岡赤十字病院）
12	消化器系疾患について理解する：十二指腸、小腸、大腸、直腸など下部消化管の疾患と検査・治療 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 下部消化管に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 下部消化管疾患、治療と検査に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】工藤哲司（福岡赤十字病院）
13	消化器系疾患について理解する：肝臓疾患の検査・治療 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 肝臓に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 肝臓疾患の検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【担当】岩下英之（福岡赤十字病院）
14	消化器系疾患について理解する：胆嚢、膵臓疾患の検査・治療 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分 胆嚢、膵臓に関する人体の構造と機能の振り返り 【復習】60分 胆嚢、膵臓疾患の検査・治療に関する振り返り 授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 【評価試験】小テスト：10点 【担当】岩下英之（福岡赤十字病院）
15	授業のまとめと評価試験：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患に関する評価試験とフィードバック 【授業内容】循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について振り返り、内容を整理する。 評価試験（筆記試験70%） 授業・定期試験に関するフィードバック 【授業方法】評価試験・講義 【予習】45分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患の講義内容の振り返り 【復習】45分：循環器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患について整理する。 【担当】櫻本秀明・吉原駿

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

讀井將満 他：ナーシング・グラフィカ EX疾患と看護①呼吸器第1版。メディカ出版,2020.
 野原隆司 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護②循環器第1版。メディカ出版,2020.
 三原 弘 他：ナーシング・グラフィカEX疾患と看護③消化器第1版。メディカ出版,2020.

参考文献

坂井建雄 他：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.
Gerard J. Tortora et al：Introduction to the Human Body (11th). 2019, 佐伯由香 他 編訳：トートラ人体解剖生理学（原書11版）. 丸善出版，2020.
山内豊明：ナースング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進① 病態生理学 第7版. メディカ出版，2023.
土居健太郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進② 病態生理学（第3版）. 医学書院，2023.
大橋健一 他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進① 病理学（第6版）. 医学書院，2021.

評価方法

第15回に行う評価試験70%（筆記試験70%）、第5・9・14回に行う小テスト30%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双：moodleを用いて授業資料の公開を行う。また、第5・9・14回に行う小テストに関してはmoodle上にて実施する。

教員等の実務経験

臨床医がその経験を活かして、専門分野の疾病とその治療について講義します。

メッセージ

臨床医のため、講師の都合により講義順序が変更になる場合があります。
講師は2024年3月現在の予定で4月以降変更になる場合があります。

病態生理学

更新日：2024/02/21 09:57:30

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100090	授業コード	
担当教員	木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	

授業の目的

正常性の破綻により生じる生体の形態や機能の変化、症状や徴候の発生機序、及び遺伝的素因による疾病の発生機序について学修することで、疾病の成因や治療などを理解するための基礎となる知識を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：疾病の成り立ちと回復の促進

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	疾病に伴う生体の構造の変化について説明できる。
2	疾病に伴う生体の機能の変化について説明できる。
3	症状や徴候の発生メカニズムを説明できる。
4	ヒトが生命を維持するための反応について、科学的視点から考察することができる。

授業計画

1	病理病態：身体構造の障害と機能の乱れ 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 身体構造の障害と機能の乱れについて講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 身体構造の障害と機能の乱れについて講義内容と要点を整理する。
2	病理病態：身体構造の障害と機能の乱れ・人間の死 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 身体構造の障害と機能の乱れ・人間の死について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 身体構造の障害と機能の乱れ・人間の死について講義内容と要点を整理する。
3	病理病態：遺伝子異常 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 遺伝子異常について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 遺伝子異常について講義内容と要点を整理する。
4	病理病態：細胞障害・変性と細胞死 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 細胞障害・変性と細胞死について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 細胞障害・変性と細胞死について講義内容と要点を整理する。
5	病理病態：腫瘍 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 腫瘍について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 腫瘍について講義内容と要点を整理する。
6	病理病態：炎症と修復 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 炎症と修復について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 炎症と修復について講義内容と要点を整理する。
7	病理病態：免疫異常・感染 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 免疫異常・感染について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 免疫異常・感染について講義内容と要点を整理する。
8	病理病態：循環障害・体液異常 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 循環障害・体液異常について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 循環障害・体液異常について講義内容と要点を整理する。
9	病理病態：代謝異常 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 代謝異常について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 代謝異常について講義内容と要点を整理する。

10	病態症候：痛み（頭痛・胸痛・腹痛など） 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 痛み（頭痛・胸痛・腹痛など）について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 痛み（頭痛・胸痛・腹痛など）について講義内容と要点を整理する。
11	病態症候：呼吸困難，咳嗽，喀痰，チアノーゼ 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 呼吸困難，咳嗽，喀痰，チアノーゼについて講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 呼吸困難，咳嗽，喀痰，チアノーゼについて講義内容と要点を整理する。
12	病態症候：貧血，喀血，吐血，下血 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 貧血，喀血，吐血，下血について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 貧血，喀血，吐血，下血について講義内容と要点を整理する。
13	病態症候：不整脈，ショック 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 不整脈，ショックについて講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 不整脈，ショックについて講義内容と要点を整理する。
14	病態症候：黄疸 【授業方法】講義（ICT双・ICT支援） 【予習】20分 黄疸について講義資料・テキストで確認する。 【復習】40分 黄疸について講義内容と要点を整理する。
15	病理病態論と病態症候論を統合的に理解するためのフィードバックと評価試験 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】45分 第1回～第14回までの講義内容を振り返り予習する。 【復習】40分 第1回～第14回までの講義内容と評価試験のフィードバックの要点を整理する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

山内豊明，他：ナーシング・グラフィカ 疾病の成り立ちと回復の促進1 病態生理学（第7版）．メディカ出版，2023．

参考文献

讃井将満，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護1 呼吸器．メディカ出版，2019．
野原隆司，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護2 循環器．メディカ出版，2019．
三原弘，他：ナーシング・グラフィカ EX 疾患と看護3 消化器．メディカ出版，2019．
土居健太郎，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進2 病態生理学（第3版）．医学書院，2023．
大橋健一，他：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進1 病理学（第6版）．医学書院，2021．
Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.) . 2019, 佐伯由香，他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）．丸善出版，2020．

評価方法

第1回～第14回の間で行う評価試験（小テスト3回）30％
第15回で行う評価試験70％

※小テストを実施する具体的な回については，第1回講義時に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（moodleを活用した授業を行う）
ICT支援（moodle、Panoptoを用いた自主学习支援を行う）

教員等の実務経験

ヒトの正常解剖の経験を有する教員が，その豊富な経験を生かして講義を行う。

メッセージ

臨床栄養学

更新日：2024/02/13 09:15:11

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100100	授業コード	
担当教員	福山 恵, 金澤 孝浩						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	

授業の目的

生化学の知識を基礎とした、栄養素がもたらす人体への影響を学修し、人々の健康の維持・増進、疾病及び障がいの予防・治療を理解する上での基礎的な知識を身に着ける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	摂取した食物の消化・吸収およびその後の栄養素の体内での代謝と生理的役割を理解し、食物摂取の意義を説明できる。
2	妊娠期から高齢期までの各ライフステージの栄養と健康の関わりを理解し、健康を保持・増進するための食生活を自ら考え、説明できる。
3	疾病の予防・治療を目的とした総合的な栄養管理の考え方について説明できる。
4	チーム医療における栄養管理の重要性を説明できる。

授業計画

1	人間栄養学と看護（栄養とは、保険・医療と栄養、チーム医療） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキストの通読 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】福山、金澤
2	栄養素の種類とはたらき（糖質、脂質、たんぱく質、ビタミン、ミネラル、食物繊維） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第2章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
3	食物の消化と栄養素の吸収・代謝、エネルギー代謝 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第3章、第4章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
4	食事と食品（食事摂取基準、食品に含まれる栄養素） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第5章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
5	栄養ケア・マネジメント（スクリーニング、アセスメント、計画） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第6章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
6	栄養状態の評価・判定（身体計測、臨床検査、臨床診査、食事調査） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第7章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
7	ライフステージと栄養（乳児期、学童期、思春期・青年期、成人期） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第8章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】福山

8	ライフステージと栄養（妊娠期、授乳期、更年期、高齢者） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 授業内容の復習・まとめ 【復習】30分 内容 【担当】福山
9	臨床栄養（病院食、栄養補給法、経腸栄養製品、静脈栄養剤） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第9章を読む 【復習】30分 内容 【担当】金澤
10	臨床栄養（やせ、肥満、循環器疾患、消化器疾患、肝臓、胆嚢、すい臓疾患） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第9章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
11	臨床栄養（栄養・代謝疾患、腎疾患など） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第9章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
12	臨床栄養（糖尿病教室、基礎、BGAT、食品交換表） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第9章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
13	臨床栄養（周術期、がん、急性期） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第9章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
14	健康づくりと食生活（生活習慣病予防、食の安全性と表示） 【授業方法】講義・演習（討議）・小テスト 【予習】20分 内容 テキスト第10章を読む 【復習】30分 内容 授業内容の復習・まとめ 【担当】金澤
15	まとめとフィードバック 【授業方法】講義・演習（討議） 【予習】 【復習】30分 内容 全体の振り返り 【担当】金澤

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

中村丁次 他：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能3 栄養学（第13版）．医学書院，2020．

参考文献

食品解説つき 新ビジュアル食品成分表 新訂第二版 大修館書店 2017.
 日本糖尿病学会編：糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版．文光堂，2013.
 厚生労働省策定：日本人の食事摂取基準[2020年版]. 第一出版,2019.
 Voet D.他：Biochemistry. （第4版）．Wiley，（2010）
 田宮信雄他訳：ヴォート：生化学．東京化学同人，上(2012)，下(2013)

評価方法

課題・小テスト60%、授業参加度40%

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

福岡赤十字病院の栄養課長、栄養管理係長兼給食管理係長、管理栄養士が担当

メッセージ

微生物学

更新日：2024/02/28 10:21:58

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100120	授業コード	
担当教員	石丸 敏之						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2 (15)	

授業の目的

微生物とは何かについて学び、この感染によって引き起こされる感染症や疾病の成因となる病原微生物、生体の感染防御機構、感染性疾患の病態、治療、予防、対策（消毒・滅菌、ユニバーサルプレコーション、感染経路別対策、法律）の基礎知識を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	個々の病原微生物の性状・特徴・病原性が理解できる。
2	滅菌・消毒法を理解できる。
3	感染予防の原則となっている標準予防策・感染経路別対策を理解できる。
4	生体の感染防御免疫のしくみを理解できる。

授業計画

1	感染症の歴史、微生物とはどのような生物か（細菌） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 感染症と微生物の関連について理解する 【担当】石丸 敏之
2	微生物とはどのような生物か（ウイルス（プリオンを含む）、真菌、原虫、蠕虫） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 微生物の概略を理解する 【担当】石丸 敏之
3	国内外の感染症の現状（COVID-19などを例として） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 感染症によって引き起こされる事象を理解する 【担当】石丸 敏之
4	感染症関連の法律、化学療法と免疫療法 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 感染症に関連した法律、化学療法について理解を深める 【担当】石丸 敏之
5	感染症の予防とコントロール（消毒&滅菌、標準予防策・感染経路別対策） 【授業方法】講義 【復習】60 分 内容 感染症の予防方法を理解、習得する 【担当】石丸 敏之
6	生体の感染防御機構Ⅰ（総論） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 感染に対する生体の防御機構を理解する 【担当】石丸 敏之
7	生体の感染防御機構Ⅱ（アレルギー、自己免疫疾患、免疫学的検査法、ワクチン） 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 防御機構に関連した病態を理解する 【担当】石丸 敏之
8	細菌感染症・各論Ⅰ（グラム陽性球菌、グラム陰性球菌、グラム陰性好気性桿菌、グラム陰性通性桿菌） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
9	細菌感染症・各論Ⅱ（カンピロバクター属、ヘリコバクター属、グラム陰性桿菌、抗酸菌、放線菌、嫌気性菌） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之

10	細菌感染症・各論Ⅲ（スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
11	ウイルス感染症・各論Ⅰ 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
12	ウイルス感染症・各論Ⅱ（プリオン病を含む） 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
13	真菌感染症、原虫・蠕虫感染症 【授業方法】講義 【復習】30 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
14	海外で注意すべき感染症 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 病原体各論 【担当】石丸 敏之
15	微生物学のフィードバック 【授業方法】講義 【復習】20 分 内容 感染症に対する考え方を総合的に理解する 【担当】石丸 敏之

指導教員

石丸 敏之

先行履修要件科目

なし

テキスト

増澤俊幸：感染制御の基本がわかる微生物学・免疫学．羊土社，2020．

参考文献

なし

評価方法

小テスト2回（60％）講義中に指示（進捗具合による）、課題（35％）、授業への取り組み（5％）

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

なし

教員等の実務経験

特になし
今回が初めてとなります

メッセージ

嫌気性菌を中心とした微生物研究に長年従事した経験のある教員が、その経験を活かして国内外の感染症の現状、感染症の原因となる病原微生物、生体の感染防御機構、および感染性疾患の病態、治療、予防および対策について講義します。

初めての経験ですので、聴講生の実際の反応を見ながら、内容を調整します。

生物

更新日：2024/02/07 09:48:22

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100130	授業コード	
担当教員	野黒美 俊介						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

ヒトの構造や機能の理解において基礎的知識となる生物学を通して、ヒトの構成について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	体内環境が維持されるしくみについて説明できる。
2	刺激の受容から行動までのしくみについて説明できる。
3	生殖と発生のしくみについて説明できる。

授業計画

1	体内環境の維持（1）血液循環・血液凝固 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
2	体内環境の維持（2）免疫 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
3	体内環境の維持（3）肝臓・腎臓 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
4	体内環境の維持（4）自律神経系・内分泌系 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
5	動物の反応と行動（1）受容器 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
6	動物の反応と行動（2）神経系・効果器 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
7	生殖と発生（1）減数分裂・遺伝 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。
8	生殖と発生（2）配偶子形成・受精と発生，評価試験・フィードバック 【授業方法】講義 予習：（40分）テキストの該当部を読んでおく。 復習：（40分）授業内容をノートに整理しておく。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

高畑 雅一 他：生物学 第10版.医学書院,2019.

参考文献

なし

評価方法

評価試験100%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

教員等の実務経験

大手予備校から医進系の中小予備校まで，大学受験生物の指導を専門とした授業をしています。高校生物の範囲に絞った授業を行っていきますので，大学での専門的な生物の学習に入る前の準備として，この授業で生物の基本を身に付けてください。

メッセージ

化学

更新日：2024/02/28 10:31:30

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100140	授業コード	
担当教員	富永 剛史						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

ヒトの構造や機能の理解において基礎的知識となる化学を通して、ヒトの構成について理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	物質の性質や変化をもとに、原子の構造や化学結合、化学変化等の基礎知識を説明できる。
2	中和反応や酸化還元反応などの基本的な化学反応について説明できる。

授業計画

1	原子の構造(1) 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：原子の構造，同位体，電子配置に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
2	物質量と溶液の濃度 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：物質量，溶液の濃度に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
3	原子の構造(2) 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：元素の周期律に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
4	化学結合・化学反応式とその量的関係 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：化学結合，化学反応式とその量的関係に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
5	酸と塩基、中和反応(1) 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸と塩基の定義，中和反応に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
6	酸と塩基、中和反応(2) 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：塩の性質，水溶液のpHに関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
7	酸化還元反応(1) 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸化還元反応の定義，酸化剤や還元剤の定義に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永
8	酸化還元反応(2)・フィードバック 【授業方法】講義 【予習】40分 内容：酸化還元反応に関してテキストや参考文献に目を通しておく。 【復習】40分 内容：講義で取り扱った演習問題を再度解く。 【担当】富永

指導教員

富永 剛史

先行履修要件科目

なし

テキスト

授業内容に関するプリントを配布します。

参考文献

参考文献は適宜紹介します。また，高等学校で使用した「化学基礎・化学」の教科書やそれに関する資料集や図説などがあれば参考にして欲しいと思います。

評価方法

偶数回に行う評価試験(小テスト4回)50%

授業時間外に行う評価試験50%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

なし

教員等の実務経験

なし

メッセージ

高等学校で学習する化学基礎の内容を取り扱います。

運動科学

更新日：2024/02/28 10:36:06

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100150	授業コード	
担当教員	樋口 善之						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2 (15)	

授業の目的

運動・スポーツに関する基本的な実践を学び、生涯の健康増進に役立つ知識、教養、態度を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	演習を通してスポーツや身体運動時のメカニズムや機能に関する理論、その実施方法を身につけ、運動と健康の関連についての的確に意味づけることができる。
2	他者への運動支援を想定した運動・スポーツの具体的計画を立て、実践することが出来る

授業計画

1	オリエンテーションー運動、スポーツの捉え方 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容：シラバスの確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
2	運動機能演習①ーレクリエーション・スポーツ 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
3	運動機能演習①ーバドミントン 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：バドミントンのルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
4	運動機能演習②ーバドミントン 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
5	運動機能演習③ーバレーボール 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：バレーボールのルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
6	運動機能演習④ーバレーボール 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
7	運動機能演習⑤ー卓球 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：卓球のルール等の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口
8	運動機能演習⑥ー卓球 【授業方法】演習（実技） 【予習】 45分 内容：前回の確認 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】樋口

9	運動機能演習⑦ーレクリエーション・スポーツ 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 45分 内容：レクリエーション・スポーツの意義等を調べる 【復習】 45分 内容：授業内容の確認 【担当】 樋口
10	運動と計画 【授業方法】 講義・演習（実技） 【予習】 45分 内容：運動の計画について考えてくる 【復習】 45分 内容：自分たちの運動計画の確認 【担当】 樋口
11	運動の計画と支援① 【授業方法】 講義・演習（実技） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り 【担当】 樋口
12	運動の計画と支援② 【授業方法】 講義・演習（実技） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り 【担当】 樋口
13	運動の計画と支援③ 【授業方法】 講義・演習（実技） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り 【担当】 樋口
14	運動と運動の計画と支援④ 【授業方法】 講義・演習（実技） 【予習】 45分 内容：運動の計画について準備を進める 【復習】 45分 内容：授業内容の確認と振り返り 【担当】 樋口
15	総括（フィードバック） 【授業方法】 講義 【予習】 45分 内容：シラバスやこれまでの授業計画を振り返る 【復習】 45分 内容：授業全体の振り返り 【担当】 樋口

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

九州大学健康科学センター編：実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学．大修館書店，2008．
 東京大学身体運動科学研究室編：教養としての身体運動・健康科学．東京大学出版会，2009．

評価方法

授業への参加度 40% レポート60%（運動計画と振り返り30%，運動と健康についての理解30%）

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

教員養成系大学にて、保健体育に関する実技科目および講義を担当している。

メッセージ

心理学

更新日：2024/02/28 10:26:30

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100160	授業コード	
担当教員	熊木 悠人						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

人格の発達を含む人間の心理を理解するための理論、概念、方法を学習し、保健医療における各種場面の心理学的な援助について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	人間の健全な心の働きや発達について理解できる。
2	現代社会における心の健康と諸問題について理解できる。

授業計画

1	心の生物学的基盤 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
2	心の発達 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
3	感覚と知覚 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
4	情動と動機付け 【授業方法】講義 【復習】4 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
5	記憶 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
6	推論と意志決定 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
7	社会と心 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容を振り返り、疑問点等をまとめる。
8	心の健康と心理療法（全体振り返り：フィードバック）・評価（筆記）試験 【授業方法】講義 【復習】5 0 分 内容 授業の内容全体を振り返り、疑問点等をまとめる。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特になし

参考文献

特になし

評価方法

毎回の提出物への評価 40%、評価試験 60%

本科目で取得が望ましい点数

7 0 点

ICTの活用・教育リソース

なし

教員等の実務経験

メッセージ

生命倫理

更新日：2024/03/11 11:20:50

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100170	授業コード	
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

生命倫理の発展と基本となる考え方を理解し、いのちに関わる人間の行為についての倫理的問題を多角的に捉え、考える力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP1-1【人間の生命と尊厳を大切にする力】
生命と健康、尊厳を守るための知識、教養、態度を身につけている。

到達目標

1	生命倫理の4原則について説明できる。
2	生命倫理問題について向き合い、自らの倫理観について述べるができる。
3	生命倫理に関わる社会的動向、問題に関心を持つことができる。
4	生命、健康、人間の尊厳について考えることができる。

授業計画

1	生命倫理の講義において理解しておくべき基礎的知識（基本概念、4原則） 生命倫理を理解するための概要 【予習】40分 テキスト序章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
2	医学・医療の発展と生命倫理の歴史的展開 生命倫理を理解するための概要 【予習】40分 テキスト第1章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
3	生命の始まりをめぐる諸問題① 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【予習】40分 テキスト第2章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
4	生命の始まりをめぐる諸問題② 医療技術の活用または他者支援を得る家族形成について 【予習】40分 テキスト第3章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
5	生命の始まりをめぐる諸問題③ いのちの選択について 【予習】40分 課題について 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
6	医療資源の配分 限りある医療資源と公平な配分について 【予習】40分 テキスト第11章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
7	インフォームドコンセント 患者の自己決定権について 【予習】40分 テキスト第10章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
8	プライバシーと守秘義務 患者の自己情報コントロールする権利について 個人情報保護法を含む 【予習】40分 テキスト第10章・第13章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井

9	性に関わる諸問題 ジェンダーと倫理について 【予習】40分 テキスト第3章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
10	生命の終わりをめぐる諸問題① 人生の最終段階の迎え方について 【予習】40分 テキスト第8章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
11	生命の終わりをめぐる諸問題② 人生の最終段階の迎え方について 【予習】40分 テキスト第9章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
12	生命の終わりをめぐる諸問題③ いのちの選択について 【予習】40分 課題について 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
13	医学研究の倫理 医学研究における倫理について（歴史的背景を踏まえて） 【予習】40分 テキスト第5章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
14	エンハンスと新優生学 最先端の技術と人体改造について 【予習】40分 テキスト第12章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井
15	今後の医療のあり方について 生命倫理の学習を看護に活かす 【予習】40分 テキスト第14章の内容を整理する 【復習】20分 小課題提出 【授業方法 担当】講義 柳井

指導教員

先行履修要件科目

特になし

テキスト

玉井真理子・大谷いづみ：初めて出会う生命倫理．有斐閣，2011．

参考文献

黒崎剛・野村敏明：生命倫理の教科書：何が問題なのか，ミネルヴァ書房，2014．

小林亜津子：看護が直面する11のモラル・ジレンマ．ナカニシヤ出版，2010．

他、随時紹介する。

評価方法

評価試験：課題レポート（50％）、リアクションペーパー（50％）

本科目で取得が望ましい点数

60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

日本生命倫理学会、日本医学哲学倫理学会、九州医学哲学倫理学会、日本看護倫理学会 会員

A医療施設内倫理審査委員会委員

メッセージ

看護の対象では「人」です。科学や医療の進歩・発展によって人の「生命」「健康」の概念が揺らいでいます。なぜ倫理が問われるのでしょうか。倫理的配慮はどのようなものでなぜ必要なのでしょう。本授業では、一人の人間として、医療保健の専門家として真剣に考えざるを得ない問題を、価値感の異なる他者の気持ちや意見を聞き、また推察しながら、公正・誠実な答えを導けるよう倫理的な思考と態度を養う場です。どれも難問ばかりですが、高い倫理観を育てよう積極的に参加してください。

日本国憲法

更新日：2024/01/12 09:32:14

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100180	授業コード	
担当教員	柳井 圭子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (15)	

授業の目的

法と国家また社会の関係を理解し、日本国憲法の理念や構成を理解し、現代社会における様々な法関係に対応できる力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	憲法の全体像をつかみ、基本的な用語と考え方を説明できる。
2	立憲主義の思考や成立過程を説明できる。
3	日本国憲法制定の背景やその内容について説明できる。
4	法的なものの見方を習得できる。
5	社会の仕組みや社会の出来事に関心を持ち、憲法の理念、制度と結びつけて、考えを述べることができる。

授業計画

1	憲法とは何か、憲法の位置づけ 【授業方法】：講義（テキスト第0章） 【予習】30分：ニュースや新聞等で憲法的话题を1つ取り上げ要点を整理する。 【復習】20分：講義内容を振り返る。 【担当】柳井
2	日本国憲法の基本原理と基本構造 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第1章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
3	天皇 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第2章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
4	人権保障とその限界 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第4章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
5	信教の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第5章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
6	表現の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第6章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
7	婚姻の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第7章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

8	学問の自由 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第8章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
9	社会権と生存権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第9章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
10	国会と参政権 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第10章第11章読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
11	内閣と行政機構 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第12章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
12	司法と裁判制度 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第13章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
13	地方自治 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第14章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
14	平和主義 【授業方法】：講義 【予習】30分：テキスト第3章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井
15	憲法改正 【授業方法】：講義、フィードバック 【予習】30分：テキスト第15章を読み要点を整理する。 【復習】20分：ニュース、新聞等から講義に関わる記事を探し講義内容を振り返る。 【担当】柳井

指導教員

柳井圭子

先行履修要件科目

なし

テキスト

毛利徹：グラフィック憲法入門．新世社，2016．

参考文献

適時指定する。

評価方法

リアクションペーパー（50％）、期末レポート（50％）

本科目で取得が望ましい点数

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

法の学習は、条文を覚えることと思っていませんか。一人で生きていくことができれば法は必要ないかもしれません。しかし、多くの人とともに生きるには、決まりごとを決めておくことが必要になります。無用な争いを避けるため、また争いが生じたときに解決するため、法はそのための道具です。その道具の中で、社会の根幹を決めているのが憲法です。社会の中で身近に起こる様々な問題を例に法を学んでみませんか。多くの法律の根拠となる日本国憲法は、何であるか、そして何が書かれているのか、一緒に考えてみませんか。日本国憲法の改正の是非が議論されています。答えとこれからの未来は、皆さんの憲法に対する理解と自らの権利を守るという意思にかかっています。

メッセージ

人間関係論

更新日：2024/02/26 17:47:51

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100230	授業コード	
担当教員	植村 善太郎						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

人間社会を形成する人と人との関係について理解し、対人関係づくりに必要なコミュニケーション・スキルを学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	人間のコミュニケーションについて理解できる。
2	受容的、共感的関わり方のスキルについて理解できる。
3	チームの人間関係について理解できる。

授業計画

1	人間関係とは 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
2	人間関係の構築について 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
3	他者との信頼関係・依存関係① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
4	他者との信頼関係・依存関係② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
5	自己について① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
6	自己について② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
7	他者理解について① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
8	他者理解について② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎

9	チームでの行動におけるダイナミックス① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
10	チームでの行動におけるダイナミックス② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
11	コミュニケーション① 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
12	コミュニケーション② 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
13	患者との人間関係 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
14	危機対処時の人間関係 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎
15	まとめ、フィードバック 【授業方法】 講義と演習 【予習】 30分：配布資料を読む 【復習】 30分：授業内容の復習 【担当】 植村 善太郎

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

参考文献

山蔦圭輔・本田周二：メディカルスタッフのための基礎からわかる人間関係論. 南山堂 2021
西口利文・植村善太郎・伊藤崇達：グループディスカッション 心理学から考える活性化の方法. 金子書房 2020

評価方法

毎回の授業時、授業後に行う課題やワークシート（10点×8回）（80％）と期末課題（20％）

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

メッセージ

社会学

更新日：2024/02/01 17:26:54

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100250	授業コード	
担当教員	谷本 純一						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

社会学の基本的な考え方、概念、方法について学び、人と文化、社会とのかかわり、人びとの社会生活のあり方について考察する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	人間が社会的存在であるとは何か、個人とは何かを考えることができる。
2	個人と社会との相互作用の諸相を理解することができる。
3	個人（自分）を取り巻く今日の課題の多様性を把握することができる。

授業計画

1	科学としての社会学ー社会学の原理・基礎理論 【授業内容】社会学の目的 【復習】80分：社会学の目的と位置づけについて理解する。 【担当】谷本 純一
2	科学としての社会学ー社会学の原理・基礎理論 【授業内容】社会学の目的 【復習】80分：社会学の目的と位置づけについて理解する。 【担当】谷本 純一
3	古典社会学：マルクスとウェーバー 【授業内容】マルクスによる近代認識とウェーバーの官僚制理解について 【復習】80分：マルクスとウェーバーの社会学史上における意味を確認する。 【担当】谷本 純一
4	古典社会学：マルクスとウェーバー 【授業内容】マルクスによる近代認識とウェーバーの官僚制理解について 【復習】80分：マルクスとウェーバーの社会学史上における意味を確認する。 【担当】谷本 純一
5	ステレオタイプについてーリップマン『世論』を中心に 【授業内容】リップマンを中心にステレオタイプや偏見について 【復習】80分：ステレオタイプや偏見と差別との関連性を確認する。 【担当】谷本 純一
6	ステレオタイプについてーリップマン『世論』を中心に 【授業内容】リップマンを中心にステレオタイプや偏見について 【復習】80分：ステレオタイプや偏見と差別との関連性を確認する。 【担当】谷本 純一
7	構造としての権力ーフーコーの「生ー権力」論 【授業内容】権力論全般とフーコーの権力論について 【復習】80分：権力の社会的機能、特に福祉国家との関係について確認する。 【担当】谷本 純一
8	構造としての権力ーフーコーの「生ー権力」論 【授業内容】権力論全般とフーコーの権力論について 【復習】80分：権力の社会的機能、特に福祉国家との関係について確認する。 【担当】谷本 純一
9	アガンベンの「ホモ・サケル」ー臓器移植と社会学 【授業内容】アガンベンの「ホモ・サケル」および例外状態論について 【復習】80分：医療問題にとどまらない、臓器移植の社会学的意味を確認する。 【担当】谷本 純一
10	アガンベンの「ホモ・サケル」ー臓器移植と社会学 【授業内容】アガンベンの「ホモ・サケル」および例外状態論について 【復習】80分：医療問題にとどまらない、臓器移植の社会学的意味を確認する。 【担当】谷本 純一

11	公共性①アレントの「公的領域」 【授業内容】アレントの「公的領域」と「私的領域」の区別について 【復習】80分：アレントの「公的領域」と現代社会との差異を確認する。 【担当】谷本 純一
12	公共性①アレントの「公的領域」 【授業内容】アレントの「公的領域」と「私的領域」の区別について 【復習】80分：アレントの「公的領域」と現代社会との差異を確認する。 【担当】谷本 純一
13	公共性②ハーバーマスの公共性論 【授業内容】ハーバーマスの公共性論について 【復習】80分：ハーバーマスの公共性論におけるコミュニケーションの意味を確認する。 【担当】谷本 純一
14	公共性②ハーバーマスの公共性論 【授業内容】ハーバーマスの公共性論について 【復習】80分：ハーバーマスの公共性論におけるコミュニケーションの意味を確認する。 【担当】谷本 純一
15	フィードバック（社会学の基礎概念の整理と個人を取り巻く現代的課題再考） まとめとして 【授業内容】まとめ 【予習】40分：授業内容をもとに、社会学的知識と現代的課題との関連について考える。 【復習】40分：授業内容をもとに、自らと社会との関連について考える。 【担当】谷本 純一

指導教員

谷本 純一

先行履修要件科目

なし

テキスト

西研・菅野仁『社会学にできること』（ちくまプリマー新書、2009年）。その他必要に応じて資料を適宜示す。

参考文献

井上俊・大村英昭『社会学入門』放送大学教育振興会、1993年。
 長谷川公一他『新版 社会学』有斐閣、2019年。
 その他適宜紹介する。

評価方法

授業参加 20% 授業内での評価試験80%

本科目で取得が望ましい点数

75点以上

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

メッセージ

人々の相互作用とコミュニケーションによって形成されるのが「社会」です。コミュニケーションの不足・不在が様々な社会問題の要因となっていると言っても過言ではありません。

哲学

更新日：2024/02/26 17:41:58

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100270	授業コード	
担当教員	松井 貴英						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：講義						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

人間の在り方、また存在や認識に関する哲学における根本的な問題について、「じっくり」と、そして「しっかりと」哲学的に考え、論理的思考力、概念を正しく理解する能力、単眼的かつ一面的な思考ではなく複眼的かつ多面的な思考の能力を養うことを目指す。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】

自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	哲学における様々な概念について、その意味を理解できる。
2	哲学における概念や思想を、自分の現実の問題としてフィードバックできる。
3	様々な問題に関して、文脈に即しつつ多面的に考えることができる。
4	適切な根拠や理由を示すことができる。

授業計画

1	イントロダクション「哲学における考察とはどのようなものか」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書を全体を通して目を通す。 【復習】 45分 内容 授業の概略およびこの授業で学ぶ内容について理解し説明できるようにする。 【担当】松井貴英
2	プラトン『メノン』 徳を定義することについて 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書のプラトン『メノン』の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
3	プラトン『ゴルギアス』 弁論術と哲学の違いについて 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書プラトン『ゴルギアス』の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
4	デカルトの方法的懐疑について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の「デカルト」の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
5	アーレント「孤独」と「独りぼっち」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の「アーレント」の箇所を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
6	【主体】デカルトにおける「われ思うゆえにわれあり」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の27頁～「主体」の章のデカルト『省察』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
7	【知覚】パークリにおける「存在するとは知覚されること」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の32頁～の「知覚」の章のパークリ『人知原理論』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英

8	【他者】ハイデガー、レヴィナスにおける「他者」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の38頁～の「他者」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
9	【欲望】（その1）快楽主義について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の45頁～の「欲望」の章のプラトン『ピレボス』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
10	【欲望】（その2）ピコにおける「人間の尊厳」について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の45頁～の「欲望」の章のピコ『人間の尊厳について』を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
11	【存在と時間】アウグスティヌス、ベルクソンの時間論について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の51頁～の「存在と時間」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
12	【言語】哲学において「言語」はどのようなものと考えられるか 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の57頁～の「言語」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
13	【芸術】芸術作品の美しさは万人共通であるかという問題について 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の63頁～の「芸術」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
14	【歴史】歴史的出来事を語るとは、どのようなことなのだろうか 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の76頁～の「芸術」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英
15	【物質と精神】哲学における「存在」の問題について～まとめにかえて（フィードバック） 【授業方法】講義 【予習】 45分 内容 教科書の97頁～の「物質と精神」の章を熟読する。 【復習】 45分 内容 授業内容を説明できるようになる。 【担当】松井貴英

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

曽我千亜紀・松井貴英・三浦隆宏・吉田寛『フランス・バカロレア式 書く！ 哲学入門』ナカニシヤ出版（ISBN13：978-4-7795-1495-1）

参考文献

授業の中で適宜紹介する。

評価方法

授業参加度50％ 課題レポート50％

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

メッセージ

哲学は難しいものだと感じる人も多いと思います。そんな「"難しい" 哲学」を、できる限り「"明るく楽しく興味深い" 哲学」というスタンスで授業していくつもりです。最後まで頑張って授業を受けてくださいね！

人間工学

更新日：2024/02/26 17:45:02

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100280	授業コード	
担当教員	香川 治美						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

人間工学の視点から、患者、看護両者の安全、安楽を確保するための技術、環境・設備について学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】
自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	人間工学の視点から、看護を質的に向上させるための技術、環境・設備について考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる
2	人間工学の視点から、患者のQOLを向上させるための技術、環境・設備について考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる
3	客観的なデータをもとに、看護の質と患者のQOLを向上させる技術、環境・設備を実証的かつ科学的に考察できる。	
	秀	課題をみだし質疑できる
	優	質疑に対して答弁できる
	良	わかりやすくまとめて説明できる
	可	まとめて説明できる
	不可	まとめることができる

授業計画

1	看護の人間工学とは 【授業方法】講義 【復習】30分 人間工学の方法論についてまとめる。 【担当】香川
2	入院患者の日常生活行動と看護 【授業方法】講義 【復習】30分 病院内生活行動に対する病棟環境改善についてまとめる。 【担当】香川
3	データの種類とまとめ方 【授業方法】演習 【復習】30分 データの種類とまとめ方に関する練習問題を解く。 【担当】香川
4	病床環境の調整 【授業方法】グループ発表 【予習】30分 ベッド、床頭台、椅子、枕、マットレスについて説明資料をまとめる。 【担当】香川
5	安楽な体位と体位変換 【授業方法】グループ発表 【予習】30分 体位変換、固定装具の装着と病衣についての説明資料をまとめる。 【担当】香川

6	2種類のデータの関係性 【授業方法】 演習（表計算ソフトを利用） 【復習】 30分 2種類のデータの関係性に関する練習問題を解く。 【担当】 香川
7	検定の基礎 【授業方法】 演習（表計算ソフトを利用） 【復習】 30分 検定の基礎に関する練習問題を解く。 【担当】 香川
8	検定の応用 【授業方法】 演習（表計算ソフトを利用） 【復習】 30分 検定の応用に関する練習問題を解く。 【担当】 香川
9	バリアフリーの状況点検 【授業方法】 体験とグループ発表（高齢者体験キット、妊婦キット着用、車椅子を利用する） 【復習】 30分 状況点検により得られた情報をチームで共有できるようにまとめる。 【担当】 香川
10	移乗・移送 【授業方法】 グループ発表 【予習】 30分 車椅子移乗介助技術、車椅子、ストレッチャー移送についての説明資料をまとめる。 【担当】 香川
11	日常生活行動への援助 【授業方法】 グループ発表 【予習】 30分 選抜の設備・環境の改善、食事摂取の自立を可能にする用具の開発、排泄の援助、尿器・便器の改善についての説明資料をまとめる。 【担当】 香川
12	人口統計 【授業方法】 演習（表計算ソフトを利用） 【復習】 30分 人口統計に関する練習問題を解く。 【担当】 香川
13	看護の安全と人間工学 【授業方法】 講義 【復習】 30分 人間工学からみた看護の安全についてまとめる。 【担当】 香川
14	看護管理における人間工学 【授業方法】 講義 【復習】 30分 人間工学からみた看護管理についてまとめる。 【担当】 香川
15	保健統計調査及びフィードバック 【授業方法】 演習（表計算ソフトを利用）及びフィードバック 【復習】 30分 保健統計調査に関する練習問題を解く。 【担当】 香川

指導教員

香川治美

先行履修要件科目

なし

テキスト

大河原千鶴子・酒井一博：『ヘルス・ケア・ワークを支える看護の人間工学』、医歯薬出版株式会社、2002
白戸亮吉・鈴木研太：『丁寧な保健統計学 第2版』、株式会社羊土社、2022

参考文献

平田雅子：『ベッドサイドを科学する一看護に生かす物理学 改訂第4版』、株式会社学研メディカル秀潤社、2021
『社会・環境と健康 公衆衛生学 2023年版』、医歯薬出版株式会社、2023

評価方法

毎回の授業の提出物に対する評価（75点＝5点×15回）
グループ発表に対する評価（25点＝5点×5回）

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

Moodle、WEBサイト教材等を活用した自主学習支援を行う。
ICT双方向型授業：発表時タブレット等の画面のミラーリングを活用した講義を行う。
高齢者体験キット、妊婦キット着用、車椅子を利用した講義を行う。
データをもとにした考察のために、表計算ソフトを活用した講義を行う。

教員等の実務経験

建築環境・設備に関する工学系教育機関で学び、福祉住環境に係る資格をもち、総合病院・高齢者施設・障がい者施設・小中学校・オフィスにおける多様な居住者の安全・安楽・快適のための技術と環境・設備調査経験のある教員が講義を担当する。

メッセージ

患者、看護両者の安全、安楽を合理的かつ科学的に確保するために、人間工学というツールをつかいこなしてみましょう。

情報科学

更新日：2023/12/20 13:23:17

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100290	授業コード	
担当教員	中山 晃志, 木村 涼平						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	2 (30)	

授業の目的

大学における学修や情報社会で求められている情報活用能力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-1【内省し、学び続ける力】

自らの思考、感情、行動を内省できる。

到達目標

1	学内ICTシステムについて理解し、状況に応じて適宜活用することができる。
2	情報セキュリティや情報モラル等について理解し、説明および活用することができる。
3	情報機器を活用して、状況に応じた適切な文書やプレゼンテーション、図表を作成できる。
4	インターネットや図書館の検索機能・操作を理解し、適切な情報を検索できる。

授業計画

1	学内ICTシステムの操作(1)：Moodle 他 【授業内容】Moodleなどの学内ICTシステムの利用について学ぶ 【授業方法】演習（GW／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：Moodle 他 の操作を振り返る 【担当】木村、中山、ICT推進会議
2	学内ICTシステムの操作(2)：Teams 他 【授業内容】Teamsなどの学内ICTシステムの利用について学ぶ 【授業方法】演習（GW／ICT双、ICT支援） 【復習】30分：Teams 他 の操作を振り返る 【担当】木村、中山、ICT推進会議
3	情報リテラシー 【授業内容】情報リテラシーについて学ぶ 【授業方法】演習（ICT双、ICT支援） 【復習】30分：情報リテラシーについて振り返る 【担当】木村
4	メディアリテラシー 【授業内容】メディアリテラシーについて学ぶ 【授業方法】演習（ICT双、ICT支援） 【復習】30分：メディアリテラシーについて振り返る 【担当】木村
5	文書作成ソフトの基本操作 【授業内容】Wordの基本操作について学ぶ 【授業方法】演習（ICT双、ICT支援） 【復習】30分：Wordの操作について振り返る 【担当】中山
6	プレゼンテーションソフトの基本操作 【授業内容】PowerPointの基本操作について学ぶ 【授業方法】演習（ICT双、ICT支援） 【復習】30分：PowerPointの操作について振り返る 【担当】中山
7	情報検索(1)－図書館情報検索－ 【授業内容】図書館の情報検索システムについて学ぶ 【授業方法】演習（ICT双、ICT支援） 【復習】30分：図書館の情報検索について振り返る 【担当】図書館司書、中山

8	学内ICTシステムの操作(3)：応用 【授業内容】 情報処理室を利用した学内ICTシステムについて学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：これまでの学内ICTシステムの操作を振り返っておく 【担当】 木村、中山
9	表計算ソフトの操作(1)－基本操作－ 【授業内容】 Excelの基本操作について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Excelの操作について振り返る 【担当】 中山
10	表計算ソフトの操作(2)－計算・グラフ－ 【授業内容】 Excelでの計算やグラフ作成について学ぶ 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：Excelによる計算やグラフ作成について振り返る 【担当】 中山
11	表計算ソフトの操作(3)－課題－ 【授業内容】 Excelを利用した課題作成を行う 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：Excelの操作について振り返っておく 【担当】 中山
12	情報検索(2)－インターネット検索－ 【授業内容】 各種リテラシーの知識に基づき、インターネット検索を活用する 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：情報リテラシーおよびメディアリテラシーについて振り返っておく 【担当】 中山
13	まとめ課題(1) 【授業内容】 WordやPowerPoint、インターネット検索を用いてグループで課題作成を行う 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：WordやPowerPoint、インターネット検索などの操作を振り返っておく 【担当】 中山
14	まとめ課題(2) 【授業内容】 WordやPowerPoint、インターネット検索を用いてグループで課題作成を行う 【授業方法】 演習（GW／ICT双、ICT支援） 【予習】 30分：WordやPowerPoint、インターネット検索などの操作を振り返っておく 【担当】 中山
15	フィードバック 【授業内容】 学内ICTシステムやソフトウェアの利用・操作の確認を行う 【授業方法】 演習（ICT双、ICT支援） 【復習】 30分：学内ICTシステムを積極的に利用し、活用能力を高める 【担当】 ゲストスピーカー、中山、木村、ICT推進会議

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じて電子資料を配布

参考文献

なし

評価方法

ICTシステムの活用度 30%

第1回から第14回に行う評価試験 50%（課題 30%、小テスト 20%）

授業への参加度 20%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（学内ICTシステムおよびタブレット端末を活用した授業を行う）

ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

教員等の実務経験

メッセージ

高度情報通信ネットワーク社会において、本学ではICT（情報通信技術）の活用を推進しています。学内のICTシステムの利用方法については、1年生のうちにしっかり身につけてください。また、日常も含めICT利用にあたっては、何がよくて、何がよくないかを正しく判断して利用する習慣を身につけてください。授業や大学内で機器やICT操作で周囲に困っている人がいたら、進んで教えてあげるようにしてください。

アサーショントレーニング

更新日：2023/12/11 09:45:07

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100300	授業コード	
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

自分も相手も大切にしたい自己表現を身につけていくトレーニング。論理的批判的思考と他者との議論に基づいて、自分の見解や訴えを、他者に理解されるように明確に表現する文章を書く技能を高めること、および医療の対象者や連携すべき専門家の理解を得られるよう、明晰さと好しさを備えた説明・発表を行う基礎力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】

自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	主張や情報を、相手と目的に応じて日本語と資料を準備して発表することができる：具体的には、ある疑問に答えるための情報を収集して妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を行うことができる。
2	自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができるとともに、他者の発信に対し、有意意味な反応をすることができる。
3	文章作成の目的とその前提条件を認識し、適切な構成と表現を企画することができる。
4	情報を収集し、その質を吟味して、論証の中に有機的に引用することができる。
5	自己または他者による批評を受容し、科学的学術的発信活動の改善に生かすことができる。
6	科学的学術的な文章に用いられる構造、語彙、表現に関する知識を活用することができる。

授業計画

1	科学的学術的文章を書く目的と要件（教科書第1章）要件（教科書第1章） 【授業方法】演習（討議、GW、発表）オリエンテーション 【予習:40分】「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか、テキストの第1章を読み、その要件と特徴を説明できるようにする。 【復習:40分】教科書第1章を読み「科学的学術的な文章」とはどういう文章のことをいうのか確認する。 【担当】高瀬
2	科学的学術的文章の構造—問いと主張と論証（教科書第2章） 講義：論文には「問いと主張と論証」が必要（教科書第2章） 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習:30分】教科書第2章を読み、科学的学術的文章の構造—問いと主張と論証について事前に読んでおく。 【復習:50分】★課題1：教科書p.55【練習問題2】（1）次の文章は、どこが論文と違うのかまとめて提出。①新聞のコラム（天声人語など）②読書感想文③映画のパンフレットの解説 【担当】高瀬
3	科学的学術的文章を書く段取り—ブレインストーミングと文献リスト（教科書第3章） 講義：論文には段取りが必要（教科書第3章） 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習:30分】各自関心のあるトピックとその理由を、他者に説明できるようにしてくる。 【復習:50分】各自のトピックに関する文献検索・収集を進める。 【担当】高瀬
4	科学的学術的文章を書く段取り(1)—文献検索と文献レビュー（教科書第4章） 講義：論文とは「型にはまった」文（教科書第4章） 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習:40分】各自関心のあるトピックについての関連文献のレビューを1編書く。 【復習:40分】★課題2：p.102【練習問題4】p.102の【ダメ要約】のリライトして提出。 【担当】高瀬
5	科学的学術的文章を書く段取り(2)—情報・知識・知見の「既知」と「未知」の区画（教科書第4章） 講義：科学的学術的文章を書く段取り(1)—情報・知識・知見の「既知」と「未知」の区画 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 与えられたテーマに基づいてレポート作成。（担当の先生から指示あり） 例）世界・日本でみんなに知らせたい珍しい事物等 自分の出身地・住んでる所の紹介と未来について 【予習:50分】各自関心のあるトピックについてどのような研究が行われているかを鳥瞰したうえで、テーマ別に研究の系統分類を行い、その見取り図をもとに他者に説明できるように準備する。 【復習:30分】教科書第4章で学修した内容を確認する。 【担当】高瀬

6	科学的学術的文章を書く段取り(3)—着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定 講義：科学的学術的文章を書く段取り(2)—着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 与えられたテーマのプレゼンテーション（1） 【予習:40分】 自分のレポートを5分程度で発表できるように、確認し、練習する。発表する際のポイントをリストアップしてくる。 【復習:40分】 レポートのリライト。 【担当】 高瀬
7	科学的学術的文章の執筆のためのアウトライン（教科書第5章） 講義：科学的学術的文章を書く段取り(3)—着想・問い・視点のオリジナリティの明確化と問いの設定 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 与えられたテーマのプレゼンテーション（2） 【予習:40分】 自分のレポートを5分程度で発表できるように、確認し、練習する。発表する際のポイントをリストアップしてくる。 【復習:40分】 レポートのリライト。 【担当】 高瀬
8	「わかりやすい文章」とは？(1)—論証方法（教科書第6章） 論文の種としてのアウトライン（教科書5章） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習:40分】 自分が書く科学的学術的文章の執筆のためのアウトラインを書く。 【復習:40分】 ★課題3：教科書p.138の練習問題7：課題「死刑を存続させるか廃止すべきか」にアウトラインの作成と提出。 【担当】 高瀬
9	「わかりやすい文章」とは？(2)—上位概念と下位概念（教科書第6章） 講義：論証とは？（教科書第6章） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習:30分】 前回の授業時に課題として配布された文章をもとに、上位概念と下位概念を識別してくる。 【復習:50分】 ★課題4：教科書 p.172のイラスト【妥当でない論証】はどこが間違っているかについての課題を作成し、提出する。 【担当】 高瀬
10	科学的学術的文章の基本単位—「パラグラフ」という概念と構造について（教科書第7章） 講義：パラグラフ・ライティングとは（教科書第7章） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習:30分】 教科書第7章を読み、科学的学術的文章の基本単位「パラグラフ」という概念と構造を理解する。 【復習:50分】 ★課題5：教科書 p.216の【練習問題12】ダメパラ3の問題点を指摘して、よりよいパラグラフに書きかえたものを提出する。 【担当】 高瀬
11	科学的学術的文章の機能—「一般」から「具体」へ（教科書第8章） 講義：わかりやすい文章を書くために必要なこと（教科書第8章） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 【予習:30分】 結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。 【復習:50分】 ★課題6：教科書 p.256【練習問題17】（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出する。 【担当】 高瀬
12	科学的学術的文章の信頼性と妥当性—エビデンスベイスト（教科書第8章） 講義：最後の仕上げに必要なこと（教科書第9章） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 自分で考えたテーマに基づいて論文形式のレポート作成 【予習:30分】 結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。 【復習:50分】 ★課題6：教科書 p.235（1）機能後の漢字を使わないで書きかえ、提出する。 【担当】 高瀬
13	科学的学術的文章で用いるアイデアと剽窃（教科書第9章） 講義：課題作成 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 自分で考えたテーマに基づいて論文形式のレポート作成 【予習:30分】 結論部を執筆し、必要な箇所にはエビデンスと引用文献を示していることを確認。 【復習:50分】 引用と剽窃に焦点化して確認を行い、最終原稿を確認する。 【担当】 高瀬
14	提出された課題について評価 講義：提出された課題について評価（1） 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） 与えられたテーマのプレゼンテーション（1） 【予習:30分】 引用と剽窃に焦点化して確認を行い、最終原稿を確認する。 【復習:50分】 相互評価に基づく最終校正。 【担当】 高瀬
15	提出された課題について評価・フィードバック 講義：提出された課題について評価（2）・フィードバック 【授業方法】 演習（討議、GW、発表） フィードバック 与えられたテーマのプレゼンテーション（2） 【予習:30分】 発表する際のポイントをリストアップしてくる。 【復習:50分】 論文執筆の構想から発表までの活動を振り返るワークシートの記入。 【担当】 高瀬

指導教員

高瀬 文広

先行履修要件科目

なし

テキスト

戸田山和久：最新版 論文の教室—レポートから論文まで．NHK出版,2022

参考文献

小林康夫,大澤真幸：「知の技法」入門．河出書房新社,2014．
岩崎美紀子：「知」の方法論—論文トレーニング．岩波書店,2013．
Murray, R．：How to Write a Thesis．Open University Press, 2006．

評価方法

授業への参加度 30%、プレゼンテーション（授業での発表）30%、課題等 40%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

本コースでは、感じること、考えること、他者にそれを話すこと、他者と話し合うこと、複合的な概念を組み立てること、不特定多数の他者にわかるように話すこと、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。また15回の講義を通して、レポート、卒業論文、研究論文等の作成方法を教授します。どの様なものが良い書き方なのか、どこに注意して書くのかについて実践的に詳しく学べます。

基礎ゼミナール

更新日：2024/01/29 14:05:46

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100310	授業コード	
担当教員	中山 晃志, 高瀬 文広, 柳井 圭子, 木村 涼平, 鎌田 ゆき, 高瀬 理恵子, 内田 文月, 高比来 ひとみ, 鈴鹿 綾子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1 (30)	

授業の目的

大学生としての学修スキルを身につけるために、各種情報の検索、文献の読解、文章の作成、プレゼンテーション、ディスカッション等の各技能を学ぶ。

指定規則上の教授内容

別表3：科学的思考の基盤

本科目で育成するDPの力

DP2-2【内省し、学び続ける力】

自らの将来に向かって、主体的かつ自律的に学ぶことができる。

到達目標

1	自分の考えや意見を分かりやすく正確に表現し、要点を的確に記述することができる。
2	テーマに沿って適切な情報の収集や読解をすることができる。
3	周囲とコミュニケーションを取りながら、協力して取り組むことができる。
4	建設的なディスカッションをすることができる。
5	個人やグループの考えをまとめ、明確に発表することができる。

授業計画

1	ガイダンス，大学を知る(1) 【授業内容】ガイダンス，自己紹介，テーマに沿って大学内を探索 【授業方法】演習（GW） 【復習】20分：ガイダンス内容を振り返り，授業への取り組みを考える 【担当】中山，ゼミ担当
2	大学を知る(2) 【授業内容】ゼミ別に大学マップを作成し，他ゼミと比較する 【授業方法】演習（GW） 【復習】20分：緊急時・非常時をイメージし，大学での動きを振り返る 【担当】ゼミ担当
3	大学での学修について 【授業内容】シラバスやカリキュラム，実習スケジュールなど4年間の流れを調べる 【授業方法】演習（GW／ICT双，ICT支援） 【復習】20分：4年間の学生生活をイメージする 【担当】中山
4	看護職への道 【授業内容】看護職への道について学ぶ 【授業方法】講義，演習（ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを文章化する〔レポート：次回開始までに提出〕 【担当】柳井
5	看護職へ向けた学生生活(1) 【授業内容】提出したレポートをもとに発表用パワーポイントを作成し，授業内に提出する 【授業方法】演習（ICT双，ICT支援） 【復習】30分：発表に向けた準備をする 【担当】ゼミ担当
6	看護職へ向けた学生生活(2) 【授業内容】前回作成したパワーポイントで発表し，共有する 【授業方法】演習（発表，討議／ICT双） 【復習】30分：他の人の発表も踏まえ学びを振り返る 【担当】ゼミ担当
7	マインドマップを考える 【授業内容】マインドマップを考える 【授業方法】講義，演習 【復習】30分：マインドマップを文章化する〔レポート：次回開始までに提出〕 【担当】高瀬(文)

8	それぞれのマインドマップ 【授業内容】各自のマインドマップについて発表し，共有する 【授業方法】演習（発表，討議） 【予習】30分：レポート内容の発表準備をする 【担当】ゼミ担当
9	文献データベース検索と文献の引用 【授業内容】文献データベースの検索や引用文献書き方について学び，演習する 【授業方法】講義，演習（GW／ICT支援） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】中山
10	児童虐待の発生と脳科学 【授業内容】児童虐待の発生と脳科学について学ぶ 【授業方法】講義，演習（GW／ICT双） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】木村
11	児童虐待を減らすための支援 【授業内容】児童虐待を減らすための支援について学ぶ 【授業方法】講義，演習（GW／ICT双） 【復習】30分：授業からの学びを振り返る 【担当】木村
12	「児童虐待」に関する文献検索(1) 【授業内容】各自で文献検索し，グループ内で文献の検討を行う 【授業方法】演習（GW／ICT双） 【復習】30分：収集した文献に目を通しておく 【担当】ゼミ担当
13	「児童虐待」に関する文献検索(2) 【授業内容】各自で論文を読み，内容の要約と考えをまとめる〔講義内課題提出〕 【授業方法】演習（ICT双，ICT支援） 【予習】30分：収集した文献に目を通しておく 【担当】中山
14	「児童虐待」に関する文献検索(3) 【授業内容】グループで個々の発表を行い，不足情報などを共有する〔講義内課題提出〕 【授業方法】演習（GW／ICT双） 【復習】30分：グループで共有した学びを振り返る 【担当】ゼミ担当
15	フィードバック，今後の大学生活を考える 【授業内容】フィードバックおよび今後の大学生活を考える 【授業方法】演習 【復習】30分：後期に向けての学修・生活にかかわる自己点検を行う 【担当】ゼミ担当

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じて電子資料を配布

参考文献

なし

評価方法

授業への参加度 40%
第3回から第5回に関わる評価試験 18%（レポート，パワーポイント）
第7回に関わる評価試験 12%（レポート）
第9回から第14回に関わる評価試験 30%（課題 4～5回）

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（学内ICTシステムおよびタブレット端末を活用した授業を行う）
ICT支援（Moodleを用いた自主学修支援を行う）

教員等の実務経験

メッセージ

本科目では「全体での学習」と担当教員別に分かれて行う小グループでの「ゼミナール（ゼミ別と記載）」とを組み合わせで行います。

英語Ⅰ

更新日：2023/12/11 09:52:03

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100320	授業コード	
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1 (30)	

授業の目的

国際的なコミュニケーションの主たる手段である英語を「読み」「書き」「聞き」「話し」「考える」ための基礎力を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して英語の基礎の定着と応用力を習得できる。
2	知識の習得から実践力（4技能）を強化できる。
3	自立した学習者を目指す自己学習法を習得できる。
4	異文化に関する知識とそれに対応する能力を獲得することができる。
5	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

授業計画

1	オリエンテーション Unit 1 動詞の形① 現在形・過去形 【授業方法】講義・演習(AL)・情報リテラシー（ICT）を活用したリアルタイムのライブ授業 【予習】60分：テキスト(p.20-p.34)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 001 Unit 001 【復習】90分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
2	Unit 2 動詞の形② 未来の表し方・進行形 Unit 2 動詞の形② 未来の表し方・進行形 【授業方法】演習（GW、発表）授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.35-p.50)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 002 Unit 002 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
3	Unit 3 Unit 3 動詞の形③ 完了形 Unit 3 Unit 3 動詞の形③ 完了形 【授業方法】演習（GW、発表）授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：テキスト(p.51-p.66)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S 動詞の形に関するR&W 文法 Unit 003 Unit 001 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
4	動詞復習 NA NEXT/ 評価試験① 動詞復習 NA NEXT 【授業方法】演習（GW、発表）授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】40分：動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動詞の形に関するL&S R&W 動詞の形に関する文法 Unit 004 Unit 003 【復習】40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者

5	Unit 4 受動態① 受動態の基本・助動詞が入った受動態・進行形/完了形の受動態 Unit 4 受動態① 受動態の基本・助動詞が入った受動態・進行形/完了形の受動態 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.67-p.82)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）受動態に関するL&S R&W 受動態に関する文法 Unit 005 Unit 004 Review 001 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
6	Unit 5 受動態② 授与動詞のある文の受動態・注意すべき受動態etc." Unit 5 受動態② 授与動詞のある文の受動態・注意すべき受動態etc." 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.83-p.98)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）受動態に関するL&S 受動態に関するR&W 文法 Unit 006 Unit 002 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
7	受動態復習 NA NEXT/ 評価試験② "受動態復習 NA NEXT" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：受動態の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）受動態に関するL&S R&W 受動態に関する文法 Unit 007 Unit 005 Review 001 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
8	Unit 6 助動詞① 助動詞の基本 "Unit 6 助動詞① 助動詞の基本" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.99-p.114)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）助動詞に関するL&S R&W 助動詞に関する文法 Unit 008 Unit 006 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
9	Unit 7 助動詞② 推量や可能性を表す助動詞・助動詞+have+過去分詞 "Unit 7 助動詞② 推量や可能性を表す助動詞・助動詞+have+過去分詞" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.115-p.130)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）助動詞に関するL&S 助動詞に関するR&W 文法 Unit 009 Unit 003 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
10	助動詞復習 NA NEXT/ 評価試験③ "助動詞復習 NA NEXT" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：助動詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）助動詞に関するL&S R&W 助動詞に関する文法 Unit 010 Unit 007 Review 002 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
11	Unit 8 仮定法① 仮定法の基本 "Unit 8 仮定法① 仮定法の基本" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.131-p.146)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）仮定法に関するL&S R&W 仮定法に関する文法 Unit 011 Unit 008 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
12	Unit 9 仮定法② should/were to・ifの省略・仮定法現在 "Unit 9 仮定法② should/were to・ifの省略・仮定法現在" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業ははじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.147-p.162)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）仮定法に関するL&S 仮定法に関するR&W 文法 Unit 012 Unit 004 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者

13	仮定法復習 NA NEXT/ 評価試験④ "仮定法復習 NA NEXT" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：仮定法の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 仮定法に関するL&S R&W 仮定法に関する文法 Unit 013 Unit 009 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
14	Unit 10 不定詞① 不定詞の基本・否定語の位置 "Unit 10 不定詞① 不定詞の基本・否定語の位置" 【授業方法】 演習（GW、発表）授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 【予習】 40分：テキスト(p.163-p.178)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 不定詞に関するL&S 不定詞に関するR&W 文法 Unit 014 Unit 005 【復習】 40分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
15	不定詞復習 NA NEXT/ 評価試験⑤とフィードバック 不定詞復習 NA NEXTとフィードバック 【授業方法】 演習（GW、発表）、フィードバック 授業はじめにspeakingのチェック、音読発表等 とフィードバック 【予習】 40分：テキスト(p.180-p.193)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） L&S R&W 文法 Unit 015 Review 001 Unit 010 Review 003 【復習】 40分：不定詞の復習、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 授業のフィードバック 【担当】 高瀬、授業担当補助者

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

木村達也：英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 ユメブン1.アルク,2013.
その他 配布プリント。

参考文献

赤尾好夫編：英語の総合的研究,旺文社,2010. （復刻版）
豊永彰：英文法ビフォー＆アフター,南雲堂,2009.
中原道喜：新英文読解法. 聖文新社,2003.

評価方法

授業への参加度 30%、クラスでの活動評価（発表）10%、e-learningの課題達成度と課題テスト20%、評価試験試験 40%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：インターネットを使用して、アルクエデュケーションのe-learningを自主学修支援として行う。e-learningのプログラムの中に設定されたTOEICの試験、実力テスト、学修課題等を活用する。

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

本科目では、全員がe-learningで学修しながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。授業は4クラス制で行い、共通教材と担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。TOEIC L&RテストまたはTOEICの模擬テストで400点をとれる学力をつけることができるように努力してください。

英語Ⅱ

更新日：2023/12/11 09:54:23

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100330	授業コード	
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

英語Ⅰで身につけた基礎力を基に、英文を読む力と英語で発信する力を向上させるとともに、自己学習能力を高める。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	2～4年で自分が行う英語学習の目標と計画を立てることができる。
2	英語の基礎の定着と応用力の習得ができる。
3	情報リテラシー（ICT）を活用したe-learningを使用して知識の習得と英語の実践力（4技能）を強化できる。
4	自立した学習者を目指し、自己学習法を習得することができる。
5	人や社会に関心をもち、多様性を理解することができる。

授業計画

1	Unit 11 不定詞② 意味上の主語・原形不定詞・完了不定詞・不定詞の受動態と進行形 etc. Unit 11 不定詞② 意味上の主語・原形不定詞・完了不定詞・不定詞の受動態と進行形 etc. 【授業方法】演習（GW、発表）、オリエンテーション 【予習】30分：テキスト(p.179-p.194)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
2	不定詞復習 NA NEXT/ 評価試験① 不定詞復習 NA NEXT 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】30分：不定詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）不定詞に関連したL&S R&W 文法 Unit 012 Unit 04 【復習】50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
3	Unit 12 動名詞① 動名詞の基本・意味上の主語・完了動名詞・動名詞の受動態 etc. Unit 12 動名詞① 動名詞の基本・意味上の主語・完了動名詞・動名詞の受動態 etc. 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】30分：テキスト(p.195-p.210)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動名詞に関連したL&S R&W 動名詞に関連した文法 Unit 013 Unit 09 【復習】50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
4	Unit 13 動名詞② 動詞+to不定詞または動名詞 Unit 13 動名詞② 動詞+to不定詞または動名詞 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】30分：テキスト(p.211-p.226)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者
5	動名詞復習 NA NEXT/ 評価試験② 動名詞復習 NA NEXYT 【授業方法】演習（GW、発表） 【予習】30分：動名詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題）動名詞に関連したL&S R&W 動名詞に関連した文法 Unit .14 Unit 009 Review 004 【復習】50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】高瀬、授業担当補助者

6	Unit 14 分詞① 限定用法と叙述用法 Unit 14 分詞① 限定用法と叙述用法 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.227-p.242)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 分詞に関連したL&S R&W 分詞に関連した文法 Unit 015 001 Unit 010 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
7	Unit 15 分詞② 分詞構文・with+独立分詞構文 etc. Unit 15 分詞② 分詞構文・with+独立分詞構文 etc. 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.243-p.258)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
8	分詞復習 NA NEXT/ 評価試験③ 分詞復習 NA NEXT 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：分詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 分詞に関連したL&S R&W 分詞構文に関連した文法 Unit 016 006 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
9	Unit 16 関係詞① 関係代名詞の基本・thatが好まれる場合 Unit 16 関係詞① 関係代名詞の基本・thatが好まれる場合 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.259-p.274)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 017 Unit 011 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
10	Unit 17 関係詞② 前置詞+関係代名詞・what・限定用法と非制限用法 Unit 17 関係詞② 前置詞+関係代名詞・what・限定用法と非制限用法 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.275-p.290)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 018 Unit 012 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
11	Unit 18 関係詞③ 関係副詞・複合関係詞 Unit 18 関係詞③ 関係副詞・複合関係詞 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.291-p.306)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
12	関係詞復習 NA NEXT/ 評価試験④ 関係詞復習 NA NEXT 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：関係詞の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 関係詞に関連したL&S R&W 関係詞に関連した文法 Unit 019 Unit 007 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
13	Unit 19 比較① 比較の基本・比較級／最上級の協調・各級間の書き換え Unit 19 比較① 比較の基本・比較級／最上級の協調・各級間の書き換え 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.307-p.322)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 020 Unit 013 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
14	Unit 20 比較② さまざまな比較表現 Unit 20 比較② さまざまな比較表現 【授業方法】 演習（GW、発表） 【予習】 30分：テキスト(p.323-p.338)中の読解課題の予習、辞書を使用して不明部分の認識 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者

15	比較復習 NA NEXT/ 評価試験⑤とフィードバック 比較復習 NA NEXTとフィードバック 【授業方法】 演習（GW、発表）、全15コマのフィードバック 【予習】 30分：比較の復習、辞書を使用して不明部分の認識 （課題） 比較に関連したL&S R&W 比較に関連した文法 Unit 021 Unit 14 【復習】 50分：テキスト中の用語の記憶、辞書を使用して不明箇所の確認、既習課題の音読 【担当】 高瀬、授業担当補助者
----	--

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

木村達也：英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 コメブン1.アルク,2013.
 その他 配布プリント。

参考文献

斎藤兆史：これが正し英語学習法.筑摩書房（ちくまプリマー新書）,2007.
 竹内 理：「達人」の英語学習法.思想社,2007.
 鳥飼玖美子：国際共通語としての英語.講談社（現代新書）,2011.
 中尊寺ゆつこ：やっぱり英語をしゃべりたい！.筑摩書房（ちくま文庫）, 2008.

評価方法

授業への参加度 30%、クラスでの活動評価（発表）10%、e-learningの課題達成度と課題テスト20%、評価試験試験 40%

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：インターネットを使用して、アルクエデュケーションのe-learningを自主学修支援として行う。e-learningのプログラムの中に設定されたTOEICの試験、実力テスト、学修課題等を活用する。

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

本科目では、全員がe-learningで学修しながら、①英語で発信するための基礎となる英文法と英文の構造を着実に理解し、②英文を理解する力、リスニング力を伸ばす。③TOEICに対応できる能力を獲得します。 授業は4クラス制で行い、教材は、「英語の達人になる！アルク学参シリーズ、夢をかなえる英文法 コメブン1」という共通教材と、担当者が独自に選んだ教材を組み合わせで用います。クラス毎の教材およびそれに基づく活動の予定は、コースの始めに示します。先に示した予習・復習の指示は共通教材に関するものです。クラス別教材についての予習・復習は、クラス担当の指示に従って行ってください。
 TOEIC L&R テストまたはTOEICの模擬テストで500点とれる学力をつけることができるように努力してください。

フランス語

更新日：2024/02/26 18:28:12

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100360	授業コード	
担当教員	河野 敦子						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

フランス語文法の基礎を学び、フランス語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	フランス語の基礎について理解することができる。
2	フランス語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
3	フランス語を通して、人々の暮らしや文化について学習することができる。

授業計画

1	0 課：オリエンテーションと身近にあるフランス語 [予習] 50分：身近にあるフランス語を探しましょう。 [復習] 30分：alphabet をフランス語で言いましょう。
2	1 課：フランス語で挨拶しましょう。 [予習] 50分：1 課 [復習] 30分：フランス語の挨拶を身につけましょう。
3	1 課：フランス語で足し算と引き算をしてみましょう。 [予習] 50分：1 課 [復習] 30分：0 ～ 100 までの数字を覚えましょう。
4	2 課：パンを買いましょう。 [予習] 50分：2 課 [復習] 30分：毎日使う不規則動詞 être を覚えましょう。
5	3 課：国籍を伝えましょう。 [予習] 50分：3 課 [復習] 30分：疑問文の作り方と答え方を確認しましょう。
6	3 課：今日授業があるか尋ねましょう。 [予習] 50分：3 課 [復習] 30分：毎日使う不規則動詞 avoir を覚えましょう。
7	3 課：出身都市や今いる場所、体調を伝えましょう。 [予習] 50分：3 課 [復習] 30分：être と avoir の使える表現を身につけましょう。
8	4 課：話せる言葉を確認しましょう。 [予習] 50分：4 課 [復習] 30分：フランス語の動詞の中で同じ活用が最多の第 1 群規則動詞 (-er 動詞) を覚えましょう。
9	4 課：好きなものを言いましょう。 [予習] 50分：4 課 [復習] 30分：不定冠詞・部分冠詞・定冠詞を区別しましょう。
10	5 課：市場で食べたいものを買いましょう。 [予習] 50分：5 課 [復習] 30分：便利な動詞 prendre とお買い物で使える数量表現を覚えましょう。
11	6 課：どちらか好きなホテルを選びましょう。 [予習] 50分：6 課 [復習] 30分：2 番目に同じ活用が多い第 2 群規則動詞 (-ir 動詞) を覚えましょう。
12	6 課：家族を紹介しましょう。 [予習] 50分：6 課 [復習] 30分：便利な動詞 faire を覚えましょう。
13	まとめ：評価試験と口述試験の準備 [予習] 50分：1 課～6 課 [復習] 30分：これまでに学んだことを確認しましょう。

14	評価試験 [予習] 50分：これまで学んできたことを復習しましょう。 [復習] 30分：これまで身につけてきたフランス語を振り返りましょう。
15	口述試験 [予習] 50分：自己紹介の練習をしましょう。 [復習] 30分：フランス語で言えるようになったことを確認しましょう。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

有富智世, 喜久川功, 黒田恵梨子, 田母神須美子, 服部悦子 著：なびふらんせ 1ーパリをめぐるー, 朝日出版社, 2016年

参考文献

中條屋進, 丸山義博, ガブリエル・メランベルジェ, 吉川一義 編：ディコ仏和辞典 (新装版), 白水社, 2016年

評価方法

フランス語による「聞く・話す」「読む・書く」という基礎的なコミュニケーション能力がどれくらい身についたかを評価基準とします。
評価試験 40% + 口述試験 20% + ミニ・テスト 20% + レポート 20% = 100%
評価試験はこれまでに学んだ学習内容の100点満点の試験から40% (最高40点)。
口述試験はフランス語による自己紹介 (最高20点)。
ミニ・テストは毎回の授業で身につけたフランス語の確認 (最高20点)。
レポートはフランスに関する内容でA4用紙4枚以上、表紙に具体的なテーマ・学籍番号・氏名・参考文献(書名・著者名・出版社名・発行年など)を明記し、結論を作成し、10月23日水曜24時までに提出することで20点。

本科目で取得が望ましい点数

総合得点60点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

講義概要

テキスト『なびふらんせ 1ーパリをめぐるー』は豊富なパリ情報や文化紹介の写真を見ながら、パリにいるイメージで学習が進みます。自然なフランス語を通してフランスでの生活や文化に触れ、「聞く・話す」「読む・書く」ために必要な基礎を固めます。まずフランス語の音に触れ、状況を目で見て想像力を働かせて理解するように努めます。その流れの中でフランス語の使い方を発見しましょう。文法を理解し語彙を増やしたら、フランス語をコミュニケーション・ツールとして使ってみます。状況に応じてフランス語が使えるよう、知り得た情報から考えながらフランス語で表現できるよう実践しましょう。このテキストはフランス語学習サポート教材 Web <なびふらんせ 1> を利用することができ、授業内容に沿って学習内容を振り返りながらゲームをするように語学学習を進めることができます。この授業ではテキスト前半6課まで進みます。

受講上の留意点

『ル・ディコ』などの仏和辞典を利用して必ず予習をし、これから何を学ぶのかを確認します。予習の段階でわからなかったことは授業で解決します。授業で学んだことは必ずその日のうちに1度見直し、復習することによって確実に身につけましょう。遅刻・欠席をせず、しっかり予習をして授業に参加しましょう。クラスでの会話練習などを積極的に楽しみ、毎週フランス語で伝えることができることを増やしましょう。6月と11月に行われる仏検で5級・4級合格を目指し、フランス語圏を1人で旅行できるようになることを目標としましょう。

中国語

更新日：2024/02/26 17:34:57

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100370	授業コード	
担当教員	秋吉 收						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

中国語文法の基礎を学び中国語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	中国語の基礎について理解することができる。
2	中国語圏で使える総合的なコミュニケーション能力を培うことができる。
3	中国語を通して、人々の暮らしやの文化について学習することができる。

授業計画

1	オリエンテーション 【授業方法】講義と演習 【予習】30分 内容：中国語の基礎項目を自分なりに調べておく。 【復習】50分 内容：授業で習った、中国（語）の周辺について自分なりに調べて理解を深めると共に、将来にどう活かしていくかシミュレーションを行う。 【担当】秋吉
2	発音（1）（2）声調と母音，子音 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（声調と母音）について教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
3	発音（3）（4）鼻音（-n，-ng），声調変化 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：発音（鼻音）について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
4	発音（5）発音のまとめと復習 【授業方法】講義と演習 【予習】50分 内容：ここまで習った発音を、繰り返し練習して授業に備える。 【復習】30分 内容：ノートや教科書の授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を再度確認すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
5	挨拶 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「挨拶」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
6	名前を尋ねる 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「名前の尋ね方、答え方」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
7	指示代名詞，動詞述語文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「動詞述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
8	疑問詞，助動詞“要”，反復疑問文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「疑問詞，助動詞“要”，反復疑問文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉

9	年齢の言い方，数詞 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「年齢の言い方，数詞」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
10	所有と存在，量詞 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「所有と存在，量詞」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
11	経験の表し方，形容詞述語文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「経験の表し方，形容詞述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
12	助動詞“要”，主述述語文 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「助動詞“要”，主述述語文」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
13	比較文，前置詞 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「比較文，前置詞」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
14	助動詞“可以”，動詞の重ね型 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「助動詞“可以”，動詞の重ね型」について、教科書に基づいた予習を行う。 【復習】40分 内容：授業内容を確実に押さえつつ、文法事項を確実に理解すると共に、実際に口頭で練習を繰り返す。 【担当】秋吉
15	方向補語，連動文、評価試験、まとめ（フィードバック） 【授業方法】講義と演習 【予習】40分 内容：「方向補語，連動文」について、教科書に基づいた予習を行う。また、これまで習った文法全体について、ノートや教科書を確認しておく。 【復習】40分 内容：1学期の授業で習った、発音や文法事項の全体を理解できているかももう一度確認し、修得した能力が今後活かせるように自分なりに考えて準備をしていく。 【担当】秋吉

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

別途指示する

参考文献

適宜紹介する

評価方法

評価試験 40%、口述試験 20%、レポート 40%

本科目で取得が望ましい点数

70点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

メッセージ

韓国語

更新日：2024/02/26 18:06:45

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100380	授業コード	
担当教員	張 慧珍						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

韓国語文法の基礎を学び韓国語圏の文化に触れるとともに、簡単な会話ができる能力を養う。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	コミュニケーション能力の向上及び韓国文化への理解を深めることができる
2	「ハングル」の構造について理解できる
3	「ハングル」の日本語表記（名前・地名など）ができる。
4	簡単な日常会話ができる。

授業計画

1	韓国語Ⅰの授業案内と挨拶表現 【授業方法】 講義 【お知らせ】 韓国語Ⅰの講義案内－課題・小テスト・定期試験及びフィードバックについて 【授業】 1．ハングルとは何なのか。 2．ハングルの仕組みについて 3．日常生活に用いられる挨拶表現 4．Quizletの使い方 【予習】 40分 授業資料を読む 【担当】 張
2	基本母音 【授業方法】 講義 【復習】 40分 挨拶表現及びハングルの構造について 【授業】 1．ハングルの仕組みと構造について 2．基本母音字母 【課題】 Quizlet 1（挨拶表現） 【予習】 40分 合成母音字母 【担当】 張
3	合成母音 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1．ハングルの仕組みと構造について 2．基本母音字母 【授業】 合成母音字母 【課題】 Quizlet 2 (基本母音字母語彙) 【予習】 40分 【担当】 張
4	合成母音と文字の構造 【授業方法】 講義 【復習】 40分 合成母音字母 【授業】 合成母音字母の構造と発音 【課題】 Quizlet 3（合成母音字母語彙） 【予習】 40分 基本子音字母 【担当】 張
5	基本子音字母と有声音化 【授業方法】 講義 【復習】 40分 合成母音字母の構造と発音 【授業】 1．基本子音字母 2．有声音化 【課題】 Quizlet 4 【予習】 40分 パッチム（받침） 【担当】 張

6	パッチム(받침) 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. 基本子音字母 2. 有声音化 【授業】 パッチム(받침)について 【課題】 Quizlet 5 （基本子音字母と有声音化の語彙） 【予習】 40分 【担当】 張
7	発音のコツと日本語のハングル表記 【授業方法】 講義 【復習】 40分 パッチム(받침) 【授業】 1. 発音のコツ 2. 日本語のハングル表記 【課題】 Quizlet 6 （パッチムの語彙） 【予習】 40分 【担当】 張
8	文字復習及び小テスト① 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. 発音のコツ 2. 日本語のハングル表記 【授業】 2週目の授業内容から7週目までの振り替え練習と小テスト 【課題】 【予習】 40分 【担当】 張
9	私は○○○です。① 【授業方法】 講義 【授業】 「～です、ます表現」 1. 主格助詞 2. ～です。 3. かしこまった丁寧形の作り方 【課題】 Quizlet 7 （日本語のハングル表記） 【予習】 40分 かしこまった丁寧形の作り方 【担当】 張
10	私は○○○です。② 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. 主格助詞 2. ～です。 3. かしこまった丁寧形の作り方 【授業】 1. かしこまった丁寧形の否定形 2. 主格助詞 3. 存在詞（かしこまった丁寧形①） 【課題】 Quizlet 8 【予習】 40分 【担当】 張
11	ガールフレンドがいますか。① 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. かしこまった丁寧形の否定形 2. 主格助詞 3. 存在詞 【授業】 1. 家族の呼び名 2. 自己紹介・家族紹介 【課題】 Quizlet9（かしこまった丁寧形②） 【予習】 40分 【担当】 張
12	ガールフレンドがいますか。② 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. 家族の呼び名 2. 自己紹介・家族紹介 【授業】 1. 固有数詞 2. 漢数詞 【課題】 Quizlet10（家族の呼び名） 【予習】 40分 【担当】 張
13	ガールフレンドがいますか。③ 【授業方法】 講義 【復習】 40分 1. 固有数詞 2. 漢数詞 【授業】 1. 時計の読み方 2. 年月日・曜日・年中行事 【予習】 40分 【担当】 張

14	文法と小テスト② 【授業方法】講義 【復習】40分 9週目から13週目までの文法内容の復習 【授業】 1. かしこまった丁寧形の作り方・否定形 2. 数詞（お金の数え方） 【課題】 小テスト② 【予習】40分 【担当】張
15	評価試験及びフィードバック 【授業方法】評価試験及びフィードバック 【復習】40分 総復習 【授業】評価試験（60分）及びフィードバック（30分） 【担当】張

指導教員

張慧珍

先行履修要件科目

なし

テキスト

毎回の授業資料をアップロードいたします。

参考文献

民衆書林編集部：NEWポータブル日韓・韓日辞典．三修社，2003．

評価方法

15回目の評価試験（40％）授業参加度（20％）課題（20％）小テスト（20％）

本科目で取得が望ましい点数

60点以上

ICTの活用・教育リソース

特になし

教員等の実務経験

メッセージ

毎回の授業に積極的に参加するように心がけましょう。

毎週の課題（Quizlet）には期限がありますので期限内に提出できるように取り組んで下さい。

赤十字原理・活動論（基礎）

更新日：2024/03/14 09:42:01

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100400	授業コード	
担当教員	小川 里美						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	－	単位	1 (30)	

授業の目的

赤十字の理念・歴史・活動について学び、赤十字の使命を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】

赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字の理念、基本原則を説明できる。
2	国際赤十字、日本赤十字社の成り立ち、活動について説明できる。
3	人道危機と赤十字の活動について説明できる。
4	赤十字の使命と期待される役割を考察できる

授業計画

1	赤十字の誕生とその背景 【授業内容】赤十字の創設者アンリー・デュナンの生涯と赤十字 【授業方法】講義 【復習】30分：アンリ・デュナンが赤十字創設に至った経緯をまとめる
2	赤十字の理念-人道について考える① 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義（GW） 【予習】30分：赤十字の理念・人道の意味を調べる
3	赤十字の理念-人道について考える② 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義（GW） 【復習】30分：人道の意味を考える
4	赤十字の理念-人道について考える③ 【授業内容】歴史や世界情勢から人道とは何かについて考える 【授業方法】講義（GW） 【復習】30分：人道の意味を考える
5	人道を具現化する-グループワーク 【授業内容】人道を実現するために私たちがすべきことは何か 【授業方法】講義（GW） 【予習】30分：人道とは何か、自分の考えをまとめる。
6	人道を具現化する-成果発表 【授業内容】グループワークの成果を発表する 【授業内容】発表 【復習】30分：人道とは何か、グループワークの内容をまとめる。
7	赤十字の基本原則 【授業内容】赤十字の基本原則の意味と意義 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字の基本原則についてまとめる。
8	国際人道法について 【授業内容】国際人道法とは何か 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際人道法についてまとめる。
9	国際赤十字のしくみ 【授業内容】赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社・赤新月社について 【授業方法】講義 【復習】30分：講義内容から国際赤十字の組織とその役割をまとめる。

10	国際赤十字の活動-赤十字国際委員会 【授業内容】赤十字国際委員会の活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：赤十字国際委員会の活動について調べる。
11	国際赤十字の活動-国際赤十字・赤新月社連盟 【授業内容】国際赤十字・赤新月社連盟の活動について 【授業方法】講義 【復習】30分：国際赤十字・赤新月社の活動について調べる。
12	日本赤十字社の成り立ちと歴史 【授業内容】佐野常民の生涯と日本赤十字社 【授業方法】講義 【復習】30分：日本赤十字社創立の経緯や活動をまとめる。
13	日本赤十字社の活動について 【授業内容】日本赤十字社の事業内容について 【授業方法】講義 【予習】30分：献血・血液センターの仕組みを調べ、まとめる。 【担当】ゲストスピーカー
14	赤十字の使命について－グループワーク 【授業内容】赤十字が果たすべき役割について考える W) 【復習】60分：発表資料をまとめる 【授業方法】演習（G
15	グループワーク発表、まとめ、フィードバック 【授業内容】授業全体の振り返り、赤十字への期待と赤十字の使命、フィードバック 【授業方法】講義 【復習】60分：講義全般をふまえ、赤十字の理念、原則、赤十字の活動について復習する。

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない。

参考文献

日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和4年度版．日本赤十字社，2022．
アンリ・デュナン著，木内利三郎訳：ソルフェリーノの思い出．日赤出版普及会，1969．
ジャン・ピクテ著，井上益太郎訳：赤十字の諸原則．日本赤十字社，1958．
ジャン・ピクテ著，井上忠男訳：解説赤十字の基本原則―人道機関の理念と行動規範．東信堂，2006．
吉川龍子：日赤の創始者佐野常民．吉川弘文館，2001．
この他、授業中に適宜紹介する。

評価方法

授業への参加度 10％ プレゼンテーション40％ 評価試験（レポート）50％ 提出時期は授業時間に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し、グループワークの学習成果を共有する）

教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び、赤十字病院での勤務経験、国際救援や開発協力の経験のある教員が講義を担当する。

メッセージ

なぜ、赤十字が誕生したのか、なぜ、赤十字が今も活動を続けているのか、国内外の情勢をふまえ、赤十字の存在意義を考えて下さい。

赤十字救護・援助法

更新日：2024/02/01 11:00:34

開講年度	2024	学期	通年	科目コード	A100420	授業コード	
担当教員	福島 綾子, 櫻本 秀明, 鴨川 めぐみ, 吉原 駿						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

赤十字救急法の知識、技術を習得し、災害・事故時に互いに助け合うボランティア精神をもって、行動する能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字救急法の知識・技術を習得できる。
2	赤十字の基本原則と赤十字救護・援助法の関連性が理解できる。

授業計画

1	【授業ガイダンス】、【赤十字救急法について】赤十字救急法救護員について、観察の基本・手当の基本、急病について（1） 【授業方法】講義 【復習】30分： 授業内容、事後課題 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
2	【赤十字救急法について】赤十字救急法救護員について、観察の基本・手当の基本、急病について（2） 【授業方法】講義 【予習】30分： 赤十字救急法講習教本 第1章：赤十字救急法救護員について、第6章：救護 【復習】30分： 授業内容、事後課題 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
3	【一次救命処置（BLS）：知識の確認】救命の連鎖、心肺蘇生のアルゴリズム、二次救命処置 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分： Moodle上の事前学習の資料を確認する 【復習】30分： 授業内容、小テスト① 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
4	【一次救命処置（BLS）：実践】胸骨圧迫、人工呼吸 【授業方法】演習（実技） 【復習】30分： セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
5	【一次救命処置（BLS）：実践】心肺蘇生法（BLS）の実践、AEDを用いた除細動、気道異物除去（1） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分： セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 【復習】30分： 心肺蘇生法の手技についてピア評価を受ける 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
6	【一次救命処置（BLS）：実践】心肺蘇生法（BLS）の実践、AEDを用いた除細動、気道異物除去（2） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分： セルフチェックリストを活用し、①胸骨圧迫、②人工呼吸の手技を確認する 【復習】30分： 小テスト② 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原

7	【外傷初期診療における看護活動】外傷とは、外傷初期診療における看護活動の実際、標準的外傷初期診療のアルゴリズム 【授業方法】講義（ICT支援） 【予習】30分： Moodle上の事前学習の資料を確認する 【復習】30分： 授業内容、小テスト③ 【担当】福島
8	【応急処置】応急処置の基本、三角巾の基本的な使い方 【授業方法】講義、演習（実技） 【予習】30分： 赤十字救急法講習教本 第3章：けが、第4章：きずの手当、第5章：骨折の手当 【復習】30分： 三角巾の基本的な使い方を練習する 【担当】福岡県支部職員
9	【応急処置：けが・きずの手当】止血の実践、包帯法の実践、固定法の実践（1） 【授業方法】講義、演習（実技） 【予習】30分： 授業資料の復習、三角巾の基本的な使い方を練習する 【復習】30分： 三角巾を用いた固定法についてピア評価を受ける 【担当】福岡県支部職員
10	【応急処置：けが・きずの手当】止血の実践、包帯法の実践、固定法の実践（2） 【授業方法】講義、演習（実技） 【予習】30分： 授業資料の復習、三角巾の基本的な使い方を練習する 【復習】30分： 三角巾を用いた固定法についてピア評価を受ける 【担当】福岡県支部職員
11	【応急処置：搬送】搬送法の実践、頸椎の保護、ログロール／ログリフト（1） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分： 赤十字救急法講習教本 第6章：搬送 【復習】30分： 授業内容 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
12	【応急処置：搬送】搬送法の実践、頸椎の保護、ログロール／ログリフト（2） 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分： 赤十字救急法講習教本 第6章：搬送 【復習】30分： 小テスト④ 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
13	【総合実技：練習】総合実技に向けての技術の確認 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分： これまでの授業資料の確認 【復習】30分： 総合実技に向けての知識と手技の確認 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
14	【総合実技：実践】多数傷病者に対する適切な応急処置の実践（1） 【授業方法】演習（実技、発表） 【予習】30分： これまでの授業資料の確認、学習した手技の確認・習得 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原
15	【総合実技：実践】多数傷病者に対する適切な応急処置の実践（2） 【授業方法】演習（実技、発表） 総合実技をふまえてのフィードバック 【予習】30分： これまでの授業資料の確認、学習した手技の確認・習得 【復習】15分： 小テスト⑤ 【担当】福島、櫻本、鴨川、吉原

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

日本赤十字社編：赤十字救急講習教本（第15版）

参考文献

- 1) 一般社団法人日本蘇生協議会監修：JRC蘇生ガイドライン2020．医学書院，2021．
 - 2) American Heart Association著：AHA心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン2020．シナジー，2021．
 - 3) 一般社団法人日本救急看護学会監修：改訂第4版外傷初期看護ガイドライン（JNTEC）．へるす出版，2018．
 - 4) 日本赤十字社：赤十字のしくみと活動 令和4年度版．日本赤十字社，2022．
 - 5) 日本赤十字社講習内容 <https://www.jrc.or.jp/study/safety/>
 - 6) 日本赤十字社電子講習室 <https://www.jrc.or.jp/lp/webcross/>
- その他、適宜提示する

評価方法

授業参加度：20%
 第3回、6回、7回、12回、15回で行う評価試験（小テスト）：30%（小テスト）
 第14・15回に実施する評価試験（総合実技）：40%
 事前・事後課題：10%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodle等を活用した自主学習支援を行う。

教員等の実務経験

救急領域での臨床経験のある教員が担当する。また、日本赤十字社福岡県支部の救急法インストラクターが指導を担当する。

メッセージ

赤十字の理念を理解し、けが人や急病人などの傷病者を助けるための方法を学びます。赤十字の大学で看護学を学ぶ者として、災害時や事故発生時はもちろんのこと、日常生活においても人々を救うための方法をしっかり学び、その技術を獲得してください。

ボランティア実践

更新日：2024/02/26 17:59:24

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100430	授業コード	
担当教員	小田 哲也						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

ボランティア活動を通して、国際交流・支援、災害救援・支援、地域の活動などに必要なボランティアの考え方とNGO・NPO・地域の活動について理解する

指定規則上の教授内容

別表3：健康支援と社会保障制度

本科目で育成するDPの力

DP3-2【人や社会をみる力】

人や社会の課題を発見し、その解決に向けて他者と協働できる。

到達目標

1	ボランティアに関する様々な捉え方とその多様な形態を理解し、説明することができる。
2	様々なボランティア実践者の話を聞き、ワークショップ等を通して自分の考えを整理しながら、ボランティアに必要な感性を身につけることができる。
3	演習を通してボランティア活動を行うための実践力を養うと共に、各自のボランティア観を形成し、社会課題の解決に取り組むことができる。

授業計画

1	オリエンテーション ボランティアとは？①：一般的なイメージと本来の意味 レクリエーションを介し、グループ分けを実施 【授業方法】講義 ワークショップ（GW） 【予習】30分 ボランティアとはなにか？ 自分なりに考えておく
2	ボランティアとは？②：歴史と文化的・宗教的背景、現代的課題、NPO／NGOについて 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 ボランティアの概念について、その他、歴史や現代的課題に関して整理する
3	ボランティアとは？③：多様な形態とその意義について（国内／海外、短期／長期、緊急援助／開発協力等） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】30分 ボランティアの多様な形態について調べておく
4	ボランティアの実例①：地域でのボランティア活動事例紹介 【授業方法】講義 【復習】30分 地域で育てられたことに関して確認し、保護者等と振りかえりをする
5	ボランティアの実例②：被災地でのボランティア活動事例（国際緊急援助隊 医療チーム） 【授業方法】講義 【予習】30分 医療に関する国際緊急援助についての事前調査
6	ワークショップ①：被災地でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 被災地で自分にできることを整理する
7	ボランティアの実例③：海外でのボランティア活動事例（看護師） 【授業方法】講義 【予習】30分 青年海外協力隊についての事前調査（経験者を招いて）
8	ワークショップ②：海外でのボランティア活動について 【授業方法】講義・討議（GW） 【復習】30分 海外でのボランティアについて考え、整理する
9	事例演習①：ボランティア活動計画表の説明（論理的に考える） 【授業方法】講義・討議（GW） 【予習】30分 論理的に物事を考え、計画を立てることに関し、事前調査しておく
10	事例演習②：ボランティア活動計画表の作成（問題意識と課題設定） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画の課題設定、上位目標に関して確認する
11	事例演習③：ボランティア活動計画表の説明・作成（プロジェクト目標・達成のための必要事項） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【予習】30分 ボランティア活動計画の課題、上位目標を確認し、プロジェクト目標とは何か考える
12	事例演習④：ボランティア活動計画表の説明・作成（具体的な活動内容） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画のプロジェクト目標、必要事項、活動内容等を確認する

13	事例演習⑤：ボランティア活動計画表の説明・作成（活動の到達点・実施者等） 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【予習】30分 ボランティア活動計画の未記入部分を考える
14	事例演習⑥：既習内容のまとめと講義及び発表最終準備 【授業方法】講義・討議（GW）・演習 【復習】30分 ボランティア活動計画発表の最終確認
15	グループ毎に演習の発表 ① 課題レポートへのフィードバック 【授業方法】発表（GW） 【予習】60分 ボランティア活動計画発表準備

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

必要に応じてプリントを配布

参考文献

- 1) 岡本 栄一：学生のためのボランティア論． 社会福祉法人 大阪ボランティア協会，2006
- 2) 柴田 謙治・原田 正樹・名賀 亨一：ボランティア論―「広がり」から「深まり」へ．（株）みらい，2010
- 3) 桜井 政成：コミュニティの幸福論 助け合うことの社会学. 明石書店, 2020.
- 4) 國井 修：国家救済医 私は破綻国家の医師になった 角川書店，2012
- 5) 島田 恒：NPOという生き方 PHP新書，2005

評価方法

授業への取り組み（毎回小課題）50%、プレゼンテーション10%、課題レポート（最終課題）40%

本科目で取得が望ましい点数

プレゼンテーション力：グループで100点満点の65点

課題レポート：100点満点の75点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

JICA青年海外協力隊OV（南米コロンビア 青少年活動）

国際緊急援助隊医療チーム（登録医療調整員）ハイチ（2010）・トルコ（2023）派遣経験あり

国際緊急援助隊感染症チーム（登録医療調整員）

メッセージ

「ボランティア」という言葉が持つ幅広い意味を体系的に理解し、社会活動におけるその必要性や可能性を体感して欲しいと考えています。ボランティア活動は基本的に「必要な場面」で「できること」を「自発的」に行なうものです。その実践において「対話」「信頼関係」「協働」を意識することで、支援者・被支援者が共にその成果を喜び、お互いが成長することができる活動となります。看護師の資質として、「ボランティア精神」というものは必須と感じます。そこで、ボランティアとは何か？再度、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。さらに、物事を論理的に考え、提案できるボランティア活動計画を立て、プレゼンテーションをしていただきたいと思います。

異文化コミュニケーション

更新日：2023/12/11 09:41:35

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100440	授業コード	
担当教員	高瀬 文広						
備考	選択/必修：選択科目 授業形態：演習						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (30)	

授業の目的

国内外の研修を通して、異文化に対する観察力および想像力ならびに自文化への内省および分析力を涵養する。

指定規則上の教授内容

別表3：人間と生活・社会の理解

本科目で育成するDPの力

DP3-1【人や社会をみる力】

人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができる。

到達目標

1	人や社会に関心を持ち、多様性を理解することができるとともに、国際的文脈でコミュニケーションをする力を伸ばすための学習技能を活用することができる。
2	コミュニケーションにおける文化の役割と影響について知り、それに配慮するための行動と態度を取ることができる。
3	複数の人々と協力して、「適切な発表の準備と実行」を行う能力と態度を取ることができる。
4	体験を内省し記録することを通じて、内省から新たな目標を認識する態度と能力を活用することができる。

授業計画

1	研修準備1：目標および活動内容の確認と計画 【授業方法】演習（討議、GW、発表）：オリエンテーション 【予習】本科目を受講して達成すべき個人の目的・目標を明確にする。 【復習】海外に出る上での基本的手続きと学習活動内容を確認し、必要な準備を認識する。これに基づいて、発表および交流活動の準備を始める。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
2	研修準備2：発表主題探索 研修準備2：発表主題探索：コミュニケーションのリニアモデルについて 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】相手国の学生との活発な議論を誘発すると思われる話題や論点を考え、情報を収集して、主題案を構想する。 【復習】発表の主題を文章化する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
3	研修準備3：主題および論点の決定 研修準備3：主題および論点の決定：ことばを使用しない挨拶 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】主題を決定し、議論の展開を予測して構成を考える。 【復習】具体的な発表資料を作成する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
4	研修準備4：発表案の検討 研修準備4：発表案の検討：署名と印鑑 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】発表案を他のグループに示し、相互にコメントする 【復習】コメントに基づいて修正する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
5	研修準備5：発表・挨拶予行 研修準備5：発表・挨拶予行：西欧人の名前の起源 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】予行で明らかになった問題に対し必要な修正を行う。 【復習】さらに練習を積む。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬

6	研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など 研修活動1：開講式、挨拶、自己紹介など：自分を知る・右脳と左脳、心理学 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
7	研修活動2：Session 1 A班、B班の発表およびQA 研修活動2：Session 1 A班、B班の発表およびQA：ジョハリの窓 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
8	研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA 研修活動3：Session 1 C班、D班の発表およびQA：映画を利用した異文化理解 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
9	研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA 相互評価 研修活動4：Session 1 E班の発表およびQA 相互評価：BAHABAHAによる異文化体験 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、発表練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
10	研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA 研修活動5：Session 2 A班、B班の発表およびQA：アメリカの映画にみられる日本人への偏見 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
11	研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA 研修活動6：Session 2 C班、B班の発表およびQA：\$10プロジェクト① 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
12	研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA 相互評価 研修活動7：Session 2 E班の発表およびQA 相互評価：\$10プロジェクト② 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
13	研修活動8：閉校式、スピーチ 諸施設訪問でのインタビュー 研修活動8：外国人からみた不思議な日本の習慣や社会についてプレゼンテーション準備① 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】当日の研修活動計画を確認し、口頭発表の練習をする。 【復習】印象、活動結果、所感を記録する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
14	内省と記録：報告書作成計画、個人および共働活動の内省と執筆 研修活動9：外国人からみた不思議な日本の習慣と社会についてプレゼンテーション準備と発表② 【授業方法】演習（討議、GW、発表） 【予習】相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】班および全体としての活動に関する内省を共有する。報告書の構成と編集方法を定める。班としての報告文の分担部分および個人としての報告文を作成する。 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬
15	フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ フィードバック（執筆原稿にもとづき、成果と理解が不十分な点を中心に説明する）とまとめ 【授業方法】演習（討議、GW、発表）とフィードバック 【予習】相互にコメントする。必要な修正を行い、完成させる。報告書の原稿を編集・校正をする。 【復習】授業の振り返り 【取組時間】予習30分 復習30分 【担当】高瀬

指導教員

高瀬 文広

先行履修要件科目

なし

テキスト

配布物

参考文献

E. T. ホール（訳：國弘正雄、永井善見、斉藤美津子）：沈黙の言葉．南雲堂,1996．
リチャード・ルイス（訳：阿部朱里）：文化が衝突するとき．南雲堂,1996．
エリン・メイヤー（監訳：田岡恵,訳：樋口武志）：異文化理解力. 英治出版,2015．
井上逸兵：伝わるしくみと異文化間コミュニケーション．南雲堂,1999．
金子光茂,リチャード・H・シンプソン：英語脳の鍛え方．南雲堂,1996．
久米昭元,長谷川典子：ケースで学ぶ異文化コミュニケーション．有斐閣,2007．
八代京子　他：異文化トレーニング.三修社,2009．

評価方法

授業参加度　30%、事前プレゼンテーションの完成度（PP作成+英訳）30%、授業での小テスト　20%
研修現場での役割実行（スピーチ、プレゼンテーションの完成度）20%

本科目で取得が望ましい点数

80点

ICTの活用・教育リソース

教員等の実務経験

外国の学会での学術誌の編集、海外で開催される国際学会での発表、国際的な研究のコーディネート、英語文献の翻訳・出版、英語論文執筆指導、海外渡航など、国際的な場を多く経験し、専門分野として映画などの映像を利用した「英語学修法の研究」や「対人コミュニケーション」を研究している教員が担当します。

メッセージ

「国際的」であるとはどういうことなのか―国際的な視点と思考、国際的な精神、国際的な姿勢・態度などについて、概念化し、国際的な場での的確な行動がとれるようにすることを目指してください。

看護学概論

更新日：2024/02/27 14:07:18

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100450	授業コード	
担当教員	阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

人間の生命と尊厳を守り、最適な健康状態を実現するという看護の本質を理解するために、基本となる概念や看護倫理、看護独自の役割・機能について学び、「看護とは何か」について探究する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	看護提供者の位置づけについて説明できる
2	人間の尊厳を擁護するために必要となる視点を説明できる
3	看護の基本となる概念（人間、健康、環境、看護）について説明できる
4	「看護とは何か」について、自己の考えを述べるができる

授業計画

1	本授業の位置づけと全体像を概観する/看護を学ぶにあたって自己の出発点を確認する 【授業内容】カリキュラムの中での本科目の位置づけ、看護学を学ぶにあたって必要となる視点、看護に対する自己の考え方の出発点の確認 【授業方法】講義（討議） 【予習】20分：「学生便覧/履修の手引き」および「シラバス」でカリキュラムの中での本科目の位置づけを確認しておく 【復習】20分：テキスト1）p.2-8必読。現時点における自己の看護に対する考えをまとめる
2	看護提供者の位置づけについて理解する 【授業内容】日本における看護職の資格と養成制度、就業状況、ジェネラリストとスペシャリスト 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.150-168必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
3	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（1）：現代医療における倫理的課題、患者の権利 【授業内容】現代医療における倫理的問題、医療をめぐる倫理の歴史的経緯、患者の権利、なぜ倫理について学ぶ必要があるのかを考える 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.186-199、374-376必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
4	生命（いのち）と人間の尊厳について考える（2）：職業倫理としての看護倫理 【授業内容】職業倫理としての看護倫理（国際看護師協会「ICN看護師の倫理綱領」、日本看護協会「看護者の倫理綱領」）、看護職は生命と人間の尊厳にどのように関わるのかを考える 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.199-218、370-376必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
5	〈看護の基本となる概念①〉看護の対象である「人間」について理解する（1） 【授業内容】事例を通して対象理解の重要性や看護の視点から「人間」を捉える必要性について考える 【授業方法】講義（GW） 【予習】40分：テキスト1）p.78-106必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
6	〈看護の基本となる概念①〉看護の対象である「人間」について理解する（2） 【授業内容】人間を理解する諸側面（全体的存在、基本的欲求、成長発達、生活者としての人間） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.78-106必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
7	〈看護の基本となる概念②〉看護の目標となる「健康」について理解する 【授業内容】健康の捉え方（定義、権利としての健康、捉え方の変遷）、健康と生活、クオリティオブライフ（QOL） 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.108-115必読。自分にとってどのような状態が健康であるか、健康でないかを考えておく 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う

8	〈看護の基本となる概念③〉人間を取り巻く「環境」について理解する 【授業内容】環境の捉え方（定義、環境を捉える視点）、環境への適応機構（ホメオスタシス、コーピング、防衛機制） 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.81-93必読 【復習】20分：環境の変化によって生じた自己の反応を知識を活用して分析する
9	保健医療福祉を取り巻く状況と、その中での看護の役割について考える 【授業内容】保健医療福祉を取り巻く状況（国民の健康状態、ライフサイクル、地球規模で生じている健康課題等）とその中での看護の役割 【授業方法】講義（討議） 【予習】40分：テキスト1）p.115-136必読。保健医療関連の気になるニュースを調べ、まとめておく 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
10	〈看護の基本となる概念④〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（1） 【授業内容】看護活動の場、場を規定する法律、看護活動の場の拡大と課題（看護の継続性、チーム医療、多職種との連携・協働） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.223-246、59-76必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
11	〈看護の基本となる概念④〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（2） 【授業内容】看護独自の役割機能を法律、看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（1） 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.39-60必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
12	〈看護の基本となる概念④〉看護活動の場および看護独自の役割・機能について理解する（3） 【授業内容】看護独自の役割機能を法律、看護理論家・看護職能団体の見解から捉える（2） 【授業方法】講義（討議） 【予習】60分：課題レポートの提出 【復習】60分：講義を受けた後課題レポートを仕上げ提出する
13	看護の歴史の変遷について理解し、これからの看護の目指すべき方向性について考える 【授業内容】歴史にみる看護の形態の変化、看護の専門職化に向けての動き（アメリカ）、日本の職業としての看護の変遷、評価試験：課題レポート 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.138-162必読。日本において、職業としての看護はどのようにしてつくられてきたのか概要を整理しておく 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
14	看護理論の発展経緯と代表的な看護理論の概要を理解する 【授業内容】看護理論とは、看護理論を学ぶ意義、看護理論の発展経緯、主な看護理論の焦点 【授業方法】講義 【予習】40分：テキスト1）p.23-46、354-359必読 【復習】20分：疑問点の追加学習を行う
15	看護とは何か、これから看護学をどのように学んでいくかを考える 【授業内容】将来のキャリア像、看護に対する自己の考え、授業目標の達成状況、レポートのフィードバック等から、各自がこれから看護学をどのように学んでいくかを考える、評価試験：小テスト 【授業方法】講義（ICT双）、レポートフィードバック 【予習】40分：科目全体の学習内容について、各自でまとめをしておく 【復習】小テストを受ける

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

- 1) 茂野香おる他：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学（1）看護学概論（第17版）．医学書院，2023．
- 2) Nightingale, F. ：Notes on Nursing:What It Is, and What It Is Not. 1860，湯楨ます他訳：看護覚え書（改訂第7版）．現代社，2011．
- 3) Henderson, V. ：Basic Principles of Nursing Care. 1977，湯楨ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの（再新装版）．日本看護協会出版会，2016．

参考文献

適宜紹介する

評価方法

第13回評価試験：課題レポート（40％）、第15回評価試験：小テスト（30％）、学修課題をまとめたノート（10％）、授業への取り組み（20％）にて総合的に評価する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

講義中にタブレット画面をミラーリングで活用し、提出された課題のFBや討議を行う。

教員等の実務経験

看護師としての臨床経験のある教員が、その経験を事例として活用しながら、看護とは何かを各自が探究できるように授業を行う。

メッセージ

看護とは何でしょうか？看護職は何をする人でしょうか？社会の人たちが看護職に求めていることはどのようなことでしょうか？
皆さんは、これから看護学を学ぶ者として主体的に授業に参加し、自分自身の考えを深めていく姿勢を養ってください。

フィジカルアセスメント

更新日：2024/02/28 09:29:09

開講年度	2024	学期	通年	科目コード	A100470	授業コード	
担当教員	小手川 良江, 高堂 香菜子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (60)	

授業の目的

看護ケアの必要性を判断するフィジカルアセスメントの理論と方法を理解し、基本的診査技法を身につける。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	フィジカルアセスメントにおける原理・原則を述べることができる
2	フィジカルアセスメントに必要な知識・技術を習得することができる
3	得られた情報から対象者の状態を判断することができる
4	看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけることができる

授業計画

1	フィジカルアセスメントの総論 【授業方法】講義 【予習】60分：テキスト1)p79-81、テキスト2)p2-6を熟読する。 【担当】小手川
2	フィジカルアセスメントの基礎知識、フィジカルアセスメントに必要な診察技術 【授業方法】講義、演習 【予習】30分 ①フィジカルアセスメントの基礎知識（胸骨角、基準線、腹部の9区分、診察技法）：テキスト2)p108-109、p170-171、p7-22を確認し、ノートにまとめる。 ②胸腹部前面と背面からの臓器（気管、肺、心臓、横隔膜、食道、胃、十二指腸、小腸、大腸、肝臓、膀胱、脾臓、腎臓）をノートなどに描く。 【復習】60分 臓器の位置、胸骨角、胸郭の基準線、腹部の9区分について調べ臓器Tシャツを作成する。 【担当】小手川
3	生命徴候（バイタルサイン）の基礎知識 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】90分：テキスト1)p145-167、テキスト2)p34-83を熟読し手順をまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 テキスト2)p42、p58、p69、p80のWeb動画を視聴する。 【担当】小手川
4	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習（反転） 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を確認する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川
5	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川
6	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川
7	生命徴候（バイタルサイン）体温、脈拍、呼吸、血圧の測定 【授業方法】演習 【予習】30分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【復習】60分：体温、脈拍、呼吸、血圧の測定を練習する。 【担当】小手川

8	生命徴候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 演習 【予習】 30分：血圧の測定を練習する。 【復習】 60分：血圧の測定を練習する。 【担当】 小手川
9	生命徴候（バイタルサイン）血圧の測定技術確認 【授業方法】 演習 【予習】 30分：血圧の測定を練習する。 【復習】 60分：血圧の測定を練習する。 【担当】 小手川
10	腹部のフィジカルアセスメントの基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)p260-274、テキスト2)p170-188を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。消化器系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
11	腹部のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：腹部のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】 小手川
12	腹部のフィジカルアセスメント 腹部のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】 小手川
13	呼吸器系（胸郭・肺）の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)p218-228、テキスト2)p100-136を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。呼吸器系（循環器系も含む）の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
14	呼吸器系（胸郭・肺）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：呼吸器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】 小手川
15	呼吸器系（胸郭・肺）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】 小手川
16	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 90分：テキスト1)229-241、テキスト2)p138-169を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。循環器系（呼吸器系も含む）の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
17	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習（反転） 【予習】 90分：循環器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】 小手川
18	循環器系（頸部・胸部・末梢循環）のフィジカルアセスメント 【授業方法】 演習 【復習】 60分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】 小手川
19	脳・神経系の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 60分 テキスト1)305-325、テキスト2)p226-304を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。脳・神経系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
20	筋・骨格系の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 60分 テキスト1)p326-353、テキスト2)p221-229を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。筋・骨格系の構造と機能について復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川
21	甲状腺・リンパ節の基礎知識 【授業方法】 講義（オンデマンド・ICT支援） 【予習】 60分：テキスト2)p90-99、p210-212（腋窩・鎖骨リンパ節の触診の評価）、テキスト2)184-190を熟読しフィジカルアセスメントの手順をまとめる。甲状腺・リンパ系の構造と機能についての復習しノートにまとめる。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【担当】 小手川

22	脳・神経系（意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能）のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習（反転） 【予習】90分：循環器系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【担当】小手川
23	脳・神経系（意識、脳神経、運動機能、反射、感覚機能）のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習 【復習】60分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】小手川
24	筋・骨格系（歩行の異常、関節可動域の測定、徒手筋力テスト）のフィジカルアセスメント、 【授業方法】演習（反転） 【予習】60分：筋・骨格系のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【復習】30分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】小手川
25	甲状腺・リンパ節のフィジカルアセスメント 【授業方法】演習（反転） 【予習】60分：甲状腺・リンパ節のフィジカルアセスメントの手順を確認する。 【復習】30分：フィジカルアセスメントの結果、気づきなどをまとめる。 【担当】小手川
26	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習 【予習】90分：腹部・呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメントについて復習する。 【担当】小手川、高堂
27	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習 【復習】90分：フィジカルアセスメントの発表内容をまとめる。 【担当】小手川、高堂
28	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習（発表） 【予習】90分：フィジカルアセスメントの発表内容をまとめる。 【担当】小手川、高堂
29	総合演習：フィジカルアセスメントの一連を実施する（腹部・呼吸器系・循環器系） 【授業方法】演習（発表） 【復習】60分：発表後の学びや気づきをまとめる。 【担当】小手川、高堂
30	看護実践におけるフィジカルアセスメントの意義、まとめ 課題フィードバック 【授業方法】講義（オンデマンド・ICT支援） 【復習】60分：フィジカルアセスメントで学習した内容について復習する。疑問についてはMoodleなどを使ってディスカッションし、理解を深める。 【フィードバック】課題についてのフィードバック 【担当】小手川

指導教員

小手川良江 高堂香葉子 阿部オリエ 隈井寛子 鬼丸美紀 添田梨香

先行履修要件科目

なし

テキスト

テキスト1)松尾ミヨ子 他監修：基礎看護学②基礎看護技術Ⅰコミュニケーション/看護の展開/ヘルスアセスメント. メディカ出版，2023.
テキスト2)熊谷たまき 他監修：看護がみえるvol.3 フィジカルアセスメント. メディックメディア，2019.

参考文献

Gerard, T., et al. : Introduction to the human body (11th ed.). 2019, 佐伯由香, 他編訳：トートラ人体解剖生理学（原著11版）. 丸善出版，2020.
Richard, D., et al. : Gray's anatomy for students (4th ed.). 2020, 秋田恵一訳：グレイ解剖学（原著第4版）. エルゼビア・ジャパン，2021.
山内豊明：山内豊明教授のフィジカルアセスメント全巻（DVD）. ビデオ・バック・ニッポン/京都科学，2004-2005.

評価方法

技術試験10％、評価試験90％（第9回～第29回の課題70％、最終課題20％）

本科目で取得が望ましい点数

85

ICTの活用・教育リソース

ICT支援：Moodleを活用した自主学习支援を行う。

教員等の実務経験

様々な分野における臨床経験を有する教員が、臨床で活かせるフィジカルアセスメントの基礎について講義演習を行う。

メッセージ

フィジカルアセスメントは、2年生で学ぶ看護過程や看護過程の展開実習につながる重要な科目です。また、人体の構造と機能、疾病と治療などの科目で学んだ知識を基礎にしてフィジカルアセスメントを行います。そのため、演習の前には、人体の構造と機能、疾病と治療、フィジカルアセスメントの方法を中心に予習を行ってください。演習後には、不足した知識の復習や技術練習に取り組んでください。

看護技術は、演習の中だけで身につけることはできません。演習の予習復習が重要になります。予習・演習・復習を繰り返すことで、看護を学ぶ基本的な学習姿勢・態度を身につけてください。

日常生活援助技術

更新日：2024/02/27 16:46:17

開講年度	2024	学期	通年	科目コード	A100480	授業コード	
担当教員	添田 梨香, 隈井 寛子						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：演習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (60)	

授業の目的

看護における技術の特性、原理・原則を学び、日常生活援助を行うための基本的な看護技術を習得する

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-2【看護を実践する力】

人々の健康課題に対して多角的な視点から根拠に基づいた解決策を導き出し、実践・評価することができる。

到達目標

1	看護援助における生活援助技術の特性、原理・原則を理解することができる
2	看護援助に共通する基本技術の意義・根拠を理解することができる
3	人間の日常生活行動の意味を理解し、基本的な援助技術を実施することができる
4	看護技術を学ぶにあたり、基本的な学習姿勢を身に着けることができる

授業計画

1	看護技術の概念および特徴、看護技術に共通する要素、ガイダンス① 【授業方法】講義 【予習】30分：テキスト1) p.17～p28を熟読する。 【復習】30分：授業で学んだことの復習をし理解をする。 【担当】添田
2	安全・安楽の意義、快適な環境を作る技術 【授業方法】講義 【予習】30分：安全・安楽の意義（テキスト1)p44、p84-90）、快適な環境を作る技術（テキスト1)p29-42）を熟読する。 【復習】30分：授業で学んだことの復習をし理解をする。 【担当】隈井
3	ガイダンス②、感染予防を推進する技術（感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱）、ボディメカニクス、ベッドメイキング 【授業方法】演習（実技） 【予習】60分：感染防止を推進する技術（テキスト1)p113-p146）、ボディメカニクス（p97-p106）を熟読し、感染防止を推進する技術（テキスト1)p103、p105、p106の動画）、ベッドメイキング（テキスト1)p37の動画）の動画を視聴する。 【担当】隈井
4	感染予防を推進する技術（感染防止の基礎知識、標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱）、ボディメカニクス、ベッドメイキング 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：第3～4回授業の復習後、小テスト①を受ける。 【担当】隈井
5	ベッドメイキング、個人防護具の着脱 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：技術練習をする。 【担当】隈井
6	ベッドメイキング、個人防護具の着脱 【授業方法】演習（実技） 【復習】60分：第2～6回授業の復習後、小テスト②を受ける。 【担当】隈井
7	ベッドメイキング 技術テスト① 【授業方法】演習（実技） 【予習】30分：技術練習をする。 【復習】30分：技術練習をする。 【担当】隈井

8	活動・運動を支援する技術：安楽姿勢・体位の保持、体位変換、歩行、車椅子、ストレッチャー 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学習支援） 【予習】30分：活動・運動を支援する技術（テキスト1）p.204～219、224～238）、安楽な体位（テキスト1）p.51～61）を熟読及び範囲の動画を視聴する。 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト③を受ける。 ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】添田
9	体位変換、移動・移送、安楽姿勢・体位の保持 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分：体位変換、車椅子・ストレッチャーへの移動・移送、体位保持が行えるようにポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】添田
10	体位変換、移動・移送、安楽姿勢・体位の保持 【授業方法】演習（実技、GW） 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト④を受け、課題①に取り組む。 【担当】添田
11	食事・栄養摂取を促す技術：食事援助、身体の清潔を援助する技術：清潔援助（整容・口腔ケア） 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学習支援） 【予習】30分：テキスト1）p.148～169、266～269を熟読、及び範囲の動画を視聴する。 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑤を受ける。 ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】添田
12	食事援助（準備、体位調整）・整容・口腔ケア（含嗽、歯磨き）、体位変換・車椅子移乗・移送 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分：食事の援助が行えるようにポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】添田
13	食事援助（準備、体位調整）・口腔ケア（含嗽、歯磨き）、体位変換・車椅子移乗・移送 【授業方法】演習（実技、GW） 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑥を受け、課題②に取り組む。 【担当】添田
14	身体の清潔を援助する技術：全身清拭、寝衣交換、洗髪、部分浴 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学習支援） 【予習】30分：テキスト1）p.256～279、281～284 を熟読、及び範囲の動画を視聴する。 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑦を受ける。 ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】添田
15	全身清拭、寝衣交換 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分：全身清拭と寝衣交換の援助ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】添田
16	全身清拭、寝衣交換 【授業方法】演習（実技、GW） 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑧を受け、課題③に取り組む。 【担当】添田
17	洗髪 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分：洗髪の援助ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】添田
18	洗髪 【授業方法】演習（実技、GW） 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑨を受け、課題④に取り組む。 【担当】添田
19	排泄を促す技術：床上排泄・おむつ交換、身体の清潔を援助する技術：陰部洗浄 【授業方法】講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学習支援） 【予習】30分：テキスト1）p.176～181、183～189、256～265、279～281 を熟読し、ポイントを学習ノートにまとめる。 【復習】60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑩を受ける ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】添田
20	床上排泄援助、陰部洗浄、おむつ交換 【授業方法】演習（実技、GW） 【予習】30分：床上排泄援助と陰部洗浄・おむつ交換ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】添田

21	床上排泄援助、陰部洗浄、おむつ交換 【授業方法】 演習（実技、GW） 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑩を受け、課題⑤に取り組む。 【担当】 添田
22	前半まとめ・フィードバック 【授業方法】 講義（オンデマンド、ICT 支援：Moodleを用いた自主学習支援） 【予習】 40分：既習の日常生活援助技術における学習内容で理解不十分だった部分についての確認を行う。（オンデマンド講義の再確認など） 【復習】 60分：学習内容の復習をし理解をする。 ※Moodle 上のフォーラム機能を活用し質問やディスカッションを行う ※オフィスアワーを活用する ※不明な点は講義担当教員に質問する 【担当】 添田
23	快適な環境を作る：臥床患者のシーツ交換 【授業方法】 演習（実技、GW） 【予習】 30分：テキスト1) p.38 を熟読及び動画の視聴を行う。前半で学んだ知識を活用して、臥床患者のシーツ交換ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】 添田
24	快適な環境を作る：臥床患者のシーツ交換 【授業方法】 演習（実技、GW） 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑪を受ける。 【担当】 添田
25	身体の清潔を援助する：部分浴（足浴・手浴） 【授業方法】 演習（実技、GW） 【予習】 30分：テキスト1) p.272～273 を熟読及び前半で学んだ知識を活用して、足浴・手浴の援助ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】 添田
26	身体の清潔を援助する：部分浴（足浴・手浴） 【授業方法】 演習（実技、GW） 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、小テスト⑫を受ける。 【担当】 添田
27	身体可動性の障害がある患者の身体の清潔・排泄の援助（清拭・寝衣交換・陰部洗浄・おむつ交換） 【授業方法】 演習（実技、GW） 【予習】 30分：テキスト1) 276～285、187～189、35～39 を熟読及び前半で学んだ知識を活用して、身体可動性の障害がある患者の清拭・寝衣交換・陰部洗浄・おむつ交換ができるようポイントと手順をノートにまとめる。 【担当】 添田
28	身体可動性の障害がある患者の身体の清潔・排泄の援助（清拭・寝衣交換・陰部洗浄・おむつ交換） 【授業方法】 演習（実技、GW） 【復習】 60分：授業で学んだことを復習し、技術練習を行う。レポート課題に取り組む。（第28回授業内でレポート課題を提示する） 【担当】 添田
29	身体の清潔・排泄の援助 技術テスト② 【授業方法】 演習（実技） 【予習】 30分：技術の練習 【復習】 60分：技術の練習、学習内容の復習を行う。 【担当】 添田
30	まとめ、フィードバック 【授業方法】 演習（実技）、講義 【予習】 40分：既習の日常生活援助技術における学習内容で理解不十分だった部分についての確認を行う。（ノート、オンデマンド講義の再確認など） 【復習】 60分：学習内容を復習し、理解をする。 【担当】 添田

指導教員

阿部オリエ 小手川良江 鬼丸美紀 高堂香菜子

先行履修要件科目

なし

テキスト

1) 松尾ミヨ子,城生弘美,習田明裕,金壽子：ナースングラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護実践のための援助技術。メディカ出版, 2023

参考文献

- 1) 藤本真記子 他：看護がみえるvol.1 基礎看護技術第1版。医療情報科学研究所, 2018.
- 2) 坂井建雄, 岡田隆夫：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学 第11版【電子版】. 医学書院, 2022.

評価方法

評価試験：小テスト（①～⑬）60%、技術テスト（第7回・29回で実施）25%、演習後課題（①～⑤）5%、レポート課題10%（第28回でレポート課題を提示する）を総合して評価する

本科目で取得が望ましい点数

78点

ICTの活用・教育リソース

ICT 支援（Moodleを用いた自主学习支援を行う）

学生はタブレット端末やスマートフォンを使用し、授業中でも過去の講義や資料を閲覧しながら授業を受けることができるようにする。学生の学習支援として、第8,11,14,19,22回の授業でMoodleを活用したオンデマンドでの講義を行い、日常生活援助技術の実施に必要な知識と技術実施のポイントを繰り返し学習できるように支援を行う。Moodleを使用した小テストを実施し、学生の取り組み状況や知識の習得状況を確認し、学修に支援が必要な学生に対しては個別に連絡を行うなど配慮する。また、オフィスアワーを活用し、教員に質問できる時間の確保を行う。

教員等の実務経験

様々な分野における看護の臨床経験を有する教員が、その経験を活かし看護技術の講義・演習を行う

メッセージ

本科目は、看護の方法論を学ぶ演習科目になります。今後看護実践能力を獲得するにあたり、看護技術の目的や根拠を考える力を身に付けてほしいと願っています。そのために、どのように学習していくかを自分自身で探求し、自己の課題を明確にする必要があります。受け身ではなく、積極的な取り組みを期待しています。

日常生活援助実習

更新日：2024/01/31 11:01:14

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100500	授業コード	
担当教員	隈井 寛子, 添田 梨香, 鬼丸 美紀, 高堂 香菜子, 小手川 良江, 阿部 オリエ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	1 (45)	

授業の目的

療養者への日常生活援助を看護師と共に実施し、日常生活援助の必要性や根拠を理解する。

指定規則上の教授内容

別表3：基礎看護学

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	日常生活援助を受けている対象者の情報を看護師から得ることができる
2	看護師と共に日常生活援助を実施する対象者に説明し同意を得ることができる
3	看護師と共に安全・安楽に日常生活援助を実施または見学することができる
4	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、日常生活援助技術の根拠が理解できる
5	日常生活援助の実施や看護師からのアドバイスなどにより、対象者の自立や個性に応じた日常生活援助について考えることができる
6	振り返りを行い、日常生活援助技術に対する自己の課題を明らかにすることができる
7	看護技術の原理・原則（安全、安楽、自立、個別性、効率性）などに照らし合わせて、自身が行った日常生活援助を考察し記述できる

授業計画

1	授業方法と学修課題 【授業方法】 実習 【予習】 臨地実習要項熟読、自身の実習先の情報収集、既存の日常生活援助に関する理解（取組時間：60分） 【復習】 課題への取り組み、実習でわからなかったことを調べる学習（取組時間：60分）
2	実習方法 1．実習期間（病院・学内） 8月26日（月）～9月5日（木）のうち5日間 2．実習場所 総合せき損センター、福岡赤十字病院、宗像医師会病院のいずれか1か所 3．実習の進め方 1) 全体オリエンテーション 8月26日（月） オリエンテーションと技術練習を実施する。 2) 病院実習 ・看護師より、日常生活援助を実施している対象者の情報を聞き、日常生活援助を看護師と共に実施する。 ・援助を実施する際には、看護師と共に対象者のところへ出向き、日常生活援助を看護師と共に実施させていただくことを説明し、対象者より同意を得る。 ・毎日、30分程度まとめのカンファレンスを行う。カンファレンスのテーマは、一日を終えての感想や疑問点などを表出し解決の糸口を探ることである。 3) 学内実習 レポート作成

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

なし

参考文献

適宜紹介する

評価方法

実習目標達成度50%、レポート30%、実習態度20%

本科目で取得が望ましい点数

83点

ICTの活用・教育リソース

様々な場で看護師の臨床経験のある教員が、その経験を活かして、日常生活援助の原理・原則における思考について、臨地の場でタイムリーに指導を行います。

教員等の実務経験

メッセージ

看護大学入学後、初めての实習科目になります。主に日常生活援助技術で学んだ知識や技術を、対象者という“個”にどのように応用していくか、いわゆる「個別性」を学ぶ機会となります。学生それぞれが、他者の意見を聴き、自分の考えを発信できるようになることを期待しています。そして、それは、コミュニケーションの1つの形です。日常生活援助を実施するにあたり、対象者とのコミュニケーションや観察を行うことは、基本的な能力として求められます。学内で学んだことを実習の場でどのように応用するか、かつ、更なる学習のための自己の課題は何かについて、深く考える機会にしましょう。

地域・在宅看護学総論

更新日：2024/03/15 10:22:32

開講年度	2024	学期	後期	科目コード	A100520	授業コード	
担当教員	西村 和美, 鎌田 ゆき						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：講義 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (30)	

授業の目的

地域で生活する人々の暮らしが健康に与える影響を理解し、人々の健康と生活を継続的に支援する地域・在宅看護を実践するために必要な基本的知識を学修する。

指定規則上の教授内容

別表3：地域・在宅看護論

本科目で育成するDPの力

DP4-1【看護を実践する力】

人々のニーズをとらえるための知識を体系的に修得している。

到達目標

1	地域で暮らしている人々の生活とその多様性を説明できる。
2	地域の環境が人々の生活や健康に及ぼしている影響を説明できる。
3	生活や健康をめぐる社会の動向を説明できる。
4	地域・在宅看護の目的、機能ならびに対象について、説明できる。
5	地域・在宅看護の基本となる倫理について説明できる。
6	地域・在宅看護に関する制度や地域包括ケアシステムの基本的知識を獲得する。

授業計画

1	地域の人々の暮らしと健康 【授業方法】講義（ICT双） 【予習】30分：健康支援と社会保障①p13-15とp88-92（社会的な健康），地域・在宅看護論①p16-21（地域と生活）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて「看護学からみた地域のとらえ方」について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
2	多様な場で暮らす人の理解 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：健康支援と社会保障①p36-63（個人の生活の理解）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて多様な場で暮らす人の理解について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
3	暮らしと健康をめぐる動向 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：健康支援と社会保障①p18-33（社会）とp122-140（地域社会），地域・在宅看護論①p21-33（地域・在宅看護の背景）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて人口・世帯，健康，保健・医療提供体制に関する動向について、各種統計データをとおして理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
4	暮らしと健康を支える地域・在宅看護、地域調査オリエンテーション 【授業方法】講義（PBL） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p33--42（地域・在宅看護の基盤）とp88-94（地域アセスメント）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて暮らしと健康を支える地域と地域・在宅看護の目的や機能ならびに対象について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村
5	地域調査（フィールドワーク）（1） 【授業方法】演習（フィールドワーク、ICT支援） 【予習】40分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、地域にある保健・医療・福祉施設の特徴（サービスの種類、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べる。 【復習】30分：教科書と資料にて地域の理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村、鎌田
6	地域調査（フィールドワーク）（2） 【授業方法】演習（フィールドワーク、ICT支援） 【予習】40分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と、地域にある保健・医療・福祉施設の特徴（サービスの種類、対象、サービス内容、理念・基本方針、概要）について調べる。 【復習】30分：教科書と資料にて地域の理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】西村、鎌田

7	地域調査（まとめ） 【授業方法】 演習（GW、ICT支援） 【予習】40分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と保健・医療・福祉施設（サービスの種類、対象、サービス内容）について発表資料にまとめる。 【課題（評価対象）】 地域調査した内容をまとめる（詳細は第4回オリエンテーションで説明する）。 【復習】30分：教科書と資料にて地域の環境が人々の生活や健康に及ぼしている影響について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村、鎌田
8	地域調査（発表） 【授業方法】 演習（ICT双、発表）、地域調査に関するフィードバック 【予習】40分：地域の特徴（人口動態、年齢3区分別、高齢化率、概要）と保健・医療・福祉施設（サービスの種類、対象、サービス内容）について発表資料にまとめる。 【復習】30分：教科書と資料にて地域の環境が人々の生活や健康に及ぼしている影響について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村、鎌田
9	評価試験①、地域包括ケアシステム 【授業方法】 講義（PBL、ICT支援）、評価試験：筆記試験（第1回～第4回の内容） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p94-103を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域包括ケアシステムについて理解を深め、疑問点を追加学修する。。 【担当】 西村
10	地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携 【授業方法】 講義（ICT支援） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p114-121を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村
11	地域・在宅看護を展開するための基本理念 【授業方法】 講義（PBL） 【予習】30分：健康支援と社会保障①p174-203（科学からとらえた健康行動）、地域・在宅看護論①p42-47を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の基本理念となる地域共生社会、アドボカシー、ノーマライゼーション、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、エンパワメントの基本事項と看護実践との関連について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村
12	地域・在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件 【授業方法】 講義（PBL） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p63-81（在宅療養者と家族の支援）、健康支援と社会保障①p66-85（家族）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の対象者と在宅療養の成立要件について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村
13	地域療養を支える制度 【授業方法】 講義（PBL） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p142-192（地域療養を支える制度）を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて地域療養を支える制度について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 鎌田
14	地域・在宅看護における倫理 【授業方法】 講義（PBL、ICT双） 【予習】30分：健康支援と社会保障①p158-171（生命倫理）、地域・在宅看護論①p47-52を熟読する。 【復習】30分：教科書と資料にて看護における倫理4原則を踏まえ、地域・在宅看護における倫理的問題の特徴と人々の尊厳と権利を守る解決法について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 鎌田
15	評価試験②、フィードバック、まとめ 【授業方法】 講義（ICT双、フィードバック）、評価試験②：筆記試験（第9回～第14回） 【予習】30分：地域・在宅看護論①p30-33とp278-291 【復習】30分：教科書と資料にて地域・在宅看護の動向について理解を深め、疑問点を追加学修する。 【担当】 西村

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

平野かよこ，他：ナースিং・グラフィカ 健康支援と社会保障①健康と社会・生活．メディカ出版，2023．
 臺有桂，他：ナースিং・グラフィカ 地域・在宅看護論① 地域療養を支えるケア．メディカ出版，2022．

参考文献

河野あゆみ：新体系看護学全書 地域・在宅看護論 第6版．メヂカルフレンド社，2022．

評価方法

評価試験（筆記試験）：50％（第9回：20％、第15回：30％）
 地域調査（フィールドワーク）の発表および課題：20％ ＊詳細は第4回オリエンテーションで説明する。
 講義の中での課題：20％ ＊詳細は第1回オリエンテーションで説明する。
 授業参加度：10％

本科目で取得が望ましい点数

ICTの活用・教育リソース

Moodleを活用した自主学習支援を行う。
また、Moodleを用いて双方向性の授業を展開する。

教員等の実務経験

外来や地域看護活動等で看護師として臨床経験のある教員が、在宅療養者と家族への看護の経験を踏まえ講義や演習を担当します。

メッセージ

地域・在宅看護とは、暮らしを支える看護とは何かを考えながら、積極的に取り組みましょう。地域を理解するには、まず自分が住んでいる地域やそこで暮らしている人々に興味を持ち、調べていきましょう。ひとりを看る目、世界をみる目を育ててください。

赤十字フィールド体験実習

更新日：2024/02/01 17:26:54

開講年度	2024	学期	前期	科目コード	A100850	授業コード	
担当教員	小川 里美, 森山 ますみ						
備考	選択/必修：必修科目 授業形態：実習 実務経験のある教員による授業科目 ※「担当教員」欄の先頭がこの科目の代表教員						
配当	学部/学科	大学 看護学部					
	配当時期	1年	曜日/時限	一	単位	2 (90)	

授業の目的

赤十字の様々な活動を通して、地域で生活する人々の生命・健康と赤十字の役割について理解を深め、人道の担い手として行動できる基礎的能力を獲得する。

指定規則上の教授内容

別表3：看護の統合と実践

本科目で育成するDPの力

DP1-2【人間の生命と尊厳を大切にする力】

赤十字の基本原則に基づき行動できる。

到達目標

1	赤十字の理念が各施設でどのように具現化されているのを理解することができる。
2	赤十字の基本原則と活動が地域で生活する人々の生命・健康・生活とどのような関連があるかを考えることができる。
3	人々の生命・健康・生活を守るために、赤十字看護師に求められることは何かを述べることができる。

授業計画

1	【授業方法】実習 【予習】訪問する施設および活動内容を調べる。（30分） 【復習】訪問先の活動内容と赤十字の理念および基本原則との関連について考える。（60分）
2	実習方法 1．実習期間：2024年9月中旬から2週間程度。但し、訪問先の都合によりこの期間外に実習を行うことがある。 2．実習場所：佐野常民記念館、日本赤十字社福岡県支部、福岡赤十字病院、九州ブロック血液センター、特別養護老人ホーム 大寿園、特別養護老人ホーム やすらぎの郷、特別養護老人ホーム 豊寿園、献血ルーム（おっしょい博多、キャナルシティ、天神西通り、くろさきクロバー、魚町銀天街） 3．実習配置：別途配布する。 3．実習の進め方 ・事前学習（予習）をふまえ、実習で学びたい内容をグループでまとめ、実習先に伝える。（グループ） ・訪問先の活動の実際を見学する。 ・見学した内容と赤十字の理念、基本原則との関連についてまとめる。（個人・グループ） ・実習最終日に各グループの学びを発表し、共有する。（グループ） ・学習成果発表へのフィードバック

指導教員

先行履修要件科目

なし

テキスト

特に指定しない

参考文献

「赤十字概論」で配布した資料
日本赤十字社：赤十字のしくみと活動

評価方法

事前課題・グループワークへの参加度 30％ 実習参加度および発表 30％ レポート 40％ 提出時期は授業時間内に説明する。

本科目で取得が望ましい点数

75点

ICTの活用・教育リソース

ICT双（タブレットを活用し学習成果を共有する）

教員等の実務経験

赤十字の教育機関で学び、赤十字病院での勤務経験のある教員が担当する。

メッセージ

「赤十字」や「看護」について、どのようなイメージを持っているでしょうか。この実習では、赤十字事業の実際や、本学のある宗像市（地域）を知ること
で、人の生命とは、健康とは、そして生命や健康に対して赤十字の看護師の役割とはをグループで考えて深めていきます。